DocuColor 1250シリーズ/ DocuPrint C1250

取扱説明書(プリント機能操作編)

THE DOCUMENT COMPANY

FUJI XEROX

ご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載することはおやめください。
② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制(電波規制や材料規制など)は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

はじめに

このたびはDocuColor 1250シリーズ/DocuPrint C1250をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、本機をはじめてご使用になるかたを対象に、機械の操作方法、および使用上の注意事項について記載してあります。

製品の性能を十分に発揮させ有効的にご利用いただくために、本書を最後までお読みください。

本書を読んだあとも必ず保管してください。機械をご使用中に、操作上でわからないことや機械に不具合を生じたときに読み直してご活用いただけます。

2001年1月
富士ゼロックス株式会社

この取扱説明書のなかで⚠と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

弊社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

弊社は、製品の研究開発から廃棄にいたる事業活動全般において、地球環境の保全を経営の重要課題のひとつに位置づけております。これまでも環境負荷を低減するために、生産施設におけるフロンの全廃など、さまざまな活動を展開してまいりました。
また、お客様の身近なところでは、複写機やプリンターで使用した用紙、消耗品のカートリッジやパーツなどのリサイクルを推進することにより、今後も資源の保護に積極的に取り組んでまいります。
このような活動の一環として、DocuColor 1250 シリーズ /DocuPrint C1250 に、弊社の品質基準に適合したリサイクル・パーツを使用しております。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

受信障害について
ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチを一旦切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合せて障害を防止してください。

- 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

目　次

第6章　各種設定項目について

第7章　こまったときは

第8章　日常の管理

第9章　階調補正操作

付　録

マニュアル体系について

ここでは、本機のマニュアルの種類と機種ごとのマニュアルについて説明します。

マニュアルの種類

この製品に関して、次の種類のマニュアルを用意しています。

本体同梱マニュアル

本機には、いくつかの取扱説明書が同梱されています。これらの取扱説明書を本体同梱マニュアルと呼びます。
本体同梱マニュアルでは、設置、設定/操作方法などを説明しています。

オプション製品同梱マニュアル

本機のほかに、専用の別売品を用意しています。本機専用の別売品にも取扱説明書が同梱されているものがあります。この取扱説明書をオプション製品同梱マニュアルと呼びます。
オプション製品同梱マニュアルでは、オプション製品の取り付け手順、ソフトウェアのインストール手順などを説明しています。

DocuColor 1250シリーズ

DocuColor 1250シリーズには、次のマニュアルが同梱されています。

取扱説明書(本体管理/コピー編)

コピー機能の操作方法や、紙づまりの処置、消耗品の交換のしかたなどを説明しています。

取扱説明書(プリント機能設定編)

ケーブル類の設置、プリンターとしての設定、機能上の注意や制限について説明しています。本機を設置するときにお読みください。

DocuPrint C1250

DocuPrint C1250には、次のマニュアルが同梱されています。

取扱説明書(設置編)

本機の設置、オプション製品の取り付け、本機の設定、特長、主な仕様、機能上の注意や制限について説明しています。本機を設置するときにお読みください。

DocuColor 1250シリーズ/DocuPrint C1250共通マニュアル

DocuColor 1250シリーズ/DocuPrint C1250共通のマニュアルは、次のとおりです。

取扱説明書（プリント機能操作編）　<本書>

電源の入/切、印刷の中止などの基本的な操作、用紙のセット方法、応用機能の使用方法、各種設定項目、障害時の対応、消耗品の交換など、日常本機を利用するときに必要なことについて説明しています。

取扱説明書（仕様編）

本機の特長、主な仕様、機能上の注意や制限について説明しています。本機の機能について詳しく知りたいときにお読みください。
なお、このマニュアルは、付属の「CentreWareドライバー&ネットワークユーティリティ」CD-ROMに、電子マニュアルとして入っています。

取扱説明書（ネットワークプリント環境設定編）

ネットワークの環境設定方法について説明しています。ネットワーク機能をお使いになる場合にお読みください。
なお、このマニュアルは、付属の「CentreWareドライバー&ネットワークユーティリティ」のCD-ROMに、電子マニュアルとして入っています。
DocuPrint C1250 Netの場合は、同梱されています。

本書の読み方

前提知識

本書は、本機を日常使用するときに読んでいただきたいマニュアルです。本書の内容は、お使いのOSの環境の基本的な知識や操作方法を理解されていることを前提に説明しています。お使いのOSの基本的な知識や操作方法については、OSに付属の説明書をお読みください。

前提条件

本書は、本機を日常使用するかたを対象に制作しています。本書を読む場合には、必要なときに必要な章をお読みください。
また、本書を読み始める前に、次の項目を確認してください。

- プリンターとしての本機の設置が終了していること
- PLWプリンタードライバーが、ホスト装置にインストールされていること

本書の構成

本書は、次のような構成になっています。

第1章　基本的な操作

各部の名称、電源の入/切、印刷の中止など、プリンターの基本的な操作について説明しています。

第2章　用紙のセット

本機で使用できる用紙の仕様、用紙の取り扱いに関する注意事項、用紙の補給方法などについて説明しています。

第3章　こんな印刷がしたいときは

プリンターの機能を使用する場合の、ホスト装置側での設定方法について説明しています。

第4章　手差し印刷

手差し印刷の基本的な操作方法、官製はがきやOHPフィルムなどへの印刷方法について説明しています。

第5章　色に関する調整をして印刷する

白黒印刷、カラー印刷の操作方法、カラーで印刷する場合の詳細な画質の調整方法について説明しています。

第6章　各種設定項目について

プリンター用操作パネルから設定できる項目と、その設定方法について説明しています。

第7章　こまったときは

エラーメッセージや紙づまりの処置方法について説明しています。

第8章　日常の管理

トナーカートリッジなどの、消耗品の交換について説明しています。

第9章　階調補正操作

印刷画質の色階調がずれた場合に、簡易的に階調を補正する方法について説明しています。

付録

最新版プリンタードライバーの入手方法や、本機の主な仕様について説明しています。

本書の表記

① 本文中の「ホスト装置」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。

② 本文中では、説明する内容によって、次の用語を使用しています。

注記　注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。
補足　補足事項を記述しています。
参照　参照先を記述しています。

③ 本文中では、次の記号を使用しています。

参照「　　」：参照先は、本書内です。
参照『　　』：参照先は、本書内ではなく他の説明書です。
〈　　〉キー：キーボード上のキーを表しています。
【　　】：ディスプレイに表示されるメッセージを表します。

④ チェックボックスがチェックされている状態をオン、チェックされていない状態をオフで表します。

⑤ ラジオボタンがチェックされている項目が、選択されている項目です。

安全にご利用いただくために

機械を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」を最後までお読みください。

各図記号は以下のような意味を表しています

⚠警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。

高温注意

発火注意

感電注意

指はさみ注意

⃠記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。

禁　止

火気禁止

分解禁止

接触禁止

●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。

指　示

プラグを
抜け

アースを
接続せよ

DocuColor 1250シリーズ

『取扱説明書（本体管理/コピー編）』の「安全にご利用いただくために」もあわせてごらんください。

電源およびアース接続時の注意

⚠注意

インターフェイスケーブルを接続するときは、必ず本機とホスト装置の電源スイッチを切ってください。感電の原因となるおそれがあります。

電源を切るときの注意

その他

- 電源を切ると、本機内に残っている印刷データや本機のメモリーに蓄えられた情報が消去されます。

  通常の操作時に電源を切るときは、プリンター用操作パネルのディスプレイに【プリントデキマス】が表示されていることを確認してから、電源を切ってください。

DocuPrint C1250

設置および移動時の注意

⚠注意

高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所には機械を設置しないでください。発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所には機械を設置しないでください。火災の原因となるおそれがあります。

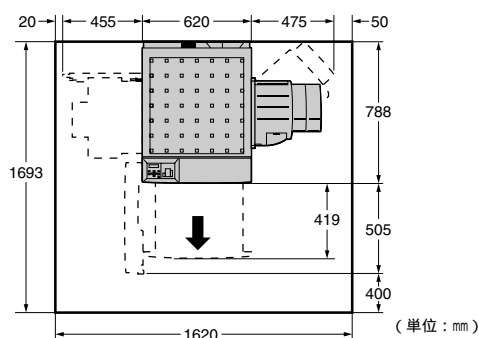
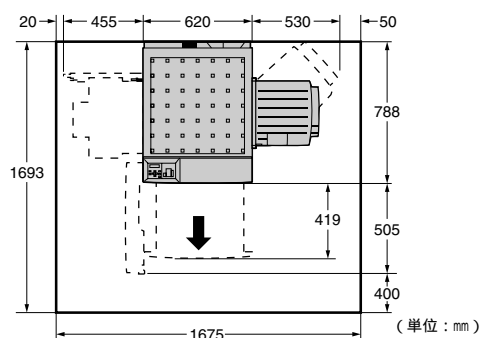
機械は、重さ186kgに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。機械の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。

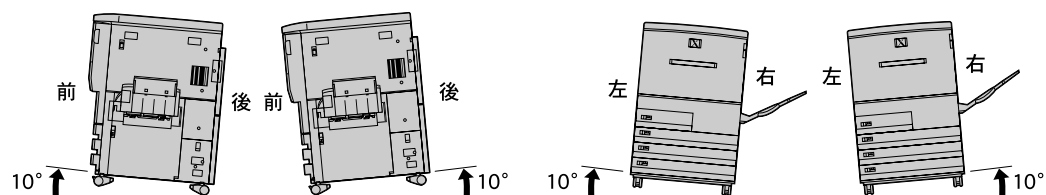
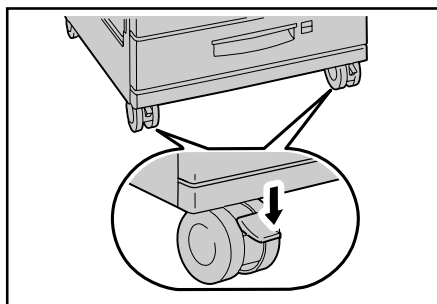
機械を移動するときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

機械の底面には通気口があります。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。

また、機械の操作および消耗品類の交換、日常の点検など、機械を正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

排出トレイSの場合

20 455 620 475 50
1693 788 419 505 400
1620
（単位：㎜）

排出トレイMの場合

機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードが傷つき、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

機械を移動する場合は、機械を10度以上に傾けないでください。転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。

機器を設置した後は、キャスターについている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。ストッパーをロックしないと、機械が思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。

その他

- **いつも良い状態でご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。**

  温度10 ～ 35°C　湿度15 ～ 85%（結露がないこと）

  温度が35°Cのときは湿度47.5%以下、湿度が85%のときは温度27.8°C以下でお使いください。

  補足　冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。

- **直射日光の当たる場所には機械を置かないでください。故障の原因となることがあります。**

電源およびアース接続時の注意

⚠警告

電源プラグは、定格電圧100Vで、定格電流15A以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本機の定格電源は100V、15Aとなっています。

電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災のおそれがあります。

延長コードは、定格（125V、15A）未満のものは使用しないでください。発熱による火災のおそれがあります。なお、延長コードが必要な場合は、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご相談ください。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電のおそれがあります。

電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

次のようなときには直ちに使用を中止し、電源スイッチを切り、プリンター用操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのあと、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると火災のおそれがあります。

- 機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき
- 異常な音やにおいがするとき
- 機械の内部に水が入ったとき

万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源プラグから出ているアース線を、次のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 650mm 以上地中に埋めたもの
- 接地工事(第3種)を行っている接地端子

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご相談ください。次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管(引火や爆発の危険があります。)
- 電話専用アース線および避雷針(落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。)
- 水道管や蛇口(配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。)

電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)弊社のテレフォンセンターまたは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

⚠注意

機械の電源スイッチを入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

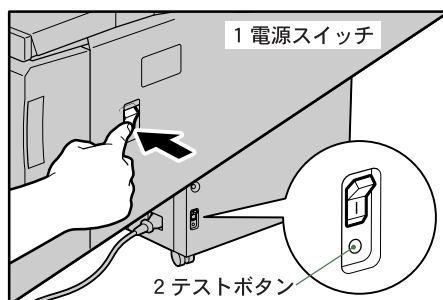
1か月に一度は機械の電源スイッチを切り、次のような点検をしてください。なお、異常がある場合は弊社のテレフォンセンターまたは販売店までご連絡ください。

- 電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていますか。
- 電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはありませんか。
- 電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。
- 電源コードにき裂やすり傷などはありませんか。

連休などで長期間、機械をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、プリンター用操作パネルのディスプレイが消灯してから、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。

機械には漏電保護回路がついています。1か月に一度は機械の電源スイッチを切り、漏電保護回路が正常に働くかを確認してください。正常に動作しない場合にアースが接続されていないと、感電の原因となるおそれがあります。

なお、漏電保護回路の確認手順は次のとおりです。異常などがある場合は弊社のテレフォンセンターまたは販売店までご連絡ください。

1. 電源スイッチを「⏻」(切)にします。
2. プリンター用操作パネルのディスプレイが消灯してから(約20秒後)、ボールペンなどの先で、ブレーカースイッチの下にあるテストボタンを押します。
   ブレーカースイッチが「｜」から「○」に倒れれば、正常に作動しています。
3. 確認後、ブレーカースイッチ、電源スイッチの順に「｜」(入)にします。

機械の清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、プリンター用操作パネルのディスプレイが消灯してから、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃や保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

インターフェイスケーブルを接続するときは、必ず本機とホスト装置の電源スイッチを切ってください。感電の原因となるおそれがあります。

その他

- 機械には、落雷によるサージ電流からの保護回路が内蔵されています。付近に落雷が発生したときは電源スイッチを切り、プリンター用操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源コードを機械から外して、雷がおさまるのを待ってください。

機械使用上の注意

⚠警告

機械の上に花瓶、植木鉢、コップなど水の入った容器を置かないでください。水がこぼれた場合、火災や感電のおそれがあります。

機械の上に金属類を置かないでください。すき間から内部に、クリップやホチキスの針のような金属類や燃えやすいものが入り込むと、機械内部がショートし、火災や感電のおそれがあります。

万一、異物(金属片、水、液体)が内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、プリンター用操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

ネジで固定されているパネルやカバーなどは、取扱説明書で指示している箇所以外絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

機械を改造したり、部品を変更して使用しないでください。火災のおそれがあります。

この商品は、レーザーの国際規格IEC825(Class1)に適合しています。このことはレーザー被爆の危険がないことを意味しています。レーザーは商品内部で放射されますが、部品内部の漏洩防止筐体やカバーなどによって内部に閉じ込められています。従って、お客様が使用される場合はレーザーは被爆しません。取扱説明書に書かれていること以外の、カバーを外すなどの操作はしないでください。レーザーの被爆の原因になることがあります。

⚠注意

機械の安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。機械が作動状態になる場合があり、ケガの原因となるおそれがあります。

機械の近くまたは内部で強燃性スプレーや引火性溶剤を使用しないでください。引火による火災の原因となるおそれがあります。

プリンター用操作パネルの上に重い物を載せたり、ひじをついたりしないでください。ガラスが破損し、ケガをする原因となるおそれがあります。

電気を通しやすい紙(折り紙・カーボン紙・コート紙など)は使用しないでください。紙づまりのときにショートして火災の原因となるおそれがあります。

「高圧注意」を促すラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。感電の原因となることがあります。

「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着部やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。

なお、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

用紙トレイを引き出すときはゆっくりと引き出してください。トレイを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。

つまった用紙を取り除くときは、機械内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因となるおそれがあります。なお、紙片や用紙が定着部の見えない部分およびローラーに巻き付いているときは、無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のテレフォンセンターまたは販売店に連絡してください。

狭い部屋で長時間使用する場合は、部屋の換気に注意してください。頭痛などの原因となるおそれがあります。

その他

- 紙づまりの処置や故障の処置を行うときは、本書をよくお読みください。
- 排出トレイは、正しく取り付けてご使用ください。排出トレイを取り付けないで印刷すると、紙づまりの原因となります。

消耗品取扱上の注意

⚠警告

トナーカートリッジを絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

トナー、または使用済みのトナー回収ボトルを絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

現像剤、または使用済みの現像剤回収ボトルを絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

⚠注意

ドラムカートリッジを勢いよく引き出さないでください。ドラムカートリッジが飛び出し、けがの原因となるおそれがあります。

クリーニングカートリッジは、高温になっいます。充分冷えてから操作してください。転写ユニットを引き出した状態で約20分放置すると、クリーニングカートリッジ中央部の取っ手の温度が安全に操作できる温度(70℃)になります。

クリーニングカートリッジを取り外した本体の内部は熱いので、シャッターの中には決して手を差し込まないでください。また、本体の内部に異物が落下した場合には、無理にとらないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。直ちに、電源スイッチを切り、弊社のテレフォンセンターまたは販売店に連絡してください。

クリーニングカートリッジは、外部が冷えた状態でも内側は高温になっています。取っ手以外の箇所には、触れないように注意して交換してください。

その他

- 消耗品は、ご使用になるまでは開封せずに、次のような場所を避けて保管してください。
  - 高温、多湿の場所
  - 火気のある場所
  - 直射日光の当たる場所
  - ホコリが多い場所
- 消耗品を使用するときは、消耗品の箱や容器に記載された「取り扱い上の注意」をよく読んでから使用してください。
- 回収したトナーカートリッジ、ドラムカートリッジは環境保護・資源有効活用のため、リサイクルしています。

－取り扱い上の注意－

不要となりましたトナーカートリッジ、ドラムカートリッジは適切な処置が必要です。必ず弊社または販売店にお渡しください。

- 以下の事項に従って、応急措置を行ってください。
  - トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
  - トナーが皮膚に付着した場合は、せっけんを使ってよく洗い流してください。
  - トナーを吸入した場合は、暴露環境から離れて、多量の水でよくうがいをしてください。
  - トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだ物を吐き出させ、速やかに医師に相談し指示を受けてください。
- オイルカートリッジは消防法「第四類第四石油類」に該当します。

－取り扱い上の注意－

- 取り扱いは弊社のカストマーエンジニアにおまかせください。

電源を切るときの注意

その他

- 電源を切ると、本機内に残っている印刷データやプリンターのメモリーに蓄えられた情報が消去されます。

  通常の操作時に電源を切るときは、プリンター用操作パネルのディスプレイに【プリントデキマス】が表示されていることを確認してから、電源を切ってください。

■警告および注意ラベルの貼付け位置

本機には安全にお使いいただくために以下のような警告ラベルおよび注意ラベルが機械内部に貼ってあります。指示内容をよく読み安全にご利用ください。

国際エネルギースタープログラムの目的

国際エネルギースタープログラムは、大切な地球環境を守るために以下のような方法を推奨し、エネルギーを節約することを目的としています。本機は、この国際エネルギースタープログラムの基準に適合しています。

DocuColor 1250シリーズ

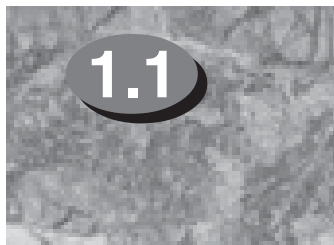
参照 『取扱説明書(本体管理/コピー編)』の「国際エネルギースタープログラムの目的」を参照してください。

DocuPrint C1250

低電力モード(ローパワーモード)

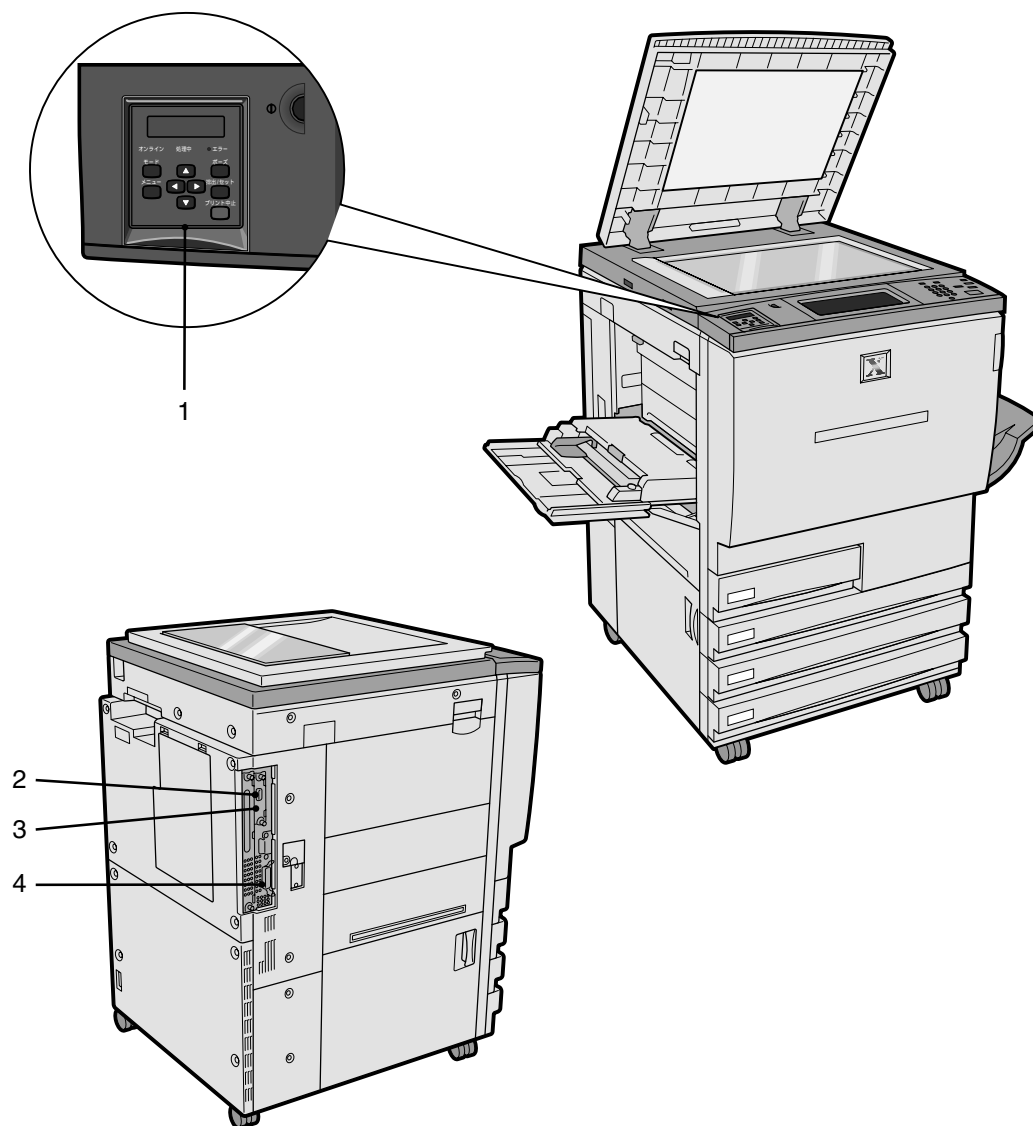
本機は電力消費量を軽減するために、自動的に消費電力を節約する機能を持っています。工場出荷時の設定では60分以上この機器が使用されなかった場合に、自動的に機械の消費電力を節約するようになっています。この設定は15〜240分の間で1分刻みに設定できます。操作の詳細については、本書の「6.2　共通メニューの設定」をごらんください。なお、共通メニューでは「低電力モード(ローパワーモード)」は、「節電モード」と表示されます。

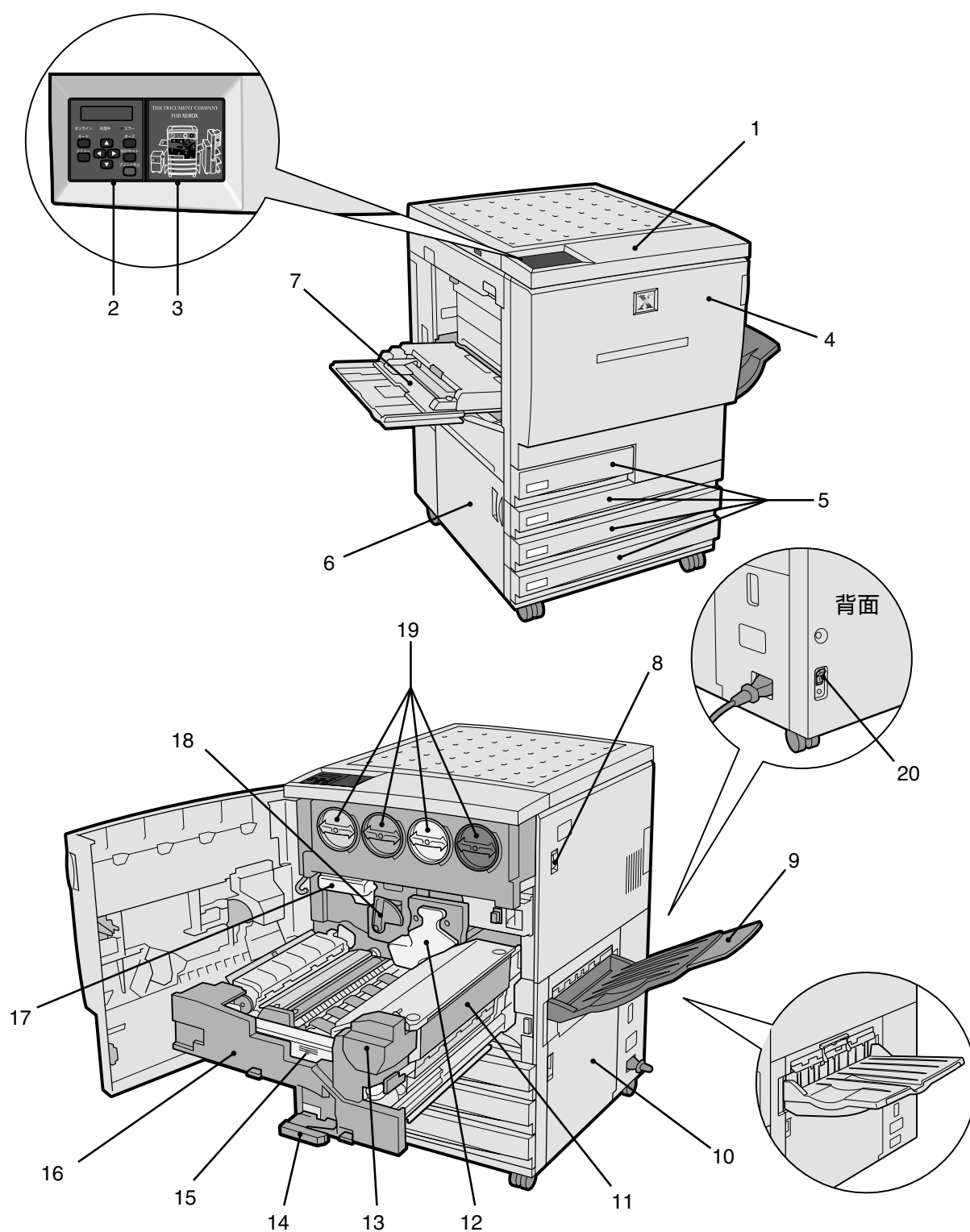
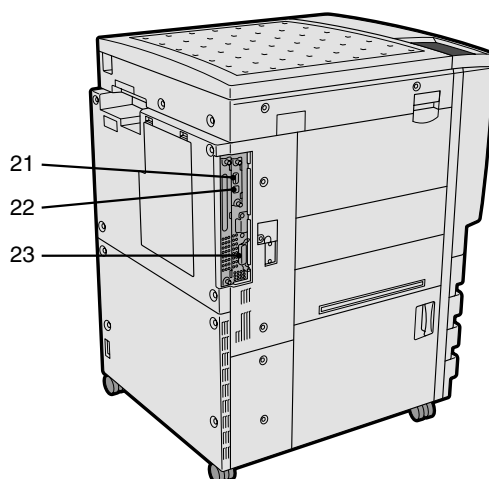
基本的な操作

1
章

各部の名称と働き

1.1.1　DocuColor 1250シリーズ

プリント機能に関する各部の名称と働きを説明します。

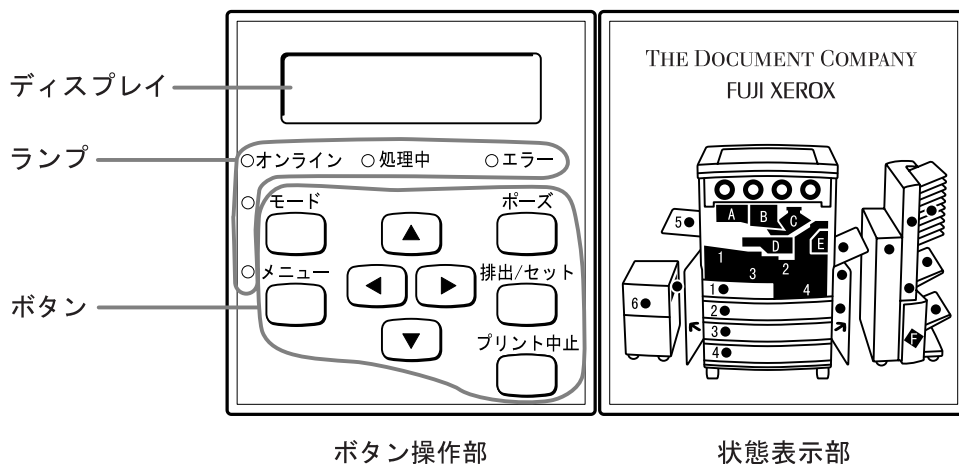
参照 **その他の部分については、『取扱説明書(本体管理/コピー編)』の「1.1　各部の名称と働き」を参照してください。**

番号	名　　称	働　　き
1	**プリンター用操作パネル**	**プリント操作に必要なディスプレイ、ランプ、ボタンがあります。**
2	10Base5**コネクタ**	10Base5 EtherNet**インターフェイスケーブルを接続します。**
3	10Base-T/100Base-TX **コネクタ**	10Base-T/100Base-TX EtherNet**インターフェイスケーブルを接続します。**
4	**パラレルインターフェイスコネクタ**	**セントロニクス準拠インターフェイスケーブルを接続し、ホスト装置と接続します。**

1.1.2　DocuPrint C1250

番号	名　称	はたらき
1	プリンター用操作パネル	ボタン操作部、および状態表示部があります。
2	ボタン操作部	操作に必要なディスプレイ、ランプ、ボタンがあります。
3	状態表示部	紙づまりの位置や交換が必要な消耗品の位置を示します。
4	フロントカバー	紙づまりの処置をするときや、消耗品の交換をするときに開けます。
5	用紙トレイ1、2、3、4	ここに用紙をセットします。
6	左側面下部カバー	紙づまりの処置をするときに開けます。
7	用紙トレイ5（手差し）	用紙トレイ1、2、3、4にセットできない用紙（OHPフィルムや、厚紙などの特殊用紙）を印刷するときに使用します。
8	電源スイッチ	機械の電源を入/切するスイッチです。
9	排出トレイ	印刷されたものがここに排出されます。排出トレイS（緑色）または排出トレイM（白色）があります。
10	右側面下部カバー	紙づまりの処置をするときに開けます。
11	クリーニングカートリッジ[E]	定着部内をクリーニングするシートです。
12	現像剤回収ボトル[C]	使用済みの現像剤が回収されます。
13	定着部	トナーを用紙に定着させる部分です。高温なので触れないように注意してください。
14	レバー	転写ユニットを引き出すためのレバーです。
15	オイルカートリッジ[D]	定着部にオイルを供給します。
16	転写ユニット	消耗品D、Eの交換や、紙づまりの処置をするときに引き出します。
17	トナー回収ボトル[A]	使用済みのトナーが回収されます。
18	ドラムカートリッジ[B]	感光体などがセットされています。
19	トナーカートリッジ	シアン[C]、マゼンタ[M]、イエロー[Y]、ブラック[K]の4色のトナー（画像形成剤）が入っています。
20	ブレーカースイッチ	漏電を検知すると、自動的に電源を遮断するスイッチです。通常は「｜」にしておきます。
21	10Base5コネクタ	10Base5 EtherNetインターフェイスケーブルを接続します。
22	10Base-T/100Base-TXコネクタ	10Base-T/100Base-TX EtherNetインターフェイスケーブルを接続します。
23	パラレルインターフェイスコネクタ	セントロニクス準拠インターフェイスケーブルを接続し、ホスト装置と接続します。

1.2 プリンター用操作パネル

ここでは、プリンター用操作パネルについて説明します。

1.2.1 各部の名称

プリンター用操作パネルは、ランプ、ディスプレイ、ボタンがあるボタン操作部と、状態表示部(DocuPrint C1250のみ)から構成されています。

1.2.2 ランプ

ランプは、プリンターとしての状態を点灯/点滅/消灯で表示します。

オンライン

緑色でデータの処理状況を表します。

〈点灯〉
データの受信が可能なことを表します。

〈点滅〉
データを受信していることを表します。

〈消灯〉
データの受信が不可能なことを表します。

補足 **データの受信が不可能な状態には、[メニュー]を押して共通メニューの操作へ移行したときや、[ポーズ]を押してポーズ状態へ移行したときなどがあります。**

参照 **メニュー操作については、「第6章　各種設定項目について」、ポーズ状態については、「1.6.3　すべてのジョブを中止する場合」および「1.7　排出する」を参照してください。**

処理中

緑色で印刷の処理状況を表します。

〈点灯〉
印刷処理を行っていることを表します。

〈点滅〉
印刷処理の途中で、データ待ちであることを表します。

〈消灯〉
印刷処理を行っていないことを表します。

エラー

赤色で本機の異常を表します。

〈点灯〉
紙づまりなど､お客様自身で対処可能なエラーが発生していることを表します。

〈点滅〉
エラーが発生していることを表します。プリンター用操作パネルのディスプレイに表示されているメッセージに従って、対処してください。なお、対処しても正常に動作しないときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店までご連絡ください。

〈消灯〉
本機が正常に動いている状態を表します。

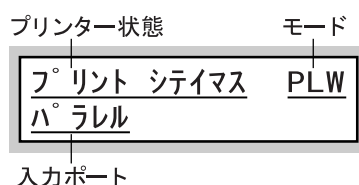
参照　エラーのときに、表示されるメッセージについては､「7.2　メッセージ一覧」を参照してください。

1.2.3　ディスプレイ

プリンターとしての状態を表すメッセージが、ディスプレイに表示されます。

補足 オプションの装着の有無、設定の状態、機種の違いにより、表示されないメッセージがあります。

プリント画面

印刷しているときやデータを待っている状態のときは、ディスプレイはプリント画面になっています。プリント画面は、プリンターとしての状態や、実行中のデータの処理状態を表します。
パラレルポートから、PLW言語データを受けて印刷しているときには、ディスプレイには次のようなメッセージが表示されます。

プリンター状態

プリンターとしての状態を表します。【オマチクダサイ】/【プリントデキマス】/【プリントシテイマス】/【チュウシシテイマス】/【ハイシュツシテイマス】/【データマチデス】といったメッセージが、状況に応じて表示されます。

参照 メッセージについては、「7.2　メッセージ一覧」を参照してください。

モード

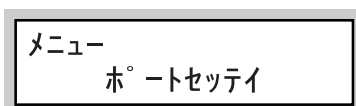
プリントモードの種類を表します。本機では、【PLW】/【DUMP】/【PS】/【HPGL】といったメッセージが、状況に応じて表示されます。

入力ポート

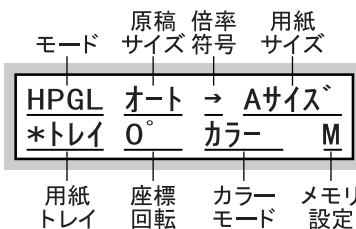
データ受信の入力ポートを表します。【パラレル】/【lpd】/【NetWare】/【SMB】/【EtherTalk】といったメッセージが、状況に応じて表示されます。

共通メニュー画面

すべてのプリントモードに共通の項目を設定する画面です。共通メニュー画面を表示するには、[メニュー]を押してください。
ポート設定の画面を表示すると、次のようになります。

```
メニュー
　　ホ゜ートセッテイ
```

参照 共通メニュー画面については、「6.2　共通メニューの設定」を参照してください。

モードメニュー画面

エミュレーションのHP-GLモード固有の項目を設定する画面です。モードメニュー画面を表示するには、[モード]を押してください。次のようになります。

参照 モードメニュー画面については、「6.3　モードメニューの設定」を参照してください。

1.2.4　ボタン

プリンター用操作パネルには、9個のボタンがあります。

[▼]　メニューやメニュー項目、項目、候補値を順番に表示します。

参照 メニュー/メニュー項目/項目/候補値については、「6.1　共通メニューとモードメニュー」を参照してください。

[▲]　メニューやメニュー項目、項目、候補値を、[▼]とは逆の順番に表示します。

[▶]　メニューからメニュー項目への移行、メニュー項目から項目への移行、項目から候補値への移行を行います。
また、候補値内のカーソル(_)を右に1つずつ移動します。

[◀]　メニュー項目からメニューへの移行、項目からメニュー項目への移行、候補値から項目への移行を行います。
また、候補値内のカーソル(_)を左に1つずつ移動します。

補足 カーソル(_)が、ディスプレイ上段のいちばん左にあるときは下段のいちばん右へ移動し、下段のいちばん左にあるときは上段のいちばん右へ移動します。

メニュー

① 共通メニュー操作へ移行します。
このとき、本機は自動的にデータの受信が不可能な状態になります。
印刷処理中のメニューは受け付けられません。

② 共通メニューから、プリント画面【プリントデキマス】に戻ります。

参照 共通メニュー操作については、「6.2　共通メニューの設定」を参照してください。

モード

① モードメニュー操作へ移行します。

② モードメニューから、プリント画面【プリントデキマス】に戻ります。

参照 モードメニュー操作については、「6.3　モードメニューの設定」を参照してください。

ポーズ

ポーズ状態へ移行します。ポーズ状態では、データの受信や印刷処理は行われません。

参照 ポーズ状態については、「1.6.3　すべてのジョブを中止する場合」および「1.7　排出する」を参照してください。

排出/セット

排出
① 本機に残っているデータを、強制的に処理して印刷します。また、ポーズとの併用で、本機内のすべてのジョブを印刷します。
② ［手差しキー操作待ち］のジョブを印刷します。

セット
メニュー操作での候補値を確定します。また、レポート/リストの印刷を実行します。

参照 排出の操作については「1.7　排出する」、［手差しキー操作待ち］については「4.1　用紙トレイ5（手差し）の基本的な使い方」を参照してください。

プリント中止

① 処理中のジョブの印刷を中止します。

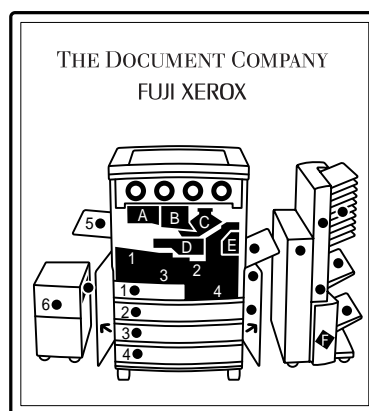
② ポーズ状態のときに、プリント中止を押すと、すべてのインターフェイスに対する受信済みジョブを破棄します。

参照 プリント中止の操作については、「1.6　印刷を中止する」を参照してください。

1.2.5　状態表示部（DocuPrint C1250のみ）

**紙づまりの位置や、交換が必要な消耗品の位置のランプが点灯します。
プリンター用操作パネルのディスプレイに表示されるメッセージとあわせて、処置してください。**

参照 ● 紙づまりの処置については、「7.3　用紙がつまった場合」、消耗品の交換については、「第8章　日常の管理」を参照してください。

1.3 電源を入れる/切る

操作を始めるときには電源を入れます。電源を入れてから、DocuColor 1250シリーズは9分30秒程度、DocuPrint C1250は9分10秒程度で印刷できる状態になります。

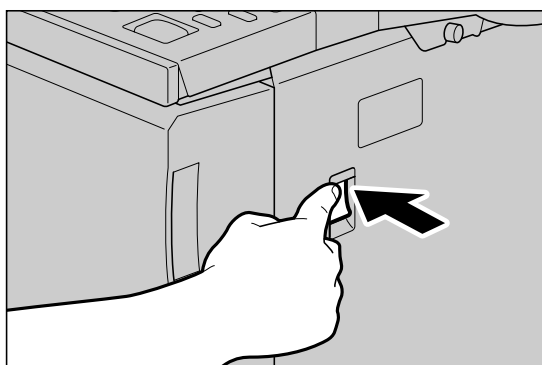
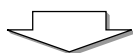
長時間印刷しない場合や、1日の終わりには電源を切ってください。また、しばらく印刷しないときには、節電機能を使用すると、機械の消費電力量を下げて電力を節約することができます。

参照 **節電機能については、「1.4　節電について」を参照してください。**

1.3.1　電源を入れる

電源を入れる手順は次のとおりです。

注記 **ホスト装置を接続した場合は、本機の電源を入れる前に、ホスト装置の電源が入っていることを確認してください。**

参照 **使用する電源についての注意は、DocuColor 1250シリーズは、『取扱説明書（本体管理/コピー編）』の「安全にご利用いただくために」、DocuPrint C1250は、本書の「安全にご利用いただくために」を参照してください。**

1 電源スイッチを「｜」（入）にします。

補足 **電源を切った直後に再び入れる場合は、5秒以上待ってください。**

オマチクダ゛サイ

プ゛リント デ゛キマス

プリンター用操作パネルのボタン操作部のディスプレイと5つのランプ、および状態表示部のランプ（DocuPrint C1250のみ）が点灯して、消灯します。ディスプレイが左図のように変化し、「オンライン」ランプが点灯して、【プリントデキマス】の表示になります。

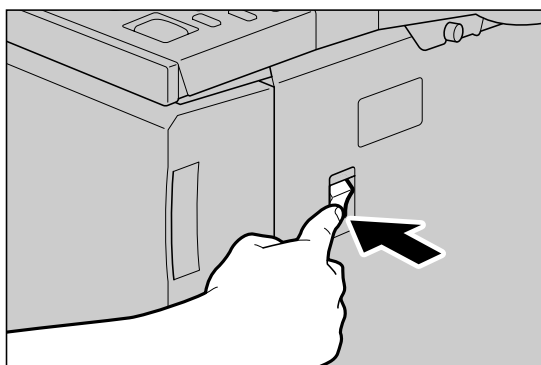
注記 **【プリントデキマス】以外のメッセージが表示された場合は、「7.2　メッセージ一覧」を参照してください。**

補足 **工場出荷時は、電源を入れるとスタートアップページが印刷されるように設定されています。スタートアップページについては、DocuColor 1250シリーズは、『取扱説明書（プリント機能設定編）』、DocuPrint C1250は、『取扱説明書（設置編）』を参照してください。**

1.3.2　電源を切る

電源を切る手順は次のとおりです。

注記 電源を切ると、本機内に残っている印刷データや、本機のメモリーに蓄えられた情報は消去されます。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ

① 印刷が完全に終了していることと、プリンター用操作パネルのディスプレイに【プリントデキマス】が表示されていることを確認します。

注記 次の状態の場合は、電源を切らないでください。
- データの受信が行われている
- 印刷処理が行われている
- エラーが発生している

ﾎﾟｰｽﾞ ｼﾃｲﾏｽ

ポーズ

補足 プリンター用操作パネルのディスプレイに【ポーズシテイマス】が表示されているときは、ポーズを押してください。
【プリントデキマス】が表示されることを確認します。

ﾒﾆｭｰ
ﾎﾟｰﾄｾｯﾃｲ

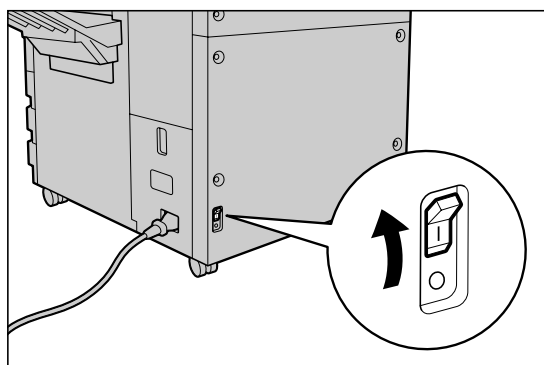
メニュー

補足 メニュー操作をしているときは、メニューを押してください。
【プリントデキマス】が表示されることを確認します。

② 電源スイッチを「⏻」(切)にします。

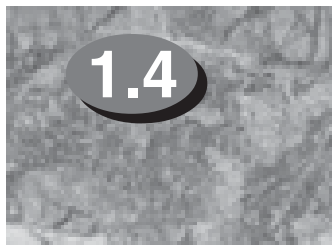
注記 再度、電源を入れる場合は、5秒以上待ってから行なってください。

補足
- 電源スイッチを切ったあとも、機械内部のファンは約1時間、回り続けます。
- データ保護処理のため、電源を切ってから約20秒後にプリンター用操作パネルが消灯します。消灯までの間は、プリンター用操作パネルのディスプレイに【オマチクダサイ】と表示されます。

1.3.3　ブレーカーについて

ブレーカースイッチは、通常、左図のように上「｜」(入)にしておきます。

長期間使用しない場合や移動する場合は、スイッチを下に倒します。

補足
- ブレーカースイッチは、漏電を検知すると自動的に電源を遮断します。通常は操作しないでください。
- ブレーカースイッチを切る場合は、電源スイッチが切れていることと、プリンター用操作パネルのディスプレイが消灯していることを確認してください。

参照
- ブレーカースイッチについては、DocuColor 1250シリーズは、『取扱説明書(本体管理/コピー編)』の「安全にご利用いただくために」、DocuPrint C1250は、本書の「安全にご利用いただくために」を参照してください。

節電について

本機には、しばらく印刷しないときに機械の消費電力量を下げて、電力を節約する「節電機能」が搭載されています。

1.4.1 DocuColor 1250シリーズ

節電モードは次の2つがあります。

節電ローパワーモード（消費電力173W：通常待機時430W）
操作パネルや定着部の電力を下げます。
節電スリープモード（消費電力32W）
節電ローパワーモードより、さらに電力を下げます。

節電中は、タッチパネルディスプレイは消灯し、操作パネルの〈節電〉ボタンが点灯します。節電スリープモード状態のときは、プリンター用操作パネルのディスプレイに、【セツデンチュウデス】と表示されます。

セツデ゛ンチュウデ゛ス

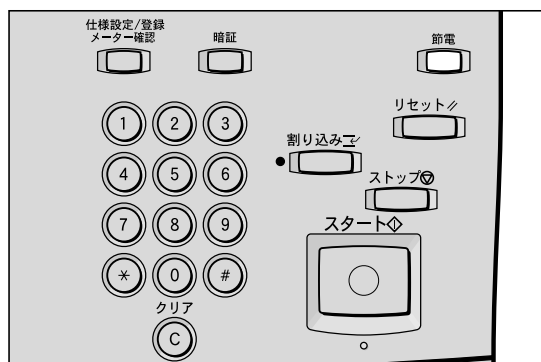
自動的に節電モードに入る

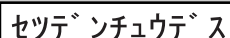
本機を一定時間使用しないと、自動的に「節電ローパワーモード」に入ります。さらに一定時間が経過すると、「節電スリープモード」に移行します。

補足　**印刷終了後から各節電モードに移行する時間は、工場出荷時に「節電ローパワーモード」15分、「節電スリープモード」60分が設定されています。この移行時間は、機械管理者画面で変更することができます。また、「節電スリープモード」の設定を禁止することもできます。**

参照　**設定の変更方法については、『取扱説明書（プリント機能設定編）』を参照してください。**

手動で節電モードに切り替える

手動で「節電ローパワーモード」に切り替えることができます。

1. **〈節電〉ボタンを押します。**
   「節電ローパワーモード」に入ります。

節電モードを解除する

次の場合に節電モードは解除されます。

- ホスト装置側からのデータを受信する。
- 節電ボタンを押す。
- プリンター用操作パネルのいずれかのボタンを押す。

1.4.2　DocuPrint C1250

低電力モード（ローパワーモード）（消費電力32W:通常待機時380W）
プリンター用操作パネルのディスプレイに、【セツデンチュウデス】と表示されます。

ｾﾂﾃﾞﾝﾁｭｳﾃﾞｽ

低電力モード（ローパワーモード）は、ホスト装置側からのデータを受信するか、プリンター用操作パネルのいずれかのボタンを押すと、解除されます。
本機を60分間使用しないと、低電力モード（ローパワーモード）になります。低電力モード（ローパワーモード）への移行時間は、工場出荷時は【60フンゴ】に設定されています。この時間は変更可能です。

参照 低電力モード（ローパワーモード）への移行時間の変更方法については、「6.2　共通メニューの設定」を参照してください。なお、共通メニューでは「低電力モード（ローパワーモード）」は、「節電モード」と表示されます。

印刷の流れ

1.5.1 Windows® の場合

Windows® 環境から印刷する場合の基本的な流れは、次のとおりです。
（お客様がご使用になるホスト装置やシステム構成によって、異なる場合があります。）

**ホスト装置側で使用する
アプリケーションソフトを起動する**

操作については、アプリケーションソフトの説明書をごらんください。

必要に応じて → **メニュー操作をする**

ホスト装置側から印刷するデータを送信する前に、次のことを確認してください。

① 共通メニュー＞メンテナンスモード＞ポート状態で、使用するポート状態を確認

② 共通メニュー＞ポート設定＞プリントモード指定で、使用するポートのプリントモードを確認

参照 操作については「6.2　共通メニューの設定」を参照してください。

**アプリケーションなどから
印刷を指示する**

操作については、アプリケーションソフトの説明書をごらんください。

必要に応じて → **印刷を中止する**

参照 操作については「1.6　印刷を中止する」を参照してください。

必要に応じて → **排出する**

参照 操作については「1.7　排出する」を参照してください。

終　了

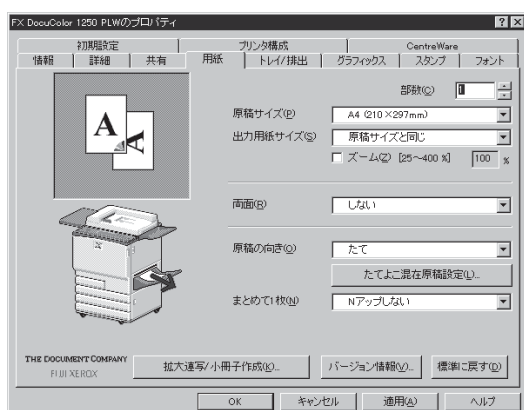
1.5.2　　基本的な印刷のしかた

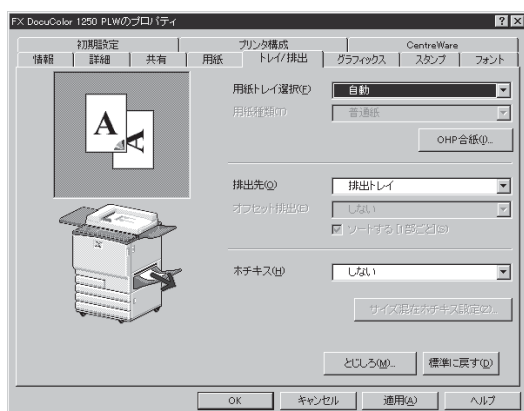
基本的な印刷のしかたは次のとおりです。

参照 **印刷方法について詳しくは、「第3章　こんな印刷がしたいときは」、「第4章　手差し印刷」、「第5章　色に関する調整をして印刷する」、およびプリンタードライバーのオンラインヘルプを参照してください。印刷画質の階調を簡易的に補正する階調補正の操作については、「第9章　階調補正操作」を参照してください。**

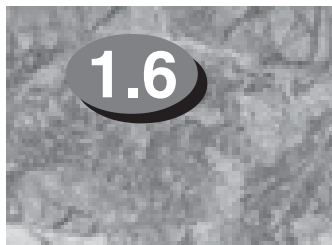
補足 **プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。**

① **[ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。**

② **[プリンタ名]を確認し、[プロパティ]ボタンをクリックします。**

③ **[用紙]タブをクリックします。**

④ **必要に応じて、各項目を指定します。**

⑤ **[トレイ/排出]タブをクリックします。**

⑥ **必要に応じて、各項目を指定します。**

⑦ **[OK]をクリックします。**

1.6 印刷を中止する

ここでは、印刷の中止について説明します。
印刷を中止するには、まずホスト装置側で印刷の指示を取り消します。
ホスト装置側で印刷指示の取り消しが完了したら、次のどちらかの操作を行ってください。

- 処理中のジョブを中止する場合 1.6.2参照
- すべてのジョブを中止する場合 1.6.3参照

1.6.1 ホスト装置側で印刷指示を取り消す

ホスト装置側で印刷の指示を取り消す手順について説明します。ここでは、Windows® 95を例に説明します。その他のOSの手順も同様です。

1. 「プリンタ」ウィンドウを表示します。
（スタート＞設定＞プリンタ）
2. 該当するプリンタアイコンを、ダブルクリックします。
3. 表示されたウィンドウから、任意のドキュメント名をクリックし、〈Delete〉キーを押します。

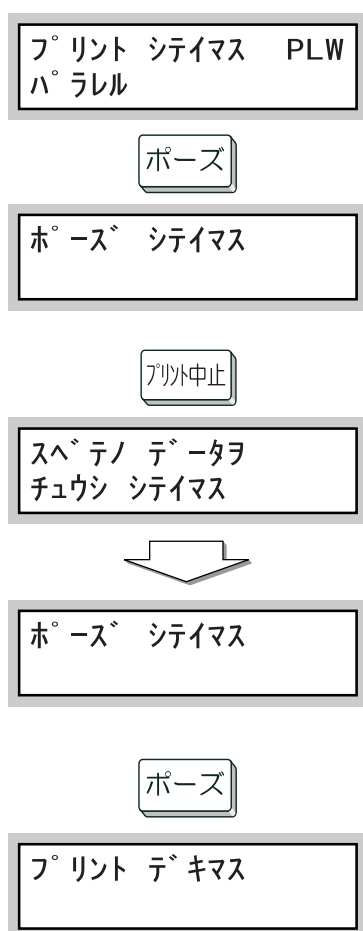
1.6.2 処理中のジョブを中止する場合

本機側での印刷ジョブの中止方法を説明します。
処理中のジョブの印刷を中止するには、プリンター用操作パネルの〔プリント中止〕を押します。ただし、印刷中のページは印刷されて排出されます。

1.6.3　すべてのジョブを中止する場合

本機が受信している、すべてのジョブの印刷を中止します。
この操作により、データの受信を中断し、バッファを空の状態にすることができます。

補足
- この操作を行うと、データはすべて消去されます。
- バッファとは、ホスト装置から送信されたデータを蓄えておく場所のことです。

参照　本機内のすべてのジョブを実行して印刷する方法もあります。印刷方法については、「1.7　排出する」を参照してください。

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ   PLW
ﾊﾟﾗﾚﾙ
```

［ポーズ］

```
ﾎﾟｰｽﾞ ｼﾃｲﾏｽ
```

① 左記のディスプレイ状態で、［ポーズ］を押します。
ポーズ状態になります。

補足　［ポーズ］を押すと、本機は自動的にデータの受信が不可能な状態となります。

［プリント中止］

```
ｽﾍﾞﾃﾉ ﾃﾞｰﾀｦ
ﾁｭｳｼ ｼﾃｲﾏｽ
```

```
ﾎﾟｰｽﾞ ｼﾃｲﾏｽ
```

② ［プリント中止］を押します。
中止の処理が行われます。
処理が終了すると、【ポーズシテイマス】の表示になります。

［ポーズ］

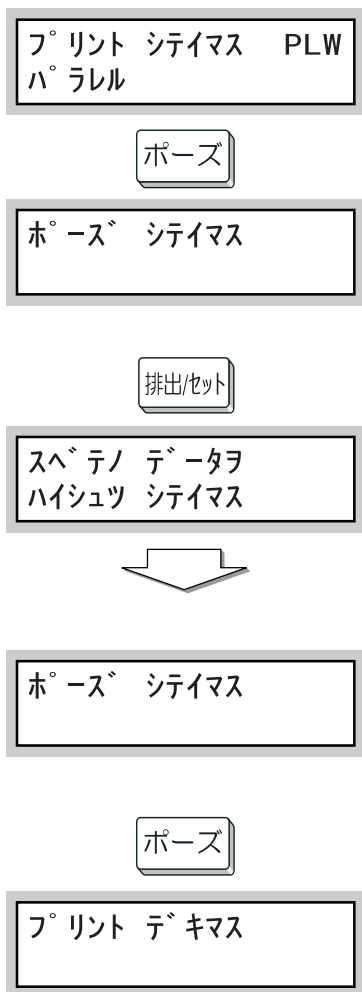
```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
```

③ ［ポーズ］を押します。
【プリントデキマス】の表示になります。

1.7 排出する

基本的な操作 1

ここでは、本機内のすべてのジョブを排出する方法について説明します。

この操作を行うと、本機が受信しているすべてのジョブを印刷して、データの受信を中断し、バッファを空の状態にすることができます。

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ   PLW
ﾊﾟﾗﾚﾙ
```

[ポーズ]

```
ﾎﾟｰｽﾞ ｼﾃｲﾏｽ
```

① 左記のディスプレイ状態で、[ポーズ]を押します。
ポーズ状態になります。

補足 [ポーズ]を押すと、本機は自動的にデータの受信が不可能な状態となります。

[排出/セット]

```
ｽﾍﾞﾃﾉ ﾃﾞｰﾀｦ
ﾊｲｼｭﾂ ｼﾃｲﾏｽ
```

```
ﾎﾟｰｽﾞ ｼﾃｲﾏｽ
```

② [排出/セット]を押します。
印刷が開始されます。
すべてのジョブの印刷が終了すると、【ポーズシテイマス】の表示になります。

補足 パラレルインターフェイス場合、手順 ①の[ポーズ]を押すタイミングによって、データ受信がジョブの途中になることがあります。この場合、それ以降のデータは[排出/セット]を押したあとに新しいジョブとして認識され、手順 ③のポーズ解除後、新しいジョブとして処理されます。

[ポーズ]

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
```

③ [ポーズ]を押します。
【プリントデキマス】の表示になります。

補足 パラレルインターフェイス場合、ここでのポーズ解除後、手順 ②の補足で説明したように、新しいジョブとして処理されるデータは、共通メニュー>ポート設定>プリントモード指定が【ジドウ】に設定されていると、正常に印刷されないことがあります。

参照 プリントモード指定については、「6.2　共通メニューの設定」を参照してください。

1.8 レポート/リストを印刷する

ここでは、レポート/リストの種類と印刷方法について説明します。レポート/リストは、A4/B4/A3のどれかの用紙で印刷できます。

注記 用紙トレイ1〜4、6(オプション)のどれにもA4/B4/A3の用紙がセットされていない場合は、レポート/リストの印刷はできません。

1.8.1 種類

本機には、ホスト装置からの送信データを印刷するほかに、いくつかのレポート/リストを印刷する機能が用意されています。
印刷できるレポート/リストは、次のとおりです。

- ダンププリント
- スタートアップページ
- プリンター設定リスト
- HP-GL/2®設定リスト
- HP-GL/2®パレットリスト
- フォントリスト
- PostScript®フォントリスト
- エラー履歴レポート
- ジョブ履歴レポート
- 出力集計レポート

参照 レポート/リストについて詳しくは、『取扱説明書(仕様編)』を参照してください。

1.8.2 印刷方法

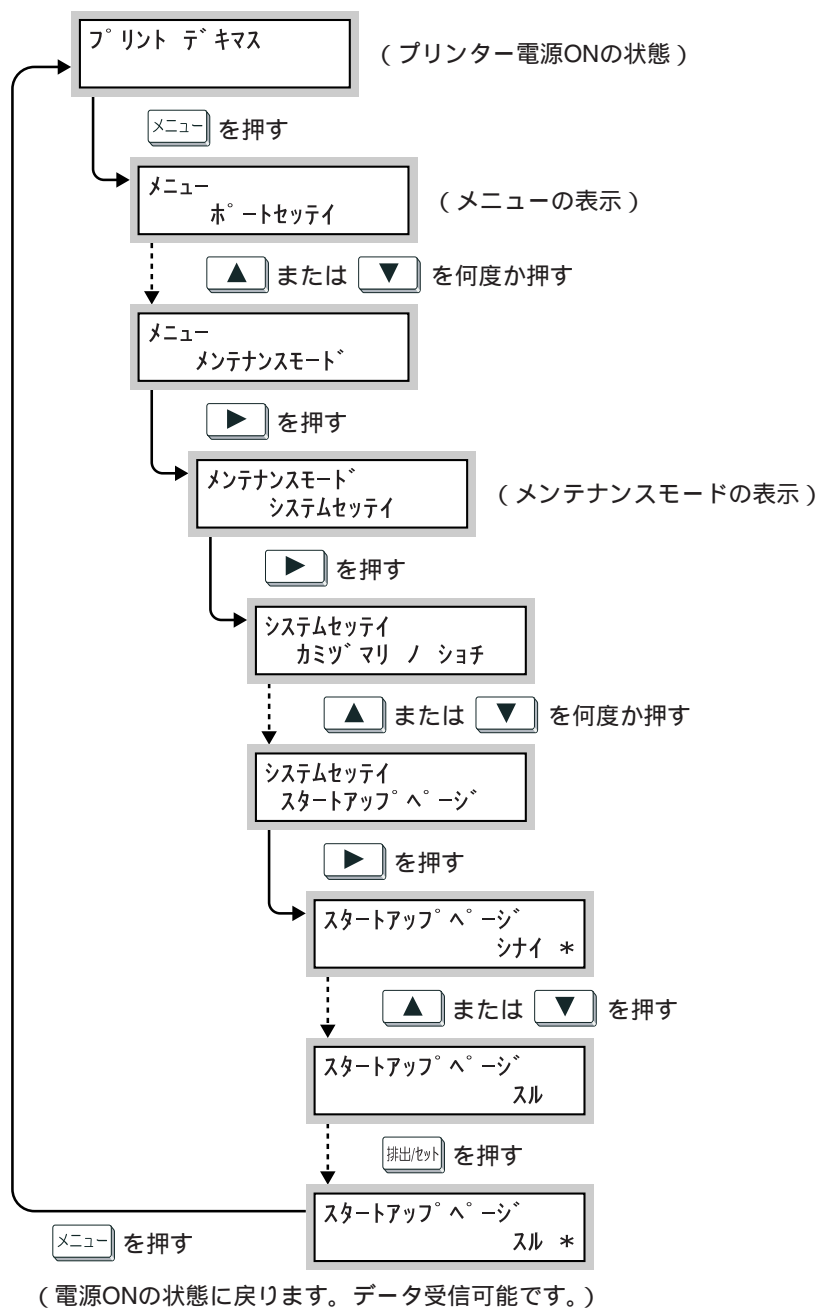
レポート/リストの印刷方法は、スタートアップページと、それ以外に分けて説明します。

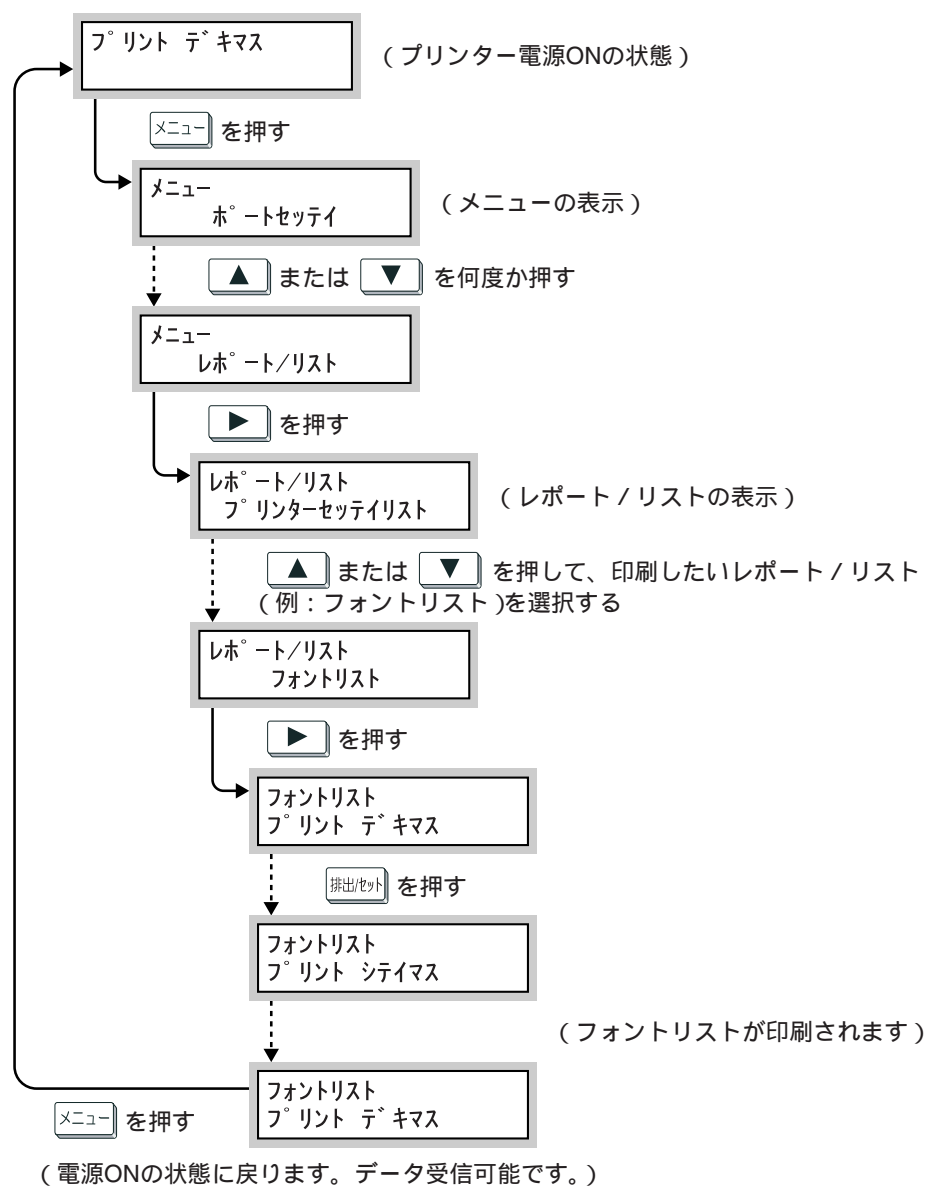
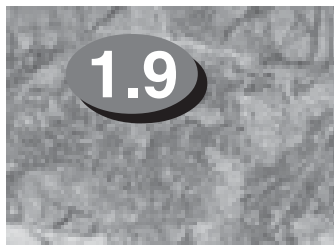
スタートアップページの場合

次の手順に従って、プリンター用操作パネルで設定を【スル】にしてから、電源を切/入してください。スタートアップページは、本機の電源を入れると自動的に印刷されます。

注記 電源の切/入の間隔は、5秒以上あけてください。

補足 工場出荷時は、スタートアップページが印刷されるように設定されています。

プ゜リント デ゛キマス
（プリンター電源ONの状態）
① メニュー を押す
メニュー
ポ゜ートセッテイ
（メニューの表示）
② ▲ または ▼ を何度か押す
メニュー
メンテナンスモート゛
③ ▶ を押す
メンテナンスモート゛
システムセッテイ
（メンテナンスモードの表示）
④ ▶ を押す
システムセッテイ
カミヅ゛マリ ノ ショチ
⑤ ▲ または ▼ を何度か押す
システムセッテイ
スタートアップ゜ペ゜ーシ゛
⑥ ▶ を押す
スタートアップ゜ペ゜ーシ゛
シナイ ＊
⑦ ▲ または ▼ を押す
スタートアップ゜ペ゜ーシ゛
スル
⑧ 排出/セット を押す
スタートアップ゜ペ゜ーシ゛
スル ＊
⑨ メニュー を押す
（電源ONの状態に戻ります。データ受信可能です。）

スタートアップページ以外の場合

ここでは、フォントリストを印刷する場合を例に説明します。

1.9 メーターを確認する

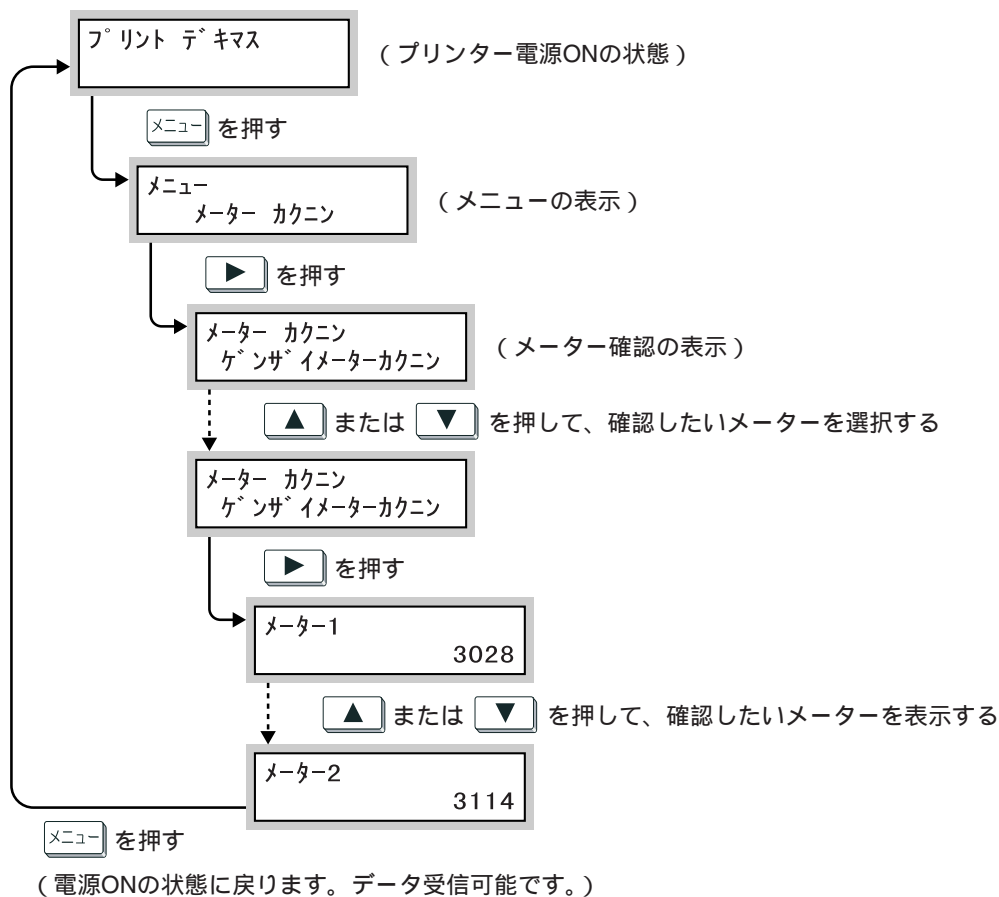
ここでは、メーターの確認のしかたについて説明します。

1.9.1 DocuColor 1250シリーズ

参照 『取扱説明書（本体管理/コピー編）』の「8.9　総コピー枚数を確認する」を参照してください。

1.9.2 DocuPrint C1250

EPシステムが装着されている場合は、本機で印刷した総枚数を確認することができます。現在と締め時ごとのメーターが確認できます。
確認方法は次のとおりです。

補足 EP（エレクトロニック・パートナーシップ）とは、本機と弊社のEP運用センターを公衆回線で結ぶことで、機械のさまざまな管理業務を自動化するシステムです。詳しくは、担当の営業または販売店にお問い合わせください。

用紙のセット

2章

2.1 用紙について

2.1.1 DocuColor 1250シリーズ

ここでは、プリンターとして使用する場合の注意点について説明します。ここで説明している以外は、コピー機能と同じです。

参照 コピーする場合に使用できる用紙については、『取扱説明書(本体管理/コピー編)』の「3.1 用紙について」を参照してください。

コピー機能との相違点

- 用紙トレイ5(手差し)を使用する場合は、用紙は必ず ▱ 方向にセットしてください。

  参照 用紙トレイ5(手差し)の使い方については、「第4章 手差し印刷」を参照してください。

プリンター独自の注意点

- プリンタードライバーで選択した用紙サイズや用紙種類と異なる用紙で印刷したり、適応していない用紙トレイにセットして印刷すると、紙づまりの原因になります。適正な印刷をするために、正しい用紙サイズ、用紙種類、用紙トレイを選択してください。
- 12×18インチとSRA3(320×450mm/12.6×17.7インチ)サイズの用紙に印刷するときは、本機に128MB以上のメモリー容量が必要です。なお、印刷するときは用紙ガイドを移動してからセットします。

  参照 印刷方法や用紙ガイドの移動のしかたについては、「4.1.2 用紙ガイドの位置を移動する」を参照してください。

- 定型外サイズの用紙に印刷する場合は、プリンタードライバーにユーザー定義サイズとして用紙を登録する必要があります。

  参照 登録のしかたについては、「3.12 定型外サイズの用紙の登録と印刷」を参照してください。

- 本体側で厚紙の設定をした用紙トレイに、用紙トレイ指定で印刷した場合、厚紙に印刷されます。その用紙トレイの自動トレイ切り替えが禁止に設定されていても印刷されます。
- 用紙サイズ指定で印刷する場合は、厚紙よりも普通紙が優先します。

2.1.2　DocuPrint C1250

本機では次の用紙が使用できます。より鮮明な画質を得るためには、弊社推奨の用紙をご利用いただくことをお勧めします。なお、推奨の用紙以外を使用するときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にお問い合せください。

富士ゼロックス推奨紙

P紙、L紙、J紙、JD紙、V516/V556OHPフィルム、Green100紙、C²紙
推奨紙以外にも次の用紙が使用できます。ただし、使用する場合は、本書に従って、印刷する用紙に適応しているトレイにセットし、用紙サイズと紙質を選択して印刷してください。

- R紙、S紙、WR紙、カラーペーパー、デジタルコート紙、ラベル用紙(A4サイズのカットなし)、4連はがき用紙、官製はがき、トレーシングペーパー(第二原図用)、電飾フィルム、タックフィルム(粘着シート)、布転写用紙、アート紙など
- 上記以外の用紙を使用する場合は、弊社のテレフォンセンターまたは 販売店へお問い合せください。

注記　インクジェット専用の用紙やOHPフィルムは、故障の原因となりますので、使用しないでください。

使用できる用紙の範囲

<table>
<tr><th rowspan="2">トレイ</th><th rowspan="2">用紙サイズ</th><th colspan="2">用紙の質量</th><th rowspan="2">紙　質</th><th rowspan="2">主な用紙の種類</th><th rowspan="2">セット可能枚数</th></tr>
<tr><th>メートル坪量*1</th><th>連量*2</th></tr>
<tr><td>トレイ1</td><td>A4□</td><td>64～105未満g/m²</td><td>55～90未満kg</td><td>普通紙</td><td>P紙、L紙、J紙、JD紙、Green100紙、C²紙、R紙、WR紙、カラーペーパー</td><td>560枚(P紙)
530枚(J紙)</td></tr>
<tr><td>トレイ2、3、4</td><td>B5□、B5、A4□、A4、B4、A3、8×10"□、8.5×11"□、8.5×11"、8.5×13"、8.5×14"、11×17"、八開、十六開</td><td>64～105未満g/m²</td><td>55～90未満kg</td><td>普通紙</td><td>P紙、L紙、J紙、JD紙、Green100紙、C²紙、R紙、WR紙、カラーペーパー</td><td>620枚(P紙)
580枚(J紙)</td></tr>
<tr><td rowspan="7">トレイ5(手差し)</td><td rowspan="7">[定型外サイズ]*3
短辺 148～297mm
長辺 200～432mm

[定型サイズ]
官製はがき、SRA3*4、A5、B5、A4、B4、A3、5.5×8.5"、8×10"、8.5×11"、8.5×13"、8.5×14"、11×17"、12×18"*4、八開、十六開</td><td rowspan="7">64～256g/m²</td><td rowspan="7">55～220kg</td><td>普通紙
64～105未満g/m²</td><td>P紙、L紙、J紙、JD紙、Green100紙、C²紙、R紙、WR紙、カラーペーパー</td><td rowspan="7">15mmまで

150枚(P紙)
140枚(J紙)</td></tr>
<tr><td>厚紙1
105～163未満g/m²</td><td>ColorCopy紙(120g/m²)</td></tr>
<tr><td>厚紙2
163～256g/m²</td><td>デジタルコート紙
官製はがき</td></tr>
<tr><td>OHPフィルム/電飾フィルム*5</td><td>V516(白黒用)
V556(カラー用)</td></tr>
<tr><td>タックフィルム</td><td>タックフィルム(粘着シート)</td></tr>
<tr><td>トレーシングペーパー(第二原図)</td><td>GX75、GX85</td></tr>
<tr><td>ラベル紙</td><td>ラベル用紙</td></tr>
</table>

＊1 ＊2　メートル坪量とは、1m²の用紙1枚の質量をいいます。連量とは、四六判（788×1,091mm）の用紙1,000枚の質量をいいます。

＊3　定型外サイズの用紙に印刷する場合は、ユーザー定義サイズとしてプリンタードライバーに用紙を登録する必要があります。登録のしかたについては、「3.12　定型外サイズの用紙の登録と印刷」を参照してください。

＊4　SRA3（320×450mm/12.6×17.7インチ）と12×18インチサイズの用紙に印刷するときは、用紙ガイドを移動してからセットします。なお、印刷するには、本機に128MB以上のメモリー容量が必要です。用紙ガイドの移動のしかたは、「4.1.2　用紙ガイドの位置を移動する」を参照してください。

＊5　OHP/電飾フィルムは、A4、A3サイズだけです。

注記
- プリンタードライバーで選択した用紙サイズや用紙種類と異なる用紙で印刷したり、適応していない用紙トレイにセットして印刷すると、紙づまりの原因になります。適正な印刷をするために、正しい用紙サイズ、用紙種類、用紙トレイを選択してください。
- 用紙トレイ5（手差し）を使用して印刷する場合、用紙は必ず方向にセットしてください。

補足　カストマーエンジニアの設定で、用紙トレイ1は、A5、B5、8.5×11インチの用紙を、用紙トレイ2、3、4は、12×18インチ、または定型外サイズ（短辺182〜297mm、長辺200〜432mmの範囲）の用紙をセットすることができます。弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご相談ください。

用紙の保管と取り扱い

用紙を保管する際には、次のことに気をつけてください。
- 用紙はキャビネットの中や、湿気の少ない場所に保管してください。用紙が湿気を含むと、用紙づまりや画質不良の原因になります。
- 開封後、用紙の残りは包装紙に包んで保管してください。このとき、防湿剤を入れることをお勧めします。
- 用紙は、折れや曲がりを防ぐために、立てかけずに水平に保管してください。

用紙をトレイにセットする前に次の事項を守ってください。
- バラバラになった用紙を寄せ集めて使用しないでください。
- 折りめ、シワの入った用紙は使用しないでください。
- サイズの異なる用紙を重ねてセットしないでください。
- OHPフィルムやラベル用紙は、紙づまりを起こしたり複数枚同時に送られることがあるので、よくさばいてからご使用ください。

2.2 用紙の給紙と排出について

ここでは、用紙の給紙と排出について説明します。

2.2.1　用紙の給紙について

用紙の種類ごとに、印刷するときの給紙について説明します。
普通紙に印刷するときは、すべての用紙トレイが使用できます。なお、用紙トレイによって、印刷できる用紙サイズが異なります。

参照 使用できる用紙サイズについては、「2.1　用紙について」を参照してください。

また、普通紙でも定型外サイズへの印刷は、用紙トレイ5(手差し)を使用します。印刷するには、プリンタードライバーへの用紙の登録が必要です。

参照 用紙の登録と印刷方法については、「3.12　定型外サイズの用紙の登録と印刷」を参照してください。

普通紙以外のOHPフィルム、官製はがき、厚紙やその他の特殊用紙に印刷するときは、用紙トレイ5(手差し)を使用します。印刷時には、必ずプリンターのプロパティダイアログボックスで、[トレイ/排出]タブの[用紙トレイ選択]メニューから[トレイ5(手差し)]、または[手差しキー操作待ち]を選択し、[用紙種類]メニューから正しい用紙の種類を選択してください。

自動トレイ切り替えについて

普通紙に印刷中に用紙トレイの用紙がなくなったときに、同じサイズと向きの用紙がセットされている別のトレイに自動的に切り替えて、印刷を続けるかどうかの設定ができます。
この機能は、プリンターのプロパティダイアログボックスの[トレイ/排出]タブの[用紙トレイ選択]が[自動]の場合と、[アプリの設定に従う]を選択して、アプリケーション側の指定が[自動]の場合にだけ働きます。
用紙トレイ1〜4、6(オプション)の各トレイごとに、自動トレイ切り替え禁止の【シナイ】/【スル】の設定ができます。日常的に使用したくない種類の用紙(色紙)などをセットしているトレイは、【スル】の設定にしておくと便利です。

参照 設定のしかたについては、「6.2　共通メニューの設定」を参照してください。

なお、用紙トレイ5(手差し)、厚紙がセットされている用紙トレイ(DocuColor 1250シリーズの場合のみ)は、自動トレイ切り替えの対象外です。
工場出荷時は、自動トレイ切り替えが働くように設定されています。

2.2.2　用紙の排出について

メールボックス/ソーター、メールボックス/フィニッシャー、排出トレイM(白色系のトレイ)のどれかが装着されていると、印刷時にオフセット排出機能を利用できます。

補足　A5、官製はがき、SRA3(320×450mm/12.6×17.7インチ)、5.5×8.5インチ、12×18インチサイズの用紙は、「オフセット排出」ができません。また、定型外サイズの用紙に印刷する場合、「オフセット排出」ができる用紙サイズは、短辺171～297mm、長辺200～432mmの範囲です。なお、メールボックス/フィニッシャーでは、定型外サイズの用紙は「オフセット排出」ができません。

PLWプリンタードライバーのオフセット排出機能とソート機能を組み合わせたときの用紙の排出のしかたは、次のとおりです。

補足　ソート機能は、内蔵ハードディスクが装着されている場合に使用できます。

例：3ページの原稿を3部印刷した場合

	ソートあり	ソートなし
オフセット排出あり	①	②
オフセット排出なし	③	④

① 1,2,3、1,2,3、1,2,3と部単位で印刷し、部単位にオフセット排出されます。
② 1,1,1、2,2,2、3,3,3と印刷し、前のジョブに対してオフセット排出されます。
③ 1,2,3、1,2,3、1,2,3と部単位で印刷し、オフセット排出されません。
④ 1,1,1、2,2,2、3,3,3と印刷し、オフセット排出されません。

参照　オフセット排出機能については、「3.7　ジョブ/部単位に位置をずらして排出する」、ソート機能については、「3.8　部単位で印刷する」を参照してください。

排出面について

通常は印刷面を下に、うら面で排出されます。ただし、官製はがき、および5.5×8.5インチ、12×18インチ、SRA3(320×450mm/12.6×17.7インチ)サイズの用紙は、おもて面で排出されます。また、163～256g/m^{2}の厚紙、OHPフィルム、電飾フィルム、トレーシングペーパー(第二原図)、タックフィルム、ラベル紙は、おもて面で排出されます。
内蔵ハードディスクが装着されている場合は、排出面にかかわらず、ソート機能を使用したときのページ順は正しく印刷されます。

2.3 用紙トレイ1、2、3、4に用紙をセットする

用紙トレイ1、2、3、4に用紙をセットする方法を説明します。

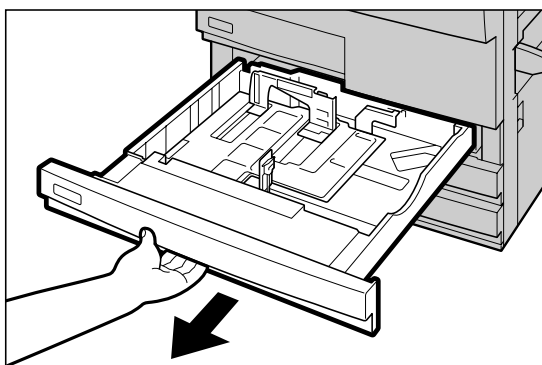
参照 各トレイによって、セットできる用紙は異なります。詳しくは、「2.1 用紙について」を参照してください。

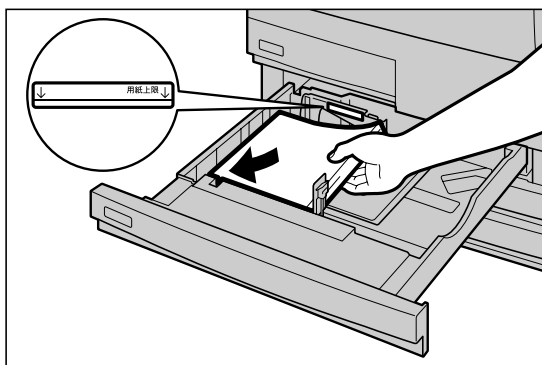
2.3.1 DocuColor 1250シリーズ

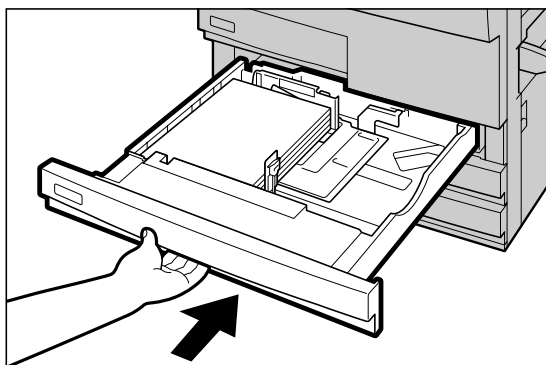
参照 セット方法については、『取扱説明書(本体管理/コピー編)』の「3.3.1 用紙トレイ1、2、3、4に用紙をセットする」を参照してください。

2.3.2 DocuPrint C1250

印刷中に用紙がなくなると、プリンター用操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージに従って、用紙を補給してください。用紙を補給すると自動的に印刷が再開されます。
ここでは、なくなった用紙と同じ向き、サイズの用紙をセットする方法について説明します。

参照 用紙サイズや向きを変更する場合は、「2.5 用紙トレイの用紙サイズを変更する」を参照してください。

1 用紙トレイを、手前に止まるところまで引き出します。

⚠注意 用紙トレイを引き出すときは、ゆっくりと引き出してください。トレイを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。

2 印刷する面を下にして、用紙の先端を左側にそろえてセットします。

注記 用紙上限線を越える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。

③ 奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込みます。

正しく用紙がセットがされると、自動的に印刷が再開されます。

2.4 用紙トレイ5(手差し)に用紙をセットする

用紙トレイ5(手差し)に用紙をセットする方法を説明します。

参照
- セットできる用紙については、「2.1　用紙について」を参照してください。
- セット方法については、「4.1　用紙トレイ5(手差し)の基本的な使い方」を参照してください。

2.5 用紙トレイの用紙サイズを変更する

用紙トレイ2、3、4の用紙サイズを変更する方法を説明します。

参照 **各トレイによって、セットできる用紙は異なります。詳しくは、「2.1　用紙について」を参照してください。**

用紙のセット 2

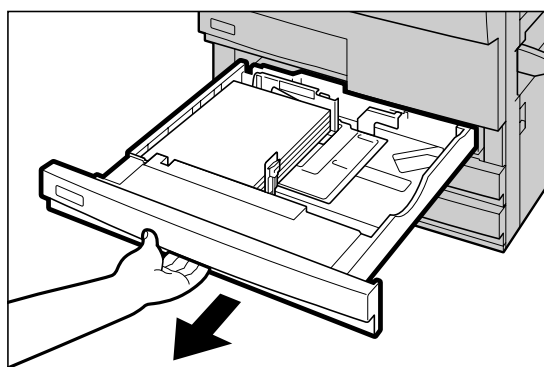
2.5.1 DocuColor 1250シリーズ

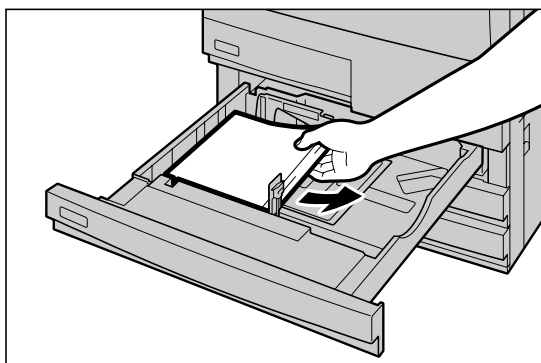
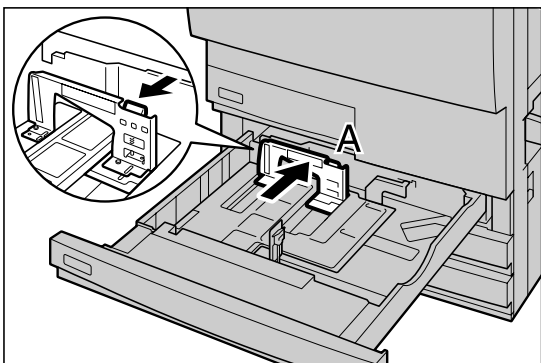
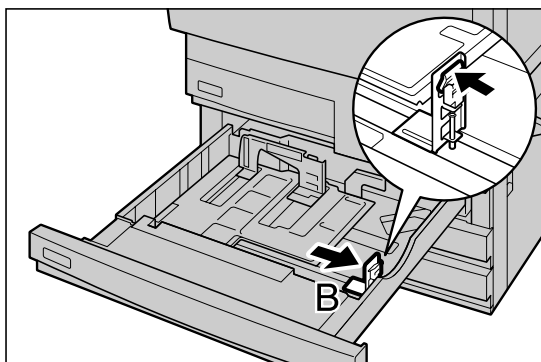
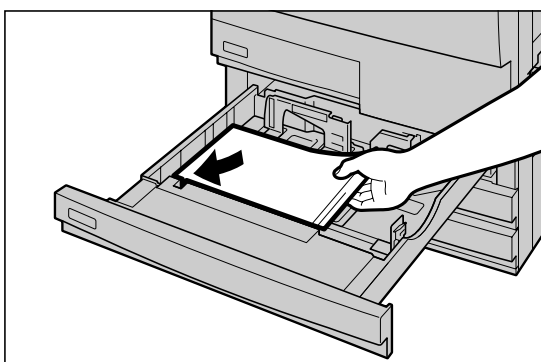
参照 **変更方法については、『取扱説明書(本体管理/コピー編)』の「3.4　用紙トレイの用紙サイズを変更する」を参照してください。**

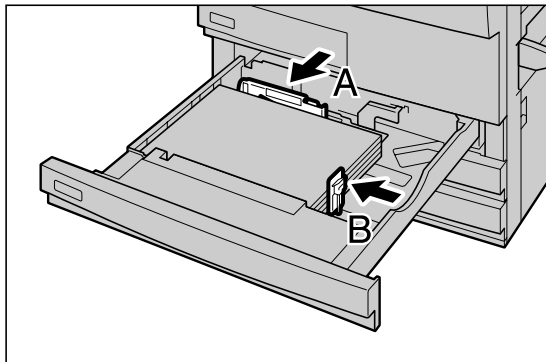
2.5.2 DocuPrint C1250

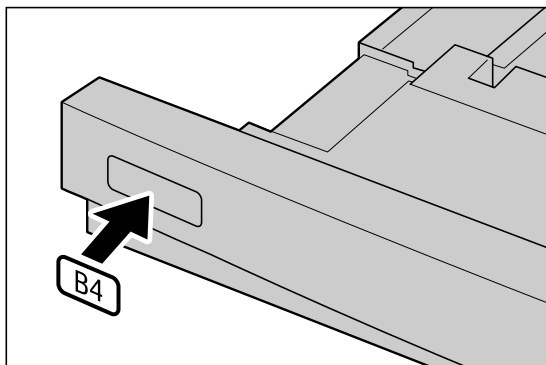
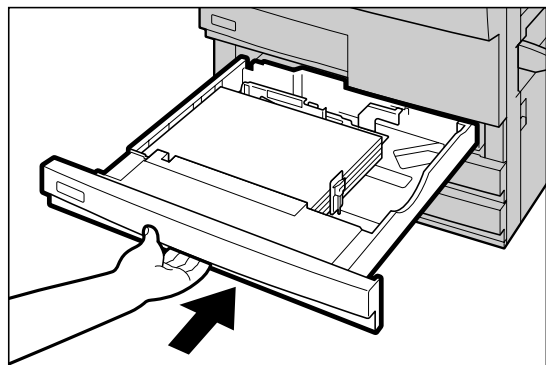
用紙トレイ2、3、4は、セットする用紙のサイズや向きを変更できます。用紙トレイ1はA4に固定されていて、サイズや向きの変更はできません。また、用紙トレイ2、3、4でも、セットできる用紙サイズは定型サイズのみです。定型外サイズの用紙に印刷したい場合は、用紙トレイ5(手差し)を使用してください。

補足 **カストマーエンジニアの設定で、用紙トレイ1は、A5、B5、8.5×11インチの用紙を、用紙トレイ2、3、4は、12×18インチ、または定型外サイズ(短辺182～297mm、長辺200～432mmの範囲)の用紙をセットすることができます。弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご相談ください。**

参照
- **各トレイによって、セットできる用紙は異なります。詳しくは、「2.1　用紙について」を参照してください。**
- **定型外サイズの用紙に印刷する方法については、「3.12　定型外サイズの用紙の登録と印刷」を参照してください。**

1. **用紙トレイを、手前に止まるところまで引き出します。**

⚠注意	**用紙トレイを引き出すときは、ゆっくりと引き出してください。トレイを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。**

② 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。

③ 用紙ガイドレバーAをつまみながら、ガイドを奥まで移動します。

④ 用紙ガイドレバーBをつまみながら、ガイドを右側へ移動します。

⑤ 印刷する面を下にして、用紙の先端を左手前にそろえてセットします。

注記
- 種類の異なる用紙を一緒にセットしないでください。紙づまりの原因となります。
- 用紙上限線を越える量の用紙をセットしないでください。

❻ 用紙ガイドレバーAとBを、それぞれつまみながら移動し、用紙に軽く当てるように合わせます。

用紙ガイドを正しい用紙サイズの位置に合わせると、カチッと音がします。

❼ 用紙サイズのラベルを貼ります。

❽ 奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込みます。

こんな印刷がしたいときは

3章

3.1 拡大/縮小して印刷する

拡大/縮小して印刷する方法を説明します。拡大/縮小には2通りの方法があります。

原稿サイズと用紙サイズに応じて自動的に倍率を設定する方法と、25〜400%の範囲で1%刻みに任意に倍率を指定する方法があります。

拡大/縮小の指定は、[用紙]タブを表示して行います。

ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSの手順も同様です。

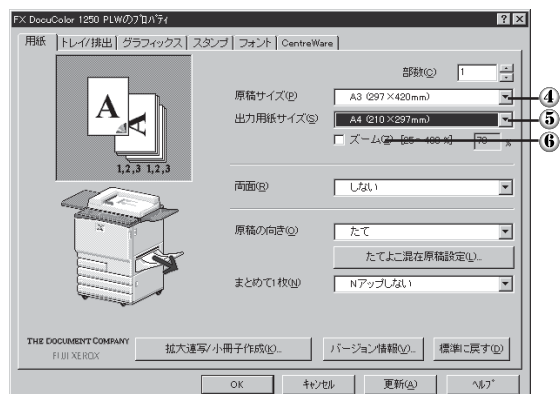
注記 アプリケーション側の印刷ダイアログボックスなどで任意の倍率を設定している場合、[用紙]タブでも任意の倍率を指定すると、目的の倍率で印刷されないことがあります。目的の倍率で確実に印刷するには、アプリケーション側では倍率を「100%」に設定してください。

補足
- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
- 任意倍率の指定は、「まとめて1枚」、「小冊子作成」機能とは、同時に使用できません。「まとめて1枚」機能については「3.3　複数ページの原稿をまとめて1枚の用紙に印刷する」、「小冊子作成」機能については「3.13　小冊子を作成する」を参照してください。

1. [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。
2. [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]ボタンをクリックします。
3. [用紙]タブをクリックします。

4. [原稿サイズ]メニューから、原稿サイズを選択します。
5. [出力用紙サイズ]メニューから、印刷する用紙サイズを選択します。
6. 目的に応じて、[ズーム]チェックボックスをオフ、またはオンにします。

   チェックボックスをオフにすると、[用紙]タブの[出力用紙サイズ]で選択した用紙サイズに合わせて、自動的に拡大/縮小して印刷します。異なる大きさのページを含むファイルの場合も、それぞれのページの大きさに合わせて、自動的に拡大/縮小します。[出力用紙サイズ]を[原稿サイズと同じ]に設定した場合は、ファイルに設定されているとおりに、各ページの大きさの用紙に等倍で印刷します。

   チェックボックスをオンにすると、[用紙]タブの[出力用紙サイズ]で選択した用紙サイズに、任意の倍率を指定して印刷できます。右側のエディットボックスに倍率を入力します。25〜400%の範囲で、1%刻みに指定できます。
7. [OK]をクリックします。

3.2 両面に印刷する

両面に印刷する方法を説明します。この機能は、本機に両面印刷機能がある場合に使用できます。

両面印刷には、「長辺とじ」と「短辺とじ」があります。とじる辺に合わせて、どちらかを選択します。「長辺とじ」は用紙の長辺、「短辺とじ」は用紙の短辺を軸におもてとうらのイメージの上方向が一致するように印刷されます。用紙トレイは、[トレイ/排出]タブの[用紙トレイ選択]メニューで、[トレイ5(手差し)]、または[手差しキー操作待ち]以外を使用してください。

両面印刷の指定は、[用紙]タブを表示して行います。

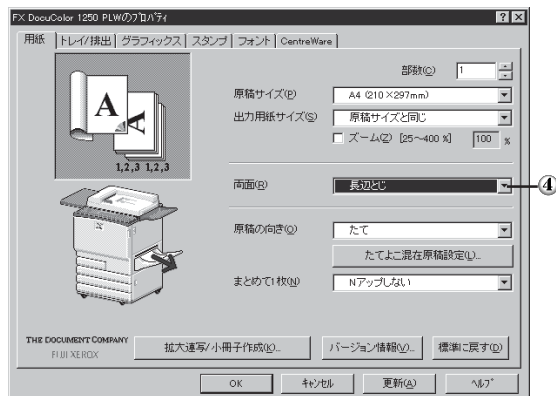
ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSの手順も同様です。

補足

- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
- 一度印刷した用紙(普通紙、厚紙のみ)のうら面に印刷する場合は、用紙トレイ5(手差し)を使用してください。操作方法については、「4.1.1　用紙トレイ5(手差し)に用紙をセットして印刷する」を参照してください。
- 両面印刷は、アプリケーションからの指定が優先します。アプリケーションからの指定がない場合、プリンタフォルダの内のアイコンのメニュー(Windows® 95/98/Meは[プロパティ]、Windows NT® 4.0は[ドキュメントの既定値]、Windows® 2000は[印刷設定])を選択して表示されるプリンタードライバー画面で設定した、[用紙]タブの[両面]の設定値が表示されます。また、[長辺とじ]、[短辺とじ]以外が指定された場合は、Windows® 95/98/Me、Windows NT® 4.0/Windows® 2000ともに「しない」が表示され、片面印刷となります。
- ユーザー定義サイズの用紙を使用する場合、両面に印刷できる用紙サイズは、短辺182〜297mm、長辺200〜432mmの範囲です。また、使用できる用紙トレイは、用紙トレイ2〜4です。ユーザー定義サイズについては、「3.12　定形外サイズの用紙の登録と印刷」を参照してください。
- 「拡大連写」機能とは、同時に使用できません。「拡大連写」機能については、「3.4　複数の用紙に分けて拡大して印刷する」を参照してください。
- メールボックス/フィニッシャーが装着されている場合で、[トレイ/排出]タブの[ホチキス]で[1ヵ所(サイズ混在)]を選択しているときは、両面に印刷できません。

1. **[ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。**

2. **[プリンタ名]を確認し、[プロパティ]ボタンをクリックします。**

3. **[用紙]タブをクリックします。**

④ [両面]メニューから、[長辺とじ]、または[短辺とじ]を選択します。

変更の結果は、左上の仕上がりイメージで確認できます。

補足 両面印刷機能付きのDocuColor 1250シリーズの場合で、[両面]メニューが選択できないときは、プリンタフォルダの[プロパティ]を選択してプリンタードライバー画面を表示し、[プリンタ構成]タブの[設定の変更]リストボックスで、[両面機能]チェックボックスをオンにします。

⑤ [OK]をクリックします。

3.3 複数ページの原稿をまとめて1枚の用紙に印刷する

連続する2/4/8ページ分の原稿を1枚の用紙にまとめて印刷する方法を説明します。この機能を「まとめて1枚」といいます。

指定したページ数分に、印刷する用紙を等分した領域に合うように、各ページを自動的に回転と縮小を組み合わせて印刷します。任意の倍率を指定して印刷することはできません。

印字方向に合わせて、用紙に割り付ける順序が指定できます。

印刷する用紙サイズは次のようになります。

[用紙]タブの[出力用紙サイズ]で、[原稿サイズと同じ]以外を選択している場合は、選択されたサイズの用紙に印刷します。[原稿サイズと同じ]を選択しているときは、印刷するファイルの1ページめに指定されている原稿サイズを、印刷する用紙サイズとします。

印刷に使用する用紙トレイは次のようになります。

[トレイ/排出]タブの[用紙トレイ選択]で、[アプリの設定に従う]を選択している場合は、印刷するファイルの1ページめに指定されている用紙トレイが使用されます。2ページめ以降に異なる用紙トレイが指定されていても、1ページめに指定されている用紙トレイが使用されます。

また、たてよこ混在原稿設定ダイアログボックスで、印刷するファイルにたてとよこのページが混在する場合の割り付け方法の設定ができます。

「まとめて1枚」の設定は、[用紙]タブを表示して行います。

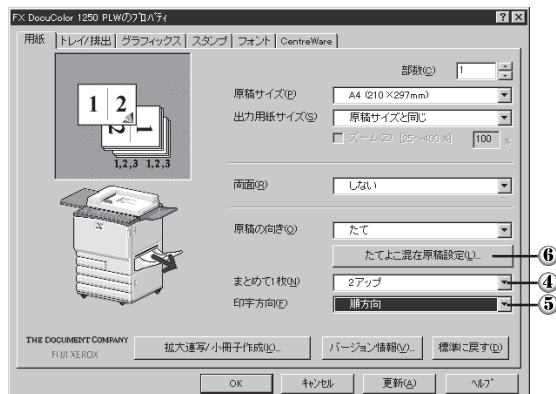
ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSの手順も同様です。

補足

- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
- 「拡大連写」、「小冊子作成」機能とは、同時に使用できません。「拡大連写」機能については「3.4　複数の用紙に分けて拡大して印刷する」、「小冊子作成」機能については「3.13　小冊子を作成する」を参照してください。
- メールボックス/フィニッシャーが装着されている場合で、[トレイ/排出]タブの[ホチキス]で[1ヵ所(サイズ混在)]を選択しているときは、「まとめて1枚」機能は使用できません。

① [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。

② [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]ボタンをクリックします。

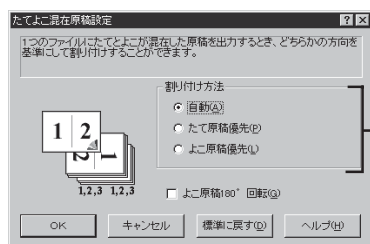
③ [用紙]タブをクリックします。

④ ［まとめて1枚］メニューから、割り付け方法を選択します。

変更の結果は、左上の仕上がりイメージで確認できます。

⑤ ［まとめて1枚］の下に表示される［印字方向］メニューから、割り付け順序を選択します。

変更の結果は、左上の仕上がりイメージで確認できます。

⑥ たてとよこのページが混在している原稿の場合は、［たてよこ混在原稿設定…］ボタンをクリックします。

たてよこ混在原稿設定ダイアログボックスが表示されます。

⑦ 必要に応じて、［割り付け方法］を設定します。

［自動］を選択すると、アプリケーションから受け取る印刷データの、先頭ページの向きが基準になります。［たて原稿優先］、または［よこ原稿優先］を選択した場合は、アプリケーションから受け取る印刷データの指定にかかわらず、ここでの指定が基準になります。

［割り付け方法］の［自動］以外を選択したときの変更の結果は、左側の仕上がりイメージで確認できます。

⑧ ［OK］をクリックします。

⑨ ［用紙］タブで、［OK］をクリックします。

3.4 複数の用紙に分けて拡大して印刷する

1ページ分のデータを拡大して、複数枚の用紙に分けて印刷する方法を説明します。この機能を「拡大連写」といいます。ポスター作成などに利用できます。

印刷する用紙の枚数は、「2×2」、「3×3」、「4×4」から選択できます。印刷された用紙を貼り合わせる目安として、各用紙の四隅にのりしろマークを付けることもできます。

拡大の方法は、次の2通りです。

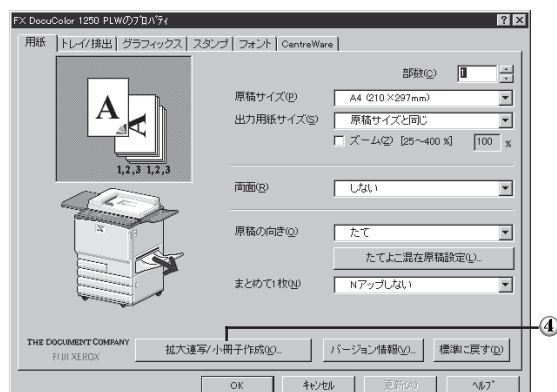
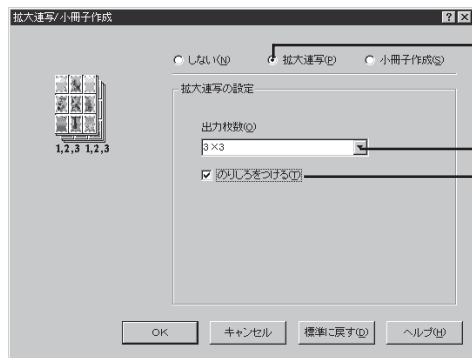
- [用紙]タブの[出力用紙サイズ]で選択した用紙を、指定した枚数分並べた領域に合うように、自動的に拡大する場合は、[用紙]タブの[ズーム]チェックボックスをオフにします。
- 任意の倍率を指定して拡大する場合は、[用紙]タブの[ズーム]チェックボックスをオンにして、エディットボックスに倍率を入力します。倍率は25〜400%の範囲で、1%刻みに指定できます。倍率の設定によっては白紙ページができたり、画像の一部が欠けたりします。この場合、メッセージが表示されるので、その指示に従ってください。

「拡大連写」の設定は、拡大連写/小冊子作成ダイアログボックスで行います。

ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSの手順も同様です。

補足

- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
- 「両面」、「まとめて1枚」、「とじしろ」、「スタンプ」、「ホチキス」機能とは、同時に使用できません。「両面」機能については「3.2　両面に印刷する」、「まとめて1枚」機能については「3.3　複数ページの原稿をまとめて1枚の用紙に印刷する」、「とじしろ」機能については「3.5　とじしろを付けて印刷する」、「スタンプ」機能については「3.9　スタンプを重ね合わせて印刷する」、「ホチキス」機能については「3.14　ホチキスとめをする」を参照してください。

1. [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。
2. [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]ボタンをクリックします。
3. [用紙]タブをクリックします。
4. [拡大連写/小冊子作成...]ボタンをクリックします。
   拡大連写/小冊子作成ダイアログボックスが表示されます。

⑤ [拡大連写]ラジオボタンをクリックします。
下に、[拡大連写の設定]が表示されます。

⑥ [出力枚数]メニューから、印刷する用紙の枚数を選択します。
変更の結果は、左側の仕上がりイメージで確認できます。

⑦ 必要に応じて、[のりしろをつける]チェックボックスをオン、またはオフにします。
変更の結果は、左側の仕上がりイメージで確認できます。

⑧ [OK]をクリックします。

⑨ [用紙]タブで、[OK]をクリックします。

とじしろを付けて印刷する

とじしろを付けて印刷する方法を説明します。印刷したものをとじるときに、とじた所の印字部分が見えにくくなることを防ぎます。

とじしろは、用紙の左/右/上/下のどれかに付けることができます。0.0〜16.0mmの範囲で、0.1mm刻みに指定できます。

両面印刷の場合は、おもてとうらのとじしろが指定できます。うらのとじしろ位置は、おもてのとじしろ位置を基準にして、おもてと同じ辺に付くように自動的に設定されます。

とじしろを付けて狭くなった印字領域内に画像が収まるように、自動的に縮小する印刷もできます。

とじしろの指定は、とじしろダイアログボックスを表示して行います。

ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSの手順も同様です。

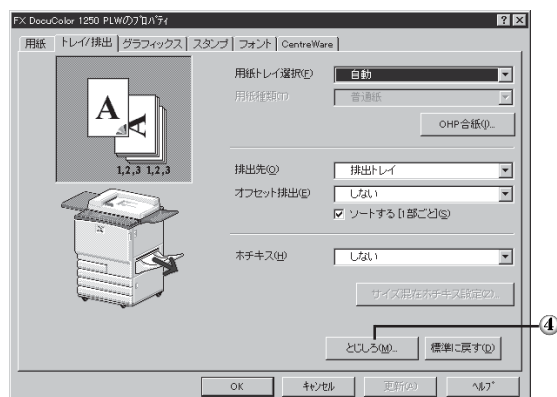
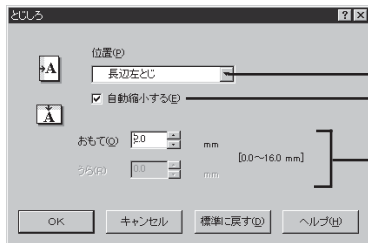
補足

- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
- 「拡大連写」、「小冊子作成」機能とは、同時に使用できません。「拡大連写」機能については「3.4　複数の用紙に分けて拡大して印刷する」、「小冊子作成」機能については「3.13　小冊子を作成する」を参照してください。
- メールボックス/フィニッシャーが装着されている場合で、[トレイ/排出]タブの[ホチキス]で[1ヵ所(サイズ混在)]を選択しているときは、「とじしろ」機能は使用できません。

① [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。

② [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]ボタンをクリックします。

③ [トレイ/排出]タブをクリックします。

④ [とじしろ...]ボタンをクリックします。
とじしろダイアログボックスが表示されます。

5 [位置]メニューから、とじしろを付ける位置を選択します。

用紙方向によって、とじしろ位置が異なります。変更の結果は、用紙に対してたて向きに印刷する場合は左上、用紙に対してよこ向きに印刷する場合は左下のアイコンで確認できます。

6 必要に応じて、[自動縮小する]チェックボックスをオン、またはオフにします。

オンにすると、とじしろを付けて狭くなった印字領域内に画像が収まるように、自動的に縮小して印刷します。オフにすると、等倍のままとじしろの分だけ画像を平行に移動して印刷します。そのため、印字領域内に収まらずに、画像の一部が欠けることがあります。

補足　[自動縮小する]チェックボックスは、[用紙]タブで任意の倍率を指定している場合はオンにできません。任意倍率については、「3.1 拡大/縮小して印刷する」を参照してください。

7 [おもて]のとじしろ幅を指定します。

キー入力、または▲▼ボタンで指定します。

0.0〜16.0mmの範囲で、0.1mm刻みに指定できます。

両面印刷の場合は、[うら]のとじしろ幅を同様に指定します。

8 [OK]をクリックします。

9 [用紙]タブで、[OK]をクリックします。

3.6 印刷の排出先を指定する

用紙の排出先として、通常の排出トレイ以外にメールボックスビン1〜10を指定できます。この機能は、メールボックス/ソーター、またはメールボックス/フィニッシャーが装着されている場合に使用できます。メールボックス/フィニッシャーが装着されている場合は、フィニッシャートレイも選択できます。

排出先の指定は、[トレイ/排出]タブを表示して行います。

ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSの手順も同様です。

補足

- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
- [トレイ/排出]タブの[用紙トレイ選択]メニューで、[トレイ5(手差し)]、または[手差しキー操作待ち]を選択して印刷する場合は、メールボックスビン、およびフィニッシャートレイに排出できません。
- 官製はがき、SRA3(320×450mm/12.6×17.7インチ)、5.5×8.5インチ、12×18インチサイズの用紙は、メールボックスビンに排出できません。
- A5、官製はがき、SRA3(320×450mm/12.6×17.7インチ)、5.5×8.5インチ、12×18インチ、ユーザー定義サイズの用紙は、フィニッシャートレイに排出できません。
- DocuColor 1250シリーズの場合、メールボックスビンへの排出は、本体側でメールボックス/ソーター、またはメールボックス/フィニッシャーをメールボックスとして使用する設定のときにできます。
- メールボックス/フィニッシャーが装着されている場合で、「ホチキス」機能を指定しているときは、[フィニッシャートレイ]以外に排出できません。

1. [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。
2. [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]ボタンをクリックします。
3. [トレイ/排出]タブをクリックします。

④ **[排出先]メニューから、排出するメールボックスビン、または[フィニッシャートレイ]を選択します。**

変更の結果は、左下の出力イメージで確認できます。

補足 **メールボックス/ソーター、またはメールボックス/フィニッシャーが装着されている場合で、[排出先]メニューが選択できないときは、プリンタフォルダの[プロパティ]を選択してプリンタードライバー画面を表示し、[プリンタ構成]タブの[設定の変更]リストボックスで、該当するオプションのチェックボックスをオンにします。そのあとDocuColor 1250シリーズの場合は、[初期設定]タブの[プリント機能]リストボックスで、[オプション排出]モードを[メールボックス]に設定します。**

⑤ **[OK]をクリックします。**

3.7 ジョブ/部単位に位置をずらして排出する

ジョブ(印刷指示)/部(セット)単位に位置をずらして用紙を排出できます。この機能を「オフセット排出」といいます。直前のジョブ/部の排出位置が手前ならば、次は奥にずらして排出します。

この機能は、メールボックス/ソーター、メールボックス/フィニッシャー、排出トレイM(白色系のトレイ)のどれかが装着されている場合に使用できます。

[トレイ/排出]タブの[ソートする[一部ごと]]チェックボックスがオンの場合は、部単位にずらして排出します。チェックボックスがオフの場合は、ジョブごとにずらして排出します。

参照 [ソートする[一部ごと]]については、「3.8　部単位で印刷する」を参照してください。

「オフセット排出」の指定は、[トレイ/排出]タブを表示して行います。

ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSの手順も同様です。

補足
- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
- メールボックス/ソーターが装着されている場合、[トレイ/排出]タブの[排出先]を[排出トレイ]に設定してください。
- メールボックス/フィニッシャーが装着されている場合、[トレイ/排出]タブの[排出先]を[フィニッシャートレイ]に設定してください。
- A5、官製はがき、SRA3(320×450mm/12.6×17.7インチ)、5.5×8.5インチ、12×18インチサイズの用紙は、「オフセット排出」ができません。また、定型外サイズの用紙に印刷する場合、「オフセット排出」ができる用紙サイズは短辺171〜297mm、長辺200〜432mmの範囲です。メールボックス/フィニッシャーでは、ユーザー定義サイズの用紙は「オフセット排出」ができません。

1. [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。
2. [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]ボタンをクリックします。
3. [トレイ/排出]タブをクリックします。

④ ［排出先］メニューから、［排出トレイ］を選択します。メールボックス/フィニッシャーが装着されている場合は、［フィニッシャートレイ］を選択します。

⑤ ［オフセット排出］メニューから、［する］を選択します。

補足 メールボックス/ソーター、メールボックス/フィニッシャー、排出トレイMのどれかが装着されている場合で、［オフセット排出］メニューが選択できないときは、プリンタフォルダの［プロパティ］を選択してプリンタードライバー画面を表示し、［プリンタ構成］タブの［設定の変更］リストボックスで、該当するオプションのチェックボックスをオンにします。

⑥ 必要に応じて、［ソートする［一部ごと］］チェックボックスをオン、またはオフにします。

参照 「オフセット排出」機能と「ソート」機能を組み合わせたときの用紙の排出のしかたについては、「2.2.2　用紙の排出について」を参照してください。

⑦ ［OK］をクリックします。

3.8 部単位で印刷する

複数ページのファイルを部単位で印刷できます。この機能は、内蔵ハードディスクが装着されている場合に使用できます。

部単位の印刷の指定は、[トレイ/排出]タブを表示して行います。

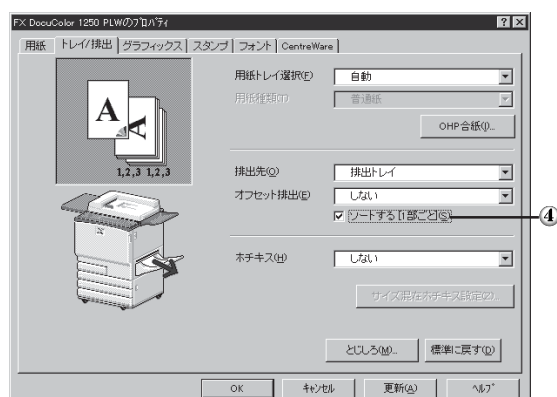
ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSの手順も同様です。

注記 アプリケーション側の印刷ダイアログボックスなどで、部単位で印刷する指定をしている場合、ここでも設定すると、正しく印刷されないことがあります。確実に部単位で印刷するには、アプリケーション側の、部単位で印刷する指定をオフにしてください。

補足 プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

① [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。

② [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]ボタンをクリックします。

③ [トレイ/排出]タブをクリックします。

④ [ソートする[一部ごと]]チェックボックスをオンにします。
変更の結果は、左上の仕上がりイメージで確認できます。

補足 内蔵ハードディスクが装着されている場合で、[ソートする[一部ごと]]チェックボックスをオンにできないときは、プリンタフォルダの[プロパティ]を選択してプリンタードライバー画面を表示し、[プリンタ構成]タブの[設定の変更]リストボックスで[内蔵ハードディスク]チェックボックスをオンにします。

⑤ [OK]をクリックします。

3.9 スタンプを重ね合わせて印刷する

ファイルにスタンプを重ね合わせて印刷する方法を説明します。

標準スタンプとして、「マル秘」、「回覧」、「参考」、「至急」、「禁複写」、「取扱注意」の6種類のスタンプが登録されています。

新しいスタンプの登録、スタンプの編集、スタンプの削除もできます。

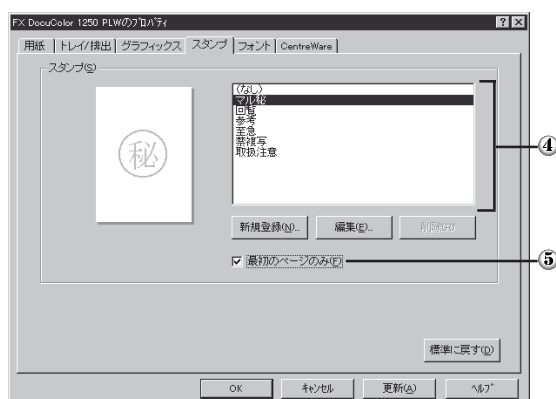
3.9.1 印刷のしかた

ファイルにスタンプを重ね合わせて印刷する方法を説明します。
スタンプの指定は、[スタンプ]タブを表示して行います。
ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSの手順も同様です。

補足

- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
- 「拡大連写」機能とは、同時に使用できません。「拡大連写」機能については、「3.4　複数の用紙に分けて拡大して印刷する」を参照してください。
- [グラフィックス]タブの[カラーモード]が[自動]の場合、無彩色のページでも、スタンプが有彩色であればカラーで印刷されます。

1. [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。
2. [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]ボタンをクリックします。
3. [スタンプ]タブをクリックします。

4. [スタンプ]リストボックスから、スタンプを選択します。
   変更の結果は、左上のスタンプイメージで確認できます。
5. 必要に応じて、[最初のページのみ]チェックボックスをオン、またはオフにします
   チェックボックスをオンにすると、印刷するファイルの最初のページにだけスタンプが印刷されます。オフにすると、すべてのページにスタンプが印刷されます。
6. [OK]をクリックします。

3.9.2　スタンプの新規登録と編集

スタンプの新規登録と編集は、それぞれスタンプ登録ダイアログボックス、およびスタンプ編集ダイアログボックスで行います。スタンプは、標準スタンプを含めて、32種類まで登録できます。
それぞれのダイアログボックスで設定できる項目は、共通です。
設定できる項目は次のとおりです。

項　目　名	内　　　容
位置	スタンプの位置を指定します。スタンプを印刷したい位置のボタンをクリックします。[繰り返して全体に表示]チェックボックスがオンの場合は、指定できません。 ● **繰り返して全体に表示** チェックボックスをオンにすると、ページの全面にスタンプを繰り返して印刷します。
登録名	[スタンプ]タブの[スタンプ]リストボックスに表示する名前を指定します。指定できる文字数は、32バイト相当(半角で32文字、全角で16文字)です。32バイトを超える場合は、32バイトまでが有効になります。
スタンプの文字列	スタンプとして印刷する文字を指定します。指定できる文字数は、64バイト相当(半角で64文字、全角で32文字)です。64バイトを超える場合は、64バイトまでが有効になります。 注記 Windows® 98/Me、Windows NT® 4.0/Windows® 2000に追加されたJIS補助漢字の文字を指定すると、スタンプは正しく印刷されません。
文字	文字について詳細な設定をします。 ● **フォント名** スタンプのフォントの種類を、メニューから選択します。システムにインストールされているすべてのTrueTypeフォントと、プリンターにインストールされているすべてのプリンタフォントが表示されます。ただし、縦書きフォントは表示されません。同名のTrueTypeフォントとプリンタフォントがある場合は、TrueTypeフォントが使用されます。 選択したフォントによっては、スタンプイメージの表示と印刷結果が異なることがあります。 指定したTrueTypeフォントがシステムから削除された場合、同名のプリンタフォントがあるときは、プリンタフォントが使用され、ないときは「MSゴシック」が使用されます。 ● **サイズ** スタンプのサイズを指定します。7〜600ポイントの範囲で、1ポイント刻みに指定できます。メニューから選択、またはエディットボックスに入力します。 ● **[B]ボタン** ボールド文字にするときにクリックします。 ● **[/]ボタン** イタリック文字にするときにクリックします。 ↓次ページへ

項　目　名	内　　　容
	↓前ページより • **色** スタンプの色を指定します。表示されている色のラジオボタンをクリックして、色を指定します。 • **[任意色...]ボタン** [色]で[任意]ラジオボタンをクリックすると、[任意色...]ボタンが有効になります。[任意色...]ボタンをクリックすると、色の設定ダイアログボックスが表示され、任意の色を指定できます。 • **透過する** チェックボックスをオンにすると、スタンプの下にある文字などが見えるように、スタンプを透かして印刷します。オフにすると、スタンプが重なる部分に上書きして印刷します。
囲み	スタンプに付ける囲みを指定します。[つけない]、[丸]、[四角]のどれかのラジオボタンをクリックします。
角度	スタンプの角度を指定します。−90〜90 °の範囲で、1 °刻みに指定できます。スライダー、キー入力、▲▼ボタンで指定できます。

ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSの手順も同様です。

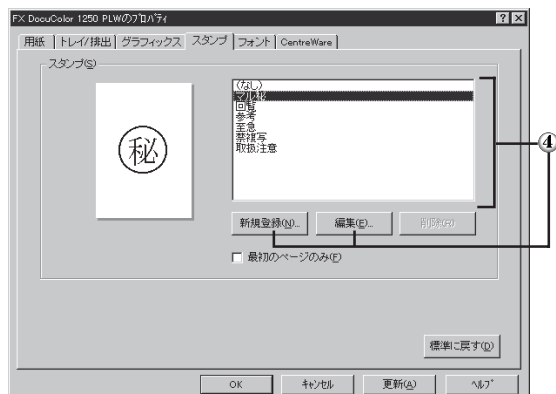
補足
• プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
• 「拡大連写」機能を設定している場合、スタンプの新規登録および編集はできません。「拡大連写」機能については、「3.4　複数の用紙に分けて拡大して印刷する」を参照してください。

① [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。

② [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]ボタンをクリックします。

③ [スタンプ]タブをクリックします。

④ 新しくスタンプを登録する場合は、[新規登録...]ボタンをクリックします。
登録されているスタンプを編集する場合は、[スタンプ]リストボックスから、編集するスタンプを選択して、ダブルクリックするか、[編集...]ボタンをクリックします。
スタンプ登録ダイアログボックス、またはスタンプ編集ダイアログボックスが表示されます。

FX DocuColor 1250 PLWのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ
用紙 | トレイ/排出 | グラフィックス | スタンプ | フォント | CentreWare
スタンプ(S)
(なし)
マル秘
回覧
参考
至急
禁複写
取扱注意
新規登録(N)...
編集(E)...
削除(R)
最初のページのみ(F)
標準に戻す(D)
OK
ｷｬﾝｾﾙ
更新(A)
ﾍﾙﾌﾟ

⑤ 必要に応じて、各項目を設定します。
変更の結果は、左側のスタンプイメージで確認できます。

⑥ [OK]をクリックします。

⑦ [スタンプ]タブで、[OK]をクリックします。

3.9.3　スタンプを削除する

登録されているスタンプを削除できます。
ただし、標準スタンプの「マル秘」、「回覧」、「参考」、「至急」、「禁複写」、「取扱注意」は削除できません。
ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSの手順も同様です。

補足
- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
- 「拡大連写」機能を設定している場合、スタンプの削除はできません。「拡大連写」機能については、「3.4　複数の用紙に分けて拡大して印刷する」を参照してください。

① [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。

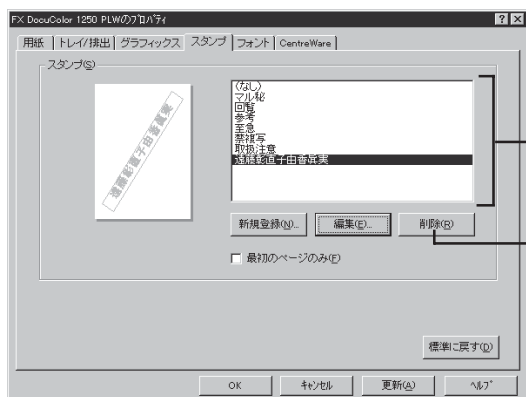
② [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]ボタンをクリックします。

③ [スタンプ]タブをクリックします。

④ [スタンプ]リストボックスから、削除するスタンプを選択します。

⑤ [削除]ボタンをクリックします。
確認のダイアログボックスが表示されます。

⑥ [OK]をクリックします。

⑦ [スタンプ]タブで、[OK]をクリックします。

3.10 True Typeフォントの印刷方法を設定する

TrueTypeフォントの置き換え方法を指定して印刷できます。
選択できる項目は次のとおりです。

選　択　肢	内　　　容
常にプリンタフォントを使う	すべてのTrueTypeフォントを、プリンタフォントに置き換えて印刷します。文書内で使用されているTrueTypeフォントにいちばん近いプリンタフォントが自動的に選択され、これに置き換えて印刷します。印刷は速くなりますが、画面表示とプリント結果が一致しないことがあります。
常にTrueTypeフォントを使う	すべてのTrueTypeフォントをプリンターにダウンロードして印刷します。文書内で使用されているTrueTypeフォントを、プリンタフォントに置き換えません。印刷は遅くなることがありますが、画面表示とプリント結果は一致します。
TrueTypeフォントをプリンタフォントで置き換える	フォント置き換えテーブルの設定 に従って、TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換えて印刷します。フォント置き換えテーブルでは、プリンタフォントに置き換えるものと、プリンターにダウンロードするものの2種類の設定があります。Windows® 環境にインストールされているフォントに対して、フォントファミリーごと(Windows® 95/98/Meの場合)または、フォントフェイスごと(Windows NT® 4.0/Windows® 2000の場合)に個別に設定できます。

参照 フォント置き換えテーブルの編集方法については、「3.11　TrueTypeフォント置き換えテーブルを編集する」を参照してください。

TrueTypeフォントの置き換えの指定は、[フォント]タブを表示して行います。
ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSの手順も同様です。

注記 Windows® 98/Me、Windows® 2000に追加されたJIS補助漢字の文字が含まれるファイルを印刷する場合は、[常にTrueTypeフォントを使う]を選択してください。それ以外の設定では、正しく印刷されないことがあります。

補足 プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

1. [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。
2. [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]ボタンをクリックします。
3. [フォント]タブをクリックします。

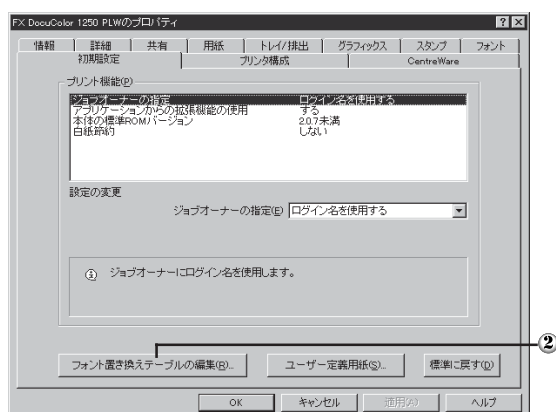
④ **設定する内容のラジオボタンをクリックします。**

⑤ **[OK]をクリックします。**

True Typeフォント置き換えテーブルを編集する

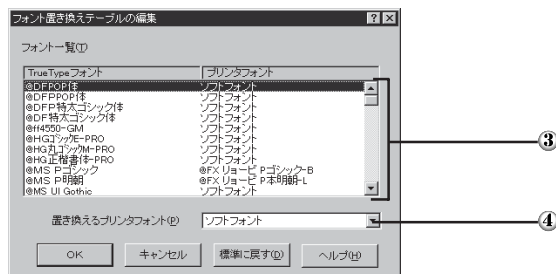
フォント置き換えテーブルで、TrueTypeフォントの置き換えをフォントごとに設定できます。

フォント置き換えテーブルの編集は、フォント置き換えテーブルの編集ダイアログボックスで行います。ダイアログボックスを開くには、プリンタフォルダの[プロパティ]を選択してプリンタードライバー画面を表示します。そのあと、次の操作を行います。

① [初期設定]タブをクリックします。

② [フォント置き換えテーブルの編集...]ボタンをクリックします。

フォント置き換えテーブルの編集ダイアログボックスが表示されます。

[TrueTypeフォント]列には、システムにインストールされているすべてのTrueTypeフォント(Windows® 95/98/Meではフォントのファミリー名、Windows NT® 4.0/Windows® 2000ではフォントのフェイス名)が表示されます。

[プリンタフォント]列には、TrueTypeフォントに対して、実際に印刷に使用されるフォントが表示されます。[ソフトフォント]と表示されているフォントは、印刷時にTrueTypeフォントをプリンターにダウンロードして使用します。

③ [TrueTypeフォント]列から、設定を変更するフォントを選択します。

④ [置き換えるプリンタフォント]メニューから、使用するプリンタフォントを選択します。[ソフトフォント]を選択すると、印刷時にTrueTypeフォントをプリンターにダウンロードして使用します。

⑤ 必要に応じて、手順③、④を繰り返して、置き換えるフォントを指定します。

⑥ [OK]をクリックします。

⑦ [初期設定]タブで、[OK]をクリックします。

3.12 定型外サイズの用紙の登録と印刷

定型外サイズの用紙に印刷するための、プリンタードライバーへの定型外サイズの用紙の登録と印刷方法について説明します。

定型外サイズをユーザー定義サイズとして登録すると、[用紙]タブの[原稿サイズ]メニューと、[出力用紙サイズ]メニューから定型外サイズを選択できるようになります。印刷するときは、用紙トレイ5(手差し)、または用紙トレイ2〜4を使用してください。

用紙サイズは5種類まで、用紙名を付けることができます。

用紙サイズは、短辺148〜297mm、長辺200〜432mmの範囲で、0.1mm刻みに指定できます。用紙トレイ5(手差し)で使用できる用紙サイズは、短辺148〜297mm、長辺200〜432mmの範囲です。用紙トレイ2〜4で使用できる用紙サイズは、短辺182〜297mm、長辺200〜432mmの範囲です。

用紙名の最大文字数は、14バイト相当(半角で14文字、全角で7文字)です。

定型外サイズの用紙の登録は、ユーザー定義用紙ダイアログボックスで行います。ダイアログボックスを開くには、プリンタフォルダの[プロパティ]を選択してプリンタードライバー画面を表示します。そのあと、次の操作を行います。

補足

- Windows NT® 4.0/Windows® 2000では、「Administrator」の権利があるユーザーの場合にだけ設定を変更できます。権利がない場合は、内容の確認だけできます。
- 「オフセット排出」機能を使用する場合、用紙サイズは短辺171〜297mm、長辺200〜432mmの範囲で指定してください。「オフセット排出」機能については、「3.7　ジョブ/部単位に位置をずらして排出する」を参照してください。
- 用紙トレイ2〜4に定型外サイズの用紙をセットする場合は、カストマーエンジニアによる設定が必要です。弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご相談ください。
- ユーザー定義用紙ダイアログボックスの設定は、Windows NT® 4.0/Windows® 2000の場合、ローカルプリンターではホスト装置のフォームデータベースを使用するため、ホスト装置上の他のプリンターにも影響します。ネットワーク共有プリンターではプリントキューが存在するサーバー上のフォームデータベースを使用するため、別のホスト装置上の同じネットワーク共有プリンターにも影響します。Windows® 95/98/Meの場合、プリンタアイコンごとに定義した用紙サイズが設定されるため、ホスト装置上の他のプリンターの設定には影響しません。ネットワーク共有プリンターでも、プリンタアイコンごとに定義した用紙サイズが設定されるため、他のホスト装置上の同じネットワーク共有プリンターの設定には影響しません。

3.12.1　用紙の登録

登録できるユーザー定義サイズは5種類で、それぞれに用紙名を付けることができます。

①［初期設定］タブをクリックします。

②［ユーザー定義用紙...］ボタンをクリックします。
ユーザー定義用紙ダイアログボックスが表示されます。

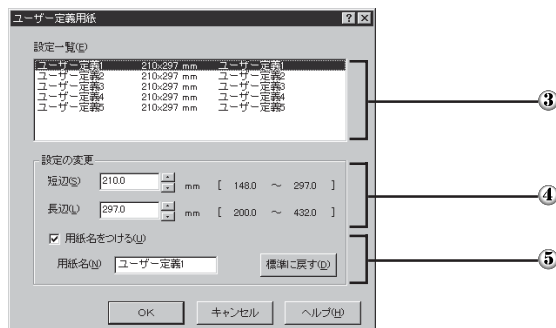
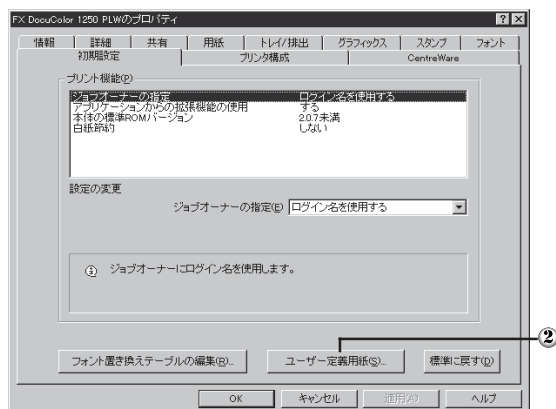
③［設定一覧］リストボックスから、設定する用紙を選択します。

④［設定の変更］で、短辺と長辺の長さを指定します。
短辺の値は、範囲内でも長辺より大きくすることはできません。長辺の値は、範囲内でも短辺より小さくすることはできません。
キー入力、または▲▼ボタンで指定します。

⑤用紙名を付ける場合は、［用紙名をつける］チェックボックスをオンにして、［用紙名］に入力します。
用紙名の最大文字数は半角で14文字、全角で7文字までです。

⑥必要に応じて、手順 ③～ ⑤を繰り返して、用紙サイズを定義します。

⑦［OK］をクリックします。

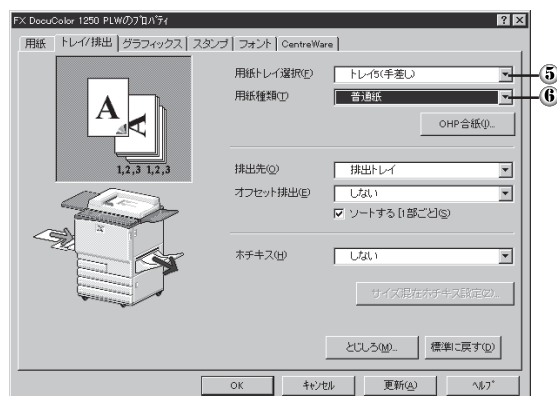
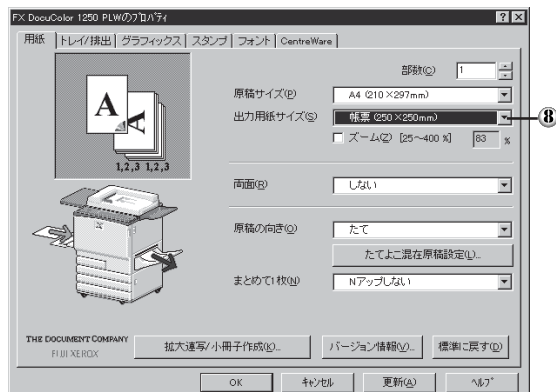
⑧［初期設定］タブで、［OK］をクリックします。

3.12.2　印刷のしかた

定型外サイズの用紙に印刷する方法を説明します。
印刷するときは、用紙トレイ5(手差し)、または用紙トレイ2〜4を使用してください。
用紙トレイ5(手差し)を使用する場合、用紙は□方向にセットしてください。

参照 **用紙トレイ5(手差し)の使い方については、「第4章　手差し印刷」を参照してください。**

ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSの手順も同様です。

補足 **プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。**

1. **使用する用紙トレイに、定型外サイズの用紙をセットします。**
2. **[ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。**
3. **[プリンタ名]を確認し、[プロパティ]ボタンをクリックします。**
4. **[トレイ/排出]タブをクリックします。**
5. **[用紙トレイ選択]メニューから、使用する用紙トレイを選択します。**
6. **手順⑤で[トレイ5(手差し)]、または[手差しキー操作待ち]を選択した場合は、[用紙種類]メニューから、用紙の種類を選択します。**

⑦ ［用紙］タブをクリックします。

⑧ ［出力用紙サイズ］メニューから、使用する定型外サイズの用紙を選択します。

⑨ ［OK］をクリックします。

3.13 小冊子を作成する

印刷されたものを重ね合わせて、中央で2つ折りしたときにページの順番がそろうように、両面印刷とページ配分を組み合わせて印刷します。指定した用紙サイズにページが収まるように、自動的に拡大/縮小して2ページずつ両面に長辺とじで印刷します。

この機能を「小冊子作成」といい、本機に両面印刷機能がある場合に使用できます。

「小冊子作成」機能を使用するときに、とじる方向と2つ折りにする枚数が設定できます。

[左とじ/上とじ]ラジオボタンをクリックすると、小冊子にした場合に、原稿の向きがたてのときは左とじ(右開き)、よこのときは上とじ(下開き)になるように各ページを割り付けます。[右とじ/下とじ]ラジオボタンをクリックすると、小冊子にした場合に、原稿の向きがたての場合は右とじ(左開き)、よこのときは下とじ(上開き)になるように各ページを割り付けます。

[分割する]チェックボックスをオフにすると、印刷されたものすべてを重ね合わせて2つ折りにし、小冊子を作成するように印刷されます。チェックボックスをオンにすると、[枚数]で指定した枚数ごとに重ね合わせて2つ折りにし、小冊子を作成するように印刷されます。[枚数]は、1〜50枚の範囲で、1枚刻みに指定できます。

2つ折りしたときに、折る所の印字部分が見えにくくなることを防ぐために、用紙の中央に中とじしろを付けることができます。

中とじしろを付ける場合は、[中とじしろをつける]チェックボックスをオンにして、0.0〜16.0mmの範囲で、0.1mm刻みに指定します。指定した中とじしろは、それぞれのページの内側に付きます。

[中とじしろをつける]チェックボックスをオンにすると、[自動縮小する]チェックボックスが有効になります。[自動縮小する]チェックボックスをオンにすると、中とじしろを付けて狭くなった印字領域内に画像が収まるように、自動的に縮小して印刷します。オフにすると、中とじしろの分だけ画像をとじしろの対辺に平行に移動して印刷します。そのため、対辺の画像が印字領域内に収まらずに欠けることがあります。

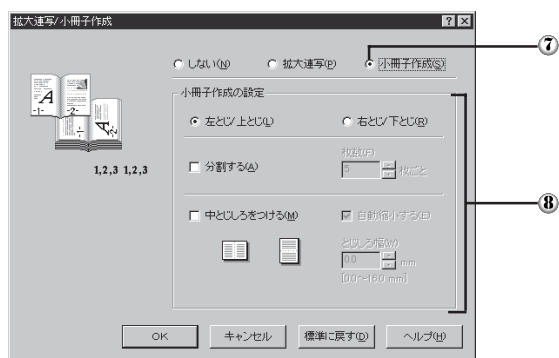
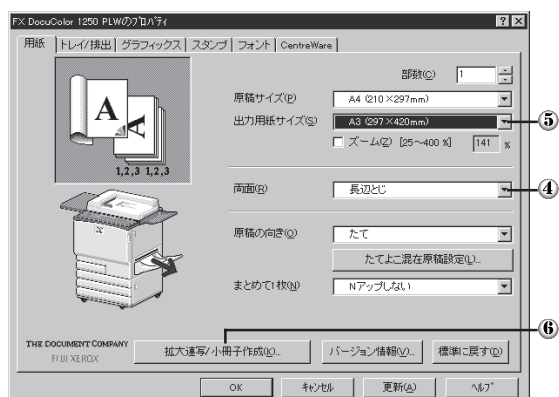
用紙トレイは、[トレイ/排出]タブの[用紙トレイ選択]で、[トレイ5(手差し)]、または[手差しキー操作待ち]以外を選択してください。[アプリの設定に従う]を選択している場合は、印刷するファイルの1ページめに指定されている用紙トレイが使用されます。

印刷に使用する用紙は、[用紙]タブの[出力用紙サイズ]から、[原稿サイズと同じ]以外で両面印刷できる用紙を選択してください。

「小冊子作成」の指定は、拡大連写/小冊子作成ダイアログボックスで行います。

ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSの手順も同様です。

補足

- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
- 任意倍率の指定はできません。
- 「まとめて1枚」、「とじしろ」、「ホチキス」機能とは、同時に使用できません。「まとめて1枚」機能については「3.3　複数ページの原稿をまとめて1枚の用紙に印刷する」、「とじしろ」機能については「3.5　とじしろを付けて印刷する」、「ホチキス」機能については「3.14　ホチキスとめをする」を参照してください。

① [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。

② [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]ボタンをクリックします。

③ [用紙]タブをクリックします。

④ [両面]メニューから、[長辺とじ]を選択します。

⑤ [出力用紙サイズ]メニューから、[原稿サイズと同じ]以外を選択します。

⑥ [拡大連写/小冊子作成...]ボタンをクリックします。
拡大連写/小冊子作成ダイアログボックスが表示されます。

⑦ [小冊子作成]ラジオボタンをクリックします。
下に、[小冊子作成]の設定が表示されます。

⑧ 必要に応じて、[小冊子作成の設定]の各項目を設定します。
変更の結果は、左上の仕上がりイメージで確認できます。

⑨ [OK]をクリックします。

⑩ [用紙]タブで、[OK]をクリックします。

ホチキスとめをする

印刷したものにホチキスとめができます。この機能は、メールボックス/フィニッシャーが装着されている場合に使用できます。

ホチキスとめができる場所は、用紙の上下左右各辺の2ヵ所、および各隅の1ヵ所が指定できます。

サイズが混在している原稿にもホチキスとめができます。その場合、ホチキスとめができる用紙サイズの組み合わせは、A3とA4、またはB4とB5です。サイズ混在原稿にホチキスとめをする場合の詳細な設定は、サイズ混在ホチキス設定ダイアログボックスで行います。

サイズ混在ホチキス設定ダイアログボックスでは、先頭のページと混在するページの[原稿サイズ]と[原稿の向き]、および[よこ原稿180 °回転]の設定ができます。

ホチキスとめの設定は、[トレイ/排出]タブを表示して行います。

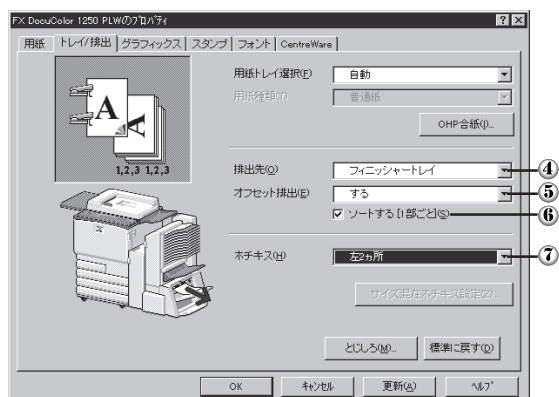
ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSの手順も同様です。

補足

- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
- [トレイ/排出]タブの[用紙トレイ選択]で、[トレイ5(手差し)]、または[手差しキー操作待ち]を選択して印刷する場合は、ホチキスとめはできません。
- メールボックス/フィニッシャーが装着されている場合で、[ホチキス]メニューが選択できないときは、プリンタフォルダ内のプリンタアイコンの[プロパティ]を選択してプリンタードライバー画面を表示し、[プリンタ構成]タブの[設定の変更]リストボックスで、[メールボックス/フィニッシャー]チェックボックスをオンにします。
- 「拡大連写」、「小冊子作成」機能とは、同時に使用できません。また、[1ヵ所(サイズ混在)]は、「両面」、「まとめて1枚」、「とじしろ」機能とは、同時に使用できません。「拡大連写」機能については「3.2　両面に印刷する」、「小冊子作成」機能については「3.13　小冊子を作成する」、「両面」機能については「3.2　両面に印刷する」、「まとめて1枚」機能については「3.3　複数ページの原稿をまとめて1枚の用紙に印刷する」、「とじしろ」機能については「3.5　とじしろを付けて印刷する」を参照してください。

① [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。

② [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]ボタンをクリックします。

③ [トレイ/排出]タブをクリックします。

④ [排出先]メニューから、[フィニッシャートレイ]を選択します。

⑤ [オフセット排出]メニューから、[する]を選択します。

⑥ [ソートする[1部ごと]]チェックボックスをオンにします。

⑦ [ホチキス]メニューから、ホチキスとめをする場所を選択します。

変更の結果は、左上の仕上がりイメージで確認できます。

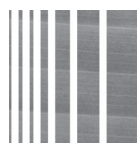
[1ヵ所(サイズ混在)]を選択した場合は、サイズ混在ホチキス設定ダイアログボックスが表示されます。

⑧ 必要に応じて、各項目を設定します。

変更の結果は、左上のサイズ混在ホチキスイメージで確認できます。

⑨ [OK]をクリックします。

⑩ [トレイ/排出]タブで、[OK]をクリックします。

手差し印刷

4
章

4.1 用紙トレイ5(手差し)の基本的な使い方

用紙トレイ1、2、3、4にセットできないOHPフィルム、官製はがき、厚紙やその他の特殊用紙、定型外サイズの用紙などに印刷したいときは、用紙トレイ5(手差し)を使用します。用紙は必ず、□方向にセットしてください。

注記
- **紙づまりや故障の原因になるので、OHPフィルム、官製はがき、厚紙やその他の特殊用紙、定型外サイズの用紙を用紙トレイ1、2、3、4にセットしないでください。**
- **用紙は、必ず□方向にセットしてください。**
- **DocuColor 1250シリーズの場合は、用紙をセットしたときに表示される、本体操作パネル(タッチパネルディスプレイ)の手差し画面で、サイズ/紙質を指定する必要はありません。**

参照 **官製はがきへの印刷のしかたは、「4.2　官製はがきに印刷する」、OHPフィルムへの印刷のしかたは、「4.3　OHPフィルム/電飾フィルムに印刷する」を参照してください。**

用紙トレイ5(手差し)で印刷する場合は、必ずプリンタードライバー画面の[トレイ/排出]タブで、[用紙トレイ選択]メニューから[トレイ5(手差し)]、または[手差しキー操作待ち]を選択し、[用紙種類]メニューから正しい用紙の種類を選択してください。[手差しキー操作待ち]とは、プリンター用操作パネルの〈排出/セット〉を押すまで、印刷待ちになる設定です。印刷を一時停止して、正しいサイズ/種類の用紙をセットすることや、セットされている用紙の確認をしてから印刷できます。

用紙トレイ5(手差し)で使用できる用紙の範囲は、次のとおりです。

用紙サイズ	用紙の質量		紙　　質	主な用紙の種類	セット可能枚数
	メートル坪量*1	連量*2			
[定型外サイズ]*3 短辺 148〜297mm 長辺 200〜432mm [定型サイズ] 官製はがき、SRA3*4、A5、B5、A4、B4、A3、5.5×8.5"、8×10"、8.5×11"、8.5×13"、8.5×14"、11×17"、12×18"*4、八開、十六開	64〜256g/m²	55〜220kg	普通紙 64〜105未満g/m²	P紙、L紙、J紙、JD紙、Green100紙、C²紙、R紙、WR紙、カラーペーパー	15mmまで 150枚(P紙) 140枚(J紙)
			厚紙1 105〜163未満g/m²	ColorCopy紙 (120g/m²)	
			厚紙2 163〜256g/m²	デジタルコート紙 官製はがき	
			OHPフィルム/ 電飾フィルム*5	V516(白黒用) V556(カラー用)	
			タックフィルム	タックフィルム (粘着シート)	
			トレーシングペーパー(第二原図)	GX75、GX85	
			ラベル紙	ラベル用紙	

＊1 ＊2　メートル坪量とは、1m²の用紙1枚の質量をいいます。連量とは、四六判(788×1,091mm)の用紙1,000枚の質量をいいます。

＊3　定型外サイズの用紙に印刷する場合は、ユーザー定義サイズとしてプリンタードライバーに用紙を登録する必要があります。登録のしかたについては、「3.12　定型外サイズの用紙の登録と印刷」を参照してください。

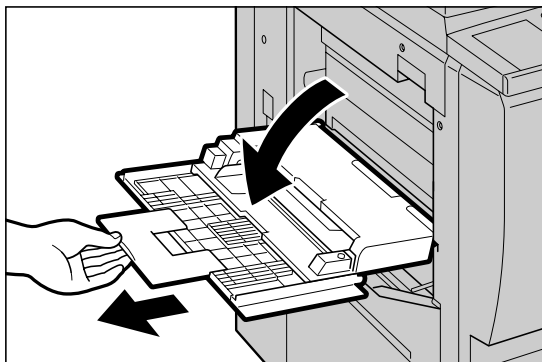
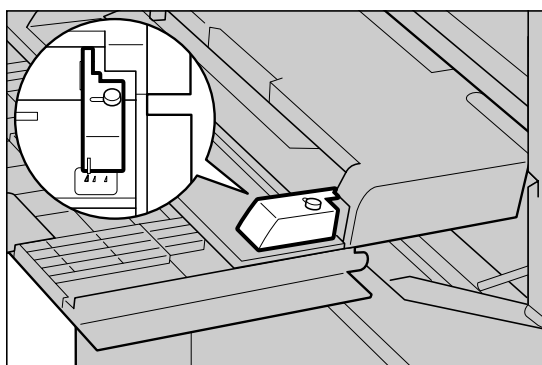
＊4　SRA3(320×450mm/12.6×17.7インチ)と12×18インチサイズの用紙に印刷するときは、用紙ガイドを移動してからセットします。なお、印刷するには、本機に128MB以上のメモリー容量が必要です。用紙ガイドの移動のしかたは、「4.1.2　用紙ガイドの位置を移動する」を参照してください。

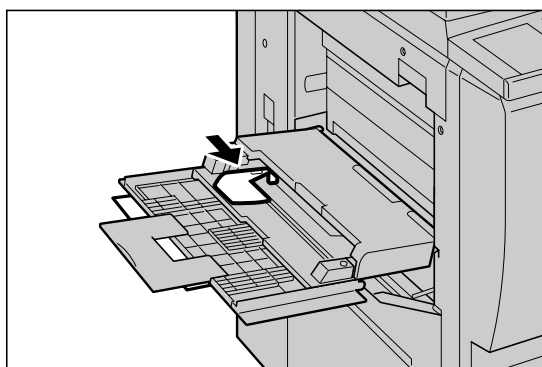
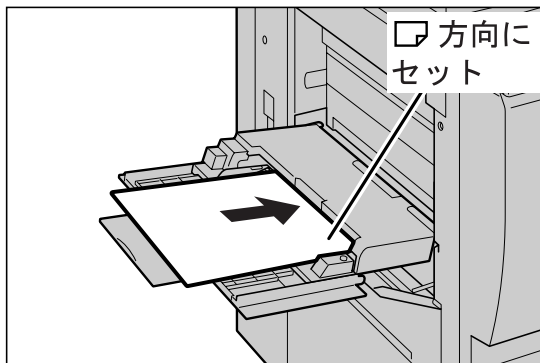
＊5　OHP/電飾フィルムは、A4、A3サイズだけです。

注記 **プリンタードライバーで選択した用紙サイズや用紙種類と異なる用紙で印刷すると、紙づまりの原因になります。適正な印刷をするために、正しい用紙サイズ、用紙種類、用紙トレイを選択してください。**

4.1.1　用紙トレイ5(手差し)に用紙をセットして印刷する

各項目の指定は、[トレイ/排出]タブを表示して行います。
一度印刷した用紙(普通紙、厚紙のみ)のうら面に印刷するときも用紙トレイ5(手差し)を使用します。
ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSの手順も同様です。

注記 **用紙は、必ず□方向にセットしてください。**

1. **用紙トレイ5(手差し)を開きます。**
   必要に応じて、延長トレイを引き出します。延長トレイは、2段階に引き出せます。

2. **用紙トレイ5(手差し)の手前にある用紙ガイドの位置を確認します。**
   通常は、用紙ガイドを左図の位置にします。

   補足 用紙ガイドが「12″305mm」、または「12.6″320mm」の位置にある場合は、左図の位置に戻してください。また、12×18インチ、SRA3(320×450mm/12.6×17.7インチ)の用紙に印刷する場合は、用紙ガイドを移動してください。用紙ガイドの移動のしかたについては、「4.1.2　用紙ガイドの位置を移動する」を参照してください。

3. **用紙サイズ合わせガイドを、セットする用紙サイズに合わせます。**

④ **印刷する面を上に向けて、方向に、用紙を用紙ガイドに沿って軽く奥に突き当たるまで差し込みます。**

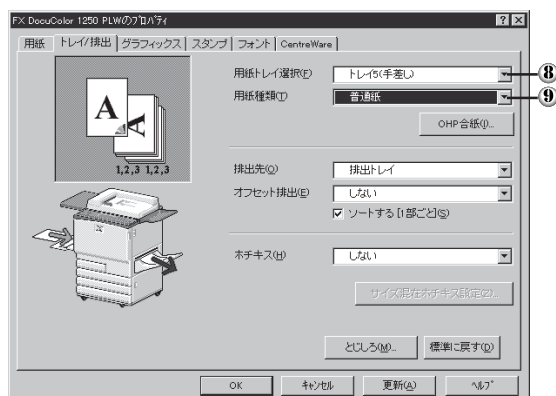
注記
- 用紙は、必ず方向にセットしてください。
- DocuColor 1250シリーズの場合は、用紙をセットしたときに表示される、本体操作パネル（タッチパネルディスプレイ）の手差し画面で、サイズ/紙質を指定する必要はありません。
- 用紙上限線を越える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。

補足
- 異なるサイズを混在してセットすることはできません。
- A3のOHPフィルム/電飾フィルム、コート紙、アートフィルムは、一枚ずつセットしてください。

⑤ **［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。**

⑥ **［プリンタ名］を確認し、［プロパティ］ボタンをクリックします。**

補足　プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

⑦ **［トレイ/排出］タブをクリックします。**

⑧ **［用紙トレイ選択］メニューから、［トレイ5（手差し）］、または［手差しキー操作待ち］を選択します。**

⑨ **［用紙種類］メニューから、用紙の種類を選択します。**

ここでは、普通紙の場合を例にします。

うら面を印刷するときは、［普通紙］、［厚紙1（105〜162g/m²）うら面］、［厚紙2（163〜256g/m²）うら面］から選択してください。

⑩ **［OK］をクリックします。**

⑪ **［用紙トレイ選択］メニューで、［手差しキー操作待ち］を選択した場合は、プリンター用操作パネルの［排出/セット］を押すと、印刷が開始します。**

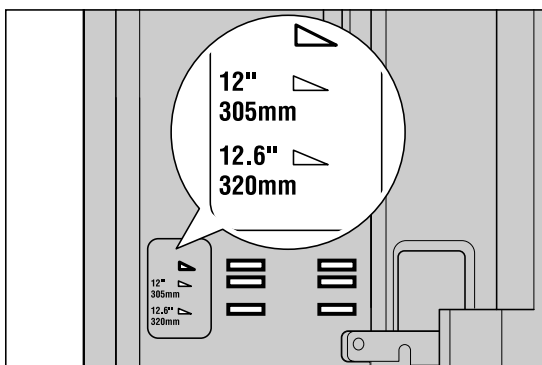
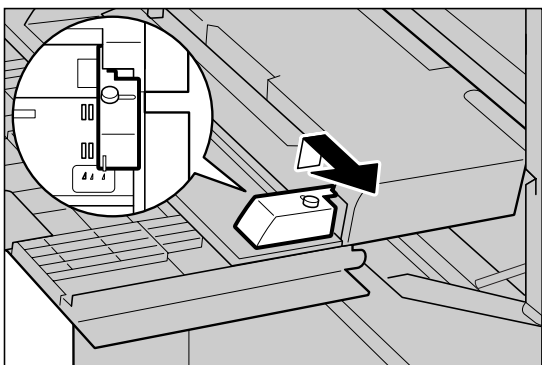
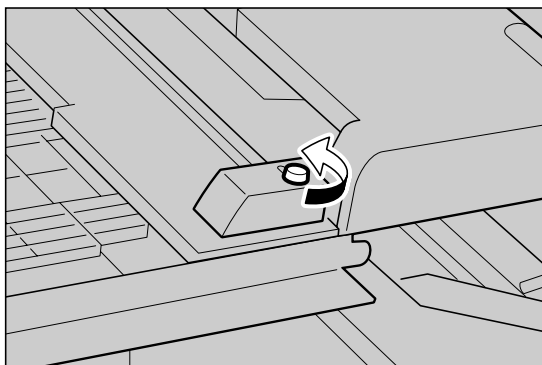
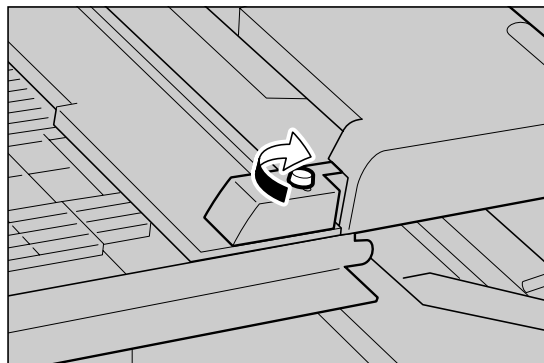
4.1.2　用紙ガイドの位置を移動する

12×18インチ、またはSRA3（320×450mm/12.6×17.7インチ）の用紙に印刷する場合は、用紙をセットする前に、用紙トレイ5（手差し）の手前にある用紙ガイドを移動します。印刷が終了したら、用紙ガイドは必ず元の位置に戻してください。

補足　12×18インチ、SRA3（320×450mm/12.6×17.7インチ）サイズの用紙に印刷するには、本機のメモリー容量が128MB以上必要です。

1. 用紙トレイ5（手差し）を開きます。

2. 用紙ガイド右手前のネジをゆるめます。

3. 用紙ガイドを持ち上げて位置を移動します。

用紙ガイドの位置は、奥が通常の位置で、中央が12×18インチサイズ、手前がSRA3（320×450mm/12.6×17.7インチ）サイズです。

④ 用紙ガイドのネジをしめます。

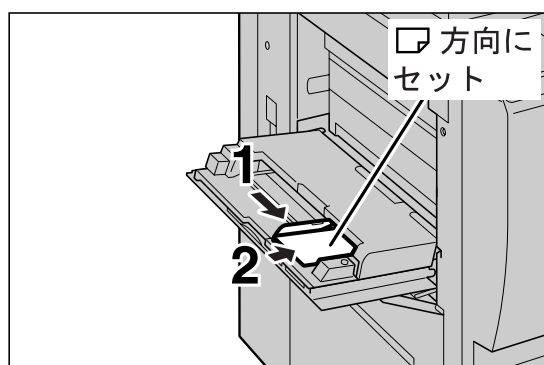
⑤ 印刷終了後、操作手順②～④を行って、用紙ガイドを通常の位置に戻します。

4.2 官製はがきに印刷する

用紙トレイ5(手差し)を使用して、官製はがきに印刷できます。一度印刷したはがきのうら面にも印刷できます。

各項目の指定は、[トレイ/排出]タブを表示して行います。ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSの手順も同様です。

注記
- **紙づまりや故障の原因になるので、官製はがきを用紙トレイ1、2、3、4にセットしないでください。**
- **官製はがきは、必ず方向にセットしてください。**

補足 **プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。**

① **用紙サイズ合わせガイドを、官製はがきサイズに合わせ、 印刷する面を上に向けて、郵便番号記入欄を挿入の先端にし、方向に用紙トレイ5(手差し)に官製はがきをセットします。**

注記
- **用紙は、必ず方向にセットしてください。**
- **DocuColor 1250シリーズの場合は、用紙をセットしたときに表示される、本体操作パネル(タッチパネルディスプレイ)の手差し画面で、サイズ/紙質を指定する必要はありません。**

参照 **用紙トレイ5(手差し)の用紙のセットについて詳しくは、「4.1　用紙トレイ5(手差し)の基本的な使い方」を参照してください。**

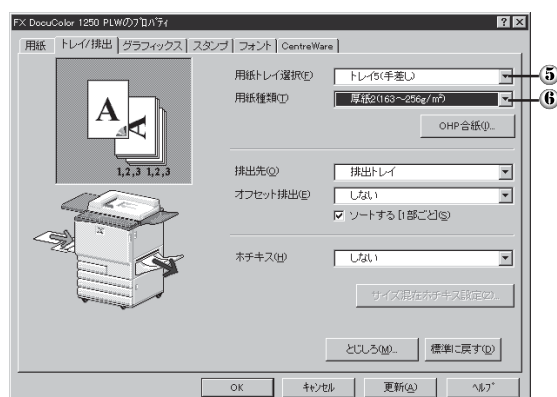
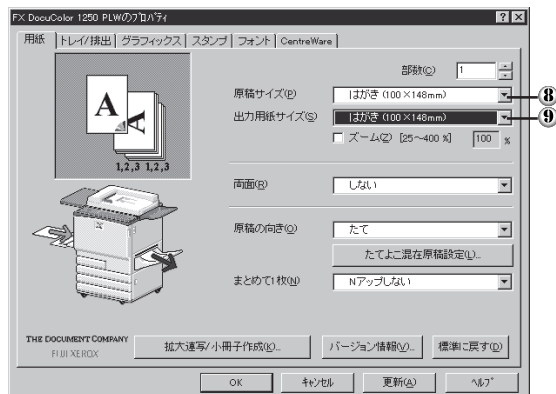
② **[ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。**

③ **[プリンタ名]を確認し、[プロパティ]ボタンをクリックします。**

④ **[トレイ/排出]タブをクリックします。**

⑤ **[用紙トレイ選択]メニューから、[トレイ5(手差し)]、または[手差しキー操作待ち]を選択します。**

⑥ **[用紙種類]メニューから、[厚紙2(163〜256g/m²)]を選択します。**

うら面を印刷するときは、[厚紙2(163〜256g/m²)うら面]を選択してください。

⑦ [用紙]タブをクリックします。

⑧ [原稿サイズ]メニューから、[はがき(100×148mm)]を選択します。

⑨ [出力用紙サイズ]メニューから、[はがき(100×148mm)]を選択します。

⑩ [OK]をクリックします。

⑪ [用紙トレイ選択]メニューで、[手差しキー操作待ち]を選択した場合は、プリンター用操作パネルの[排出/セット]を押すと、印刷が開始します。

OHPフィルム/電飾フィルムに印刷する

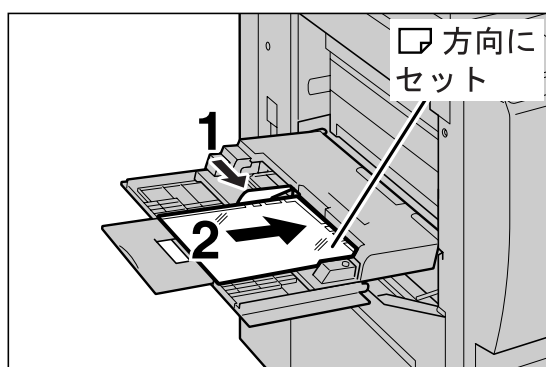
用紙トレイ5（手差し）を使用して、OHPフィルム/電飾フィルムに印刷できます。

各項目の指定は、［トレイ/排出］タブを表示して行います。

OHP合紙機能を使用すると、OHPフィルムに1枚印刷するごとに、合紙を自動的に挿入できます。設定は、OHP合紙ダイアログボックスを表示して行います。

ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSの手順も同様です。

注記
- 紙づまりや故障の原因になるので、OHPフィルム/電飾フィルムを用紙トレイ1、2、3、4にセットしないでください。また、OHPフィルムは、専用のOHPフィルムをご使用ください。専用以外のOHPフィルムを使用すると、故障や紙づまりの原因になります。
- OHPフィルム/電飾フィルムは、必ず□方向にセットしてください。
- A5、官製はがき、SRA3（320×450mm/12.6×17.7インチ）、8×10インチ□、5.5×8.5インチ、十六開□サイズの用紙は、合紙として使用できません。

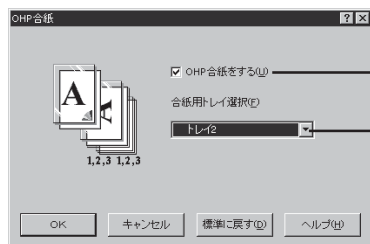
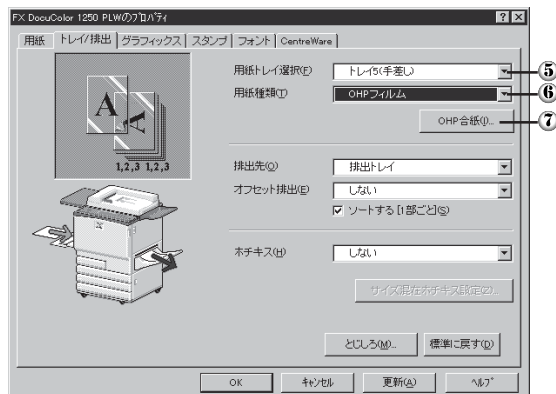
補足　プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

① 用紙サイズ合わせガイドを、セットするフィルムのサイズに合わせ、用紙トレイ5（手差し）にOHPフィルム、または電飾フィルムを□方向にセットします。

注記
- OHPフィルム/電飾フィルムは、必ず□方向にセットしてください。
- DocuColor 1250シリーズの場合は、用紙をセットしたときに表示される、本体操作パネル（タッチパネルディスプレイ）の手差し画面で、サイズ/紙質を指定する必要はありません。

補足
- 白枠があるOHPフィルムの場合は、「おもて」と書いてある面を上に、短辺の白い枠が挿入の先端になるように□方向にセットします。
- A3のOHPフィルム/電飾フィルムは、一枚ずつセットしてください。

参照　用紙トレイ5（手差し）の用紙のセットについて詳しくは、「4.1　用紙トレイ5（手差し）の基本的な使い方」を参照してください。

② ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

③ ［プリンタ名］を確認し、［プロパティ］ボタンをクリックします。

④ [トレイ/排出]タブをクリックします。

⑤ [用紙トレイ選択]メニューから、[トレイ5(手差し)]、または[手差しキー操作待ち]を選択します。

⑥ [用紙種類]メニューから、[OHPフィルム]、または[電飾フィルム]を選択します。
ここでは、OHPフィルムの場合を例にします。

⑦ OHP合紙機能を使用する場合は、[OHP合紙...]ボタンをクリックします。
OHP合紙ダイアログボックスが表示されます。

⑧ [OHP合紙をする]チェックボックスをオンにします。
変更の結果は、左側の仕上がりイメージで確認できます。

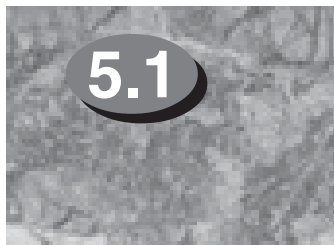
⑨ [合紙用トレイ選択]メニューから、合紙用の用紙トレイを選択します。
[プリンタの設定に従う]を選択すると、本機側で設定されている用紙トレイが使用されます。

参照 本機側の合紙用トレイの設定については、「6.2 共通メニューの設定」を参照してください。

⑩ [OK]をクリックします。

⑪ [用紙トレイ選択]メニューで、[手差しキー操作待ち]を選択した場合は、プリンター用操作パネルの[排出/セット]を押すと、印刷が開始します。

色に関する調整をして印刷する

5
章

5.1 白黒で印刷する

白黒で印刷するときは、[カラーモード]メニューから、[白黒]を選択します。[白黒]は、K(ブラック)トナーだけを使用して、白黒で印刷します。カラーの原稿も白黒で印刷します。

白黒で印刷する場合は、[印刷モード]が指定できます。

[カラーモード]と[印刷モード]の指定は、[グラフィックス]タブを表示して行います。

[印刷モード]は、[速度優先]、または[画質優先]を選択することができます。

選　択　肢	内　　　容
速度優先	速度を優先して印刷します。
画質優先	画質を優先して印刷します。[速度優先]より処理時間が多くかかります。

それぞれを選択したときの印刷方法、および他のグラフィックスプロパティとの組み合わせについては、次項以降で説明します。

[画質調整モード]は、[おすすめ]だけ選択できます。[おすすめ]は、富士ゼロックス独自の方式で、画質調整を行います。ただし、[おすすめ画質タイプ]リストボックスの画質タイプは選択できません。

補足 印刷するときに、アプリケーションに通知する解像度を指定できます。目的に応じて、[グラフィックス]タブの[解像度]メニューで、[600dpi]、[300dpi相当]、[200dpi相当]から選択します。本機の解像度は600dpiですが、[300dpi相当]、または[200dpi相当]を選択すると、600dpiで正常に印刷できないアプリケーションに対して、300dpi、または200dpiとして通知できます。[300dpi相当]、または[200dpi相当]を選択して印刷した場合、文字や色などの印刷結果に違いが現れることがあります。また、フォントをプリンターにダウンロードする場合にドットが粗くなることがあります。

5.1.1 速度を優先して白黒で印刷する

速度を優先して白黒で印刷するときに設定できる、[画質調整]モードとグラフィックスプロパティの各項目の機能の組み合わせは、次のとおりです。

補足 [カラーモード]が[白黒]の場合、[画質調整モード]は[おすすめ]だけ選択できます。ただし、[おすすめ画質タイプ]リストボックスの画質タイプは選択できません。

参照 画質調整モードについては「5.2　カラーで印刷する」、グラフィックスプロパティの各項目については「5.4　画質を調整する」を参照してください。

グラフィックスプロパティの項目 ＼ 画質調整モード	画質調整		カラーバランス					プロファイル指定		詳細設定													
										文字				図/表/グラフ				写真			全体		
	明度	彩度	コントラスト	ブラック	シアン	マゼンタ	イエロー	色温度／ガンマ指定	ICCプロファイル指定	グレー保証	スムージング	すべての色を黒に変換	黒文字まわりの白抜け防止	グレー保証	細い線を太くする	すべての色を黒に変換	閉領域以外の塗りつぶしをしない	画質自動補正	イメージ圧縮	スムージング	Image Enhancement	トナーセーブ	薄墨印刷
おすすめ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○

5.1.2　画質を優先して白黒で印刷する

画質を優先して白黒で印刷するときに設定できる、[画質調整]モードとグラフィックスプロパティの各項目の機能の組み合わせは、次のとおりです。

補足　[カラーモード]が[白黒]の場合、[画質調整モード]は[おすすめ]だけ選択できます。ただし、[おすすめ画質タイプ]リストボックスの画質タイプは選択できません。

参照　画質調整モードについては「5.2　カラーで印刷する」、グラフィックスプロパティの各項目については「5.4　画質を調整する」を参照してください。

グラフィックスプロパティの項目＼画質調整モード	画質調整			カラーバランス				プロファイル指定		詳細設定													
										文字				図/表/グラフ				写真			全体		
	明度	彩度	コントラスト	ブラック	シアン	マゼンタ	イエロー	色温度／ガンマ指定	ICCプロファイル指定	グレー保証	スムージング	すべての色を黒に変換	黒文字まわりの白抜け防止	グレー保証	細い線を太くする	すべての色を黒に変換	閉領域以外の塗りつぶしをしない	画質自動補正	イメージ圧縮	スムージング	Image Enhancement	トナーセーブ	薄墨印刷
おすすめ	○	×	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×

5.1.3　印刷のしかた

ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSの手順も同様です。

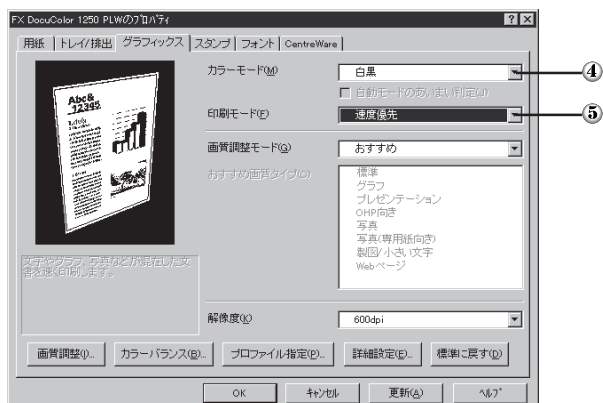
補足　プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

操作手順

1. **[ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。**

2. **[プリンタ名]を確認し、[プロパティ]ボタンをクリックします。**

3. **[グラフィックス]タブをクリックします。**

④ [カラーモード]メニューから、[白黒]を選択します。
変更の結果は、左上の画質イメージで確認できます。

⑤ [印刷モード]メニューから、[速度優先]、または[画質優先]を選択します。

⑥ [OK]をクリックします。

5.2 カラーで印刷する

カラーで印刷するときは、[カラーモード]メニューから、[カラー]を選択します。[カラー]は、CMYK(シアン/マゼンタ/イエロー/ブラック)すべてのトナーを混合して、カラーで印刷します。白黒のページも、CMYKすべてのトナーを混合して印刷します。

カラーで印刷する場合は、[印刷モード]と[画質調整モード]が設定できます。

[カラーモード]、[印刷モード]、[画質調整モード]の指定は、[グラフィックス]タブを表示して行います。

[印刷モード]は、[速度優先]、または[画質優先]を選択できます。

選　択　肢	内　　　容
速度優先	速度を優先して印刷します。
画質優先	画質を優先して印刷します。[速度優先]より処理時間が多くかかります。

それぞれを選択したときの印刷方法、および他のグラフィックスプロパティとの組み合わせについては、次項以降で説明します。

[画質調整モード]は、[おすすめ]、[ICM調整(システム)]、[CMS調整(アプリケーション)]から選択します。

[おすすめ]

富士ゼロックス独自の方式で、画質調整を行います。

[おすすめ]を選択した場合は、[おすすめ画質タイプ]リストボックスから、画質タイプを選択します。画質タイプを選択したときに表示される、左上の画質イメージも選択時の参考にしてください。

選択できる項目は次のとおりです。

選　択　肢	内　　　容
標準	文字やグラフ、写真などが混在した文書を速く印刷します。
グラフ	図や表、グラフの色むらを抑えたきれいな印刷ができます。
プレゼンテーション	色をあざやかに調整して印刷します。プレゼンテーション資料に適しています。
OHP向き	色の透過性を配慮した調整を行います。OHPフィルムへの印刷に適しています。
写真	写真やグラデーションをより美しく再現できます。sRGBで表現される画像の印刷に適しています。
写真(専用紙向き)	デジタルカメラなどの写真を専用のコート紙用に調整して印刷します。
製図/小さい文字	細い線で描かれた図面や細かい字の多い原稿を印刷する場合に適しています。
Webページ	Webページなどディスプレイ表示を再現したい場合に効果的です。

[ICM調整(システム)]

Windows® 98/Me、Windows® 2000のICM機能を使用して色変換を行います。[ICM調整(システム)]は、Windows® 98/Me、Windows® 2000の場合に表示されます。

[ICM調整(システム)]を選択した場合は、[インテント]リストボックスから色の変換方式を選択します。

補足 本機用のICCプロファイルを使用するには、ICCプロファイルをプリンタードライバーの[色の管理]タブに登録する必要があります。

選択できる項目は次のとおりです。

選　択　肢	内　　　容
鮮やかさ(Saturation)	プレゼンテーションなどのグラフィックスの再現性がよくなるように色変換します。
コントラスト(Perceptual)	写真などのイメージの再現性がよくなるように色変換します。
カラーメトリック(Colorimetric)	プリンタで再現可能な色だけを適切に再現し、再現範囲外の色は他の色に変換します。

[CMS調整(アプリケーション)]

プリンタードライバーは色変換しません。独自のCMS(カラーマネージメントシステム)を持つアプリケーションから印刷する場合は、プリンターの特性に合わせて色変換された色データをプリンタードライバーに指示します。この場合、プリンタードライバーで二重に色変換をしないように、この項目を選択します。

補足 印刷するときに、アプリケーションに通知する解像度を指定できます。目的に応じて、[グラフィックス]タブの[解像度]メニューで、[600dpi]、[300dpi相当]、[200dpi相当]から選択します。本機の解像度は600dpiですが、[300dpi相当]、または[200dpi相当]を選択すると、600dpiで正常に印刷できないアプリケーションに対して、300dpi、または200dpiとして通知できます。[300dpi相当]、または[200dpi相当]を選択して印刷した場合、文字や色などの印刷結果に違いが現れることがあります。また、フォントをプリンターにダウンロードする場合にドットが粗くなることがあります。

5.2.1　速度を優先してカラーで印刷する

速度を優先してカラーで印刷するときに設定できる、［画質調整］モードとグラフィックスプロパティの各項目の機能の組み合わせは、次のとおりです。

補足 **［ICM調整（システム）］は、**Windows® 98/Me、Windows® 2000**の場合に表示されます。**

参照 **画質調整モードについては「**5.2　**カラーで印刷する」、グラフィックスプロパティの各項目については「**5.4　**画質を調整する」を参照してください。**

グラフィックスプロパティの項目 ＼ 画質調整モード	画質調整			カラーバランス				プロファイル指定		詳細設定														
										文字				図/表/グラフ				写真			全体		
	明度	彩度	コントラスト	ブラック	シアン	マゼンタ	イエロー	色温度／ガンマ指定	ICCプロファイル指定	グレー保証	スムージング	すべての色を黒に変換	黒文字まわりの白抜け防止	グレー保証	細い線を太くする	すべての色を黒に変換	閉領域以外の塗りつぶしをしない	画質自動補正	イメージ圧縮	スムージング	Image Enhancement	トナーセーブ	薄墨印刷
おすすめ	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	○	×	○	○	×
ICM調整（システム）	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	○	×	○	×	○	○	×
CMS調整（アプリケーション）	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	○	×	○	×	○	○	×

5.2.2　画質を優先してカラーで印刷する

画質を優先してカラーで印刷するときに設定できる、[画質調整]モードとグラフィックスプロパティの各項目の機能の組み合わせは、次のとおりです。

補足　[ICM調整(システム)]は、Windows® 98/Me、Windows® 2000の場合に表示されます。

参照　画質調整モードについては「5.2　カラーで印刷する」、グラフィックスプロパティの各項目については「5.4　画質を調整する」を参照してください。

グラフィックスプロパティの項目 ＼ 画質調整モード	画質調整			カラーバランス				プロファイル指定		詳細設定												
										文字				図/表/グラフ				写真		全体			
	明度	彩度	コントラスト	ブラック	シアン	マゼンタ	イエロー	色温度／ガンマ指定	ICCプロファイル指定	グレー保証	スムージング	すべての色を黒に変換	黒文字まわりの白抜け防止	グレー保証	細い線を太くする	すべての色を黒に変換	閉領域以外の塗りつぶしをしない	画質自動補正	イメージ圧縮	スムージング	Image Enhancement	トナーセーブ	薄墨印刷
おすすめ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
ICM調整(システム)	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×
CMS調整(アプリケーション)	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×

5.2.3　印刷のしかた

ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSの手順も同様です。

補足　プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

操作手順

1. [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。

2. [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]ボタンをクリックします。

3. [グラフィックス]タブをクリックします。

④ ［カラーモード］メニューから、［カラー］を選択します。
変更の結果は、左上の画質イメージで確認できます。

⑤ ［印刷モード］メニューから、［速度優先］、または［画質優先］を選択します。

⑥ ［画質調整モード］メニューから、モードを選択します。
変更の結果は、左上の画質イメージで確認できます。

⑦ ［画質調整モード］で［おすすめ］を選択した場合は、［おすすめ画質タイプ］リストボックスから、画質タイプを選択します。［ICM調整（システム）］を選択した場合は、［インテント］リストボックスから、色の変換方式を選択します。
［おすすめ画質タイプ］の変更の結果は、左上の画質イメージで確認できます。

⑧ ［OK］をクリックします。

5.3 自動で印刷する

ページごとに色を判断し、白/黒以外の色が使われている場合は[カラー]、白/黒だけが使われている場合は[白黒]に、自動的に切り替えて印刷できます。[カラーモード]メニューから、[自動]を選択します。

[自動モードのあいまい判定]チェックボックスをオンにすると、ページ内の色成分に多少ばらつきがあっても白黒と判定します。オフにすると、色成分が等しい場合にだけ、白黒と判定します。

[自動]モードのときに設定できる、[印刷モード]、[画質調整モード]、他のグラフィックスプロパティの項目は、[カラーモード]メニューで、[カラー]を選択してカラーで印刷する場合と同じです。ただし、白黒と判定されたページは、[白黒]モードの設定で印刷されます。

参照 カラーで印刷する方法については、「5.2　カラーで印刷する」を参照してください。

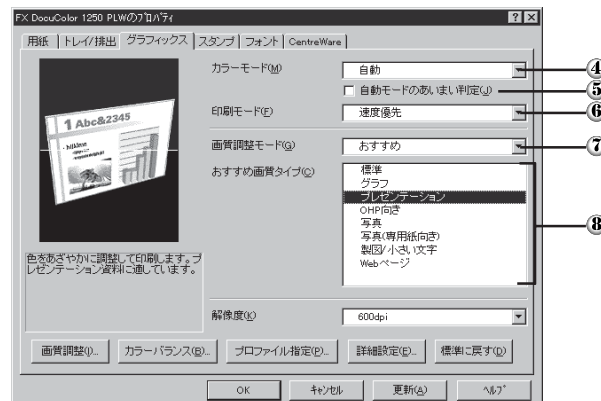
5.3.1　印刷のしかた

ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSの手順も同様です。

補足
- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
- 「スタンプ」機能を使用する場合、[カラーモード]が[自動]のときは、無彩色のページでも、スタンプが有彩色であればカラーで印刷されます。

操作手順

1. [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。
2. [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]ボタンをクリックします。
3. [グラフィックス]タブをクリックします。

④ [カラーモード]メニューから、[自動]を選択します。
変更の結果は、左上の画質イメージで確認できます。

⑤ 必要に応じて、[自動モードのあいまい判定]チェックボックスをオン、またはオフにします。

⑥ [印刷モード]メニューから、[速度優先]、または[画質優先]を選択します。

⑦ [画質調整モード]メニューから、モードを選択します。
変更の結果は、左上の画質イメージで確認できます。

⑧ [画質調整モード]で[おすすめ]を選択した場合は、[おすすめ画質タイプ]リストボックスから、画質タイプを選択します。[ICM調整(システム)]を選択した場合は、[インテント]リストボックスから、色の変換方式を選択します。
[おすすめ画質タイプ]の変更の結果は、左上の画質イメージで確認できます。

⑨ [OK]をクリックします。

5.4 画質を調整する

画質について詳細な設定をして印刷できます。

設定は、グラフィックスプロパティを表示して行います。グラフィックスプロパティには4つのタブがあります。それぞれのタブで設定できる項目は次のとおりです。

タ ブ 名	内 容
画質調整タブ	明度/彩度/コントラストを原稿全体、または文字、図/表/グラフ、写真の原稿要素ごとに調整できます。
カラーバランスタブ	ブラック/シアン/マゼンタ/イエローのトナー濃度を微調整できます。それぞれ低濃度、中濃度、高濃度の設定ができます。
プロファイル指定タブ	原稿画像を忠実に再現するために、デバイス(モニター、スキャナーなど)の特性に合わせた、色温度/ガンマ指定の設定や、ICCプロファイルの指定ができます。
詳細設定タブ	文字、図/表/グラフ、写真の原稿要素ごと、および原稿全体に対して、詳細な画質の設定ができます。

5.4.1 明度/彩度/コントラストを調整する

明度/彩度/コントラストは、原稿全体、または[文字]、[図/表/グラフ]、[写真]の原稿要素ごとに調整できます。
明度/彩度/コントラストは、それぞれ－100〜100の範囲で、1刻みに指定できます。原稿要素ごとに設定した場合は、印刷するページ内の要素を自動的に判断し、それぞれの設定値を適用します。

項 目 名	内 容
明度	色の明暗の度合いを表します。明度が高いほど白に近く見えます。
彩度	色の鮮やかさの度合いです。彩度が高いほど色が鮮やかです。
コントラスト	白から黒までの明暗の変化の度合いを表します。コントラストが高いほど明暗の変化が急です。

調整は、[画質調整]タブを表示して行います。
ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSの手順も同様です。

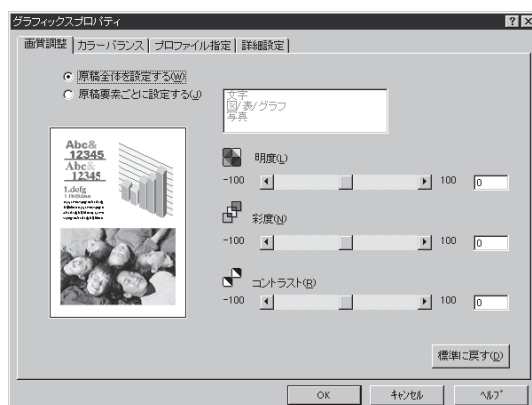
補足

- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
- [グラフィックス]タブの[カラーモード]が[白黒]の場合は、[印刷モード]の指定にかかわらず、彩度は調整できません。[印刷モード]が[画質優先]のときに、明度/コントラストだけ調整できます。
- [グラフィックス]タブの[画質調整]モードが[ICM調整(システム)]、または[CMS調整(アプリケーション)]の場合は、明度/彩度/コントラストは調整できません。[ICM調整(システム)]は、Windows® 98/Me、Windows® 2000の場合に表示されます。

操作手順

1. [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。

2. [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]ボタンをクリックします。

3. [グラフィックス]タブをクリックし、[画質調整...]ボタンをクリックします。
   グラフィックスプロパティが開き、[画質調整]タブが表示されます。

4. [原稿全体を設定する]、または[原稿要素ごとに設定する]ラジオボタンをクリックします。

5. [原稿要素ごとに設定する]を選択した場合は、右のリストボックスから原稿要素を選択します。

6. 明度/彩度/コントラストを調整します。
   キー入力、またはスライドバーで、−100〜100の範囲で、1刻みに調整します。変更の結果は、左側の画質イメージで確認できます。

7. [OK]をクリックします。

5.4.2　カラーバランスを調整する

CMYK(シアン/マゼンタ/イエロー/ブラック)のトナー濃度を調整して印刷できます。
各色とも低濃度/中濃度/高濃度に対して、それぞれ−3〜+3の範囲で、7段階の調整ができます。低濃度/中濃度/高濃度の範囲は、階調補正チャートの「Low」、「Mid」、「High」の濃度範囲を表します。階調補正を行うと、濃度の基準が変更できます。

参照 階調補正については、「第9章　階調補正操作」を参照してください。

調整は、[カラーバランス]タブを表示して行います。
ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSの手順も同様です。

補足
- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
- [グラフィックス]タブの[カラーモード]が[白黒]の場合は、ブラックだけ調整できます。
- [グラフィックス]タブの[印刷モード]が[速度優先]の場合は、カラーバランスは調整できません。

操作手順

1. [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。
2. [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]ボタンをクリックします。
3. [グラフィックス]タブをクリックし、[カラーバランス...]ボタンをクリックします。
   グラフィックスプロパティが開き、[カラーバランス]タブが表示されます。

4. [カラーバランスを調整する]チェックボックスをオンにします。
5. 右のリストボックスから、調整する色を選択します。
6. 濃度を調整します。
   低濃度/中濃度/高濃度のグラフの下の▲▼ボタンで、−3〜+3の範囲で、7段階の調整ができます。変更の結果は、グラフに表示されます。
7. [OK]をクリックします。

5.4.3 デバイス(モニター、スキャナーなど)の特性の違いを補正する

原稿画像を忠実に再現するために、デバイス(モニター、スキャナーなど)の特性に合わせた補正を行って印刷できます。
補正方法には[色温度/ガンマ指定]と、[ICCプロファイル指定]があります。
[色温度/ガンマ指定]は、すべての原稿要素に適応する[色温度]と[ガンマ補正]が指定できます。

項　目　名	内　　　容
色温度	使用しているモニターの設定に合わせて、すべての原稿要素の色あいを変化させます。モニターの特性に最も近いものを選択してください。[5000K(D50)]、[6500K(D65)]、[9300K]から選択できます。
ガンマ補正	すべての原稿要素の明るさを変化させます。[1.0]、[1.4]、[1.8]、[2.2]、[2.6]から選択できます。

[ICCプロファイル指定]は、[モニター]と[入力画像]に対してICCプロファイルを指定できます。ICCプロファイルとは、デバイスの色に関する特性を記述したファイルです。選択できるICCプロファイルは、モニターとRGBスキャナーのものに限ります。

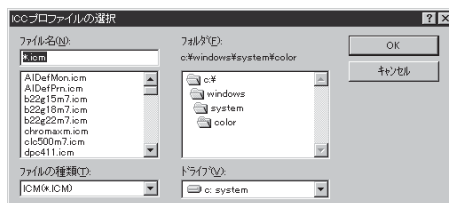
項　目　名	内　　　容
モニター	文字、図、表、グラフに適応するICCプロファイルを指定します。[しない]、または「最後に選択された有効なプロファイル名」を選択します。通常は、使用しているモニターのICCプロファイルを選択します。
入力画像	イメージデータに適応するICCプロファイルを指定します。[しない]、[モニターと同じ]、「最後に選択された有効なプロファイル名」から選択します。通常は、イメージを入力したRGBスキャナーのICCプロファイルを選択します。

補足　「最後に選択された有効なプロファイル名」は、以前にICCプロファイルを指定したことがある場合に表示されます。

また、[モニター]、[入力画像]ともに、ICCプロファイルを任意のフォルダーから読み込むことができます。ICCプロファイルの選択ダイアログボックスでは、ICCプロファイル拡張子の「.icm」を持つファイルだけが表示されます。指定できるファイル名は、フルパスで半角128文字です。
ICCプロファイルの選択ダイアログボックスを開くときのデフォルトディレクトリは、次のとおりです。

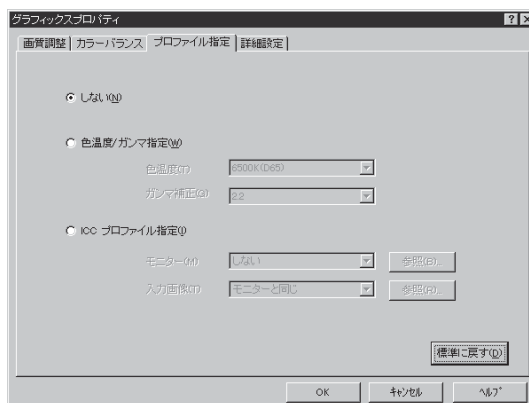
Windows® 95/98/Me:　x :¥windows¥system¥color¥
Windows NT® 4.0 :　x :¥winnt¥
Windows® 2000　:　x :¥winnt¥system32¥spool¥drivers¥color¥

補足　「x」は、ドライブ名です。

Windows® 95の例を示します。

調整は、[プロファイル指定]タブを表示して行います。
ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSの手順も同様です。

補足
- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
- [グラフィックス]タブの[カラーモード]が[白黒]で[印刷モード]が[速度優先]の場合と、[画質調整モード]が[ICM調整(システム)]、または[CMS調整(アプリケーション)]の場合は、補正できません。[ICM調整(システム)]は、Windows® 98/Me、Windows® 2000の場合に表示されます。

操作手順

1. [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。
2. [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]ボタンをクリックします。
3. [グラフィックス]タブをクリックし、[プロファイル指定]ボタンをクリックします。
   グラフィックスプロパティが開き、[プロファイル指定]タブが表示されます。

4. [色温度/ガンマ指定]、または[ICCプロファイル指定]のラジオボタンをクリックして、補正方法を選択します。
5. 選択した補正方法の詳細を指定します。
6. [OK]をクリックします。

5.4.4　画質について詳細な設定をする

文字、図/表/グラフ、写真の原稿要素ごと、および原稿全体に対して、詳細な画質の設定をして印刷できます。
設定できる項目は次のとおりです。

［文字］グループの設定項目

ここでの設定は、文字データにだけ有効です。

項　目　名	内　　　容
グレー保証	チェックボックスをオンにすると、無彩色の文字をK（ブラック）トナーだけを使用して印刷します。チェックボックスをオフにすると、CMYK（シアン/マゼンタ/イエロー/ブラック）すべてのトナーを混合して印刷します。有彩色の背景に対して無彩色の文字が浮いて見えるようなときは、オフにするとなじんで見えるようになることがあります。 補足 ［グラフィックス］タブの［カラーモード］が［白黒］の場合は選択できません。
スムージング	チェックボックスをオンにすると、文字の輪郭を滑らかに見えるようにします。 補足 ［グラフィックス］タブの［印刷モード］が［速度優先］の場合は選択できません。
すべての色を黒に変換	チェックボックスをオンにすると、カラー原稿を白黒で印刷する場合に、白/黒以外の色付きの文字も黒で印刷します。背景色と文字色の明度が近い場合に、色が付いた細かい文字が見にくくなることを防ぎます。 補足 ［グラフィックス］タブの［カラーモード］が［自動］、または［カラー］の場合は選択できません。
黒文字まわりの白抜け防止	チェックボックスをオンにすると、白以外の背景色で黒い文字を印刷したときに、文字の周囲に白いすき間が空いてしまうことを防ぎます。 補足 ［グラフィックス］タブの［カラーモード］が［白黒］の場合と、［印刷モード］が［速度優先］の場合は選択できません。

[図/表/グラフ]グループの設定項目

ここでの設定は、線などの図形データにだけ有効です。

項　目　名	内　　　容
グレー保証	チェックボックスをオンにすると、無彩色の図/表/グラフをK(ブラック)トナーだけを使用して印刷します。チェックボックスをオフにすると、CMYK(シアン/マゼンタ/イエロー/ブラック)すべてのトナーを混合して印刷します。有彩色の背景、グラフィック、文字に対して、無彩色の図/表/グラフが浮いて見えるようなときは、オフにするとなじんで見えるようになることがあります。 補足 [グラフィックス]タブの[カラーモード]が[白黒]の場合は選択できません。
細い線を太くする	チェックボックスをオンにすると、細い線を太くして印刷します。 補足 [初期設定]タブの[プリント機能]リストボックスの、[本体の標準ROMバージョン]が[2.0.7以上]の場合に選択できます。
すべての色を黒に変換	チェックボックスをオンにすると、カラー原稿を白黒で印刷する場合に、白/黒以外の色付きの図/表/グラフも黒で印刷します。色が付いた細かいラインが見にくくなることを防ぎます。 補足 [グラフィックス]タブの[カラーモード]が[自動]、または[カラー]の場合は選択できません。
閉領域以外の 塗りつぶしをしない	チェックボックスをオンにすると、面積が「0」の領域の塗りつぶしをしないで印刷します。 補足 [初期設定]タブの[プリント機能]リストボックスの、[本体の標準ROMバージョン]が[2.0.7以上]の場合に選択できます。

[写真]グループの設定項目

ここでの設定は、写真などのイメージデータにだけ有効です。

項　目　名	内　　　容
画質自動補正	ページ内の写真などのイメージデータの画質を判別し、その特性に応じてデータを自動で補正します。 補正する場合はメニューから、[明度/彩度自動補正]、または[白色補正]を選択します。 [明度/彩度自動補正]は、明度と彩度を補正します。 [白色補正]は、スキャンした画像や写真の画像などで、本来白い部分が薄い黄色や薄い青色で印刷されるときに使用すると、その部分だけはっきりとした白色に自動的に補正します。 補足 [グラフィックス]タブの[カラーモード]が[白黒]の場合と、[画質調整]モードが[ICM調整(システム)]、または[CMS調整(アプリケーション)]の場合は選択できません。[ICM調整(システム)]は、Windows® 98/Me、Windows® 2000の場合に表示されます。

項　目　名	内　　　容
イメージ圧縮	ページ内の写真などのイメージデータを圧縮して印刷します。 圧縮する場合はメニューから、[ALLA(標準/グラフ向き)]、または[JPEG(写真向き)]を選択します。 [ALLA(標準/グラフ向き)]は、富士ゼロックス独自の方式で画質を劣化させることなく圧縮します。ビジネス文書などを白黒でスキャンした画像のように、比較的同じ色使いが多いデータに適しています。 [JPEG(写真向き)]は、写真などに適しています。一般的にデータ圧縮効果が大きいですが、画質が若干低下することがあります。 画質を劣化させずに圧縮する場合は、[ALLA(標準/グラフ向き)]を選択してください。 補足 [初期設定]タブの[プリント機能]リストボックスの、[本体の標準ROMバージョン]が[2.0.7以上]の場合に選択できます。
スムージング	チェックボックスをオンにすると、イメージデータの解像度変換方法を変更して、画像を滑らかにします。オフにすると印刷速度が速くなります。 補足 [グラフィックス]タブの[印刷モード]が[速度優先]の場合は選択できません。

原稿全体に対する設定項目

ここでの設定は、原稿全体に有効です。

項　目　名	内　　　容
Image Enhancement	チェックボックスをオンにすると、原稿全面のエッジ部を滑らかにします。 オンにしたときに、濃度が滑らかに変化するようなイメージ(ビットマップ)を含む一部の原稿では、逆に滑らかな濃度変化が失われることがあります。この場合は、チェックボックスをオフにしてください。オン/オフによる印刷速度の変化はありません。
トナーセーブ	チェックボックスをオンにすると、トナーの消費量を少なくする印刷を行います。この機能を使用すると、使用しない場合に比べて全体的に色が薄くなります。画質にこだわらないで、ドラフト原稿などを印刷するときに適しています。
薄墨印刷	チェックボックスをオンにすると、白黒で印刷する場合に、黒で印刷される部分を薄墨色で印刷します。 補足 [グラフィックス]タブの[カラーモード]が[白黒]で、[印刷モード]が[速度優先]の場合にだけ選択できます。

それぞれの設定は、[詳細設定]タブを表示して行います。
ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSの手順も同様です。

補足 **プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。**

操作手順

1. **[ファイル]メニューの[印刷]をクリックします。**

2. **[プリンタ名]を確認し、[プロパティ]ボタンをクリックします。**

3. **[グラフィックス]タブをクリックし、[詳細設定...]ボタンをクリックします。**
グラフィックスプロパティが開き、[詳細設定]タブが表示されます。

4. **必要に応じて各項目を設定します。**

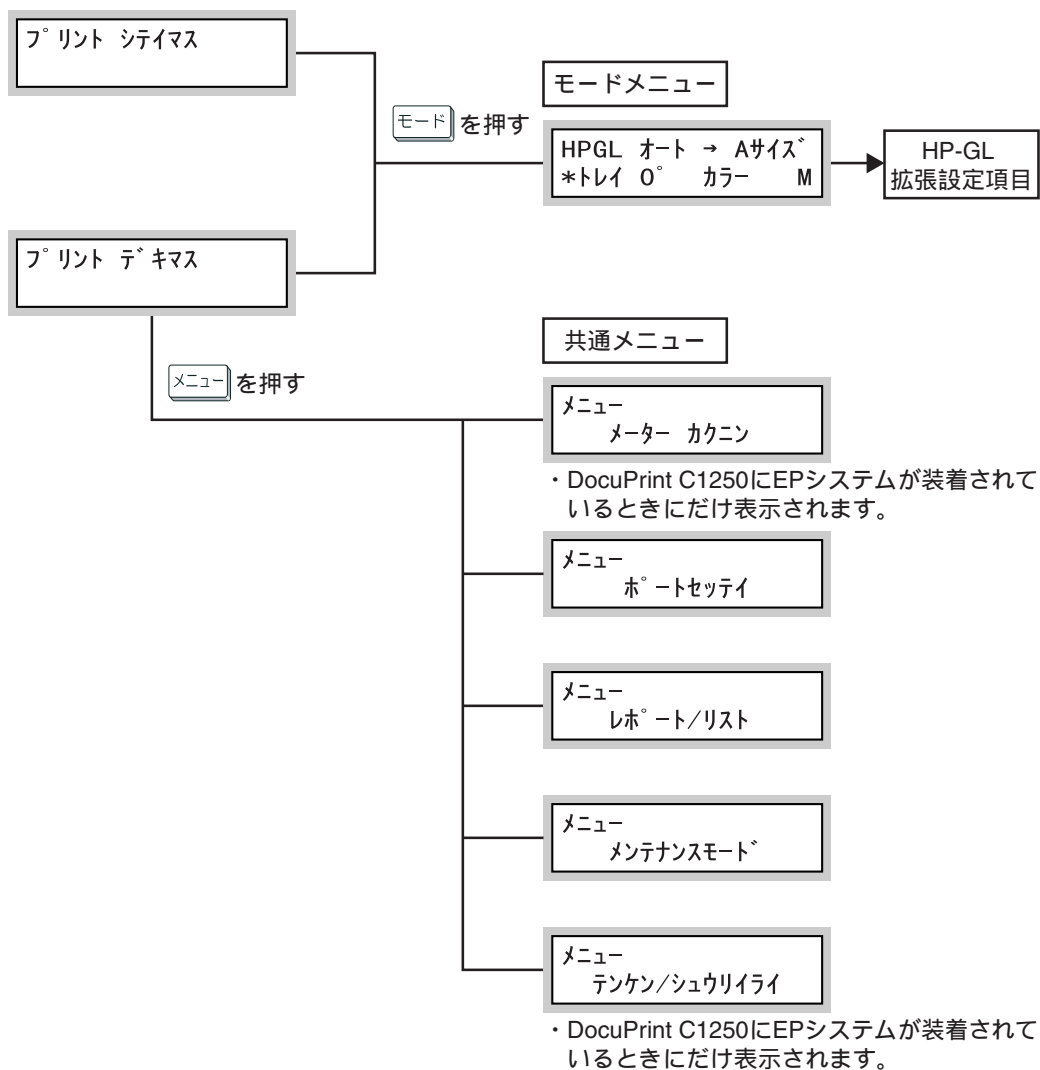
5. **[OK]をクリックします。**

6章 各種設定項目について

6.1 共通メニューとモードメニュー

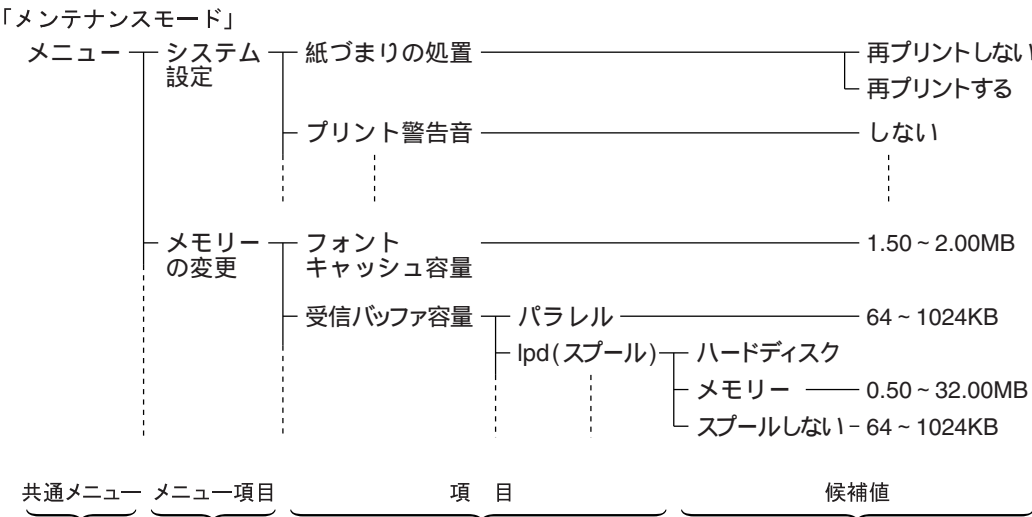
6.1.1 メニューの概要

メニューには、「共通メニュー」と「モードメニュー」があります。

- DocuPrint C1250にEPシステムが装着されているときにだけ表示されます。（メーター カクニン）
- DocuPrint C1250にEPシステムが装着されているときにだけ表示されます。（テンケン/シュウリイライ）

6.1.2　共通メニューの概要

共通メニューは、メーター確認(DocuPrint C1250にEPシステム装着時のみ)、ポート設定、レポート/リスト、メンテナンスモード、点検/修理依頼(DocuPrint C1250にEPシステム装着時のみ)から構成されています。すべてのプリントモードに共通の項目を設定する画面です。
共通メニューは、次のような階層で構成されています。

- 共通メニュー＞メニュー項目＞項目＞候補値

下の図は、共通メニューのメンテナンスモードの階層の一部を示したものです。

メーター確認（DocuPrint C1250にEPシステム装着時のみ）

メーター確認メニューは、印刷した枚数をディスプレイに表示するメニューです。現在と締め時ごとの枚数が表示されます。

参照 メーター確認の操作は、「1.9　メーターを確認する」を参照してください。

ポート設定

ポート設定メニューは、ホスト装置に接続されている本機のインターフェイスの種類、およびその通信に必要な条件を設定するためのメニューです。

補足 共通メニュー＞メンテナンスモード＞ポート状態で、印刷を行うポートが「停止」に設定されている場合、そのポートの各種設定はできません。

参照 ポート設定メニューで設定できる項目および操作は、「6.2　共通メニューの設定」を参照してください。

レポート/リスト

レポート/リストメニューは、エミュレーションモードの設定内容、プリンターの設定情報、エラー履歴、ジョブ履歴、フォントに関する情報、および出力の集計など本機内部の情報を印刷し、確認するためのメニューです。

参照 レポート/リストメニューで設定できる項目および操作は、「1.8　レポート/リストを印刷する」を参照してください。

メンテナンスモード

メンテナンスモードメニューは、本機の動作設定（アラーム時間/システム時計など）、メモリー容量の変更、ポート状態の設定、NVメモリーの初期化などを行うためのメニューです。

参照 メンテナンスモードメニューで設定できる項目および操作は、「6.2　共通メニューの設定」を参照してください。

点検/修理依頼（DocuPrint C1250にEPシステム装着時のみ）

このメニューは、EPシステムが装着されているときにだけ表示されます。通信回線を通じて、弊社に点検や修理を依頼するためのメニューです。

補足 このメニュー操作は、機械を管理する担当者が行ってください。

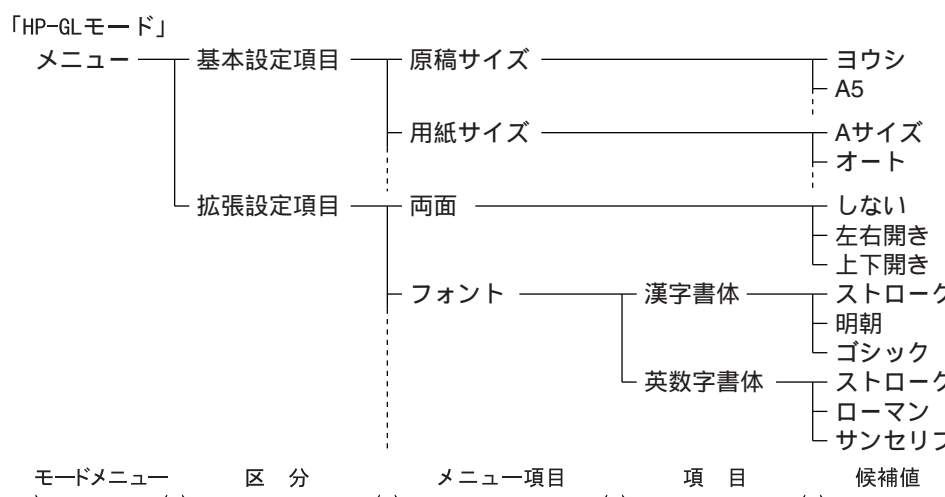
参照 点検/修理依頼の操作は、「7.5　点検/修理を依頼する」を参照してください。

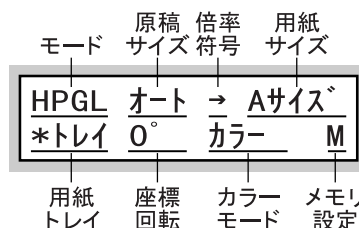
6.1.3　モードメニューの概要

モードメニューでは、エミュレーションのHP-GLモード固有の項目について設定します。
モードメニューの設定内容は、印刷中でも変更できます。この場合、変更された内容は、次のジョブから反映されます。
モードメニューは、次のような階層で構成されています。

- モードメニュー＞区分＞メニュー項目＞項目＞候補値

補足　項目がないメニュー項目もあります。項目は「項目1」「項目2」「項目3」に分けられる場合があります。（以降、特に断らないかぎり「項目」と呼びます。）

下の図は、モードメニューの階層の一部を示したものです。

基本設定項目

基本設定項目は、原稿や用紙のサイズ、用紙トレイ、カラーモードなど、モードメニューを選択したときに最初に表示される項目です。

拡張設定項目

拡張設定項目は、さらに細かくエミュレーション特有の条件を設定する項目です。

参照　モードメニューで設定できる項目および操作は、「6.3　モードメニューの設定」を参照してください。

各種設定項目について　6

6.2 共通メニューの設定

ここでは、共通メニューで設定できる項目と、その操作方法について説明します。

6.2.1　設定項目一覧

共通メニューで設定できる項目について、ポート設定、レポート/リスト、メンテナンスモードに分けて説明します。

参照 上記のメニューの設定方法については「6.2.2　設定方法」、メーター確認メニューについては「1.9　メーターを確認する」、点検/修理依頼メニューについては「7.5　点検/修理を依頼する」を参照してください。

ポート設定一覧

メニュー項目	説　明
パラレル	パラレルポートを使用する場合に設定します。 • **プリントモード指定**　*注記(1) プリントモードを設定します。 候補値は次のとおりです。 【ジドウ】（初期値） ホスト装置から送信されたデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。 【HPGL】【PLW】【PS】 ホスト装置から送信されたデータを、それぞれのデータとして処理します。【PS】は、PostScript®ソフトウェアキットが装着されている場合に表示されます。 【DUMP】 ホスト装置から送信されたデータの内容を確認するため、印刷データを16進表記形式で印刷します。この操作をダンププリントといいます。 • **JCL**　*注記(2) 通常、【ユウコウ】で使用します。本機では、どのプリント言語にも依存しないJCLコマンドを使用できます。 JCLコマンドを使用すると、その時点で本機がどのプリント言語を使用していても、引き続くデータのプリント言語を指定できます。 ここでは、ホスト装置から送られてくるJCLコマンドを有効にするか無効にするかを設定します。初期値は【ユウコウ】です。 • **自動排出時間**　*補足(1) データが受信されない状態が継続したとき、本機内に残っているデータを自動的に印刷して排出する時間を設定します。 時間は5～1275秒の間で、5秒単位に設定します。初期値は【30ビョウ】です。また、最後のデータを受信してから、ここで設定した時間内に次のデータが受信されない場合は、ジョブの終了と判断されます。 • **Adobe通信プロトコル** この項目は、PostScript®ソフトウェアキットが装着されている場合に表示されます。パラレル接続の場合に、PostScript®の通信プロトコルを選択します。 候補値は次のとおりです。 【Standard】（初期値） 通信プロトコルがASCII形式のときに設定します。 ↓次ページへ

メニュー項目	説　　明
パラレル	↓前ページより 【Binary】 通信プロトコルがバイナリー形式のときに設定します。データによっては印刷処理が【Standard】に比べて速くなることがあります。 【TBCP】 通信プロトコルにASCII形式とバイナリー形式が混在し、それらを特定の制御コードによって切り替えるときに設定します。 補足 ● ホスト装置のプリンタードライバーが出力するデータの形式に合わせて設定してください。 ● 通常は、初期値の設定【Standard】で使用してください。 ● ここでの設定は、パラレル＞プリントモード指定が【PS】の場合にだけ有効です。 ● **双方向送信** パラレルインターフェイスの双方向送信に関する設定をします。 双方向送信を行うときは【スル】、行わないときは【シナイ】に設定します。 初期値は【スル】です。 ● **インプットプライム** ＩＮＰＵＴ＿ＰＲＩＭＥ制御（ハードウェアリセット）を設定します。 INPUT_PRIME信号を受信すると、リセット処理が行われます。 初期値は【ユウコウ】です。 補足 この設定は、エミュレーションモードで使用します。 注記 ホスト装置によっては、印刷するたびにINPUT_PRIME信号が出力されてリセット処理が行われるので、プリンター用操作パネルから指定したメニュー操作の内容が印刷結果に反映されないことがあります。 このような場合は【ムコウ】を指定することによって、メニュー操作の内容を反映できます。
lpd	lpdポートを使用する場合に設定します。この項目は、インターフェイスボードが装着されている場合に表示されます。 ● **プリントモード指定**　*注記(1) プリントモードを設定します。 候補値は次のとおりです。 【ジドウ】（初期値） ホスト装置から送信されたデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。 【HPGL】【PLW】【PS】 ホスト装置から送信されたデータを、それぞれのデータとして処理します。【PS】は、PostScript®ソフトウェアキットが装着されている場合に表示されます。 【DUMP】 ホスト装置から送信されたデータの内容を確認するため、印刷データを16進表記形式で印刷します。この操作をダンププリントといいます。 ↓次ページへ

メニュー項目	説　明
lpd	↓前ページより ● **JCL**　*注記(2) 通常、【ユウコウ】で使用します。本機では、どのプリント言語にも依存しないJCLコマンドを使用できます。 JCLコマンドを使用すると、その時点で本機がどのプリント言語を使用していても、引き続くデータのプリント言語を指定できます。 ここでは、ホスト装置から送られてくるJCLコマンドを有効にするか無効にするかを設定します。初期値は【ユウコウ】です。
NetWare	NetWareポートを使用する場合に設定します。この項目は、インターフェイスボードが装着されている場合に表示されます。 ● **プリントモード指定**　*注記(1) プリントモードを設定します。 候補値は次のとおりです。 【ジドウ】（初期値） ホスト装置から送信されたデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。 【HPGL】【PLW】【PS】 ホスト装置から送信されたデータを、それぞれのデータとして処理します。【PS】は、PostScript®ソフトウェアキットが装着されている場合に表示されます。 【DUMP】 ホスト装置から送信されたデータの内容を確認するため、印刷データを16進表記形式で印刷します。この操作をダンププリントといいます。 ● **JCL**　*注記(2) 通常、【ユウコウ】で使用します。本機では、どのプリント言語にも依存しないJCLコマンドを使用できます。 JCLコマンドを使用すると、その時点で本機がどのプリント言語を使用していても、引き続くデータのプリント言語を指定できます。 ここでは、ホスト装置から送られてくるJCLコマンドを有効にするか無効にするかを設定します。初期値は【ユウコウ】です。
SMB	SMBポートを使用する場合に設定します。この項目は、インターフェイスボードが装着されている場合に表示されます。 ● **プリントモード指定**　*注記(1) プリントモードを設定します。 候補値は次のとおりです。 【ジドウ】（初期値） ホスト装置から送信されたデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。 【HPGL】【PLW】【PS】 ホスト装置から送信されたデータを、それぞれのデータとして処理します。【PS】は、PostScript®ソフトウェアキットが装着されている場合に表示されます。 【DUMP】 ホスト装置から送信されたデータの内容を確認するため、印刷データを16進表記形式で印刷します。この操作をダンププリントといいます。 ↓次ページへ

<table>
<tr><th>メニュー項目</th><th>説　　明</th></tr>
<tr><td>SMB</td><td>↓前ページより
● JCL　*注記(2)
通常、【ユウコウ】で使用します。本機では、どのプリント言語にも依存しないJCLコマンドを使用できます。
JCLコマンドを使用すると、その時点で本機がどのプリント言語を使用していても、引き続くデータのプリント言語を指定できます。
ここでは、ホスト装置から送られてくるJCLコマンドを有効にするか無効にするかを設定します。初期値は【ユウコウ】です。
● トランスポート
SMBのトランスポート層で使用するプロトコルを設定します。TCP/IP、NetBEUIのどちらか、または両方を使用できます。
• TCP/IP　　初期値は【テイシ】です。
• NetBEUI　初期値は【キドウ】です。
補足　TCP/IPを使用する場合は、ホスト装置側、本機側ともにIPアドレスが必要です。</td></tr>
<tr><td>EtherTalk</td><td>EtherTalkポートを使用する場合に設定します。この項目は、PostScript®ソフトウェアキットが装着されている場合に表示されます。
● プリントモード指定　*注記(1)
プリントモードを設定します。
候補値は次のとおりです。
【PS】（初期値）
ホスト装置から送信されたデータを、PostScript®データとして処理します。
【DUMP】
ホスト装置から送信されたデータの内容を確認するため、印刷データを16進表記形式で印刷します。この操作をダンププリントといいます。
● JCL　*注記(2)
本機では、どのプリント言語にも依存しないJCLコマンドを使用できます。
JCLコマンドを使用すると、その時点で本機がどのプリント言語を使用していても、引き続くデータのプリント言語を指定できます。
ここでは、ホスト装置から送られてくるJCLコマンドを有効にするか無効にするかを設定します。初期値は【ムコウ】です。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>メニュー項目</th><th>説　　明</th></tr>
<tr><td>IPP</td><td>IPPポートを使用する場合に設定します。
この項目は、インターフェイスボードが装着されている場合に表示されます。
● プリントモード指定　*注記(1)
プリントモードを設定します。
候補値は次のとおりです。
【ジドウ】（初期値）
ホスト装置から送信されたデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。
【HPGL】【PLW】【PS】
ホスト装置から送信されたデータを、それぞれのデータとして処理します。【PS】は、PostScript®ソフトウェアキットが装着されている場合に表示されます。
【DUMP】
ホスト装置から送信されたデータの内容を確認するため、印刷データを16進表記形式で印刷します。この操作をダンププリントといいます。
● JCL　*注記(2)
通常、【ユウコウ】で使用します。本機では、どのプリント言語にも依存しないJCLコマンドを使用できます。
JCLコマンドを使用すると、その時点で本機がどのプリント言語を使用していても、引き続くデータのプリント言語を指定できます。
ここでは、ホスト装置から送られてくるJCLコマンドを有効にするか無効にするかを設定します。初期値は【ユウコウ】です。</td></tr>
</table>

*注記（1）【ジドウ】設定時、自動判別の結果が本機に実装されていないプリント言語だった場合や、対象になるプリント言語に該当しない場合、そのデータは消去されます。

（2）
- 【ユウコウ】の設定時、プリントモードが【DUMP】に設定されている場合、JCLコマンドも【DUMP】で出力されます。
- JCLコマンドで本機に実装されていないプリント言語が指定された場合、データは消去されます。

*補足（1）［▼］または［▲］で候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続的に表示を変えることができます。また、［▼］と［▲］を同時に押すと、初期値が表示されます。

レポート/リスト一覧

<table>
<tr><th>メニュー項目</th><th>説　　明</th></tr>
<tr><td>エミュレーションモード</td><td>HP-GLモードの各種設定の内容を印刷します。
• HP-GL/2設定リスト
HP-GLモードの本機での設定内容を印刷します。
• HP-GL/2パレットリスト
ペンに設定する色情報を印刷します。実際に印刷される色と、その色番号の対応を確認できます。</td></tr>
<tr><td>プリンター設定リスト</td><td>本機のハードウェア構成、および各種設定の内容を印刷します。</td></tr>
<tr><td>エラー履歴レポート</td><td>本機に発生したエラーに関する情報（最大50件）を印刷します。
注記　NVメモリーを初期化すると、履歴は消去されます。</td></tr>
<tr><td>ジョブ履歴レポート</td><td>処理を行ったプリントジョブに関する情報（最大50件）を印刷します。プリントジョブが正しく終了したかを確認できます。
注記　• ジョブ履歴は、基本的に時刻の古い順に印刷されますが、処理時間の短いジョブの実行、ジョブの中止などで、印刷される順序が入れ替わることがあります。
• NVメモリーを初期化すると、履歴は消去されます。
補足　共通メニュー>メンテナンスモード>システム設定>自動ジョブ履歴を【スル】に設定すると、ジョブ履歴が50件になった時点で、自動的にプリントされます。
「ジョブ処理状態」には、次のようなエラー終了の内容が記載されることがあります。
<table>
<tr><th>印字内容</th><th>備　　考</th></tr>
<tr><td>プリント可能な最大ページ数を超えたため処理を中止しました。</td><td>印刷できる最大ページ数を超えたため、印刷できませんでした。
処置　プリントデータを分割するなどで、プリントデータのページ数を少なくしてください。</td></tr>
<tr><td>その他のエラー</td><td>エラーが発生して印刷できませんでした。
処置　もう一度印刷を指示してください。</td></tr>
<tr><td>用紙トレイまたは排出先で使用できないサイズが指定されました。</td><td>用紙トレイ、または排出先で使用できないサイズが指定されました。
処置　セットされている用紙サイズを確認して、使用できるサイズの用紙をセットしてください。</td></tr>
<tr><td>故障している装置にプリント指示されました。</td><td>故障している装置に印刷指示しました。
処置　エラー履歴レポートを印刷して、故障の内容を確認し、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。
参照　エラー履歴レポートの印刷のしかたは、「1.8　レポート/リストを印刷する」を参照してください。</td></tr>
</table>
↓次ページへ</td></tr>
</table>

メニュー項目	説　明
ジョブ履歴レポート	↓前ページより

印字内容	備　考
用紙トレイまたは排紙先で使用できない紙質が指定されました。	用紙トレイ、または排紙先で、使用できない紙質を指定して印刷指示しました。 処置 セットされている用紙の紙質を確認し、使用できる紙質の用紙をセットしてください。
用紙トレイまたは排出先がセットされていないか禁止されていました。	装着されていない用紙トレイ、または排出先を指定して印刷指示しました。 処置 実際に装着されている用紙トレイ、または排出先を指定してください。
プリントモードを自動的に判別できませんでした。	共通メニュー＞ポート設定＞プリントモード指定が【ジドウ】に設定されている場合に、プリントモードを自動的に判別できませんでした。 処置 プリントモード指定で、データに合わせたプリント言語を設定してください。
ディスクがないか、[紙づまりの処置]が[再プリントしない]でした。	内蔵ハードディスクが装着されていないか、共通メニュー＞メンテナンスモード＞システム設定＞紙づまりの処置が【サイプリントシナイ】に設定されています。このため、紙づまりが発生しましたが、再プリントせずにデータは消去されました。 処置 もう一度印刷を指示してください。用紙トレイ5（手差し）を使用している場合は、用紙が正しくセットされているか確認してください。
ディスク容量不足のため処理を中止しました。	ハードディスクの容量が不足しているため、印刷できませんでした。 処置 蓄積されている印刷データの処理が終わるまで待って、もう一度印刷を指示してください。または、プリントデータを分割するなどで、プリントデータのページ数を少なくしてください。
PLW メモリー容量不足のため処理ができませんでした。	メモリーが不足したため、PLWデータを処理できませんでした。 処置 共通メニュー＞メンテナンスモード＞メモリーの変更＞PLWメモリー容量で、PLWで使用するメモリー容量を増やしてください。
セットされていない用紙トレイまたは排出先が指定されました。	装着されていない用紙トレイ、または排出先が指定されました。 処置 用紙トレイや排出先を確認し、使用できる用紙トレイや排出先を指定してください。

↓次ページへ

<table>
<tr><th>メニュー項目</th><th>説　　明</th></tr>
<tr><td>ジョブ履歴レポート</td><td>
↓前ページより
<table>
<tr><th>印字内容</th><th>備　　考</th></tr>
<tr><td>ページ記述言語エラー（PLW）が発生しました。</td><td>PLWの処理中にエラーが発生しました。
処置 プリントデータを確認してください。</td></tr>
<tr><td>受信データがHP-GLスプールサイズを超えていました。</td><td>受信データがHP-GLスプールサイズを超えたため、正しい原稿サイズ判定が行われていない可能性があります。
処置 共通メニュー＞メンテナンスモード＞メモリーの変更＞HP-GLスプールで、HP-GLで使用するスプール容量を増やしてください。または、内蔵ハードディスクを装着してください。内蔵ハードディスクの装着は、DocuColor 1250シリーズは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店に依頼してください。DocuPrint C1250は、『取扱説明書（設置編）』を参照してください。</td></tr>
<tr><td>描画データがなかったため処理ができませんでした。</td><td>HP-GLのプリントデータ内に描画データがありません。
処置 プリントデータを確認してください。</td></tr>
<tr><td>ペーパーマージン値が有効範囲を超えたため処理ができませんでした。</td><td>HP-GLの有効座標エリアに対してペーパーマージン値が多すぎます。
処置 ペーパーマージン値を少なくしてください。</td></tr>
<tr><td>描画エラー
(********)</td><td>HP-GLのプリントデータの中にエラーを引き起こすデータが使用されています。********にはエラーコードが入ります。
処置 プリントデータを確認し、エラーを引き起こすデータを修正/削除してください。</td></tr>
<tr><td>HP-GLエラー
(********)</td><td>HP-GLのプリントデータで、パラメーターエラー、未定義コマンド受信、バッファオーバーが検出されました。********にはエラーコードが入ります。
処置 プリントデータを確認し、エラーを引き起こすデータを修正/削除してください。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>フォントリスト</td><td>印刷できるフォントの情報を印刷します。</td></tr>
<tr><td>PSフォントリスト</td><td>この項目は、PostScript®ソフトウェアキットが装着されている場合に表示されます。印刷できるPostScript®フォントの情報を印刷します。</td></tr>
<tr><td>集計レポート</td><td>各ホスト装置の印刷情報（カラーモード、用紙サイズごとの印刷ページ数、枚数など）を印刷します。</td></tr>
</table>

メンテナンスモード一覧

メニュー項目	説　明
システム設定	● **紙づまりの処置** この項目は、内蔵ハードディスクが装着されている場合に表示されます。紙づまりが発生したときに、再プリントするかどうかを設定します。工場出荷時は、再プリントするように設定されています。 ● **プリント警告音**　*補足(1) 本機に異常が発生したときに、警告音を鳴らすかどうかを設定します。警告音を鳴らす場合、警告音は、2〜90秒の間で2秒単位に設定できます。本機の異常を処置しないかぎり、警告音を鳴らし続けるようにしたい場合は、【レンゾク】に設定します。 初期値は、警告音を鳴らさないよう(【シナイ】)に設定されています。 補足　音量の調整はできません。 ● **スタートアップページ** スタートアップページの印刷を設定します。【スル】に設定すると、電源投入後、またはシステムリセットが実行されたあとに、スタートアップページが印刷されます。 初期値は、スタートアップページを印刷するよう(【スル】)に設定されています。 ● **節電モード時間(DocuPrint C1250のみ)**　*補足(1) 一定の時間が経過すると、自動的に機械の消費電力を節約する機能です。ここでは、節電モードに移行するまでの時間を15〜240分の間で1分単位に設定します。節電モードになると、ディスプレイに【セツデンチュウデス】と表示されます。初期値は【60フンゴ】です。 ● **システム時計**　*補足(1) 現在の日付(年/月/日)と時刻(時/分)を設定します。年は西暦年(4桁)です。ここで設定された日付/時刻がリストやレポートに印刷されます。 ● **自動ジョブ履歴** 処理を行ったプリントジョブに関する情報(ジョブ履歴レポート)を、自動的に印刷する機能です。 自動ジョブ履歴を【スル】に設定すると、過去に自動で排出されていないジョブ履歴が、記憶領域いっぱいになった時点(50件)で、古いものから自動的に印刷されます。 また、実行中および実行待ちのプリントジョブは記録されません。 初期値は、ジョブ履歴を自動的に印刷しないよう(【シナイ】)に設定されています。

メニュー項目	説　　明
メモリーの変更 *補足(1)	● フォントキャッシュ容量 フォントキャッシュメモリーの容量を設定します。 フォントキャッシュメモリーとは、アウトラインフォントデータを保管しておくメモリーのことです。フォントキャッシュメモリーの容量を大きくすると、格納できるデータ量が大きくなり、印刷時間を短縮できます。 1.50〜2.00MBの間で、0.25MB単位にメモリー容量を設定します。初期値は【1.50M】です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。 ● PSメモリー容量 この項目は、PostScript®ソフトウェアキットが装着されている場合に表示されます。PostScript®ソフトウェアで使用するメモリー容量を設定します。 8.00〜96.00MBの間で、0.25MB単位にメモリー容量を設定します。初期値は【16.00M】です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。 ● 受信バッファ容量 インターフェイスごとに、受信バッファ(ホスト装置から送信されるデータを一時的に蓄えておく場所)のメモリー容量を設定します。lpd、SMB、IPPの場合は、スプール処理の有無、配置場所、メモリー容量をそれぞれ設定します。 受信バッファ容量は、使用状況と目的に応じて変更できます。また、受信バッファ容量を増やすことで、各インターフェイスに対応するホスト装置の解放を早くすることができます。 候補値は、次のとおりです。 ● パラレル、NetWare、EtherTalkの場合 【NetWare】【EtherTalk】は、インターフェイスボードが装着されている場合に表示されます。64〜1024KBの間で32KB単位にメモリー容量を設定します。初期値は【256K】です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。 ● lpd、SMB、IPPの場合 【lpd】【SMB】【IPP】は、インターフェイスボードが装着されている場合に表示されます。 【ハードディスク】（内蔵ハードディスク装着時） スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、ハードディスクに用意されます。 【メモリー】(lpd、SMBのみ) スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、メモリーに用意されます。 この候補値を選択したときは、スプール処理用の受信バッファのメモリー容量を、0.50〜32.00MBの間で0.25MB単位に設定します。初期値は【1.00M】です。この項目を選択した場合、設定したメモリー容量よりも大きい印刷データは、受信できません。このようなときは、【ハードディスク】、または【スプールシナイ】を選択してください。 ↓次ページへ

<table>
<tr><th>メニュー項目</th><th>説　　明</th></tr>
<tr><td>メモリーの変更</td><td>↓前ページより
【スプールシナイ】
スプール処理は行われません。あるホスト装置からのlpd、SMB、IPPの処理をしている間は、他のホスト装置からのデータを受け付けることができません。
スプール処理を行わない場合も、lpd、SMB、IPP専用の受信バッファのメモリー容量を、64～1024KBの間で32KB単位に設定します。初期値は【256K】です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。
補足
• ポート状態が【テイシ】に設定されている場合は、対応する各項目は表示されません。
• ホスト装置から送信されるデータ量によっては、メモリーの容量を増やしてもホスト装置の解放時間が変わらない場合があります。
• PLWメモリー容量
PLWで使用するメモリー容量を設定します。
14.50～64.00MBの間で、0.25MB単位にメモリー容量を設定します。初期値は【14.50M】です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。
• HP-GLスプール
この項目は、内蔵ハードディスクが装着されていない場合に表示されます。HP-GLデコンポーザの作業用スプール容量を設定します。
64～5120KBの間で32KB単位に設定します。初期値は【64K】です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。
注記
• メモリー容量を変更するとリセットされるので、各メモリー領域に格納されているデータは、すべて消去されます。
• メモリーの全体量を超えた割り振りはできません。オプションの着脱時などで、電源を入れたときに、設定値が搭載メモリー容量を超えた場合は、システムによって自動的に調整されます。メモリーの割り振りについて詳しくは、DocuColor 1250シリーズは『取扱説明書（プリント機能設定編）』、DocuPrint C1250は『取扱説明書（設置編）』を参照してください。</td></tr>
<tr><td>ポート状態</td><td>電源投入時の各ポートの状態を設定します。
• パラレル
電源投入時に、パラレルポートの状態を起動にするか停止にするかを設定します。初期値は【キドウ】です。
• lpd
この項目はインターフェイスボードが装着されている場合に表示されます。電源投入時に、lpdポートの状態を起動にするか停止にするかを設定します。初期値は【テイシ】です。lpdを使用する場合、【キドウ】を選択してください。
注記
IPアドレスが設定されていないときに、lpdを【キドウ】に設定すると、IPアドレスの設定画面が表示されるので、IPアドレスを設定してください。
↓次ページへ</td></tr>
</table>

メニュー項目	説　明
ポート状態	↓前ページより ● NetWare この項目は、インターフェイスボードが装着されている場合に表示されます。電源投入時に、NetWareポートの状態を起動にするか停止にするかを設定します。初期値は【テイシ】です。NetWareを使用する場合、【キドウ】を選択してください。 補足 SMB＞トランスポート＞が【キドウ】でIPアドレスが設定されていないときに、NetWare を【キドウ】に設定すると、IPアドレスの設定画面が表示されるので、IPアドレスを設定してください。 ● SMB この項目は、インターフェイスボードが装着されている場合に表示されます。電源投入時に、SMBポートの状態を起動にするか停止にするかを設定します。初期値は【キドウ】です。ただし、ポート設定＞SMB＞トランスポートは、NetBEUIだけが【キドウ】になっています。 ● EtherTalk この項目は、インターフェイスボードが装着されている場合に表示されます。電源投入時に、EtherTalkポートの状態を起動にするか停止にするかを設定します。初期値は【テイシ】です。 ● IPP この項目はインターフェイスボードが装着されている場合に表示されます。電源投入時に、IPPポートの状態を起動にするか停止にするかを設定します。初期値は【テイシ】です。IPPを使用する場合、【キドウ】を選択してください。 注記 IPアドレスが設定されていないときに、IPPを【キドウ】に設定すると、IPアドレスの設定画面が表示されるので、IPアドレスを設定してください。 注記 ポート状態を起動に設定した場合に、配分されるメモリー容量が確保できずに、メモリー不足になったときは、システムによって自動的にメモリーが割り振られます。メモリーの割り振りについて詳しくは、DocuColor 1250シリーズは『取扱説明書（プリント機能設定編）』、DocuPrint C1250は『取扱説明書（設置編）』を参照してください。
初期化	NVメモリーとハードディスクの初期化と、システムリセットができます。 NVメモリーとは、電源を切っても本機の設定内容を保持しておくことができる不揮発性のメモリーのことです。 ● NVメモリー初期化 NVメモリーを初期化します。 NVメモリーを初期化すると、各種項目の候補値は初期値に戻ります。 ● ハードディスク初期化 内蔵ハードディスク装置を装着している場合、必要なときに内蔵ハードディスクを初期化します。 【スベテノリョウイキ】、【システムリョウイキ】、【ユーザーリョウイキ】から選択します。 注記 ハードディスクを初期化すると、ディスク内に保存されているデータはすべて消去されます。 ● システムリセット システムリセットを行います。 ↓次ページへ

<table>
<tr><th>メニュー項目</th><th>説　　明</th></tr>
<tr><td>初期化</td><td>↓前ページより
● 階調補正初期化（DocuPrint C1250のみ）
階調補正の濃度設定値の初期化を行います。
● 集計レポート初期化
出力集計レポートの初期化を行います。
参照 初期化することで設定されるそれぞれの初期値については、巻頭の「共通メニュー一覧」を参照してください。</td></tr>
<tr><td>SNMPエージェント設定</td><td>SNMPエージェントの起動または停止を設定します。
この項目は、インターフェイスボードが装着されている場合に表示されます。SNMPエージェントは、複数台のプリンターをリモートで管理できるアプリケーションソフトウェアの「CentreWare」を使用する場合に必要です。プリンターの情報は、SNMPエージェントで管理されており、CentreWareは、SNMPエージェントからプリンターの情報を収集します。
補足 「CentreWare」をNetWare環境で使用する場合はIPX、Windows NT環境で使用する場合はUDPでSNMPエージェントを起動してください。
● IPX
トランスポート層のプロトコルとしてIPXを使用して、SNMPエージェントの起動または停止を設定します。初期値は【キドウ】です。
● UDP
トランスポート層のプロトコルとしてUDPを使用して、SNMPエージェントの起動または停止を設定します。初期値は【テイシ】です。
注記 IPアドレスが設定されていないときに、UDPを【キドウ】に設定すると、IPアドレスの設定画面が表示されるので、IPアドレスを設定してください。このとき、IPアドレスを設定しないと、SNMPエージェントのUDPの値は強制的に【テイシ】に設定されます。
補足 SMB＞トランスポート＞TCP/IPを【キドウ】にする、lpd、SMB、IPPを【キドウ】にする、またはインターネットサービスを【キドウ】にすると、UDPは自動的に【キドウ】になります。
● コミュニティ登録
CentreWareから、本機に対して設定するためのコミュニティ名を、英数、半角カナ文字を使って12文字以内で設定します。初期値は【ミトウロク】です。
補足 コミュニティ登録は、SNMPエージェントのIPX 、またはUDPの値を【キドウ】にした場合に表示されます。</td></tr>
<tr><td>インターネットサービス</td><td>この項目は、インターフェイスボードが装着されている場合に表示されます。【キドウ】に設定すると、「CentreWare Internet Services」を使用し、Webブラウザを介して本機の状態やジョブの状態を表示したり、本機の設定を変更したりすることができます。初期値は【テイシ】です。
注記 IPアドレスが無効の場合、インターネットサービスを【キドウ】に設定すると、IPアドレスの設定画面が表示されるので、IPアドレスを設定してください。</td></tr>
<tr><td>EtherNet設定</td><td>この項目は、インターフェイスボードが装着されている場合に表示されます。
EtherNetの通信速度、およびEtherNetコネクターの種類が設定できます。
【ジドウ（T/TX）】（初期値）は、100BASE-TXと10BASE-Tを自動的に切り替えるモードです。【100BASE-TX】【10BASE-T】はそれぞれに固定するモード、【10BASE-5】は10BASE-5を使っている場合に選択します。</td></tr>
</table>

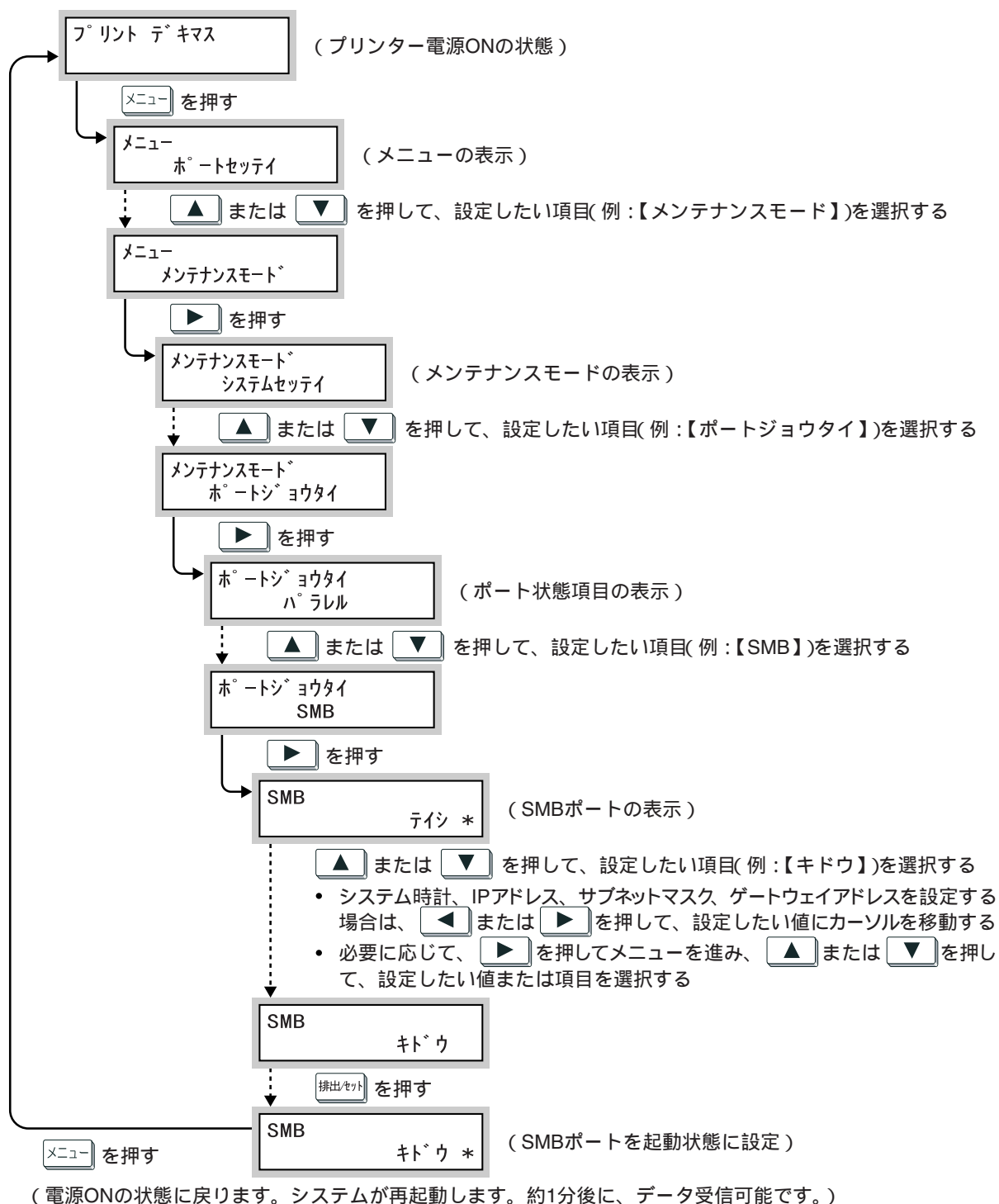
メニュー項目	説　明
ネットプロトコル設定	● **TCP/IP設定**　*補足(1) この項目は、インターフェイスボードが装着されている場合に表示されます。TCP/IPプロトコルを使用するために必要な情報(IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス)をDHCPサーバーから自動的に取得するか、手動で設定するかを指定します。設定する数値については、ネットワーク管理者に確認してください。 IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスとも、【aaa.bbb.ccc.ddd】の形式で表示されます。 候補値は次のとおりです。 【DHCPカラアドレスシュトク】 IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスをDHCPサーバーから自動的に取得する場合は、【スル】に設定します。初期値は【シナイ】です。 注記 DHCPカラアドレスシュトクを【スル】から【シナイ】に変更すると、IPアドレスの設定画面が表示されるので、IPアドレスを設定してください。 【IPアドレス】【サブネットマスク】【ゲートウェイアドレス】 IPアドレスとゲートウェイアドレスの場合は、aaa.bbb.ccc.dddとも、3桁の数値を0～255の間で設定します。サブネットマスクの場合は、aaa.bbb.ccc.dddとも、0、128、192、224、240、248、252、254、255の数値から設定します。 注記 • 誤ったIPアドレスを設定すると、ネットワーク全体に悪影響を及ぼすことがあります。 • サブネットマスクの設定では、正しい値を入力しなかった場合(途中のビットを"0"に設定した場合など)、数値の設定後に〔メニュー〕を押しても、もともと設定されていた値(前回の設定値)に戻ります。正しい値が設定されるまで、他の項目設定へ移行することはできません。 • 明示的にゲートウェイアドレスを指定する必要があるときだけ設定してください。動的にゲートウェイアドレスが設定できる環境では、設定する必要はありません。 補足 TCP/IP設定は、SNMPエージェント＞UDPを【キドウ】にする、SMB＞トランスポート＞TCP/IPを【キドウ】にする、lpd、SMB、IPPを【キドウ】にする、またはインターネットサービスを【キドウ】にすると表示されます。 ● **IPX/SPX設定** この項目は、インターフェイスボードが装着されている場合に表示されます。IPX/SPXの動作フレームタイプを設定します。 候補値は次のとおりです。 【ジドウ】(初期値) フレームタイプを自動で設定します。 【Ethernet II】 Ethernet仕様のフレームタイプを使用します。 【Ethernet 802.3】 IEEE802.3仕様のフレームタイプを使用します。 【Ethernet 802.2】 IEEE802.3/802.2仕様のフレームタイプを使用します。 【SNAP】 IEEE802.3/802.2/SNAP仕様のフレームタイプを使用します。 補足 IPX/SPX設定は、SNMPエージェント＞IPXを【キドウ】にするか、ポート状態＞NetWareを【キドウ】にすると表示されます。

メニュー項目	説　明
プリント設定	トレイに関する設定を行います。 ● **OHP合紙トレイ** OHP合紙機能を使用するときの合紙用の用紙トレイを指定します。【ジドウ】に設定すると、OHPフィルムと同じサイズ/向きの用紙トレイが自動的に選択されます。初期値は【ジドウ】です。 参照 OHP合紙機能については、「4.3　OHPフィルム/電飾フィルムに印刷する」を参照してください。 ● **自動トレイ禁止** 用紙サイズを指定して印刷する場合、通常は指定したサイズの用紙が、用紙トレイ5(手差し)以外の用紙トレイから検索されます(自動用紙選択)。サイズは同じでも用紙の種類(紙質や厚み)が異なるなどで、特定の用紙トレイを自動用紙選択の対象から外したい場合に【スル】に設定します。初期値はすべてのトレイで【シナイ】です。 ● **仕分け紙** すべての印刷ジョブと印刷ジョブの間に、仕分け紙(白紙)を挿入できます。仕分け紙は、印刷ジョブの最終ページに使用された用紙トレイの用紙になります。最終ページが用紙トレイ5(手差し)を使用した場合は、仕分け紙は挿入されません。初期値は【ナシ】です。
階調補正	この項目は、DocuPrint C1250の場合に表示されます。 200万線と150網点それぞれの、CMYK(シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック)の各濃度(低濃度、中濃度、高濃度)に対する誤差、および設定値を+6〜−6の範囲で設定します。+6を超えた場合は+6が、−6を下回る場合は−6が設定されます。 ● **200万線、150網点** ● **階調補正チャート** 用紙トレイ5(手差し)に、A4サイズのJ紙を□方向にセットしてください。階調補正チャートが印刷されます。印刷された階調補正チャートと、本体に同梱されている階調補正用色見本を比較して、補正する値を求めます。 ● **補正** CMYKそれぞれについて、L(Low)、M(Mid)、H(High)の値を+6〜−6の範囲で設定します。 参照 階調補正については、「第9章　階調補正操作」を参照してください。

*補足（1）　[▼]または[▲]で候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続的に表示を変えることができます。また、[▼]と[▲]を同時に押すと、初期値が表示されます(システム時計、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定は除く)。

各種設定項目について 6

6.2.2　設定方法

共通メニューの設定方法について、SMBポートを「起動」に設定する場合を例に説明します。

モードメニューの設定

ここでは、モードメニューで設定できる項目と、その操作方法について説明します。

6.3.1　設定項目一覧

モードメニューで設定できる項目について説明します。

参照 メニューの設定方法については「6.2.2　設定方法」を参照してください。

HP-GLモードメニュー一覧

区分	メニュー項目	説　明
基本設定項目	原稿サイズ *補足(1)	ホスト装置で作成した原稿のサイズを設定します。 候補値は次のとおりです。 【オート】（初期値） 【ヨウシ】 用紙サイズで指定したサイズと同じサイズになります。 【A5】【B5】【A4】【B4】【A3】【B3】【A2】【B2】【A1】【B1】【A0】【B0】 印字制御のスケールモード、エリア判定モード、ペーパーマージンの設定が有効になります。 補足 【オート】以外を選択すると、拡張設定項目のオートレイアウトの設定は【OFF】になります。
	用紙サイズ *注記(1) *補足(1), (2)	印刷する用紙のサイズを設定します。設定できる用紙はカット紙だけです。 候補値は次のとおりです。 • **用紙トレイが【＊トレイ】で、原稿サイズが【オート】のとき** 【Aサイズ】（初期値）【オート】【A4】【B4】【A3】【A5】【B5】 補足 【Aサイズ】、または【オート】を選択した場合は、次のように設定されます。 原稿サイズを【オート】以外に設定すると、【A3】になります。用紙トレイを【トレイ1】～【トレイ4】に設定すると、選択された用紙トレイの用紙サイズになります。用紙トレイを【テザシ】に設定すると、【A3】になります。 • **用紙トレイが【テザシ】のとき** 【A4】【B4】【A3】【A5】【B5】 • **用紙トレイが【トレイ＊】のとき** 【A4】【B4】【A3】【A5】【B5】【＊＊】(サイズ不明のとき)
	倍率符号	設定される倍率によって次の記号が表示されます。設定はできません。 【→】 倍率が範囲内です。 【？】 倍率が範囲外です。

各種設定項目について　6

区分	メニュー項目	説　　明
基本設定項目	用紙トレイ *注記(2) *補足(3)	印刷に使用する用紙トレイを設定します。 候補値は次のとおりです。 【＊トレイ】（初期値） 用紙サイズで設定した用紙がセットされている用紙トレイを検索し、そこから自動で給紙します。 ただし、【テザシ】(用紙トレイ5(手差し))は自動給紙の対象とはなりません。 【トレイ6】 【テザシ】 用紙トレイ5(手差し)から給紙します。このとき、用紙トレイ5(手差し)には用紙サイズで指定したサイズの用紙をセットしてください。 【トレイ4】 【トレイ3】 【トレイ2】 【トレイ1】 補足 【トレイ6】は、大容量給紙トレイが装着されている場合に表示されます。
	座標回転	印刷するときの用紙方向を設定します。 候補値は次のとおりです。 【0°】（初期値） 用紙方向を横長に設定します。 【90°】 用紙方向を縦長に設定します。
	カラーモード	印刷するカラーモードを設定します。 候補値は次のとおりです。 【カラー】（初期値） カラーで印刷します。 【モノクロ】 白黒で印刷します。
	メモリー設定 *注記(3) *補足(4)	NVメモリー(No.1〜No.5)に設定内容を登録し、必要に応じて呼び出すことができます。 • **立ち上げメモリ** 立ち上げメモリーとは、あらかじめメモリ登録で登録しておいたNVメモリー(No.1〜No.5)を電源投入時やシステムリセット時に読み出すことです。 ここでは、読み出すNVメモリーのNo.を設定します。 初期値は【No. 0コウジョウ】で、工場出荷時の設定内容を読み出して立ち上げます。 • **メモリ呼び出し** あらかじめ登録されている設定内容を呼び出す機能です。 ここでは、呼び出すNVメモリーのNo.を設定します。 初期値は【No. 0コウジョウ】で、工場出荷時の設定内容を呼び出します。 ↓次ページへ

区分	メニュー項目	説　　明
基本設定項目	メモリー設定	↓前ページより ● **メモリ登録** メモリーには、工場出荷時の設定内容を記憶しているROMと、ユーザーが設定内容を保存できるNVメモリー（No.1～No.5）があります。 メモリ登録では、NVメモリー（No.1～No.5）にあらかじめ設定した各モードメニューの各種設定内容をひとまとめにし、名前を付けて登録します。 登録しておくことによって、モードメニューの設定内容を簡単に呼び出したり、電源投入時に、毎回同じ設定を繰り返す必要がなくなります。 登録した設定内容は、NVメモリーの初期化、またはメモリー削除を行うまで保持されます。 ここでは、登録No.にそれぞれに任意の名前を設定します。 ● **メモリ削除** NVメモリーに登録した設定内容を削除します。 ここでは、削除するメモリーのNo.を設定します。

区分	メニュー項目	説　明
拡張設定項目	オートレイアウト	オートレイアウトを使用するかしないかを設定します。 候補値は次のとおりです。 【ON】（初期値） 【OFF】 補足 【ON】は、原稿サイズで【オート】が選択されている場合にだけ表示されます。
	パレット	使用するパレットを設定します。 候補値は次のとおりです。 【ソフトウェア】（初期値） 【プリンター】
	出力部数 *注記（4）、*補足（5）	印刷する部数を設定します。設定できる範囲は、1（初期値）～250部です。
	排出先 *注記（7）	用紙の排出先を設定します。 この項目は、メールボックス/ソーターが装着されている場合に表示されます。 候補値は次のとおりです。 【ハイシュツトレイ】（初期値） 【メールボックスビン1】～【メールボックスビン10】 指定したメールボックスのビンに排出されます。 補足 用紙トレイで【テザシ】が選択されている場合、【メールボックスビン1】～【メールボックスビン10】は表示されません。
	両面 *注記（5）、（6）	両面印刷を設定します。 この項目は、本体に両面印刷機能がある場合に表示されます。 候補値は次のとおりです。 【シナイ】（初期値） 両面印刷を行いません。 【サユウビラキ】 左右開きになるように印刷します。 【ジョウゲビラキ】 上下開きになるように印刷します。 補足 用紙トレイで【テザシ】が選択されている場合、【サユウビラキ】、【ジョウゲビラキ】は表示されません。
	フォント *参照（1）	● **漢字書体** 2バイト系文字（漢字）の書体をストローク（初期値）、明朝体、ゴシック体の中から設定します。なお、2バイト系半角文字もこの書体が適用されます。 ● **英数字書体** 1バイト系文字（ANK）の書体をストローク（初期値）、ローマン、サンセリフの中から設定します。

区分	メニュー項目	説　　明
拡張設定項目	位置補正 *補足(5)、(6)	ハードクリップエリアを移動させる機能です。縦横ともに－250～250mmまで1mm単位で設定できます。 ● **上下方向** －250～250mmの範囲で、1mm刻みに設定できます。初期値は【シナイ】です。 ● **左右方向** －250～250mmの範囲で、1mm刻みに設定できます。初期値は【シナイ】です。
	印字制御	● **HPGLモード** グラフィックス言語の変更ができます。この設定は、HP-GLコマンドのIW、OW、UCコマンドに影響します。 候補値は次のとおりです。 【HP-GL】（初期値） HP-GL、HP-GL/2、HP-RTLが動作可能です。 【HP-GL/2】 HP-GL/2、HP-RTLが動作可能です。 ● **ハードクリップ** ハードクリップエリアの大きさを設定します。 HP-GLモードでは、用紙によって、描画できる領域が決まっています。この領域はハードクリップエリアと呼ばれ、ペンが移動する最大範囲を決定します。従って、ハードクリップエリアを超えて描画することはできません。 候補値は次のとおりです。 【ヨウシ】（初期値） 用紙と同じサイズをハードクリップエリアとします。ただし、実際に印字できる範囲は、本機の印字可能エリアと同じです。 【ヒョウジュン】 本機の印字可能エリアをハードクリップエリアとします。 ● **排出コマンド** 描画の終了を示すコマンド（SP、SP0、NR、FR、PG、AF、AH）を設定します。ここで指定したコマンドを受信すると、描画を終了し、用紙が排出されます。工場出荷時は、SP0以外のコマンドは【OFF】に設定されています。 補足　複数のコマンドが指定された場合は、どれか1つのコマンドを受信した時点で、描画を終了して用紙が排出されます。 ● **スケール** 原稿サイズが用紙サイズに合うように、原稿サイズを拡大/縮小（スケーリング）するかを設定します。 【ON】（初期値） スケーリングします。 【OFF】 スケーリングしません。プリントデータは、等倍（100%）で印刷されます。この場合、用紙サイズ内にプリントデータが入りきらないことがあります。 ↓次ページへ

区分	メニュー項目	説　明
拡張設定項目	印字制御	↓前ページより ● **スケールモード** オートスケール実行時の原稿サイズを、A系列の用紙サイズ（A0、A1、A2、A3、A4、A5の6種類）とするか、エリア判定モードで選択された方法によって求められた有効座標エリアとするかを設定します。 候補値は次のとおりです。 【ヨウシサイズ】（初期値） 原稿サイズは、A系列の用紙サイズ（A0、A1、A2、A3、A4、A5の6種類）の中から自動的に選択されます。 【ザヒョウエリア】 原稿サイズは、エリア判定モードで選択された方法によって求められた有効座標エリアから、ページマージンを差し引いたエリアとします。 補足　【ザヒョウエリア】は、オートレイアウトが【ON】の場合だけ設定できます。【OFF】の場合は、【ヨウシサイズ】になります。 ● **エリア判定モード** オートスケール実行時、有効座標エリアを求める方法を設定します。 候補値は次のとおりです。 【オート】（初期値） 有効座標エリア判定方法を、PS、IW、IP、Adaptedの中から自動的に選択します。このときの優先順位は、PS＞IW＞IP＞Adaptedとなります。 【IW】 データ中の最後のIWコマンドで指定された領域を、有効座標エリアとします。データ中にIWコマンドがない場合は、Adaptedで有効座標エリアを決定します。 【IP】 データ中のすべてのIPコマンドで指定された領域を含むエリアを、有効座標エリアとします。データ中にIPコマンドがない場合は、Adaptedで有効座標エリアを決定します。 【Adapted】 以下の条件から有効座標エリアを決定します。 ● 描画を行うコマンドがプロットする最大と最小の位置座標 ● そのページ内に指定された最大の文字サイズ ● 最大の線幅 【PS】 データ中の一番最初のPSコマンドで指定された領域を、有効座標エリアとします。データ中にPSコマンドがない場合は、Adaptedで有効座標エリアを決定します。 ● **ペーパーマージン**　*補足(5) オートスケール実行時のペーパーマージンを設定します。 0〜99mmの範囲で、1mm刻みに設定できます。初期値は【0mm】です。 ↓次ページへ

区分	メニュー項目	説　明
拡張設定項目	印字制御	↓前ページより ● **イメージエンハンス** イメージエンハンスメントを行うか行わないかを設定します。 イメージエンハンスメントとは、画像の境界を滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。 候補値は次のとおりです。 【ON】（初期値） イメージエンハンスメント機能を使用して印刷します。 【OFF】 イメージエンハンスメント機能を使用しないで印刷します。 注記 スケールモード、エリア判定モード、ペーパーマージンの設定は、原稿サイズが【オート】の場合に有効となります。
	ペン属性	16本のペン（【No.00】～【No.15】）の属性を設定します。 作図する線の太さや色を設定できます。 ● **幅**　*補足(5) ペンの幅（太さ）を設定します。ペンの幅は、0.0～25.5mmの範囲で、0.1mm刻みに設定できます。初期値は【0.3mm】です。 補足 • 原稿サイズと用紙サイズの組み合わせによって縮小された場合、ペンの幅も最小0.1mmまで縮小します。 • 線の幅は線の中心から太くなります。 • 太さが0.0mmの場合は、何も描画されません。 ● **終端** ペンの終端を設定します。 【セツダン】（初期値） •：座標指定位置 【クケイ】 •：座標指定位置 【マルメ】 •：座標指定位置 ● **連結** ペンの線を接続した場合の処理を設定します。 【ナシ】（初期値）　【コウサ】 【マルメ】　【セツダン】 補足 • 【ナシ】は、処理時間がもっとも短く、確認用に適しています。 • シンボルモードコマンドによってシンボルが設定されている場合、連結処理は行われません。シンボルモードコマンドとは、シンボルを指定するHP-GLコマンドです。 ↓次ページへ

区分	メニュー項目	説　明
拡張設定項目	ペン属性	↓前ページより ● **カラー**　*補足(5) 各ペンの色を設定します。色番号は、0～255までの番号が設定できます。初期値は、HP-GL/2パレットリストの「標準の設定」を参照してください。 補足 ペン属性と文字書体の関係は次のとおりです。

書体 / ペン属性	ストローク	明朝、ゴシック、ローマン、サンセリフ
ペン幅	有効	無効
終端処理	有効	無効
連結処理	無効	
カラー	有効	

*注記（1）
- 用紙トレイで【トレイ1】～【トレイ4】のどれかを設定している場合、用紙サイズの設定はできません。
- 用紙トレイで【テザシ】を設定すると、両面印刷の設定が無効(【シナイ】)に変更されます。

（2）
- 【トレイ1】～【トレイ4】を設定した場合、その用紙トレイにセットされている用紙の大きさが用紙サイズとなるため、用紙サイズの設定はできません。
- 【テザシ】を設定した場合は、［◀］を押してカーソル(_)を用紙サイズの位置へ移動し、［▼］または［▲］を押して、用紙トレイ5(手差し)にセットした用紙のサイズを選択してください。
- 【テザシ】を設定した場合、指定した用紙サイズと用紙トレイ5(手差し)にセットされている用紙サイズが異なると、プリンター用操作パネルにメッセージが表示されます。
- 用紙トレイ5(手差し)を使用する場合は、メールボックスビンへの排出はできません。

（3）メモリーに設定内容が登録されていない場合、【No.1】～【No.5】は表示されません。

（4）
- ホスト装置から出力部数の指定があった場合、その値が反映されて印刷されます。印刷後、プリンター用操作パネルの設定もその値に書き換えられます。ただし、NetWare、lpd、EtherTalkポートから指定された部数は、印刷後、プリンター用操作パネルの設定は書き換えられません。

（5）用紙トレイ5(手差し)では、両面に印刷できません。用紙トレイで【テザシ】を設定して両面印刷を設定すると、自動的に【＊トレイ】に変更されます。

（6）両面印刷を指定して次の設定を行った場合、ページバッファの容量不足が原因で設定と異なる印刷結果となることがあります。
- **「用紙サイズ」：【A3】/「両面」：【サユウビラキ】または【ジョウゲビラキ】を設定した場合**
原稿の内容によってはジョブが中止されるか、次のように印刷されます。
  - 用紙サイズ：A3　片面

上記のような場合には、使用していないポートの状態を「停止」にするか、増設RAMモジュールの取り付けてページバッファの容量を増やしてください。なお、ページバッファの容量はプリンター設定リストで確認できます。

（7）「オフセット排出」機能を使用すると、排出先は【ハイシュツトレイ】になります。オフセット排出機能については、「3.7　ジョブ/部単位に位置をずらして排出する」を参照してください。

*補足（1）　原稿サイズと用紙サイズの組み合わせで、倍率符号が【？】となることがあります。この場合、原稿は等倍で印刷されます。

（2）　次のようなとき、候補値として【＊＊】が表示されます。

- 用紙トレイで【トレイ1】〜【トレイ4】のどれかを指定し、かつ、そのトレイに用紙トレイが装着されていないとき
- 用紙トレイで【トレイ1】〜【トレイ4】のどれかを指定し、かつ、その用紙トレイに故障が発生したとき
- 用紙トレイで【トレイ2】〜【トレイ4】のどれかを指定し、かつ、そのトレイにA5用紙がセットされているとき

（3）　【＊トレイ】を選択した場合、同じサイズの用紙が同じ用紙方向で複数のトレイにセットされているときは、トレイ1→トレイ2→トレイ3→トレイ4の順に給紙されます。
また、同じサイズの用紙が異なる向きで複数のトレイにセットされているときは、横にセットされている用紙が優先されます。

（4）
- 登録名として入力できる文字数は、最大8文字までです。
登録できる文字は次のとおりです。（［▲］を押した順に示します。）
アァイィウゥエェオォカキクケコサシスセソタチツッテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤャユュヨョラリルレロワンヲ ー ゛ ゜ ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz 0123456789 ␣（スペース）
- 登録中、ホスト装置からのコマンドによって設定値が異なってしまうことがあるため、登録は、［ポーズ］を押してポーズ状態へ移行してから行うことをお勧めします。

（5）　［▼］または［▲］で候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続的に表示を変えることができます。また、［▼］と［▲］を同時に押すと、初期値が表示されます（ただし、HPGLモード＞ペン属性＞幅の場合は0.0mm）。

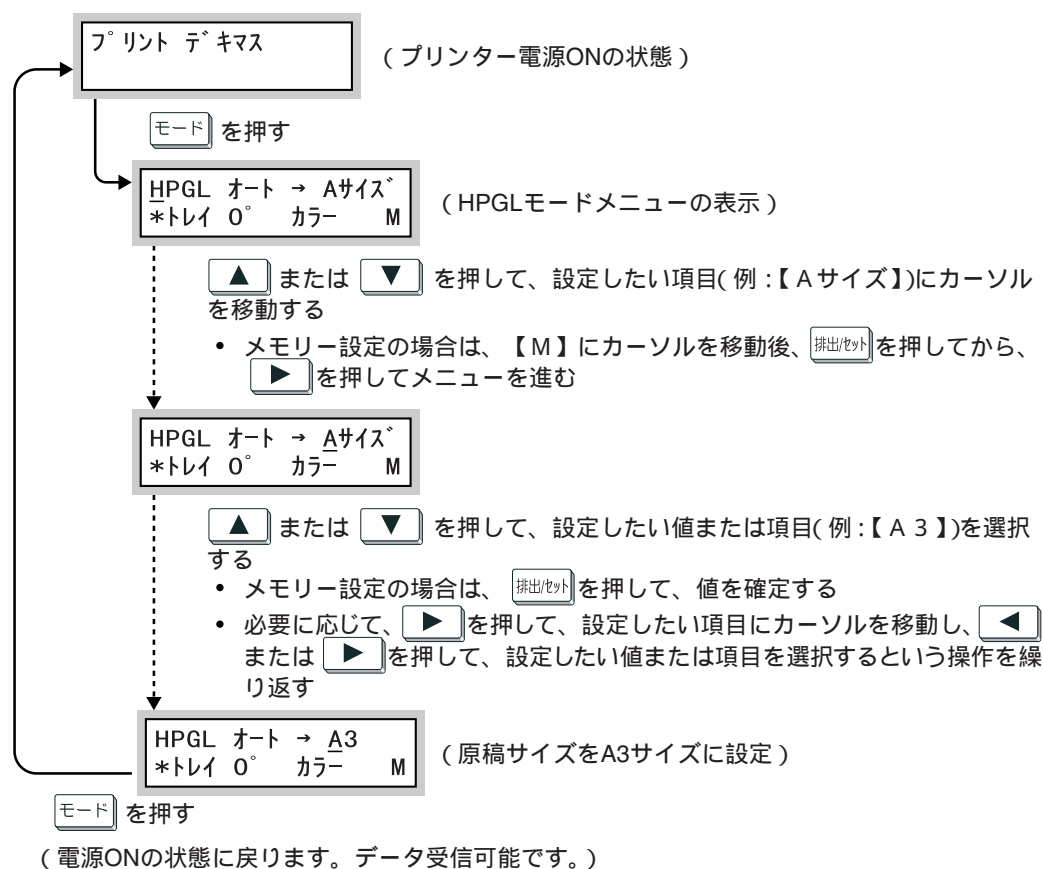
（6）　印字エリアを超えるデータは、位置補正をしても印字されません。また、位置補正によって印字エリアを超えたデータは、印字されません。

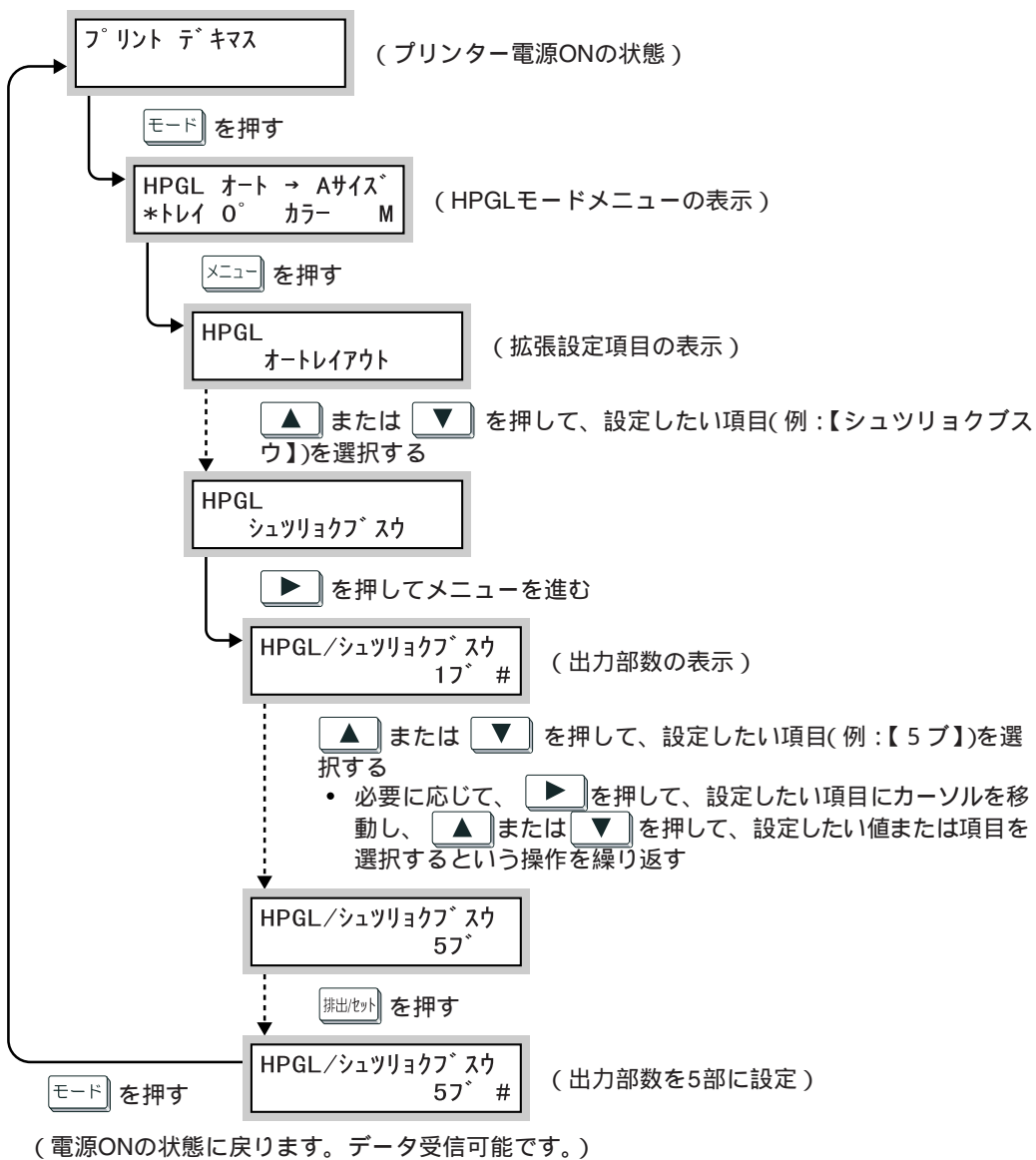
*参照（1）　フォントについては『取扱説明書（仕様編）』を参照してください。

6.3.2　設定方法

モードメニューの設定方法を、基本設定項目と拡張設定項目に分けて説明します。

基本設定項目

用紙サイズを「A3サイズ」に設定する場合を例に説明します。

拡張設定項目

出力部数を「5部」に設定する場合を例に説明します。

各種設定項目について

6

7
章

こまったときは

7.1 トラブルと思ったら

ここでは、本機に何らかのトラブルが発生した場合の対処方法について説明します。

紙づまりや本体内部のトラブルが発生した場合は、タッチパネルディスプレイ(DocuColor 1250シリーズのみ)、およびプリンター用操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージに従って対処してください。なお、対処しても正常に作動しないときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

DocuColor 1250シリーズの場合は、『取扱説明書(本体管理/コピー編)』の「7.1　トラブルと思ったら」もあわせてごらんください。

7.1.1　故障かな...と思う前に

故障かなと思う前に、もう一度、本機の状態を確認してください。
問題が解決しない場合は、「7.2　メッセージ一覧」に進んで、適切な処置を行ってください。

⚠警告　本機は精密部品、および高圧電源を使用しています。
ネジで固定されているパネルやカバーなどは取扱説明書で指示している箇所以外絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。オプションの着脱作業でネジで固定されているパネルやカバーを開ける場合には、必ず各取扱説明書の指示に従ってください。

⚠警告　本機を改造したり、部品を変更して使用しないでください。発火や発煙のおそれがあります。

症　状	原　因	処　置
電源が入らない	本機のブレーカースイッチ、および電源スイッチが切れていませんか?	ブレーカースイッチ、および電源スイッチを入れてください。 参照 「1.3　電源を入れる/切る」
	電源プラグがコンセントに入っていますか?	電源スイッチを切り、電源コードを確実に差し込んでください。そのあと、電源スイッチを入れてください。 参照 「1.3　電源を入れる/切る」、DocuPrint C1250は、『取扱説明書(設置編)』も参照してください。
	本機側の電源コードのコネクターが抜けていませんか?	電源スイッチを切り、電源コードを確実に差し込んでください。そのあと、電源スイッチを入れてください。 参照 「1.3　電源を入れる/切る」、DocuPrint C1250は、『取扱説明書(設置編)』も参照してください。

症　状	原　因	処　置
電源が入らない	電源の電圧が適切ですか?	電源が100V(ボルト)、15A(アンペア)であることを確認してください。 本機の最大消費電力(1500W)に見合った電源容量が確保されていることを確認してください。 参照「安全にご利用いただくために」、DocuColor 1250シリーズは、『取扱説明書(本体管理/コピー編)』の「安全にご利用いただくために」も参照してください。
印刷できない	「オンライン」ランプが消灯していませんか?	本機がポーズ状態、またはメニューを設定している状態になっています。下記のディスプレイの表示状態に応じて処置してください。 • 【ポーズシテイマス】 〈ポーズ〉を押して、ポーズ状態を解除します。 • その他 〈メニュー〉を押して、メニューを設定している状態を解除します。 参照「1.2　プリンター用操作パネル」
	ディスプレイにメッセージが表示されていませんか?	表示されているメッセージに従って処置してください。 参照「7.2　メッセージ一覧」
	本機とホスト装置を、パラレルインターフェイスケーブルで接続している場合、ホスト装置が、双方向送信に対応していません。	工場出荷時、本機の双方向送信の設定は、【スル】になっています。ホスト装置が、双方向送信に対応していないと、印刷できません。この場合は、操作パネルで、双方向送信の設定を【シナイ】にしてから印刷してください。 参照「6.2　共通メニューの設定」
用紙トレイ5(手差し)に印刷を指示したのに印刷されない	印刷を指定したサイズの用紙がセットされていますか?	正しいサイズの用紙をセットして、再度、印刷を指示してください。 参照「4.1　用紙トレイ5(手差し)の基本的な使い方」
「処理中」ランプが点灯、または点滅したまま印刷されない	印刷データが本機内に残っています。	印刷の中止、または残っているデータの強制排出をしてください。 参照「1.6　印刷を中止する」、「1.7　排出する」
印刷を指示していないのに、【プリントシテイマス】が表示される	本機の電源を入れたあとに、ホスト装置の電源を入れませんでしたか?	そのまま5分間待つか、〈プリント中止〉を押します。 補足 本機の電源を入れるときには、ホスト装置の電源が入っていることを確認してください。
	ハードディスクに印刷データが残っています。	印刷が終了するまでお待ちください。

こまったときは
7

症　状	原　因	処　置
紙づまりが頻繁に発生する	用紙トレイ1～4の場合、ガイドのセット位置がずれていませんか?	ガイドが正しくセットされていることと、ガイド位置と同じサイズの用紙がセットされていることを確認してください。 参照 「第2章　用紙のセット」
	用紙トレイ5（手差し）の場合、手前と奥のガイドのセット位置がずれていませんか?	12×18インチ、またはSRA3サイズの用紙に印刷するとき以外は、手前のガイドを通常の位置に合わせて、奥のガイドを用紙サイズに合わせてください。 参照 「4.1　用紙トレイ5（手差し）の基本的な使い方」
印刷を指示したのに「処理中」ランプが点滅、または点灯しない。	インターフェイスケーブルが抜けていませんか?	電源スイッチを切り、ディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜き、インターフェイスケーブルの接続を確認してください。 参照 DocuColor 1250シリーズは、『取扱説明書（プリント機能設定編）』、DocuPrint C1250は、『取扱説明書（設置編）』
	インターフェイスボードを使用している場合、インターフェイスボードは正しくセットされていますか?	電源スイッチを切り、ディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜き、インターフェイスボードの装着状態を確認してください。 参照 DocuColor 1250シリーズは、『取扱説明書（プリント機能設定編）』、DocuPrint C1250は、『取扱説明書（設置編）』
	使用するインターフェイスが【キドウ】に設定されていますか?	インターフェイスのポート状態を確認してください。 参照 「6.2　共通メニューの設定」
	ホスト装置側の環境が正しく設定されていますか?	プリンタードライバーなど、ホスト装置側の環境を確認してください。
	メモリー容量が不足していませんか?	各ポートの状態を確認し、ポートの状態が【キドウ】になっていない場合は、メモリーが不足している可能性があります。その場合は、増設RAMモジュールを追加する必要があります。 増設RAMモジュールの追加は、DocuColor 1250シリーズは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店に依頼してください。DocuPrint C1250は、電源スイッチを切り、ディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜き、『取扱説明書（設置編）』を参照し、増設RAMモジュールを取り付けて、メモリーを増設してください。 補足 メモリーの容量が不足していると、本機は自動的にインターフェイスを【テイシ】に設定し直して、起動します。

補足
- 印刷処理が正しく行われなかった場合、その情報はジョブ履歴レポートに保存されます。ジョブ履歴レポートを印刷して、印刷処理状況を確認してください。正しく処理できない印刷データは破棄されることがあります。

参照
- ジョブ履歴レポートの印刷方法については、「1.8　レポート/リストを印刷する」を参照してください。

7.1.2　保守サービス

本章に従って処置しても障害を復旧できないときは、本機の電源を切り、プリンター用操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

参照
- DocuColor 1250シリーズの場合、『取扱説明書（本体管理/コピー編）』の「付録C　保守サービスについて」もごらんください。

7.2 メッセージ一覧

ここでは、プリンター用操作パネルのディスプレイに表示されるメッセージについて説明します。メッセージは、DocuColor 1250シリーズ、DocuPrint C1250両方を載せています。メッセージによっては、どちらかの機種にだけ表示されるものもあります。

7.2.1 本機の状態を知らせるメッセージ

本機が正常な状態の場合は、「通常メッセージ」、「予告メッセージ」が表示されます。

メッセージ	種類	状　　態
オマチクダサイ	通常	本機のシステムの状態を診断/初期化しています。 電源スイッチを入れたときや、システムリセット時に表示されます。しばらくすると、【プリントデキマス】のメッセージに変わります。
プリント デキマス	通常	ホスト装置から印刷データを受信できる状態です。
オマチクダサイ (**フン)	通常	受信データを印刷するための、ウォームアップ中です。 補足 ホスト装置からの印刷データを受信できます。
プリント シテイマス XXXX xxxx	通常	印刷中です。 補足 ホスト装置からの印刷データを受信できます。
データマチデス XXXX xxxx	通常	印刷データを待っている状態です。 補足 ホスト装置からの印刷データを受信できます。
ハイシュツ シテイマス XXXX xxxx	通常	印刷データを排出しています。 補足 ホスト装置からの印刷データを受信できます。
チュウシ シテイマス XXXX xxxx	通常	印刷中のデータを破棄しています。 補足 ホスト装置からの印刷データを受信できます。
ポーズ シテイマス	通常	ポーズを押した、ポーズ状態になっています。 ポーズ状態を解除するには、再び ポーズ を押してください。 補足 ホスト装置からの印刷データは受信できません。

補足 「*」は数字を表します。「xxxx」はポート状態を表します。「XXXX」はモード、または印刷しているレポート/リストを表します。

メッセージ	種類	状　　態
ｽﾍﾞﾃﾉ ﾃﾞｰﾀｦ ﾊｲｼｭﾂ ｼﾃｲﾏｽ	通常	本機内に残っている印刷データを強制排出中です。 補足 ホスト装置からの印刷データは受信できません。
ｽﾍﾞﾃﾉ ﾃﾞｰﾀｦ ﾁｭｳｼ ｼﾃｲﾏｽ	通常	本機内に残っている印刷データを破棄中です。 補足 ホスト装置からの印刷データは受信できません。
XXXX ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ	通常	レポート/リストを印刷しています。 補足 ホスト装置からの印刷データは受信できません。
ﾌﾖｳﾅ ﾖｳｼ ｦ ﾊｲｼｭﾂ ｼﾃｲﾏｽ	通常	本機内の不要な用紙を排出しています。 補足 ホスト装置からの印刷データは受信できません。
ｼｽﾃﾑｾｯﾃｲ ｦ ｼｮｷｶ ｼﾃｲﾏｽ	通常	NVメモリーを初期化しています。 補足 ホスト装置からの印刷データは受信できません。
ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸ ｦ ｼｮｷｶ ｼﾃｲﾏｽ	通常	ハードディスクを初期化しています。 補足 ホスト装置からの印刷データは受信できません。
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ ｼｮｳﾓｳﾋﾝ ｶｸﾆﾝ	予告	消耗品の交換時期です。タッチパネルディスプレイに表示されているメッセージを確認して、処置してください。タッチパネルディスプレイに表示がない場合は、〈仕様設定/登録/メーター確認〉ボタンで確認できます。 参照 『取扱説明書（本体管理/コピー編）』の「8章　日常の管理」 補足 印刷処理、および印刷データの受信が可能です。
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ ﾄﾅｰ ﾉ ｺｳｶﾝｼﾞｷﾃﾞｽ	予告	複数のトナーカートリッジの残量が少なくなっています。状態表示部のランプを確認して、該当するトナーカートリッジを準備してください。 参照 「8.2　トナーカートリッジを交換する」 補足 印刷処理、および印刷データの受信が可能です。
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ ｼｱﾝﾄﾅｰ ｺｳｶﾝｼﾞｷ	予告	シアントナーカートリッジの残量が少なくなっています。新しいシアントナーカートリッジを準備してください。 参照 「8.2　トナーカートリッジを交換する」 補足 印刷処理、および印刷データの受信が可能です。
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ ﾏｾﾞﾝﾀﾄﾅｰ ｺｳｶﾝｼﾞｷ	予告	マゼンタトナーカートリッジの残量が少なくなっています。新しいマゼンタトナーカートリッジを準備してください。 参照 「8.2　トナーカートリッジを交換する」 補足 印刷処理、および印刷データの受信が可能です。

補足 「XXXX」はモード、または印刷しているレポート/リストを表します。

メッセージ	種類	状　　態
プ゛リント デ゛キマス イエロートナー コウカンジ゛キ	予告	イエロートナーカートリッジの残量が少なくなっています。新しいイエロートナーカートリッジを準備してください。 参照「8.2　トナーカートリッジを交換する」 補足 印刷処理、および印刷データの受信が可能です。
プ゛リント デ゛キマス ブ゛ラックトナー コウカンジ゛キ	予告	ブラックトナーカートリッジの残量が少なくなっています。新しいブラックトナーカートリッジを準備してください。 参照「8.2　トナーカートリッジを交換する」 補足 印刷処理、および印刷データの受信が可能です。
プ゛リント デ゛キマス ボ゛トル[A]ノ コウカンジ゛キ	予告	トナー回収ボトルの交換時期です。新しいトナー回収ボトルを準備してください。 参照「8.3　トナー回収ボトルを交換する[A]」 補足 印刷処理、および印刷データの受信が可能です。
プ゛リント デ゛キマス ボ゛トル[C]ノ コウカンジ゛キ	予告	現像剤回収ボトルの交換時期です。新しい現像剤回収ボトルを準備してください。 参照「8.4　現像剤回収ボトルを交換する[C]」 補足 印刷処理、および印刷データの受信が可能です。
プ゛リント デ゛キマス オイル[D]ノ コウカンジ゛キ	予告	オイルカートリッジの残量が少なくなっています。新しいオイルカートリッジを準備してください。 参照「8.5　オイルカートリッジを交換する[D]」 補足 印刷処理、および印刷データの受信が可能です。
プ゛リント デ゛キマス ト゛ラム[B]ノ コウカンジ゛キ	予告	ドラムカートリッジの交換時期です。新しいドラムカートリッジを準備してください。 参照「8.6　ドラムカートリッジを交換する[B]（スポット保守のお客様のみ）」 補足 印刷処理、および印刷データの受信が可能です。
プ゛リント デ゛キマス クリーニング゛[E]ジ゛キデ゛ス	予告	クリーニングカートリッジの残量が少なくなっています。新しいクリーニングカートリッジを準備してください。 参照「8.7　クリーニングカートリッジを交換する[E]（スポット保守のお客様のみ）」 補足 印刷処理、および印刷データの受信が可能です。
プ゛リント デ゛キマス ホチキス[F]ノ コウカンジ゛キ	予告	ホチキスカートリッジの残量が少なくなっています。新しいホチキスカートリッジを準備してください。 参照「フィニッシャー取扱説明書」 補足 印刷処理、および印刷データの受信が可能です。

7.2.2　操作上の誤りや故障を知らせるメッセージ

操作上の誤りや故障などを知らせるメッセージについて説明します。

注記
- メッセージが表示されたまま一定時間放置すると、本機内に残っている印刷データが破棄されることがあります。長時間放置しないようにしてください。
- 本機内に残っている印刷データや、本機のメモリーに蓄えられた情報は保証されません。

補足　異常が発生したときの警告音について設定できます。警告音の設定については、「6.2　共通メニューの設定」を参照してください。

メッセージ	原因/処置
トレイ＊ ヲ セット シテクダ サイ	【原因】　用紙トレイ＊が引き出されています。 【処置】　用紙トレイを正しくセットしてください。 参照「2.3　用紙トレイ1、2、3、4に用紙をセットする」、トレイ6については「大容量給紙トレイ取扱説明書」
ヨウシヲ セット シテクダ サイ xxxx	【原因】　用紙トレイに、指定したxxxxサイズの用紙がありません。 【処置】　用紙トレイの用紙サイズを確認し、指定したサイズに変更し、xxxxサイズの用紙をセットしてください。 参照「2.3　用紙トレイ1、2、3、4に用紙をセットする」、「2.5　用紙トレイの用紙サイズを変更する」
テザ シニ ヨウシヲ セット xxxx	【原因】　用紙トレイ5（手差し）に、指定したxxxxサイズの用紙がありません。 【処置】　用紙トレイ5（手差し）の用紙サイズを確認し、指定したサイズに変更したあと、xxxxサイズの用紙をセットしてください。 参照「4.1　用紙トレイ5（手差し）の基本的な使い方」
トレイ＊ ニ ヨウシヲ ホキュウ xxxx　XXXX	【原因】　用紙トレイ＊のxxxxサイズは、用紙切れです。 【処置】　用紙トレイ＊にxxxxサイズの用紙を補給してください。 参照「2.3　用紙トレイ1、2、3、4に用紙をセットする」
テザ シ ニ ヨウシヲ ホキュウ xxxx　XXXX	【原因】　用紙トレイ5（手差し）のxxxxサイズは、用紙切れです。 【処置】　用紙トレイ5（手差し）にxxxxサイズの用紙を補給してください。 参照「4.1　用紙トレイ5（手差し）の基本的な使い方」
トレイ＊ ニ ヨウシヲ セット xxxx　XXXX	【原因】　用紙トレイ＊は、xxxxサイズに設定されていません。 【処置】　用紙トレイ＊の用紙サイズを確認し、指定したサイズに変更したあと、xxxxサイズの用紙をセットしてください。 参照「2.5　用紙トレイの用紙サイズを変更する」

補足　「＊」は数字を表します。「xxxx」は用紙サイズ、または用紙サイズと方向を表します。「XXXX」は紙質を表します。

メッセージ	原因/処置
テザ゛シヨウシイレ[セット]オス xxxx　　　XXXX	【原因】　[手差しキー操作待ち]を指定して印刷を指示しています。 【処置】　用紙トレイ5（手差し）にxxxxサイズの用紙をセットするか、xxxxサイズの用紙がセットされているか確認してください。そのあと、プリンター用操作パネルの［排出/セット］を押すと印刷が開始します。 参照 「4.1　用紙トレイ5（手差し）の基本的な使い方」
テザ゛シ　ニ　ヨウシヲ　セット xxxx　　　XXXX	【原因】　用紙トレイ5（手差し）は、サイズがxxxxまたは用紙種類がXXXXに設定されていません。 【処置】　用紙トレイ5（手差し）の用紙サイズ、および用紙種類を確認し、指定したサイズまたは用紙種類に変更したあと、サイズがxxxxまたは用紙種類がXXXXの用紙をセットしてください。 参照 「4.1　用紙トレイ5（手差し）の基本的な使い方」
ヨウシヲ　セット　シテクダ゛サイ xxxx　　　xxxx	【原因】　自動トレイ切り替えの対象になっていない用紙トレイに、指定した用紙がセットされいるので、用紙トレイが切り替えられません。 【処置】　自動トレイ切り替えの対象になっている用紙トレイに、指定した用紙をセットするか、自動トレイ切り替えの設定を変更してください。 参照 用紙のセットについては、「2.3　用紙トレイ1、2、3、4に用紙をセットする」、「2.5　用紙トレイの用紙サイズを変更する」、設定の変更については、「6.2　共通メニューの設定」
ヨウシトレイニ　ヨウシヲ タダ゛シク　セットシテクダ゛サイ	【原因】　用紙トレイ1、2、3、4のどれかに、ガイドの位置と異なる用紙がセットされています。 【処置】　用紙トレイを確認して、ガイドの位置と同じ用紙をセットしてださい。 参照 「2.3　用紙トレイ1、2、3、4に用紙をセットする」 補足 すでに印刷されている用紙は、正常に印刷されたものとして扱われます。
ヨウシトレイニ　OHPガ゛ナイ コトヲ　カクニン　シテクダ゛サイ	【原因】　用紙トレイ5（手差し）以外の用紙トレイに、OHP フィルムがセットされています。 【処置】　OHP フィルムがセットされている用紙トレイから、OHP フィルムを取り除いてください。 参照 「2.3　用紙トレイ1、2、3、4に用紙をセットする」
OHPノ　ムキ、オモテ/ウラ、 ヨウシガ゛イド゛イチヲ　カクニン	【原因】　OHPフィルムの向き、おもて/うら、または用紙ガイドの位置が正しくセットされていません。 【処置】　OHPフィルムの向き、おもて/うら、または用紙ガイドの位置を正しくセットしてください。 参照 「4.3　OHP フィルム/電飾フィルムに印刷する」

補足 「xxxx」は用紙サイズ、または用紙サイズと方向を表します。「XXXX」は紙質を表します。

メッセージ	原因 / 処置
トレイ＊ ニ ヨウシ ヲ セット A3、A4、B4、B5	【原因】 HP-GLモードで使用できる用紙がセットされていません。 【処置】 表示されている用紙をセットしてください。 参照 「2.3　用紙トレイ1、2、3、4に用紙をセットする」
ヒダ゛リシタカハ゛ー ヲ トシ゛テ クダ゛サイ	【原因】 左側面下部カバーが開いています。 【処置】 左側面下部カバーを確実に閉じてください。 参照 「1.1　各部の名称と働き」
ミキ゛シタカハ゛ー ヲ トシ゛テ クダ゛サイ	【原因】 右側面下部カバーが開いています。 【処置】 右側面下部カバーを確実に閉じてください。 参照 「1.1　各部の名称と働き」
テンシャ ユニット ヲ オシコンデ゛ クダ゛サイ	【原因】 転写ユニットが引き出されています。 【処置】 転写ユニットを押し込んでください。 参照 「1.1　各部の名称と働き」
フロントカハ゛ー ヲ トシ゛テ クダ゛サイ	【原因】 フロントカバーが開いています。 【処置】 フロントカバーを閉じてください。 参照 「1.1　各部の名称と働き」
テザ゛シ トレイ ウエノ カハ゛ーヲ トシ゛テ クダ゛サイ	【原因】 手差しトレイの上面カバーが開いています。 【処置】 手差しトレイの上面カバーを閉じてください。 参照 「1.1　各部の名称と働き」
ソーター ノ ヒダ゛リカハ゛ー ヲ トシ゛テ クダ゛サイ	【原因】 ソーターの左カバーが開いています。 【処置】 ソーターの左カバーを閉じてください。 参照 『ソーター取扱説明書』
ソーター ノ ミキ゛ カハ゛ー ヲ トシ゛テ クダ゛サイ	【原因】 ソーターの右カバーが開いています。 【処置】 ソーターの右カバーを閉じてください。 参照 『ソーター取扱説明書』
ソーター ヲ モトニ モト゛シテ クダ゛サイ	【原因】 ソーターと本体が正しく接続されていません。 【処置】 ソーターと本体を正しく接続してください。 参照 『ソーター取扱説明書』
メールホ゛ックス ノ ヒダ゛リ カハ゛ーヲ トシ゛テ クダ゛サイ	【原因】 メールボックスの左カバーが開いています。 【処置】 メールボックスの左カバーを閉じてください。 参照 『ソーター取扱説明書』
メールホ゛ックス ノ ミキ゛ カハ゛ーヲ トシ゛テ クダ゛サイ	【原因】 メールボックスの右カバーが開いています。 【処置】 メールボックスの右カバーを閉じてください。 参照 『ソーター取扱説明書』

補足 「＊」は数字を表します。

メッセージ	原因/処置
メールボ゛ックス ヲ モトニ モド゛シテクダ゛サイ	【原因】　メールボックスと本体が正しく接続されていません。 【処置】　メールボックスと本体を正しく接続してください。 参照『ソーター取扱説明書』
フィニッシャー ノ ミギ゛シタ カバ゛ーヲ トジ゛テ クダ゛サイ	【原因】　フィニッシャー右下部カバーが開いています。 【処置】　フィニッシャー右下部カバーを閉じてください。 参照『フィニッシャー取扱説明書』
カバ゛ー[9]ヲ アゲ゛ サゲ゛ シテクダ゛サイ	【原因】　フィニッシャートレイ排出口のカバー「9」が開いています。 【処置】　カバー「9」を閉じてください。 参照『フィニッシャー取扱説明書』
トレイ6 ヲ モトニ モド゛シテ クダ゛サイ	【原因】　大容量給紙トレイと本体が正しく接続されていません。 【処置】　大容量給紙トレイと本体を正しく接続してください。 参照『大容量給紙トレイ取扱説明書』
ハイシュツトレイ ノ ヨウシヲトリノゾ゛イテクダ゛サイ	【原因】　排出トレイがいっぱいになりました。 【処置】　排出トレイから用紙を取り除いてください。 参照「1.1　各部の名称と働き」『ソーター取扱説明書』
ビ゛ン** ノ ヨウシヲトリノゾ゛イテクダ゛サイ	【原因】　メールボックスビン＊がいっぱいになりました。 【処置】　メールボックスビンから用紙を取り除いてください。 参照『ソーター取扱説明書』
ショウモウヒン ヲ カクニン （コウカン） シテクダ゛サイ	【原因】　消耗品の確認、または交換の必要があります。 【処置】　タッチパネルディスプレイに表示されているメッセージを確認して、処置してください。タッチパネルディスプレイに表示がない場合は、〈仕様設定/登録/メーター確認〉ボタンで確認できます。 参照『取扱説明書（本体管理/コピー編）』の「8章　日常の管理」
プ゛リント デ゛キマス （クロ） ショウモウヒン カクニン	【原因】　シアン、マゼンタ、イエローのどれかのトナーカートリッジのトナーがありません。白黒印刷だけできます。 【処置】　タッチパネルディスプレイに表示されているメッセージを確認して、表示されているトナーカートリッジを交換してください。 参照『取扱説明書（本体管理/コピー編）』の「8章　日常の管理」
トナーカートリッジ゛ ヲ コウカン シテクダ゛サイ	【原因】　複数のトナーカートリッジのトナーがありません。 【処置】　状態表示部のランプを確認して、該当するトナーカートリッジを交換してください。 参照「8.2　トナーカートリッジを交換する」

補足　「＊」は数字を表します。

メッセージ	原因 / 処置
シアン　トナーカートリッジ ヲ　コウカン　シテクダサイ	【原因】　シアントナーカートリッジのトナーがありません。 【処置】　新しいシアントナーカートリッジに交換してください。 参照「8.2　トナーカートリッジを交換する」
マゼンタ　トナーカートリッジ ヲ　コウカン　シテクダサイ	【原因】　マゼンタトナーカートリッジのトナーがありません。 【処置】　新しいマゼンタトナーカートリッジに交換してください。 参照「8.2　トナーカートリッジを交換する」
イエロー　トナーカートリッジ ヲ　コウカン　シテクダサイ	【原因】　イエロートナーカートリッジのトナーがありません。 【処置】　新しいイエロートナーカートリッジに交換してください。 参照「8.2　トナーカートリッジを交換する」
ブラック　トナーカートリッジ ヲ　コウカン　シテクダサイ	【原因】　ブラックトナーカートリッジのトナーがありません。 【処置】　新しいブラックトナーカートリッジに交換してください。 参照「8.2　トナーカートリッジを交換する」
プリント　デキマス　（クロ） シアントナー　コウカン	【原因】　シアントナーカートリッジのトナーがありません。白黒印刷だけできます。 【処置】　新しいシアントナーカートリッジに交換してください。 参照「8.2　トナーカートリッジを交換する」
プリント　デキマス　（クロ） マゼンタトナー　コウカン	【原因】　マゼンタトナーカートリッジのトナーがありません。白黒印刷だけできます。 【処置】　新しいマゼンタトナーカートリッジに交換してください。 参照「8.2　トナーカートリッジを交換する」
プリント　デキマス　（クロ） イエロートナー　コウカン	【原因】　イエロートナーカートリッジのトナーがありません。白黒印刷だけできます。 【処置】　新しいイエロートナーカートリッジに交換してください。 参照「8.2　トナーカートリッジを交換する」
トナー　カイシュウボトル[A] ヲ　コウカン　シテクダサイ	【原因】　トナー回収ボトルがいっぱいになりました。 【処置】　新しいトナー回収ボトルに交換してください。 参照「8.3　トナー回収ボトルを交換する[A]」
トナー　カイシュウボトル[A] ヲ　セット　シテクダサイ	【原因】　トナー回収ボトルがセットされていない、または正しくセットされていません。 【処置】　トナー回収ボトルを正しくセットしてください。 参照「8.3　トナー回収ボトルを交換する[A]」
ゲンゾウザイカイシュウ ボトル[C]　ヲ　コウカン	【原因】　現像剤回収ボトルがいっぱいになりました。 【処置】　新しい現像剤回収ボトルに交換してください。 参照「8.4　現像剤回収ボトルを交換する[C]」

メッセージ	原因/処置
オイル カートリッジ゛[D] ヲ コウカン シテクダ゛サイ	【原因】 オイルカートリッジの交換時期です。 【処置】 新しいオイルカートリッジに交換してください。 参照「8.5　オイルカートリッジを交換する[D]」
ト゛ラム カートリッジ゛[B] ヲ コウカン シテクダ゛サイ	【原因】 ドラムカートリッジの交換時期です。 【処置】 新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照「8.6　ドラムカートリッジを交換する[B]（スポット保守のお客様のみ）」
ト゛ラム カートリッジ゛[B] ヲ セット シテクダ゛サイ	【原因】 ドラムカートリッジがセットされていないか、正しくセットされていません。または、異なる機種のドラムカートリッジがセットされています。 【処置】 本機用のドラムカートリッジトを正しくセットしてください。 参照「8.6　ドラムカートリッジを交換する[B]（スポット保守のお客様のみ）」
クリーニンク゛ カートリッジ゛ [E]ヲ コウカンシテクダ゛サイ	【原因】 クリーニングカートリッジの交換時期です。 【処置】 新しいクリーニングカートリッジに交換してください。 参照「8.7　クリーニングカートリッジを交換する[E]（スポット保守のお客様のみ）」
クリーニンク゛ カートリッジ゛ [E]ヲ セット シテクダ゛サイ	【原因】 クリーニングカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていません。 【処置】 クリーニングカートリッジを正しくセットしてください。 参照「8.7　クリーニングカートリッジを交換する[E]（スポット保守のお客様のみ）」
フ゜リント テ゛キマス ホチキス[F]ヲ ホキュウ	【原因】 ホチキスカートリッジの交換時期です。 【処置】 新しいホチキスカートリッジに交換してください。 参照「フィニッシャー取扱説明書」
フ゜リント テ゛キマス ホチキス[F]ヲ セット	【原因】 ホチキスカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていません。 【処置】 ホチキスカートリッジを正しくセットしてください。 参照「フィニッシャー取扱説明書」
ホチキス[F]ヲ ホキュウ [セット]テ゛ ホチキスカイシ゛ョ	【原因】 ホチキスカートリッジが空の状態で、ホチキス指示しています。 【処置】 新しいホチキスカートリッジに交換するか、プリンター用操作パネルの〈排出/セット〉を押してホチキスとめを解除してください。 参照「フィニッシャー取扱説明書」
ホチキス カートリッジ゛[F] ヲ セット シテクダ゛サイ	【原因】 ホチキスカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていない状態で、ホチキス指示しています。 【処置】 ホチキスカートリッジを正しくセットしてください。 参照「フィニッシャー取扱説明書」

メッセージ	原因/処置
カミヅマリ　　オクリカケノ ヨウシヲトリノゾイテクダサイ	【原因】　用紙トレイで紙づまりが発生しています。 【処置】　DocuColor 1250シリーズはタッチパネルディスプレイで、DocuPrint C1250はプリンター用操作パネルの状態表示部のランプで、紙づまりをしている用紙トレイを確認して、つまっている用紙を取り除いてください。 参照「7.3　用紙がつまった場合」
カミヅマリデス ヨウシヲトリノゾイテクダサイ	【原因】　紙づまりが発生しています。 【処置】　DocuColor 1250シリーズはタッチパネルディスプレイで、DocuPrint C1250はプリンター用操作パネルの状態表示部のランプで、紙づまり位置を確認して、つまっている用紙を取り除いてください。 参照「7.3　用紙がつまった場合」
ツマッテイル　ヨウシ　ヲ　トリ カバーヲ　トジテ　クダサイ	【原因】　紙づまりが発生しています。 【処置】　DocuColor 1250シリーズはタッチパネルディスプレイで、DocuPrint C1250はプリンター用操作パネルの状態表示部のランプで、紙づまり位置を確認して、つまっている用紙を取り除いて、カバー閉じてください。 参照「7.3　用紙がつまった場合」
カミヅマリデス　　テンシャ ユニットヲヒキダシテクダサイ	【原因】　転写ユニットで紙づまりが発生しています。 【処置】　転写ユニットを引き出して、つまっている用紙を取り除いてください。 参照「7.3　用紙がつまった場合」
ヨウシヲ　トリ　テンシャユニット ヲ　オシコンデ　クダサイ	【原因】　転写ユニットで紙づまりが発生しています。 【処置】　つまっている用紙を取り除いて、転写ユニットを押し込んでください。 参照「7.3　用紙がつまった場合」
カミヅマリ　　ソーター　ヲ ミギニ　イドウシテクダサイ	【原因】　メールボックス/ソーターで紙づまりが発生しています。 【処置】　DocuColor 1250シリーズはタッチパネルディスプレイで、DocuPrint C1250はプリンター用操作パネルの状態表示部のランプで、紙づまり位置を確認して、つまっている用紙を取り除いてください。 参照『ソーター取扱説明書』
カミヅマリ　　ソーター　ノ ヒダリカバーアケテクダサイ	【原因】　メールボックス/ソーターで紙づまりが発生しています。 【処置】　DocuColor 1250シリーズはタッチパネルディスプレイで、DocuPrint C1250はプリンター用操作パネルの状態表示部のランプで、紙づまり位置を確認して、つまっている用紙を取り除いてください。 参照『ソーター取扱説明書』

メッセージ	原因 / 処置
カミヅマリ　　ソーター ノ ミギカバーヲアケテクダサイ	【原因】　メールボックス/ソーターで紙づまりが発生しています。 【処置】　DocuColor 1250シリーズはタッチパネルディスプレイで、DocuPrint C1250はプリンター用操作パネルの状態表示部のランプで、紙づまり位置を確認して、つまっている用紙を取り除いてください。 参照『ソーター取扱説明書』
カミヅマリ メールボックスヲ ミギニ イドウシテクダサイ	【原因】　メールボックス/ソーターで紙づまりが発生しています。 【処置】　DocuColor 1250シリーズはタッチパネルディスプレイで、DocuPrint C1250はプリンター用操作パネルの状態表示部のランプで、紙づまり位置を確認して、つまっている用紙を取り除いてください。 参照『ソーター取扱説明書』
カミヅマリ メールボックスノ ヒダリカバーアケテクダサイ	【原因】　メールボックス/ソーターで紙づまりが発生しています。 【処置】　DocuColor 1250シリーズはタッチパネルディスプレイで、DocuPrint C1250はプリンター用操作パネルの状態表示部のランプで、紙づまり位置を確認して、つまっている用紙を取り除いてください。 参照『ソーター取扱説明書』
カミヅマリ メールボックスノ ミギカバーヲアケテクダサイ	【原因】　メールボックス/ソーターで紙づまりが発生しています。 【処置】　DocuColor 1250シリーズはタッチパネルディスプレイで、DocuPrint C1250はプリンター用操作パネルの状態表示部のランプで、紙づまり位置を確認して、つまっている用紙を取り除いてください。 参照『ソーター取扱説明書』
アイダニ アル ヨウシヲ トリ モトニ モドシテクダサイ	【原因】　メールボックス/ソーターで紙づまりが発生しています。 【処置】　DocuColor 1250シリーズはタッチパネルディスプレイで、DocuPrint C1250はプリンター用操作パネルの状態表示部のランプで、紙づまり位置を確認して、つまっている用紙を取り除いてください。 参照『ソーター取扱説明書』
レバー[5]ヲ シタニ ヒラキ ノブ[6]ヲマワシテクダサイ	【原因】　メールボックス/ソーターで紙づまりが発生しています。 【処置】　DocuColor 1250シリーズはタッチパネルディスプレイで、DocuPrint C1250はプリンター用操作パネルの状態表示部のランプで、紙づまり位置を確認して、つまっている用紙を取り除いてください。 参照『ソーター取扱説明書』

メッセージ	原因/処置
ﾚﾊﾞｰ[7]､[8]ｦ ﾋﾗｷ ﾖｳｼｦﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	【原因】 メールボックス/ソーターで紙づまりが発生しています。 【処置】 DocuColor 1250シリーズはタッチパネルディスプレイで、DocuPrint C1250はプリンター用操作パネルの状態表示部のランプで、紙づまり位置を確認して、つまっている用紙を取り除いてください。 参照『ソーター取扱説明書』
ﾚﾊﾞｰ[7]ｦ ﾋﾗｷ ﾖｳｼｦﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	【原因】 フィニッシャーで紙づまりが発生しています。 【処置】 DocuColor 1250シリーズはタッチパネルディスプレイで、DocuPrint C1250はプリンター用操作パネルの状態表示部のランプで、紙づまり位置を確認して、つまっている用紙を取り除いてください。 参照『フィニッシャー取扱説明書』
ｶﾊﾞｰ[9]ｦ ｱｹﾞｻｹﾞｼ ﾖｳｼｦﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	【原因】 フィニッシャーで紙づまりが発生しています。 【処置】 DocuColor 1250シリーズはタッチパネルディスプレイで、DocuPrint C1250はプリンター用操作パネルの状態表示部のランプで、紙づまり位置を確認して、つまっている用紙を取り除いてください。 参照『フィニッシャー取扱説明書』
ｶﾊﾞｰ[9]ｦ ｱｹﾞ ﾖｳｼｦﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	【原因】 メールボックス/ソーターで紙づまりが発生しています。 【処置】 DocuColor 1250シリーズはタッチパネルディスプレイで、DocuPrint C1250はプリンター用操作パネルの状態表示部のランプで、紙づまり位置を確認して、つまっている用紙を取り除いてください。 参照『フィニッシャー取扱説明書』
ﾌｨﾆｯｼｬｰ ﾉ [ｻｲｶｲ] ﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	【原因】 フィニッシャーが一時停止状態です。 【処置】 フィニッシャートレイから用紙を取り出し、〈一時停止/再開〉ボタンを押して、一時停止状態を解除してください。 参照『フィニッシャー取扱説明書』
ﾃﾞﾝｹﾞﾝ ｦ ｷﾘｲﾘ ｼﾃ ｸﾀﾞｻｲ (***-***)	【原因】 エラーが発生しました。 【処置】 電源スイッチを切り、プリンター用操作パネルのディスプレイが消灯してから、再度電源スイッチを入れてください。再び表示された場合は、「(＊＊＊－＊＊＊)」の表示内容を書き写してください。そのあと、電源スイッチを切り、プリンター用操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜き、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

補足 「＊」は数字を表します。

こまったときは 7

メッセージ	原因/処置
テレホンセンターヘ レンラクシテ クダ゛サイ　(***-***)	【原因】　エラーが発生しました。 【処置】　「(＊＊＊－＊＊＊)」の表示内容を書き写してください。電源スイッチを切り、プリンター用操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜き、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。
ヒョウシ゛ュン フォントROM ヲ カクニン シテクダ゛サイ	【原因】　標準フォントROMモジュールが装着されていません。 【処置】　電源スイッチを切り、プリンター用操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのあと、DocuColor 1250シリーズは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店に、標準フォントROMモジュールの装着を依頼してください。DocuPrint C1250は、標準フォントROMモジュールを正しく装着してください。
PS フォントROM ヲ カクニン シテクダ゛サイ	【原因】　PSフォントROMモジュールが装着されていません。 【処置】　電源スイッチを切り、プリンター用操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのあと、DocuColor 1250シリーズは弊社のテレフォンセンターまたは販売店に、PSフォントROMモジュールの装着を依頼してください。DocuPrint C1250は『PostScript®ソフトウェアキット追加説明書』を参照して、PSフォントROMモジュールを正しく装着してください。
HDDファイル フリョウ [セット]ボ゛タンデ゛ ショキカ	【原因】　ハードディスクのファイルシステムに異常があります。または、ハードディスクがフォーマットされていません。 【処置】　プリンター用操作パネルの[排出/セット]を押して、ハードディスクを初期化してください。
メモリ フ゛ソクデ゛ス メモリヲ ツイカ シテクダ゛サイ	【原因】　メモリーが不足しています。 【処置】　増設RAMモジュールや、内蔵ハードディスクを装着して、メモリー容量を増やしてください。 DocuColor 1250シリーズは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店に、増設RAMモジュール、内蔵ハードディスクの追加を依頼してください。 DocuPrint C1250は、電源スイッチを切り、プリンター用操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのあと、『取扱説明書(設置編)』を参照し、増設RAMモジュールや、内蔵ハードディスクを取り付けてください。

補足　「＊」は数字を表します。

メッセージ	原因/処置
ﾈｯﾄﾜｰｸﾎﾞｰﾄﾞ ｶﾞ ｼﾞｯｿｳ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ	【原因】 ネットワークROMが取り付けられていますが、ネットワークボードが正しく取り付けられていない可能性があります。 【処置】 電源スイッチを切り、プリンター用操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。DocuColor 1250シリーズは『取扱説明書（プリント機能設定編）』、DocuPrint C1250は『取扱説明書（設置編）』を参照して、ネットワークボードが正しく取り付けられていることを確認してください。確認後、電源スイッチを入れ、再び同じメッセージが表示された場合は、電源スイッチを切り、プリンター用操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜き、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。
ﾈｯﾄﾜｰｸROM ｶﾞ ｼﾞｯｿｳ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ	【原因】 ネットワークボードが取り付けられていますが、ネットワークROMが正しく取り付けられていない可能性があります。 【処置】 電源スイッチを切り、プリンター用操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。DocuColor 1250シリーズは『取扱説明書（プリント機能設定編）』、DocuPrint C1250は『取扱説明書（設置編）』を参照して、ネットワークROMが正しく取り付けられていることを確認してください。確認後、電源スイッチを入れ、再び同じメッセージが表示された場合は、電源スイッチを切り、プリンター用操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜き、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。
ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸｶﾞ ｼﾞｯｿｳ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ	【原因】 フィニッシャーが取り付けられていますが、内蔵ハードディスクが装着されていません。 【処置】 DocuColor 1250シリーズは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店に、内蔵ハードディスクの装着を依頼してください。 DocuPrint C1250は、電源スイッチを切り、プリンター用操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのあと、『取扱説明書（設置編）』を参照し、内蔵ハードディスクを取り付けてください。
ｲｰｻﾈｯﾄ ｹｰﾌﾞﾙ ｦ ｶｸﾆﾝ ｼﾃ ｸﾀﾞｻｲ	【原因】 イーサネット上がビジー状態か、またはケーブルが終端されていません。 【処置】 イーサネットケーブルを確認してください。 参照 DocuColor 1250シリーズは『取扱説明書（プリント機能設定編）』、DocuPrint C1250は、『取扱説明書（設置編）』

こまったときは

7

メッセージ	原因/処置
システムセッテイカ゛ キエマシタ [セット]ホ゛タンテ゛ ショキカ	【原因】 NVメモリーのバッテリー電圧が低下したため、システム設定の記憶が消えました。 【処置】 プリンター用操作パネルの[排出/セット]を押して、システムを初期化してください。
	【原因】 現在のROMモジュールのバージョンと、NVメモリーに格納してあるROMモジュールのバージョンが異なります。 【処置】 プリンター用操作パネルの[排出/セット]を押して、システムを初期化してください。
シュウケイテ゛ータカ゛キエマシタ [セット]ホ゛タンテ゛ ショキカ	【原因】 出力集計データの記憶が消えました。 【処置】 プリンター用操作パネルの[排出/セット]を押して、出力集計データを初期化してください。
オナシ゛ フォントROM ハ ト゛ウシ゛ニ シヨウテ゛キマセン	【原因】 同一のフォントROMモジュールがセットされています。 【処置】 一方のフォントROMモジュールを取り外してください。
ROMモシ゛ュールノ ハ゛ーシ゛ ョンヲ カクニン シテクタ゛サイ	【原因】 複数装着されているROMモジュールのバージョンが合っていません。または、使用できない組み合わせのROMモジュールが装着されています。 【処置】 DocuColor 1250シリーズは、いったん電源スイッチを切り、プリンター用操作パネルのディスプレイが消灯してから、再度電源スイッチを入れてください。再び同じメッセージが表示された場合は、電源スイッチを切り、プリンター用操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜き、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。 DocuPrint C1250は、電源スイッチを切り、プリンター用操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜き、『取扱説明書(設置編)』を参照して、ROMモジュールのバージョンを確認してください。確認後、電源スイッチを入れ、再び同じメッセージが表示された場合は、電源スイッチを切り、プリンター用操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜き、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

メッセージ	原因/処置
ROMﾓｼﾞｭｰﾙ ﾉ ｲﾁ ｦ ｶｸﾆﾝｼﾃ ｸﾀﾞｻｲ	【原因】　ROMモジュールが正しい位置に装着されていません。 【処置】　DocuColor 1250シリーズは、いったん電源スイッチを切り、プリンター用操作パネルのディスプレイが消灯してから、再度電源スイッチを入れてください。再び同じメッセージが表示された場合は、電源スイッチを切り、プリンター用操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜き、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。 DocuPrint C1250は、電源スイッチを切り、プリンター用操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜き、『取扱説明書(設置編)』を参照して、ROMモジュールを正しい位置に装着してください。装着後、電源スイッチを入れ、再び同じメッセージが表示された場合は、電源スイッチを切り、プリンター用操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜き、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。
ﾋｮｳｼﾞｭﾝ ROM ｦ ｶｸﾆﾝ ｼﾃ ｸﾀﾞｻｲ	【原因】　標準ROMモジュールが装着されていないか、データのダウンロード直後の場合は、ダウンロードに失敗しました。 【処置】　電源スイッチを切り、プリンター用操作パネルのディスプレイが消灯してから、再度電源スイッチを入れてください。ダウンロード直後の場合は、再度ダウンロードを行ってください。
ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞﾃﾞｰﾀ ｦ ｶｸﾆﾝ ｼﾃ ｸﾀﾞｻｲ	【原因】　データのダウンロードに失敗しました。 【処置】　ホスト装置側のダウンロードデータを確認してください。
ｽﾛｯﾄ* ﾉ ROMﾊ ｼﾖｳ ﾃﾞｷﾏｾﾝ	【原因】　スロット＊に、他機種用のROMモジュールが装着されています。 補足　使用できないROMモジュールが複数装着されている場合は、数が小ないスロット番号が表示されます。 【処置】　本機用のROMモジュールに交換してください。 DocuColor 1250シリーズは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。 DocuPrint C1250は、電源スイッチを切り、プリンター用操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜き、『取扱説明書(設置編)』を参照して、本機用のROMモジュールに交換してください。

補足　「＊」は数字を表します。

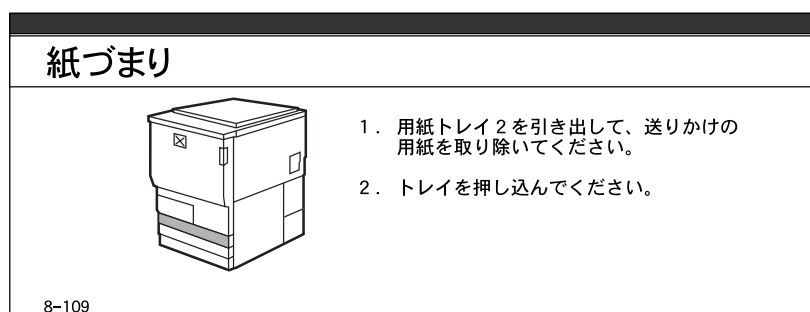
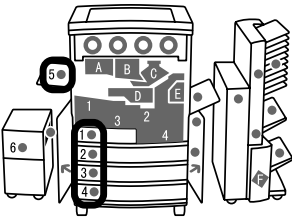
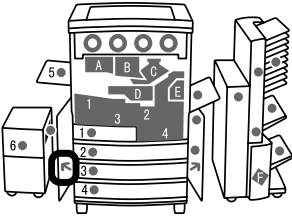
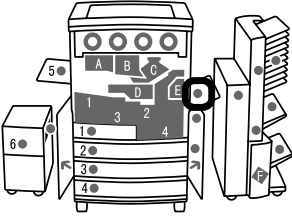
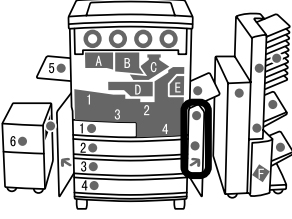
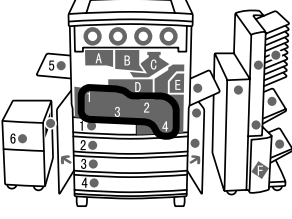
7.3 用紙がつまった場合

7.3.1 DocuColor 1250シリーズ

用紙がつまると機械が停止してアラームが鳴り、タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されます。プリンター用操作パネルでも、エラーランプが点灯して、ディスプレイにメッセージが表示されます。タッチパネルディスプレイに表示されているメッセージに従って、つまっている用紙を取り除いてください。

参照 **紙づまりの処置手順については、『取扱説明書（本体管理/コピー編）』の「7.2　用紙がつまった場合」を参照してください。**

タッチパネルディスプレイに表示されるメッセージ

例:　用紙トレイ2での紙づまりの場合

プリンター用操作パネルに表示されるメッセージ例

カミヅマリ　　オクリカケノ ヨウシヲトリノゾイテクダサイ	カミヅマリデス ヨウシヲトリノゾイテクダサイ	カミヅマリデス　テンシャ ユニットヲヒキダシテクダサイ

補足 **オプションでの紙づまりを表すメッセージが表示された場合の処置手順については、それぞれの取扱説明書を参照してください。**

7.3.2　DocuPrint C1250

用紙がつまると、機械が停止してアラームが鳴ります。プリンター用操作パネルのエラーランプが点灯して、ディスプレイにメッセージが表示され、状態表示部のつまっている箇所のランプが点灯します。表示されているメッセージと状態表示部のランプで紙づまり位置を確認し、つまっている用紙を取り除いてください。

メッセージ	状態表示部	紙づまり箇所
ｶﾐﾂﾞﾏﾘ　　ｵｸﾘｶｹﾉ ﾖｳｼｦﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ		ランプが点灯しているトレイでの紙づまりです。 参照 用紙トレイ1、2、3、4は、「7.4.1　用紙トレイ1、2、3、4での紙づまり」、用紙トレイ5（手差し）は、「7.4.2　用紙トレイ5（手差し）での紙づまり」
ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ ﾖｳｼｦﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ		左側面下部での紙づまりです。 参照 「7.4.3　本体の左側面下部での紙づまり」
		排出口での紙づまりです。 参照 「7.4.4　排出口での紙づまり」
		右側面下部での紙づまりです。 参照 「7.4.5　本体の右側面下部での紙づまり」
ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ ﾃﾝｼｬ ﾕﾆｯﾄｦﾋｷﾀﾞｼﾃｸﾀﾞｻｲ		転写ユニットでの紙づまりです。 参照 「7.4.6　転写ユニットでの紙づまり」

補足　オプションでの紙づまりを表すメッセージが表示された場合の処置手順については、それぞれの取扱説明書を参照してください。

こまったときは　7

紙づまり処置の流れは、次のとおりです。

① ディスプレイで、紙づまりの位置を確認します。

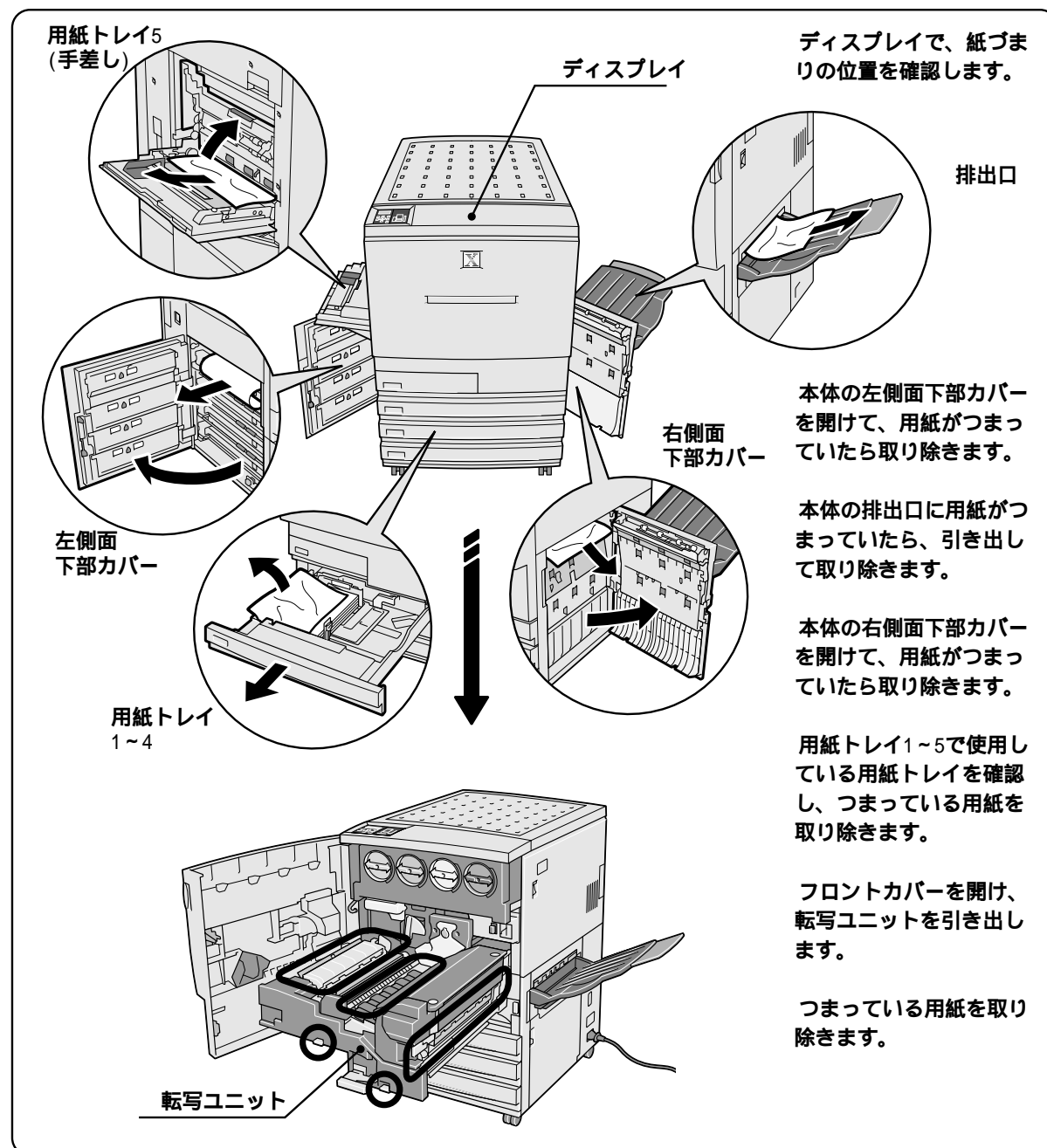
② 本体の左側面下部カバーを開けて、用紙がつまっていたら取り除きます。

③ 本体の排出口に用紙がつまっていたら、引き出して取り除きます。

④ 本体の右側面下部カバーを開けて、用紙がつまっていたら取り除きます。

⑤ 用紙トレイ1～5で使用している用紙トレイを確認し、つまっている用紙を取り除きます。

⑥ フロントカバーを開け、転写ユニットを引き出します。

⑦ つまっている用紙を取り除きます。

7.3.3　用紙を取り除くときの注意点

用紙は破れないように、静かに取り除いてください。取り除く途中で紙が破れたときも紙片を機械の中に残さないで、すべて取り除いてください。処置を終了しても、紙づまりのメッセージが表示されるときは、他の箇所でも用紙がつまっています。メッセージに従って処置してください。
紙づまりの処置が終了すると、自動的に用紙がつまる前の状態から印刷が再開されます。

⚠注意　つまった用紙を取り除くときは、機械内部に紙片が残らないようにすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因となることがあります。 なお、紙片が取り除けない場合および定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。けがややけどの原因となるおそれがあります。直ちに電源を切り、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

注記

- 紙づまりが発生したとき、紙づまり位置を確認せずに転写ユニットや、用紙トレイ1～4を引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、紙づまりの位置を確認してからつまっている位置の処置をしてください。
- 紙片が本機内に残っていると、紙づまりの表示は消えません。
- 紙づまりの処置をするときは、本機の電源を入れたまま行ってください。電源を切ると、本機内に残っている印刷データや、本機のメモリーに蓄えられた情報が消去されます。
- 本機内部の部品には触れないでください。印字不良の原因になります。

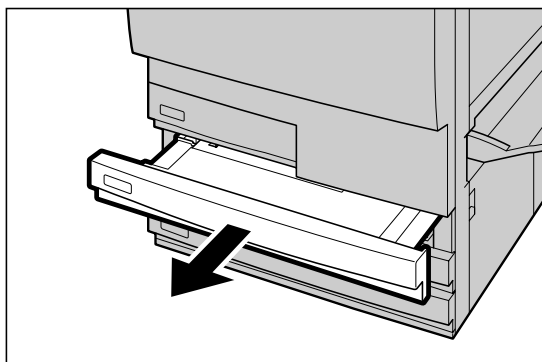
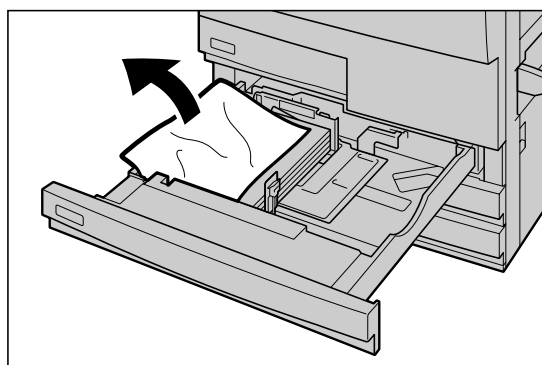
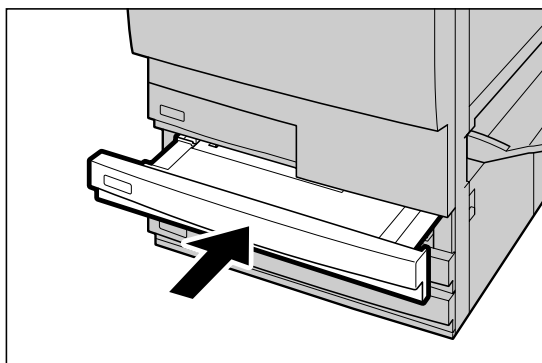
7.3.4　紙づまりの主な原因

紙づまりには以下のような原因が考えられます。今後、紙づまりを防ぐために原因を取り除いてください。

- 本機が水平に設置されていない。
- 適切な用紙を使用していない。
- 用紙トレイに用紙が正しくセットされていない。

7.4 紙づまりの処置方法

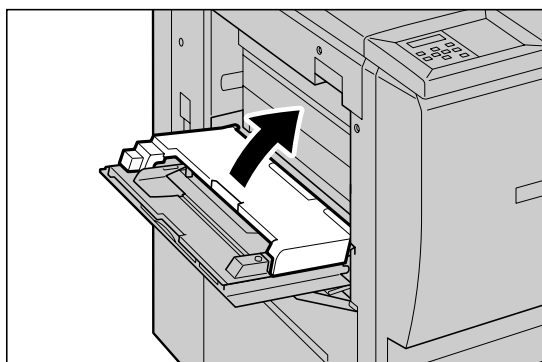
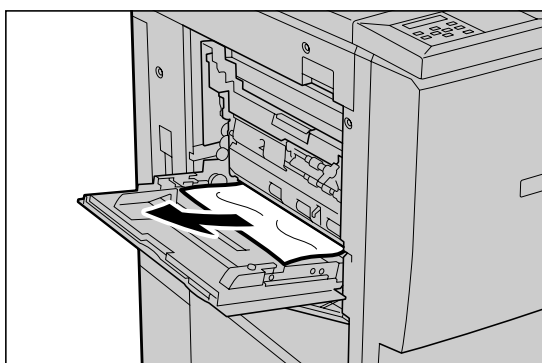
ここでは、DocuPrint C1250**での紙づまりの処置方法について説明します。**DocuColor 1250 **シリーズは、「**7.3　**用紙がつまった場合」をごらんください。**

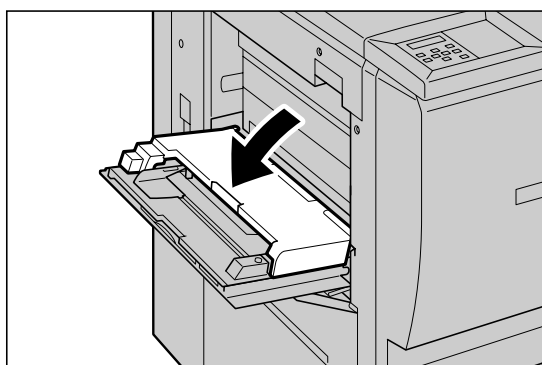
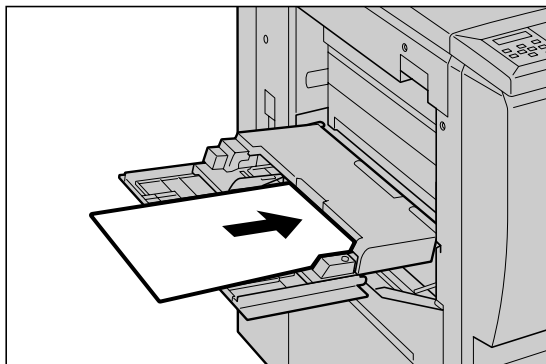
7.4.1　用紙トレイ1、2、3、4での用紙づまり

① **ディスプレイに表示されている紙づまりの用紙トレイを引き出します。**

② **つまっている用紙を取り除きます。**

③ **用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認します。**

④ **用紙トレイを静かに押し込みます。**

補足　用紙トレイを完全に閉じないとメッセージが表示され、機械が作動しません。また、他の箇所に用紙や原稿がつまっている場合は、別のメッセージが表示されます。

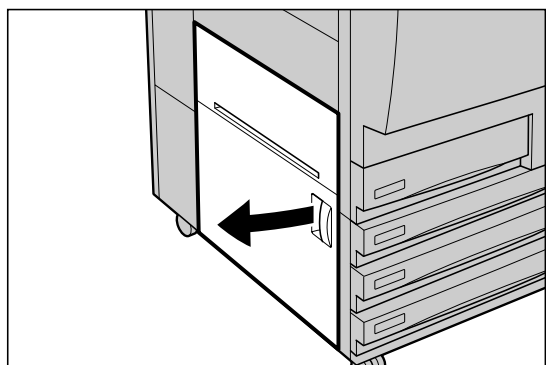
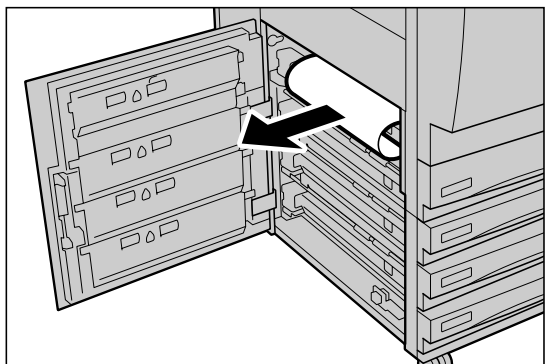
7.4.2　用紙トレイ5（手差し）での紙づまり

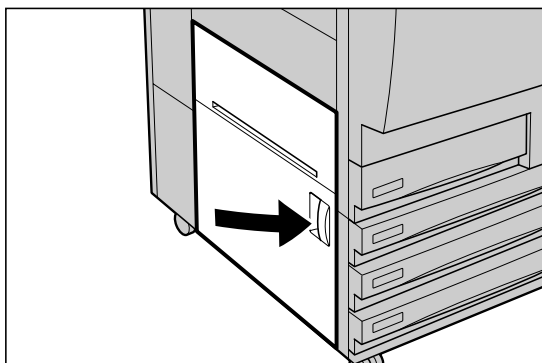
補足 OHPフィルムは、専用のOHPフィルムを使用してください。専用以外のOHPフィルムを使用すると、故障や用紙づまりの原因となります。

1. 用紙トレイ5（手差し）の上面カバーの取っ手を握りながら、開きます。
   上面カバーが、本体側面の磁石に吸着します。

2. 用紙トレイ5（手差し）から、送りかけのつまった用紙を取り除きます。

3. 用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認します。

4. 用紙トレイ5（手差し）の上面カバーを閉じます。
   補足 用紙トレイ5（手差し）の上面カバーを閉じないとメッセージが表示され、機械が作動しません。また、他の箇所に用紙や原稿がつまっている場合は、別のメッセージが表示されます。

⑤ **用紙トレイ5（手差し）に、用紙を正しくそろえてセットします。**

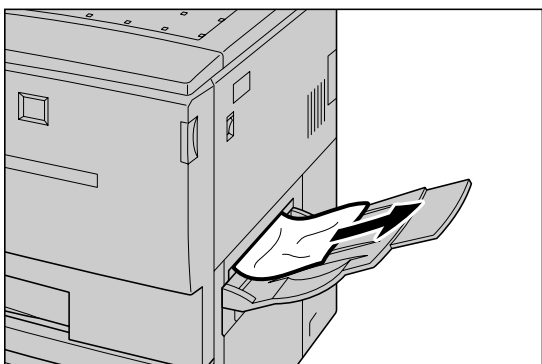
用紙が残っていると、紙づまりのメッセージが表示されます。用紙の取り残しや、他の場所での紙づまりがないか確認し、処置してください。

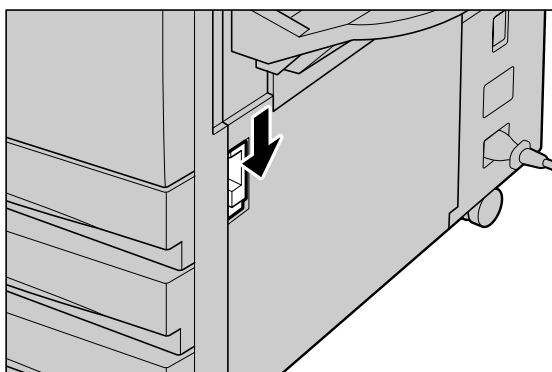
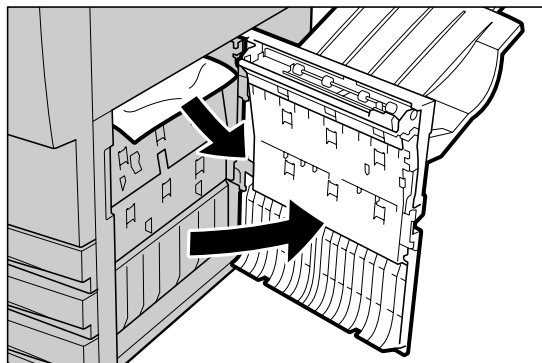
補足 用紙を複数セットしている場合は、いったんすべての用紙を取り出して、再度正しくセットし直してください。

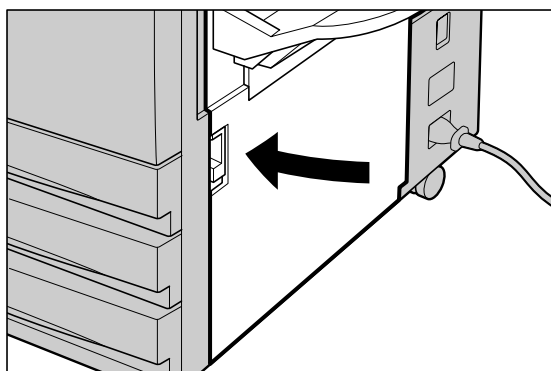
7.4.3　本体の左側面下部での紙づまり

① **本体の左側面下部カバーの取っ手を握りながら、開きます。**

② **つまっている用紙を取り除きます。**

③ **用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認します。**

④ **左側面下部カバーを閉じます。**

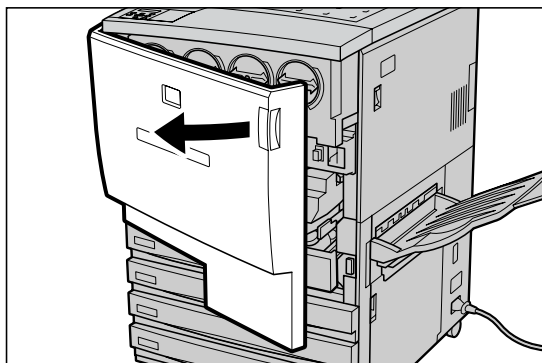
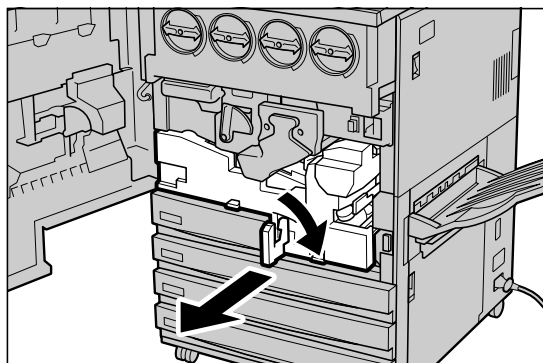
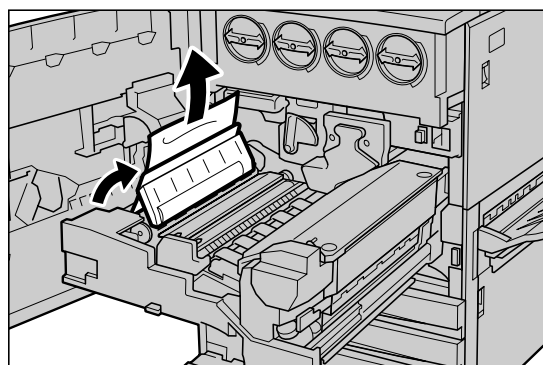
補足 左側面下部カバーを完全に閉じないとメッセージが表示され、機械が作動しません。また、他の箇所に用紙や原稿がつまっている場合は、別のメッセージが表示されます。

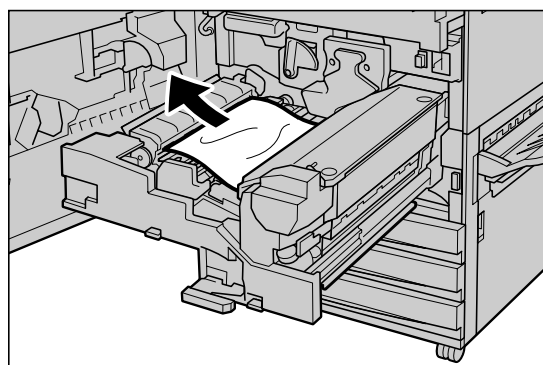
7.4.4　排出口での紙づまり

① **本体の排出口につまっている用紙を引き抜きます。**

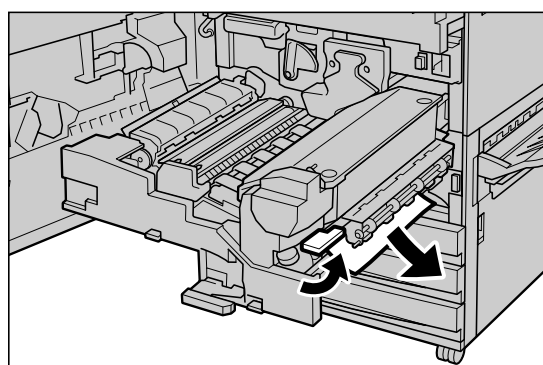
7.4.5　本体の右側面下部での紙づまり

① **本体の右側面下部の下向き矢印ボタンを押し、右側面下部カバーを開けます。**

② 右側面下部カバーを開き、つまっている用紙を取り除きます。

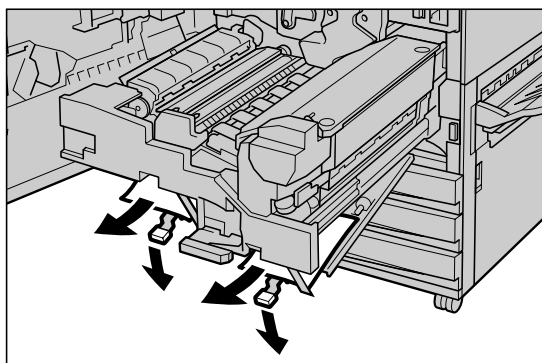
③ 用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認します。

④ 右側面下部カバーを閉じます。

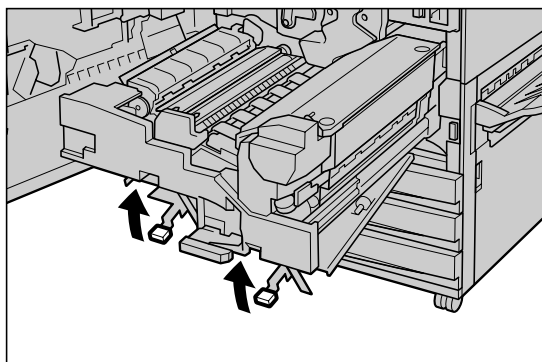
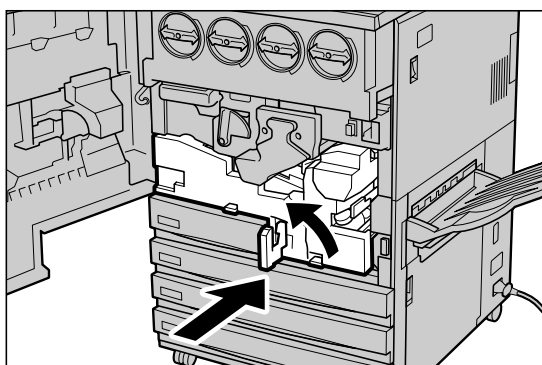
補足 右側面下部カバーを完全に閉じないとメッセージが表示され、機械が作動しません。また、他の箇所に用紙や原稿がつまっている場合は、別のメッセージが表示されます。

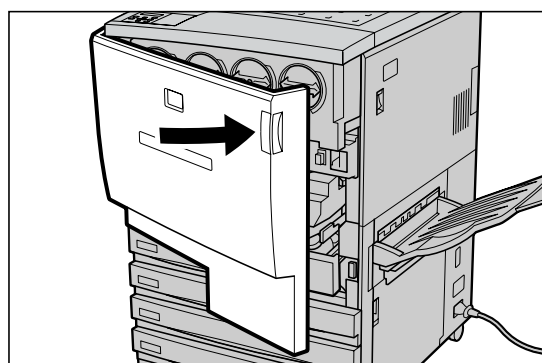
7.4.6 転写ユニットでの紙づまり

① フロントカバーを開けます。

② 転写ユニット中央にある緑色のレバーを、右方向に水平になるまで回して、手前に止まるところまで転写ユニットを引き出します。

③ レバー「1」を上方向に持ち上げて開きながら、つまっている用紙を取り除きます。

⚠注意	「高温注意」および「注意」を促すラベルが貼ってある箇所(定着部やその周辺)には絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。

④ 転写ユニット上部、または定着部入口に用紙がつまっている場合は、用紙を左方向に取り除きます。

⚠注意	「高温注意」および「注意」を促すラベルが貼ってある箇所(定着部やその周辺)には絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。

⑤ 用紙が取り除けない場合は、定着部右側の緑色の取っ手を右方向に開き、つまっている用紙を取り除きます。

⚠注意	「高温注意」および「注意」を促すラベルが貼ってある箇所(定着部やその周辺)には絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。

⑥ レバー「3」と「4」を押し下げて開き、つまっている用紙を取り除きます。

> ⚠注意　「高温注意」および「注意」を促すラベルが貼ってある箇所（定着部やその周辺）には絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。

⑦ レバー「3」と「4」を押し上げて閉じます。

⑧ 転写ユニットを完全に奥まで押し込み、緑色のレバーを左に回します。

レバーを回せない場合は、転写ユニットを途中まで引き出してから再度押し込んでください。

⑨ フロントカバーを閉じます。

補足　フロントカバーを完全に閉じないとメッセージが表示され、機械が作動しません。また、他の箇所に用紙や原稿がつまっている場合は、別のメッセージが表示されます。

点検/修理を依頼する

EPシステムを使用している場合、通信回線を通じて弊社のテレフォンセンターに点検/修理を依頼することができます。連絡を受けると、必要に応じてカストマーエンジニアが訪問します。この操作は、機械を管理する担当者が行ってください。

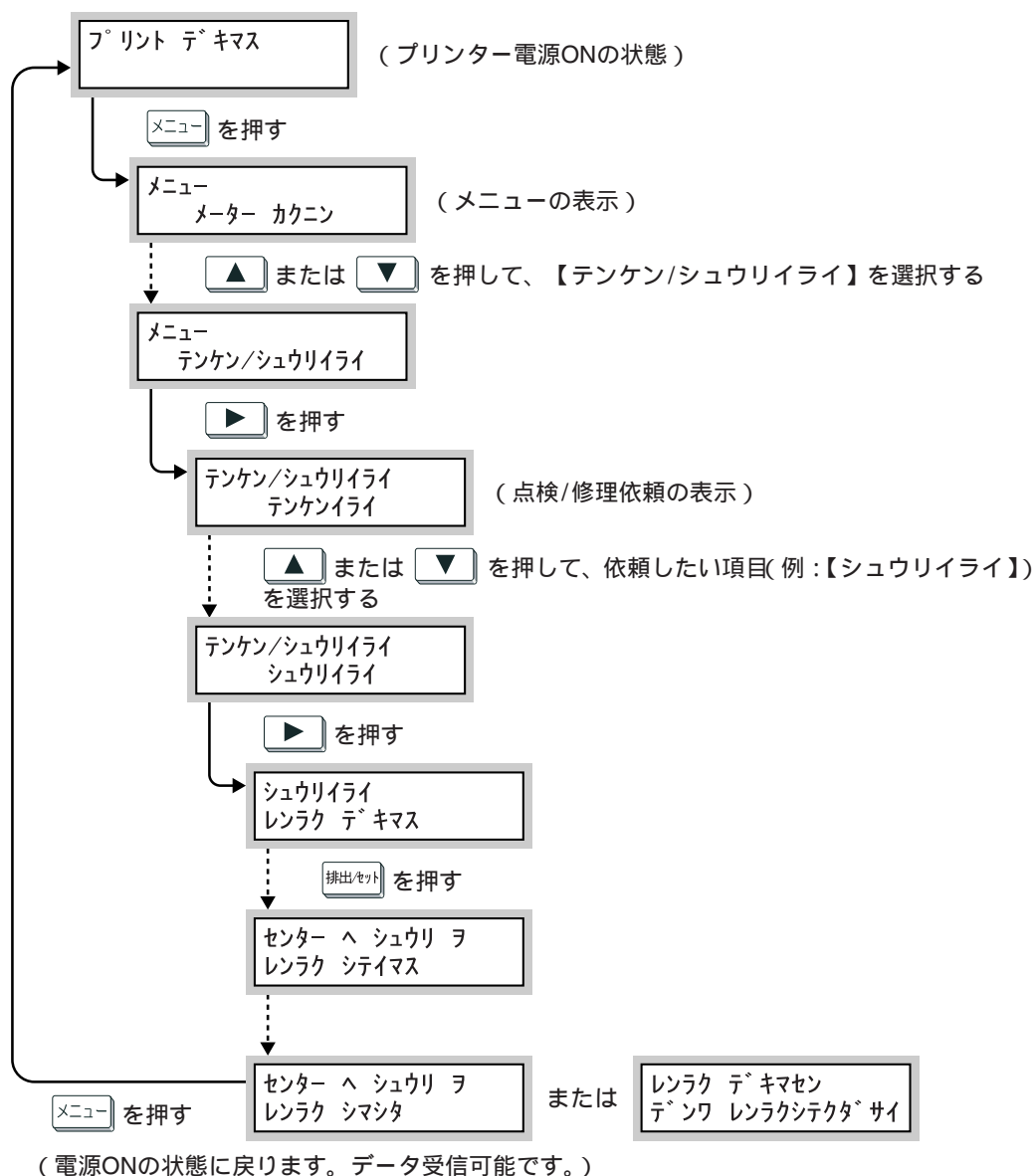
補足 EP(エレクトロニック・パートナーシップ)とは、本機と弊社のEP運用センターを公衆回線で結ぶことで、機械のさまざまな管理業務を自動化するシステムです。詳しくは、担当の営業または販売店にお問い合わせください。

7.5.1 DocuColor 1250シリーズ

参照 操作方法については、『取扱説明書(本体管理/コピー編)』の「7.4 点検/修理を依頼する」を参照してください。

こまったときは
7

7.5.2　DocuPrint C1250

ここでは、修理を依頼する場合を例に説明します。

補足　**通信回線などの異常がおきた場合、【レンラクデキマセン　デンワレンラクシテクダサイ】とメッセージが表示されます。そのときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店に電話で連絡してください。**

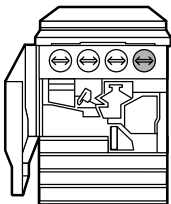
こまったときは
7

8
章

日常の管理

8.1 消耗品の交換について

ここでは、消耗品の交換について機種別に説明します。

8.1.1　DocuColor 1250シリーズ

消耗品の交換時期になると、タッチパネルディスプレイ、およびプリンター用操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されます。タッチパネルディスプレイに表示されているメッセージに従って、消耗品を交換してください。

注記　消耗品を交換するときは、本機の電源を入れたまま行ってください。電源を切ると、本機内に残っている印刷データや、本機のメモリーに蓄えられた情報が消去されます。

参照　消耗品の交換手順については、『取扱説明書(本体管理/コピー編)』の「8章　日常の管理」を参照してください。

タッチパネルディスプレイに表示されるメッセージ

例:　ブラックトナーカートリッジの場合

トナーカートリッジ交換

ブラックトナーカートリッジを交換してください。

交換方法はカートリッジの外箱を見てください。

コピーを中止するときは、[C]ボタンを押してください。

プリンター用操作パネルに表示されるメッセージ

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ ｼｮｳﾓｳﾋﾝ ｶｸﾆﾝ	ｼｮｳﾓｳﾋﾝ ｦ ｶｸﾆﾝ (ｺｳｶﾝ) ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ (ｸﾛ) ｼｮｳﾓｳﾋﾝ ｶｸﾆﾝ

補足　プリンター用操作パネルのディスプレイに上記のメッセージが表示されて、タッチパネルディスプレイに表示がない場合は、〈仕様設定/登録/メーター確認〉ボタンで確認できます。

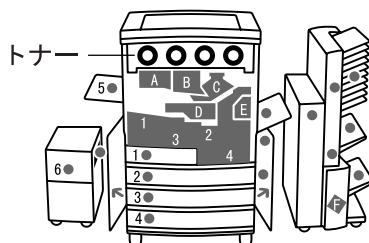
8.1.2　DocuPrint C1250

消耗品の交換時期になると、プリンター用操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されます。次節以降を参照して消耗品を交換してください。

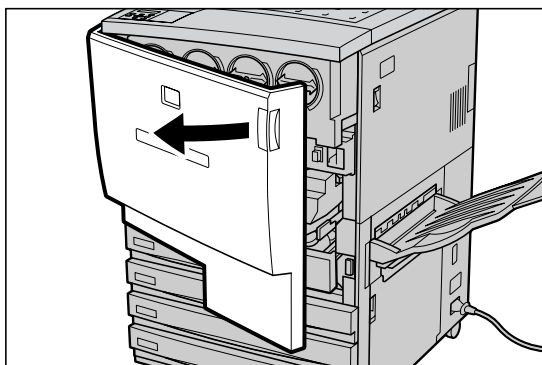
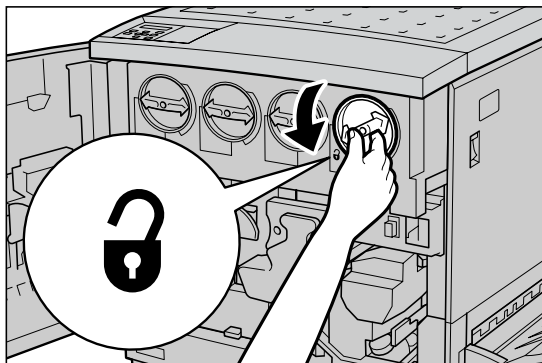
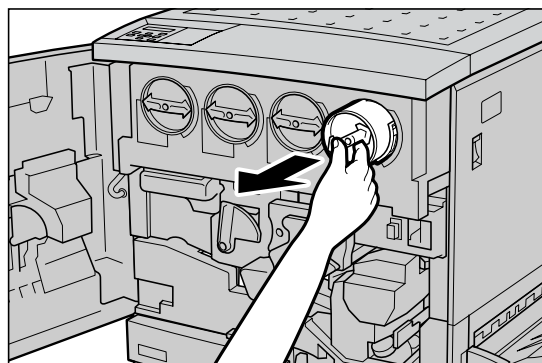
注記　消耗品を交換するときは、本機の電源を入れたまま行ってください。電源を切ると、本機内に残っている印刷データや、本機のメモリーに蓄えられた情報が消去されます。

8.2 トナーカートリッジを交換する

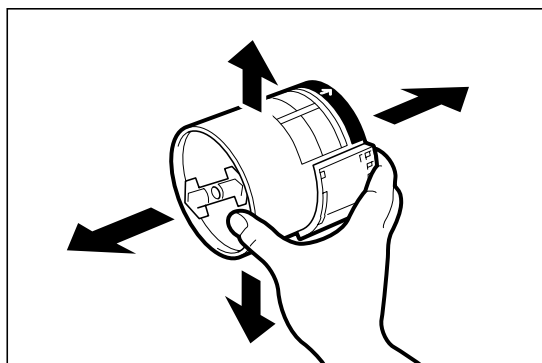
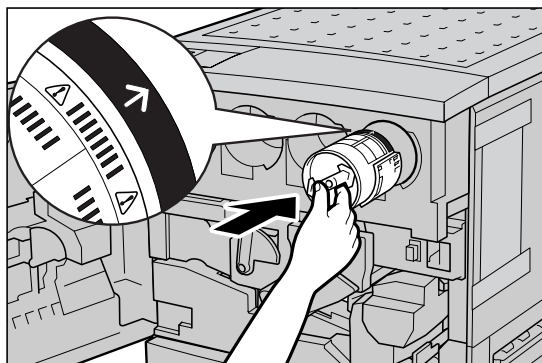
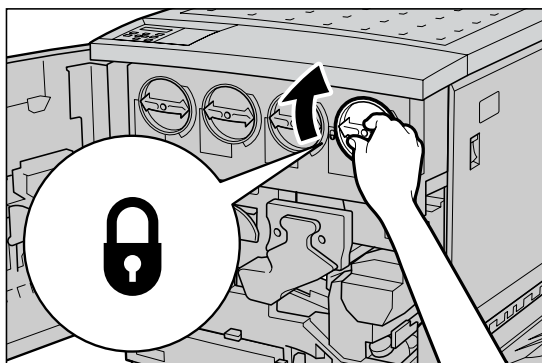
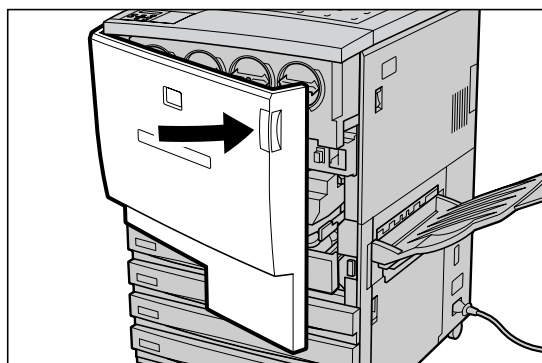
本機には、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの4色のトナーカートリッジがセットされています。各カートリッジにはそれぞれの色のトナー(画像形成剤)が入っており、トナーは印刷するたびに少しずつ減少します。

トナーカートリッジの交換時期になると、ディスプレイに以下のようなメッセージが表示され、状態表示部の該当するトナーカートリッジのランプが点灯します。表示された色のトナーカートリッジを交換してください。交換せずに印刷し続けると、メッセージ表示後、約1,050枚(ブラックトナーカートリッジのみ約800枚)の印刷で機械は停止し、印刷できなくなります。印刷枚数は原稿によって異なります。

⚠警告　**トナーカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。**

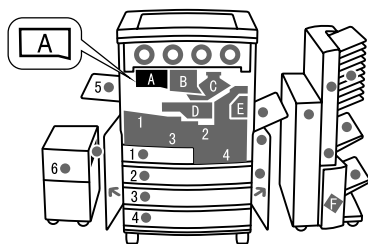
注記　**使用済みのトナーカートリッジには処理が必要になるので、弊社または販売店にお渡しください。**

補足　**トナーカートリッジの交換のとき、トナーがこぼれて床面などを汚すことがあります。あらかじめ床に紙などを敷いて作業することをお勧めします。**

1 機械が停止していることを確認し、フロントカバーを開けます。

② メッセージに表示されている色のトナーカートリッジを、鍵印(開)の位置まで左方向に回します。

③ トナーカートリッジを手前に静かに引いて、取り出します。

⚠警告	トナーカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

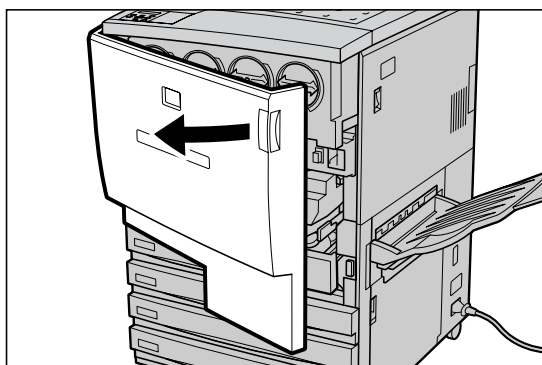
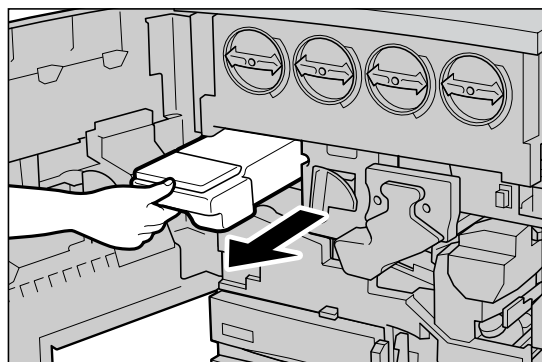
注記
- トナーカートリッジはゆっくり引き出してください。トナーが飛び散ることがあります。
- 使用済みのトナーカートリッジは、弊社または販売店にお渡しください。

④ 取り出したトナーカートリッジと同じ色の新しいトナーカートリッジを用意し、上下左右によく振ります。

⑤ トナーカートリッジの矢印(↑)部を上に向けて、奥に突き当たるまで差し込みます。

⑥ トナーカートリッジを、鍵印(閉)まで右方向に回します。

⑦ フロントカバーを閉じます。
【プリントデキマス】とメッセージが表示されます。

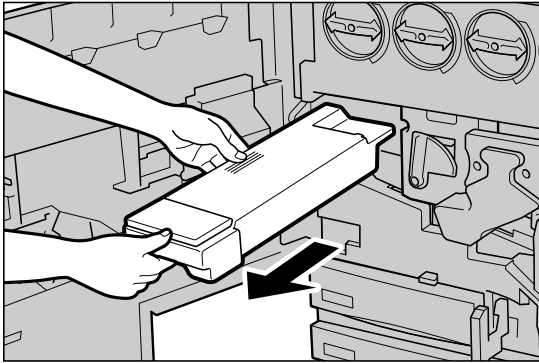
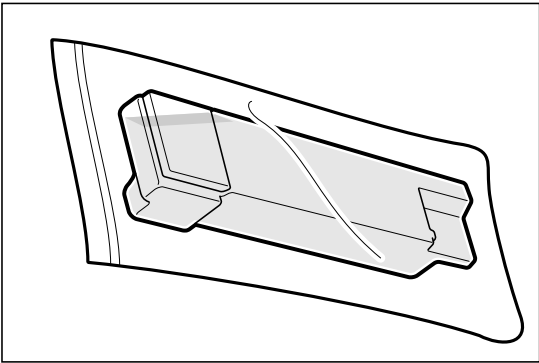
8.3 トナー回収ボトルを交換する[A]

印刷後のドラムに残ったトナーは、かき集められてトナー回収ボトルにたまります。トナー回収ボトルがトナーでいっぱいになると、ディスプレイに以下のようなメッセージが表示され、状態表示部の[A]ランプが点灯します。このメッセージが表示されたら、新しい回収ボトルと交換してください。交換せずに印刷し続けると、メッセージ表示後、約1,500枚の印刷で機械は停止します。印刷枚数は原稿によって異なります。

プ゜リント　デ゛キマス ボ゛トル[A]ノ　コウカンシ゛キ		トナー　カイシュウボ゛トル[A] ヲ　コウカン　シテクダ゛サイ

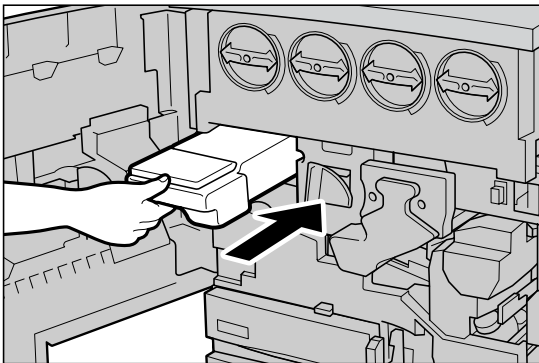
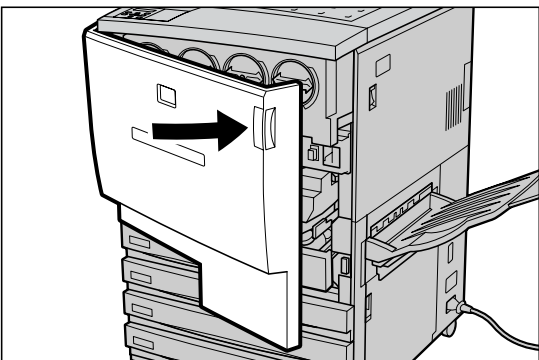
⚠警告　**トナー、または使用済みのトナー回収ボトルを絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。**

注記　**使用済みのトナー回収ボトルには処理が必要になるので、弊社または販売店にお渡しください。**

補足　**トナー回収ボトルを交換するとき、回収されたトナーがこぼれて床面を汚すことがあります。あらかじめ床に紙などを敷いて作業することをお勧めします。**

① 機械が停止していることを確認し、フロントカバーを開けます。

② トナー回収ボトルの手前の取っ手をつかみ、トナー回収ボトルの約半分を引き出します。

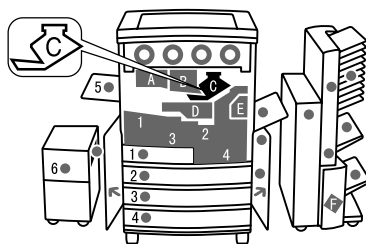
注記　**トナー回収ボトルは奥行が長く、回収されたトナーが入っているので重くなります。両手で支えて取り出してください。**

③ ボトルの中央部を左図のように支えて、両手でトナー回収ボトルを取り出します。

④ 使用済みのトナー回収ボトルは、専用のポリ袋に入れます。

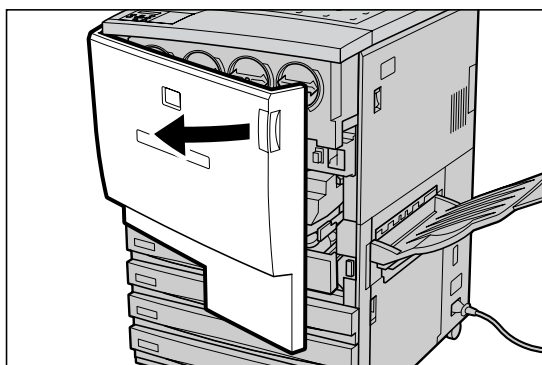
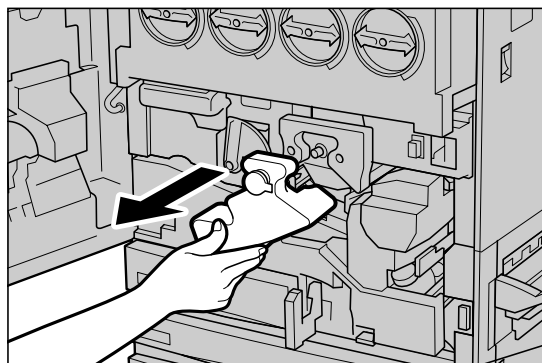
> ⚠警告　**トナー、または使用済みのトナー回収ボトルを絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。**

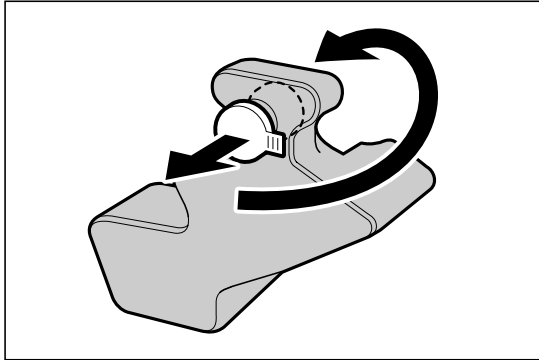
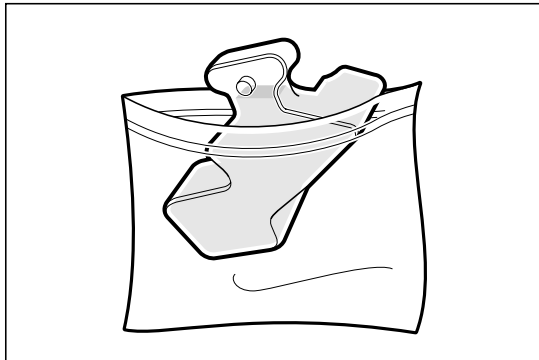
注記 使用済みのトナー回収ボトルは、弊社または販売店にお渡しください。

⑤ 新しいトナー回収ボトルを用意し、奥に突き当たるまで差し込みます。

⑥ フロントカバーを閉じます。

【プリントデキマス】とメッセージが表示されます。

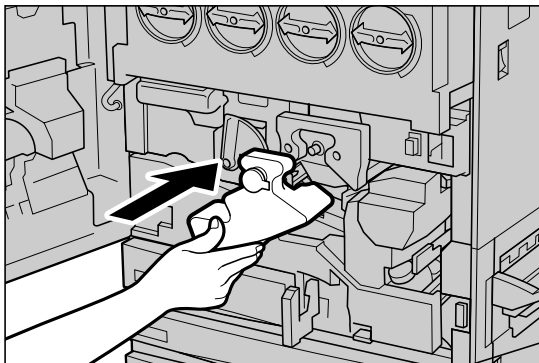
8.4 現像剤回収ボトルを交換する[C]

使用済みの現像剤は、現像剤回収ボトルに回収されます。現像剤回収ボトルの交換時期になると、ディスプレイに以下のようなメッセージが表示され、状態表示部の[C]ランプが点灯します。このメッセージが表示されたら、新しいボトルと交換してください。交換せずに印刷し続けると、メッセージ表示後、約1,500枚の印刷で機械は停止し、印刷できなくなります。印刷枚数は原稿によって異なります。

⚠警告 **現像剤、または使用済みの現像剤回収ボトルを絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。**

注記
- 使用済みの現像剤回収ボトルは重くなります。取り出すときは、落としたりこぼしたりしないように注意してください。また、あらかじめ床に紙などを敷いて作業することをお勧めします。
- 使用済みの現像剤回収ボトルには処理が必要になるので、弊社または販売店にお渡しください。

1. **機械が停止していることを確認し、フロントカバーを開けます。**

2. **現像剤回収ボトルを引き出します。**

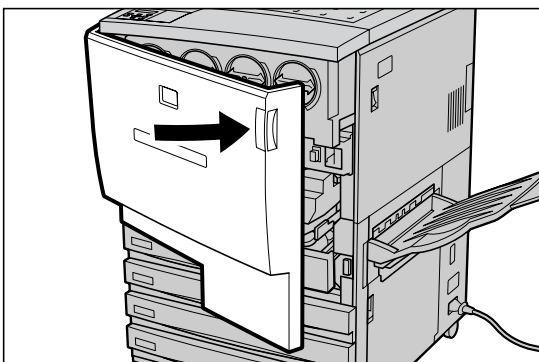
   注記 使用済みの現像剤回収ボトルは重くなります。取り出すときは、落としたりこぼしたりしないように注意してください。

3 取り出した現像剤回収ボトルの裏側の穴を、手前に付いているオレンジ色のキャップでふさぎます。

4 使用済みの現像剤回収ボトルは、専用のポリ袋に入れます。

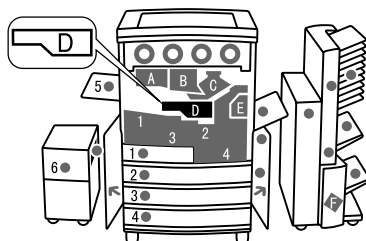
> ⚠警告　**現像剤、または使用済みの現像剤回収ボトルを絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。**

注記 使用済みの現像剤回収ボトルは、弊社または販売店にお渡しください。

5 新しい現像剤回収ボトルを用意し、「カチッ」と音がするまで機械に押し込みます。

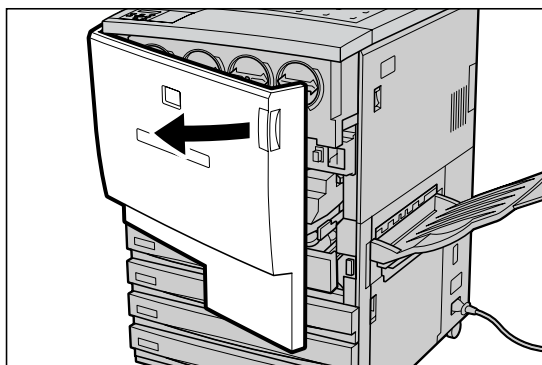
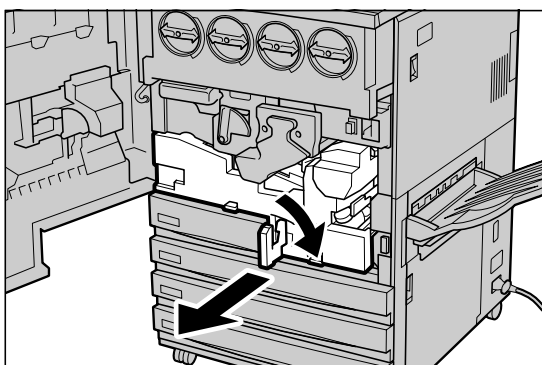
6 フロントカバーを閉じます。

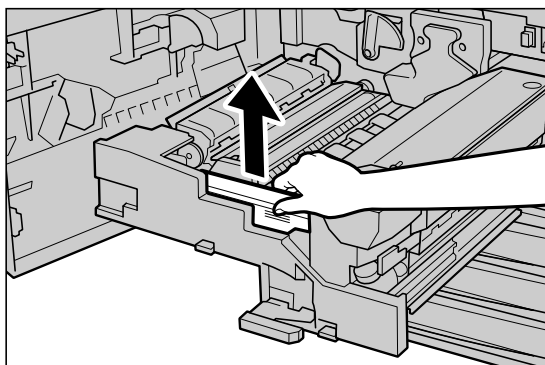
【プリントデキマス】とメッセージが表示されます。

8.5 オイルカートリッジを交換する[D]

オイルカートリッジの交換時期になると、ディスプレイに以下のようなメッセージが表示され、状態表示部の[D]ランプが点灯します。このメッセージが表示されたら、新しいオイルカートリッジと交換してください。交換せずに印刷し続けると、メッセージ表示後、約1,500枚の印刷で機械は停止し、印刷できなくなります。印刷枚数は原稿によって異なります。

プﾟリント デﾞキマス
オイル[D]ノ コウカンジﾞキ

⚠注意 **「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺(定着部やその周辺)には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。**

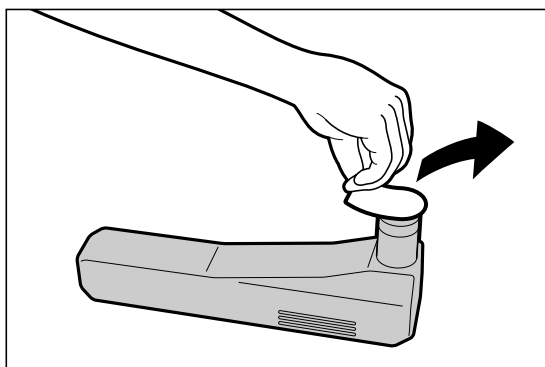
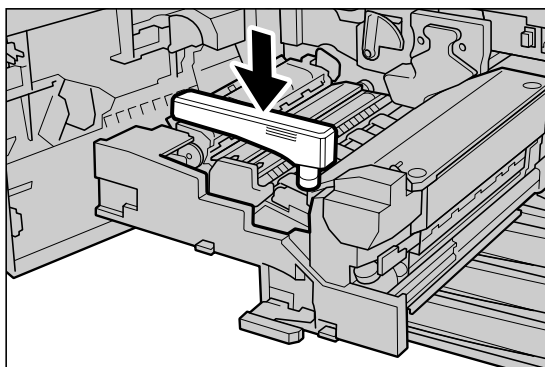
注記

- 使用済みオイルカートリッジを抜き取るとき、オイルがたれることがあります。あらかじめ床に紙などを敷いて作業することをお勧めします。
- 使用済みのオイルカートリッジには処理が必要になるので、弊社または販売店にお渡しください。
- オイルカートリッジは、消防法「第四類第四石油類」に該当します。

1. 機械が停止していることを確認し、フロントカバーを開けます。

2. 転写ユニット中央にある緑色のレバーを、右方向に水平になるまで回してから、転写ユニットを手前に引き出します。

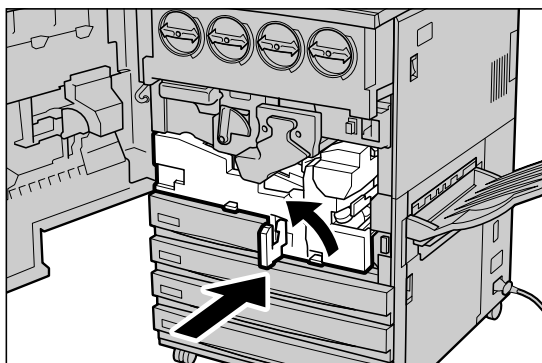
⚠注意 **「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺(定着部やその周辺)には、絶対に触れないでください。やけどの原因になるおそれがあります。**

③ **オイルカートリッジを取り出します。**

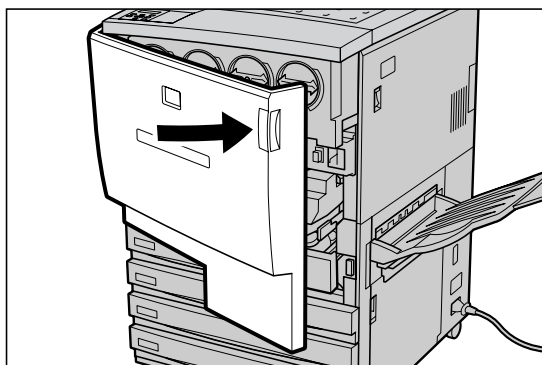
注記 オイルカートリッジを抜き取るとき、オイルがたれることがあります。機械内部や床にたらさないように注意してください。

④ **使用済みのオイルカートリッジは、専用のポリ袋に入れます。**

注記
- 取り出したオイルカートリッジは、機械の上などに置かないでください。必ず専用のポリ袋に入れてください。
- 使用済みのオイルカートリッジは、弊社または販売店にお渡しください。

⑤ **新しいオイルカートリッジを用意し、先端のシールをはがします。**

⑥ **オイルカートリッジの口を下に向け、左図のように機械に挿入し、止まるまで押し込みます。**

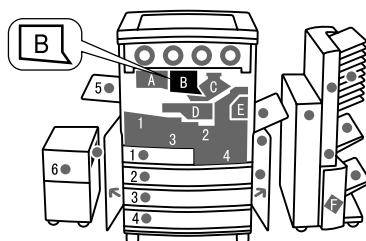
オイルカートリッジは、上端が水平になるように、止まるまで押し込んでください。

注記 オイルカートリッジのシールをはがさずに機械に挿入すると、オイル供給部が破損するおそれがあるので注意してください。

7. 転写ユニットを完全に奥まで押し込み、緑色のレバーを左に回します。

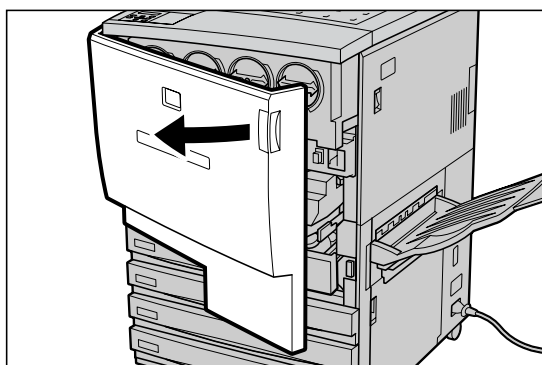
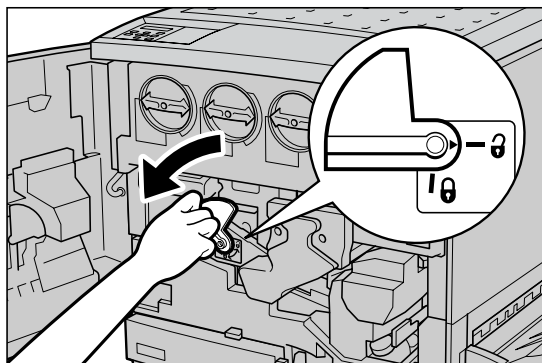
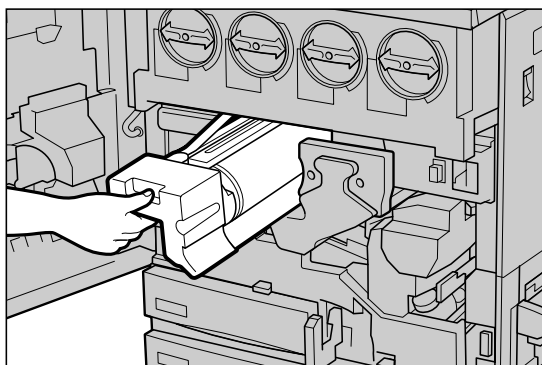
   レバーを回せない場合は、転写ユニットを途中まで引き出してから、再度押し込んでください。

8. フロントカバーを閉じます。

   【プリントデキマス】とメッセージが表示されます。

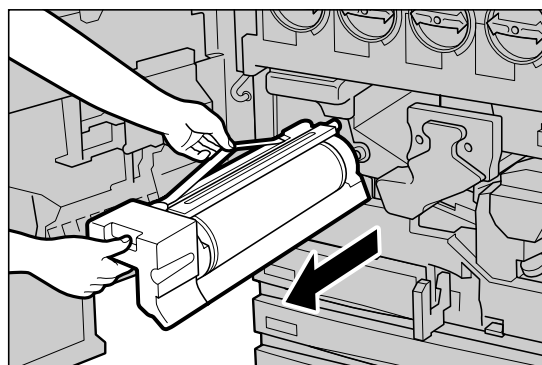
ドラムカートリッジを交換する[B]（スポット保守のお客様のみ）

ドラムカートリッジは、印刷画像を形成するための感光体ユニットです。ドラムカートリッジの交換時期になると、ディスプレイに以下のようなメッセージが表示され、状態表示部の[B]ランプが点灯します。このメッセージが表示されたら、弊社のテレフォンセンターにお問い合わせください。なお、スポット保守の契約のお客様は、本節を参照してドラムカートリッジを交換してください。交換しないで使い続けると、メッセージ表示後、約5,000枚で機械が停止し、印刷できなくなります。印刷枚数は原稿によって異なります。

プ゜リント　デ゛キマス ト゛ラム[B]ノ　コウカンシ゛キ	→	ト゛ラム　カートリッシ゛[B] ヲ　コウカン　シテクダ゛サイ

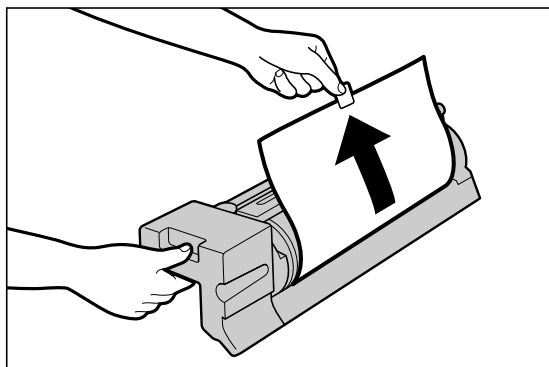
⚠注意　**ドラムカートリッジを、勢いよく引き出さないでください。ドラムカートリッジが飛び出し、けがの原因となるおそれがあります。**

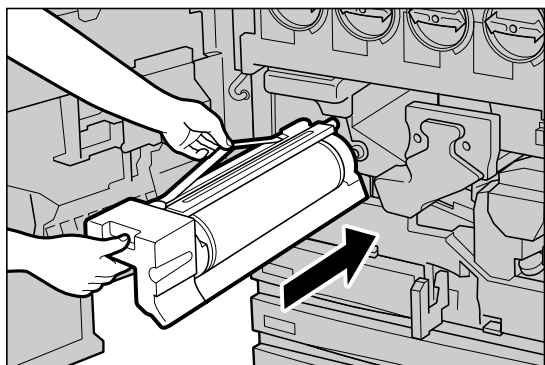
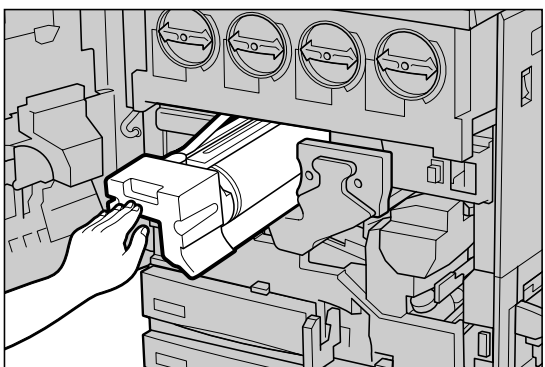
注記
- ドラムカートリッジを、直射日光や室内蛍光灯の強い光に当てないでください。
- ドラムの表面に触れたり、傷を付けたりしないでください。きれいな印刷ができなくなることがあります。
- 使用済みのドラムカートリッジには処理が必要になるので、弊社または販売店にお渡しください。

① 機械が停止していることを確認し、フロントカバーを開けます。

② 中央のオレンジ色のレバーを、鍵印(開)まで左方向に回します。

③ ドラムカートリッジ手前の取っ手をつかみ、上部の取っ手が見えるところまで静かに引き出します。

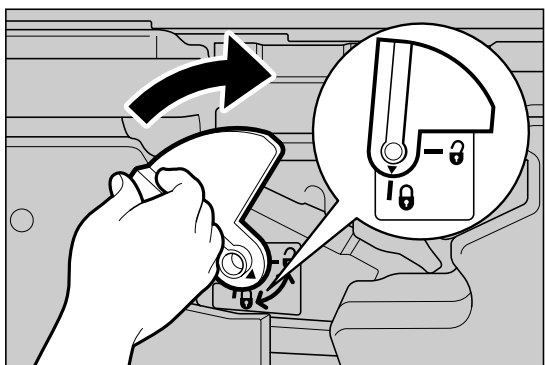
⚠注意	**ドラムカートリッジを、勢いよく引き出さないでください。ドラムカートリッジが飛び出し、けがの原因となるおそれがあります。**

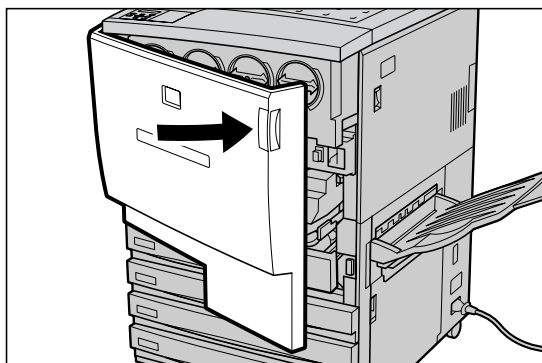
注記 ドラムカートリッジを引き出すとき、床に落とさないように注意してください。

④ 上部の取っ手を持ち、ドラムカートリッジを静かに引き出して外します。

⑤ 新しいドラムカートリッジを箱から取り出し、その箱に、使用済みドラムカートリッジをしまいます。

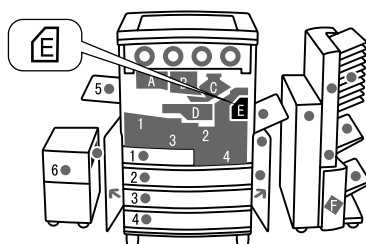
注記
- ドラムカートリッジを立てた状態で置かないでください。
- 使用済みのドラムカートリッジは、弊社または販売店にお渡しください。

⑥ 新しいドラムカートリッジの保護シートを取ります。

注記 ドラムの表面に触れたり、傷を付けたりしないでください。きれいな印刷ができなくなることがあります。

⑦ ドラムカートリッジの上部の取っ手と、手前の取っ手を持ち、ドラムカートリッジの約半分を機械に差し込みます。

⑧ ドラムカートリッジの手前の面を押し、奥に突き当たるまでしっかり差し込みます。

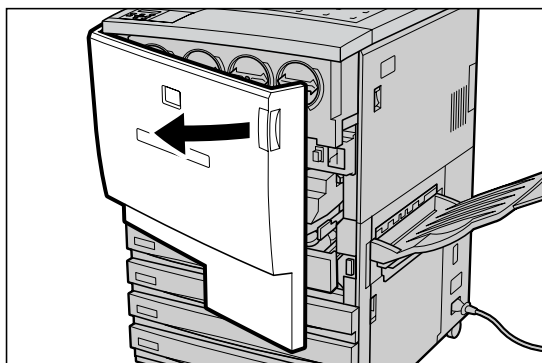
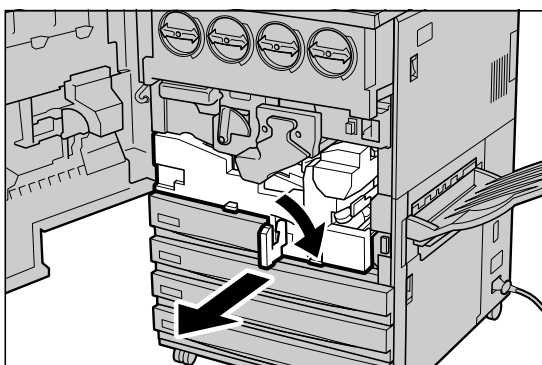
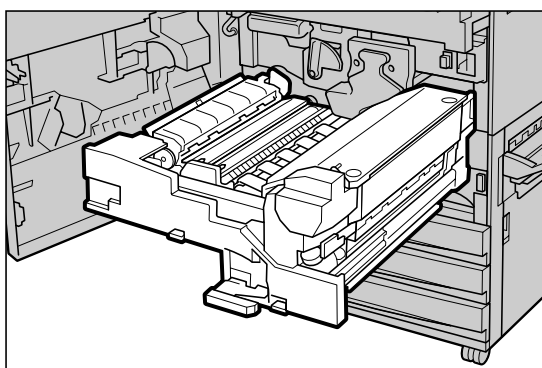
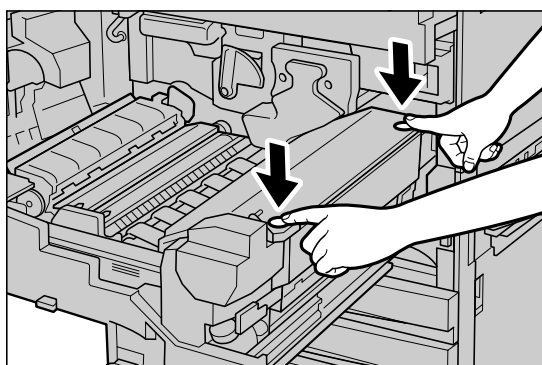
正しくセットされると「カチッ」と音がします。

⑨ オレンジ色のレバーを、鍵印（閉）まで右方向に回します。

レバーが回らないときは、ドラムカートリッジを途中まで引き出してから再度押し込んでください。

⑩ フロントカバーを閉じます。
【プリントデキマス】とメッセージが表示されます。

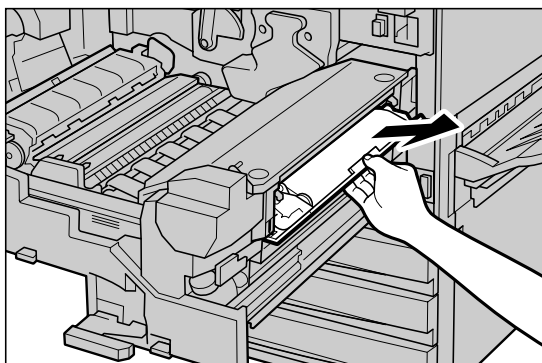
クリーニングカートリッジを交換する[E]（スポット保守のお客様のみ）

クリーニングカートリッジは、定着部内をクリーニングするシートです。クリーニングカートリッジの交換時期になると、ディスプレイに以下のようなメッセージが表示され、状態表示部の[E]ランプが点灯します。このメッセージが表示されたら、弊社のテレフォンセンターにお問い合わせください。なお、スポット保守の契約のお客様は、本節を参照して新しいクリーニングカートリッジと交換してください。交換せずに印刷し続けると、メッセージ表示後、約2,000枚の印刷で機械は停止し、印刷できなくなります。印刷枚数は原稿によって異なります。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ[E]ｼﾞｷﾃﾞｽ		ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ｶｰﾄﾘｯｼﾞ [E]ｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ

⚠注意
- **「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着部やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。**
- **クリーニングカートリッジは、高温になっています。充分冷えてから操作してください。転写ユニットを引き出した状態で約20分放置すると、クリーニングカートリッジ中央部の取っ手の温度が安全に操作できる温度（約70℃）になります。**
- **クリーニングカートリッジは、外部が冷えた状態でも内側は高温になっています。取っ手以外の箇所には、触れないように注意して交換してください。**
- **クリーニングカートリッジを取り外した本体の内部は熱いので、シャッターの中には決して手を差し込まないでください。また、本体の内部に異物が落下した場合には、無理にとらないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。直ちに、電源スイッチを切り、弊社のテレフォンセンターまたは販売店に連絡してください。**

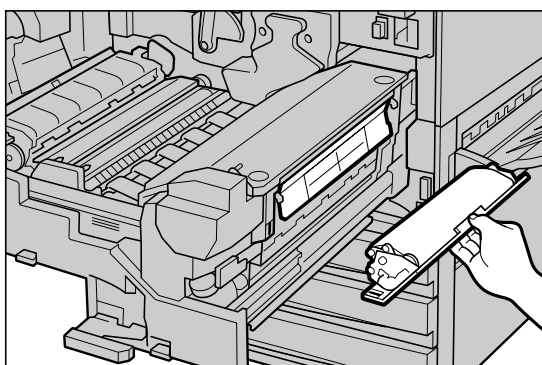
注記☞ **使用済みのクリーニングカートリッジには処理が必要になるので、弊社または販売店にお渡しください。**

1 機械が停止していることを確認し、フロントカバーを開けます。

2 転写ユニット中央にある緑色のレバーを、右方向に水平になるまで回してから、転写ユニットを手前に引き出します。

⚠注意　**クリーニングカートリッジは、高温になっています。充分冷えてから操作してください。転写ユニットを引き出した状態で約20分放置すると、クリーニングカートリッジ中央部の取っ手の温度が安全に操作できる温度(約70℃)になります。**

3 定着部上部のオレンジ色のEボタン2か所を、左図のように押します。

クリーニングカートリッジが開きます。

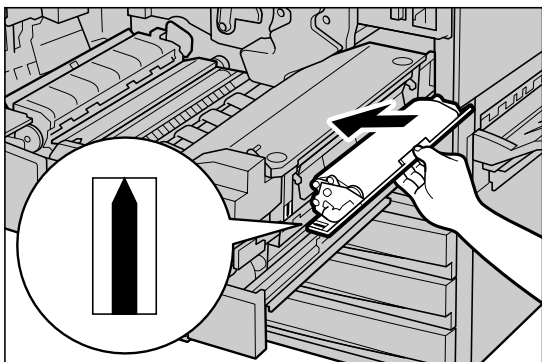
⚠注意　**「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺(定着部やその周辺)には、絶対に触れないでください。やけどの原因になるおそれがあります。**

④ **クリーニングカートリッジ中央のオレンジ色の取っ手部分に親指をかけ、クリーニングカートリッジ側面のくぼみを持ち、矢印方向に浮かせるように取り出します。**

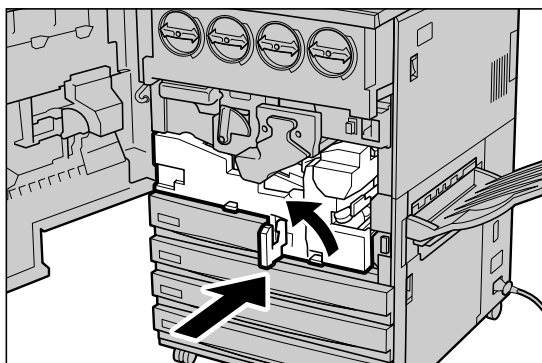
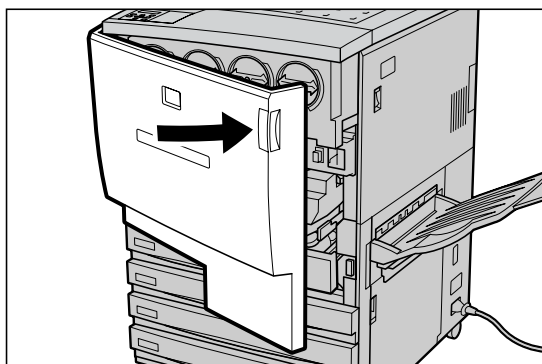
クリーニングカートリッジを取り出すと、シャッターが下ります。

⚠注意	**クリーニングカートリッジは、外部が冷えた状態でも内側は高温になっています。取っ手以外の箇所には、触れないように注意して交換してください。**

注記 クリーニングカートリッジは、まっすぐに取り出してください。傾いたまま取り出すと、破損やけがの原因となるおそれがあります。

⚠注意	**クリーニングカートリッジを取り外した本体の内部は熱いので、シャッターの中には決して手を差し込まないでください。また、本体の内部に異物が落下した場合には、無理にとらないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。直ちに、電源スイッチを切り、弊社のテレフォンセンターまたは販売店に連絡してください。**

⑤ **新しいクリーニングカートリッジを取り出し、その箱に、使用済みのクリーニングカートリッジを入れます。**

注記 使用済みのクリーニングカートリッジは、弊社または販売店にお渡しください。

⑥ **クリーニングカートリッジの矢印マーク（左図）と、本体の矢印マークの先端を合わせて、滑り込ませるように機械に装着し、止まるまで押し込みます。**

「カチッ」という音とともに、2か所のEボタンが上がるのを確認します。

7. 転写ユニットを完全に奥まで押し込み、緑色のレバーを左に回します。
   レバーを回せない場合は、転写ユニットを途中まで引き出してから、再度押し込んでください。

8. フロントカバーを閉じます。
   【プリントデキマス】とメッセージが表示されます。

階調補正操作

9.1 階調補正の概要

印刷画質の色階調がずれた場合に、自動的に階調を補正することができます。補正することで、本機の印刷画質を一定のカラー品質に保つことができます。

9.1.1 DocuColor 1250シリーズ

注記 **自動階調補正には、[コピー/プリンター用]と[コピー用]があります。印刷画質の補正は、[コピー/プリンター用]を選択してください。**

参照 **階調補正の操作手順については、『取扱説明書(本体管理/コピー編)』の「6.5 自動階調補正を実行する」を参照してください。**

プリンター用として補正をする場合の注意点

次の画面では、[コピー/プリンターに適用する]を選択してください。

機械管理者画面です。

自動階調補正の適用範囲　決定

- コピー/プリンターに適用する
- コピーにのみ適用する
- 適用しない

次の画面では、[プリンター用(150線ドット)]を選択してください。

機械管理者画面です。

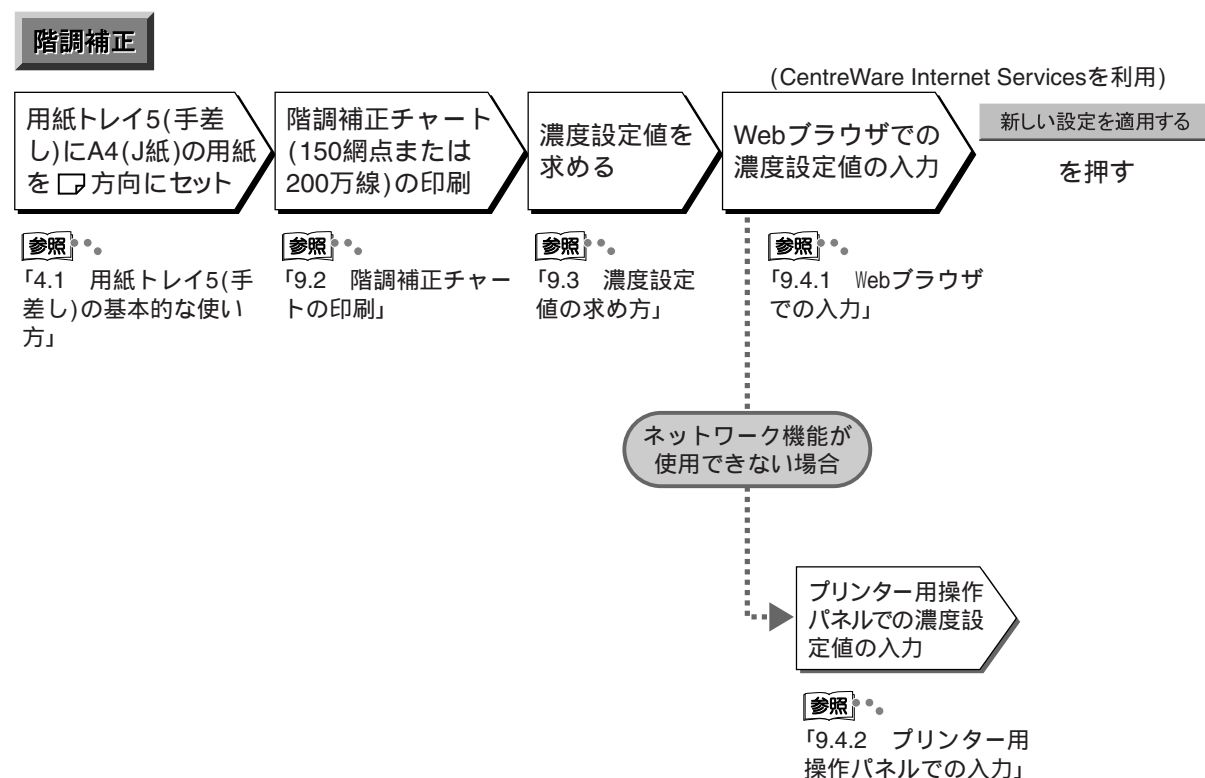
補正スクリーンの設定　決定

- 印刷写真(200線スクリーン)
- 印画紙写真(200線ドット)
- プリンター用(150線ドット)

9.1.2　DocuPrint C1250

補正は、「階調補正チャート」を印刷して、本機に付属の「階調補正用色見本」と濃度を比較して濃度設定値を求め、本機に設定値を入力して行います。
C、M、Y、K（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック）各色の低濃度（L）/中濃度（M）/高濃度（H）を調整することができます。
補正した結果は、PLWプリンタードライバーの[グラフィックス]タブの[印刷]モードで、[画質優先]を選択して印刷する場合にだけ有効になります。

補足
- 階調補正をしても色階調がたびたびずれるような場合は、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にお問い合わせください。
- 濃度設定値を初期化(工場出荷時の値で、すべて0)することもできます。初期化を行うと、すべての濃度設定値が「0」になり、階調補正しない状態になります。初期化しても、設置時の画質に戻るということではありません。お使いの期間が長くなると、本機の経時変化、環境変化、印刷枚数などの影響により、設置時の画質とは異なります。

階調補正操作の流れは、次のとおりです。

9.2 階調補正チャートの印刷

階調補正チャートには、150網点用と200万線用の2種類あります。

150網点用は、グラフィックに対する補正、200万線用は、テキストや写真イメージに対する補正のためのチャートです。

チャートは、用紙トレイ5(手差し)を使用してA4 □ の用紙に印刷します。階調補正チャートの印刷方法は、次のとおりです。ここでは、200万線用を例に説明します。

プ゜リント デ゛キマス
（プリンター電源ONの状態）

① [メニュー] を押す

メニュー
ポ゜ートセッテイ
（メニューの表示）

② [▲] または [▼] を何度か押す

メニュー
メンテナンスモート゛

③ [▶] を押す

メンテナンスモート゛
システムセッテイ
（メンテナンスモードの表示）

④ [▲] または [▼] を何度か押す

メンテナンスモート゛
カイチョウホセイ

⑤ [▶] を押す

カイチョウホセイ
200マンセン
（階調補正の表示）

⑥ [▲] または [▼] を押して、印刷したいチャート（【200マンセン】または【150アミテン】）を選択する

カイチョウホセイ
200マンセン

⑦ [▶] を押す

200マンセン
カイチョウ ホセイ チャート

⑧ [▶] を押す

テザ゛シニA4□(Jシ)ヲ イレ
[セット]ボ゛タンデ゛プ゜リント

□方向にセット
1
2

⑨ [排出/セット] を押す

カイチョウホセイチャート
プ゜リント シテイマス

（チャートが印刷されます）

テザ゛シニA4□(Jシ)ヲ イレ
[セット]ボ゛タンデ゛プ゜リント

⑩ [メニュー] を押す
（電源ONの状態に戻ります。データ受信可能です。）

補足 150網点用の階調補正チャートを印刷する場合は、フロー図の⑥で【150アミテン】を選択してください。

9.3 濃度設定値の求め方

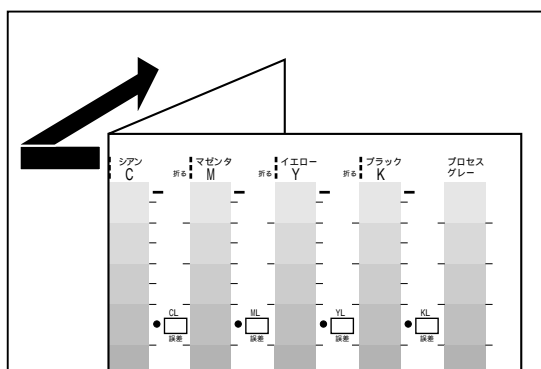
濃度設定値は、印刷した「階調補正チャート」と本体同梱品の「階調補正用色見本」の濃度を比較して求めます。

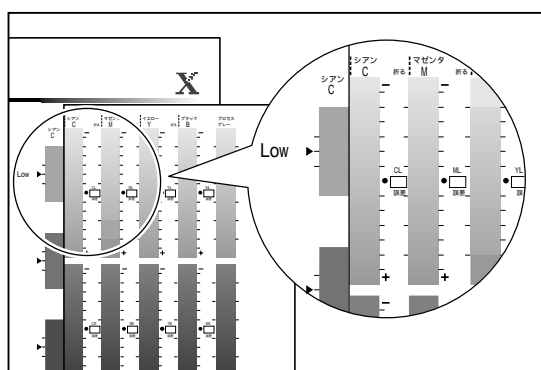
階調補正チャートの補正パッチ7個とそれぞれの中間から、色見本の濃度に近いものを探します。設定範囲は、－6～＋6の13段階です。

階調補正用色見本に指定されている手順もあわせてごらんください。

補足 **工場出荷時の濃度設定値はすべて「0」です。**

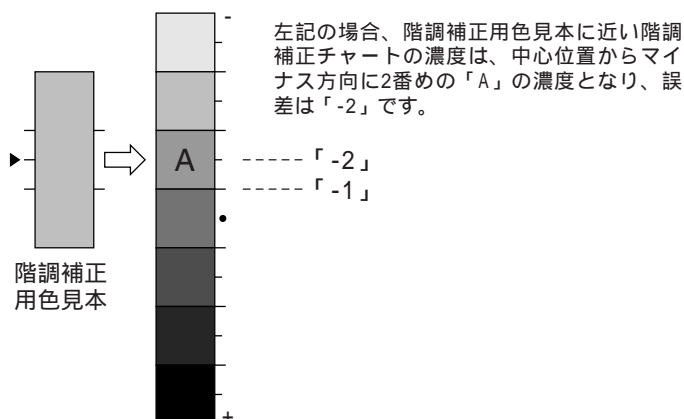
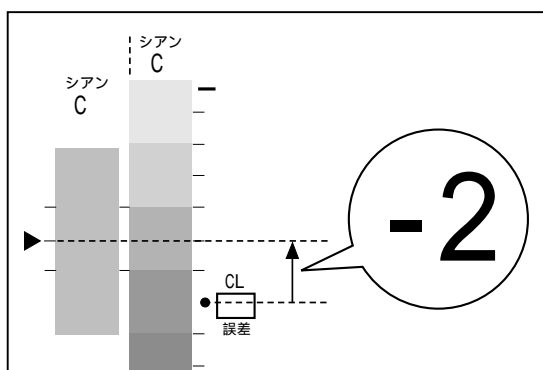
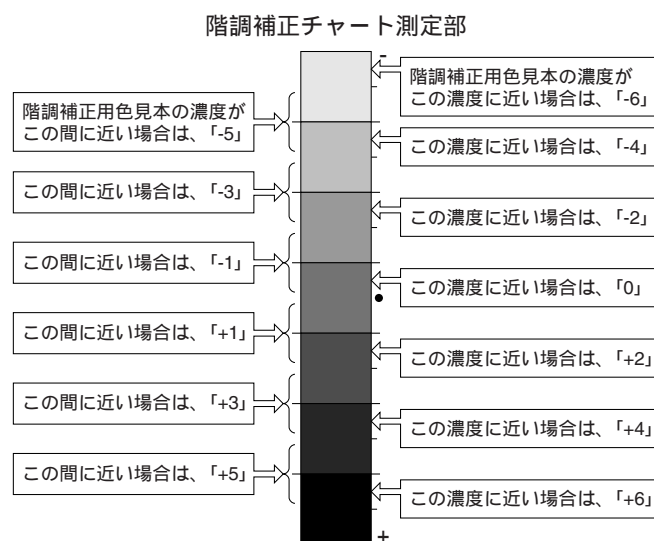
操作手順

① 印刷した階調補正チャートを、補正する色の上下のガイド（点線）に沿って山折りにします。

② チャートの補正する濃度を、色見本の同じ濃度の場所に合わせます。

補足 **低濃度（L）の補正をする場合は、LowとLowを合わせます。**

③ 「・」印を起点にチャートを上下にずらして、色見本との誤差を目盛りから読み取ります。

注記 マイナス（－）とプラス（＋）の方向に注意して読み取ってください。

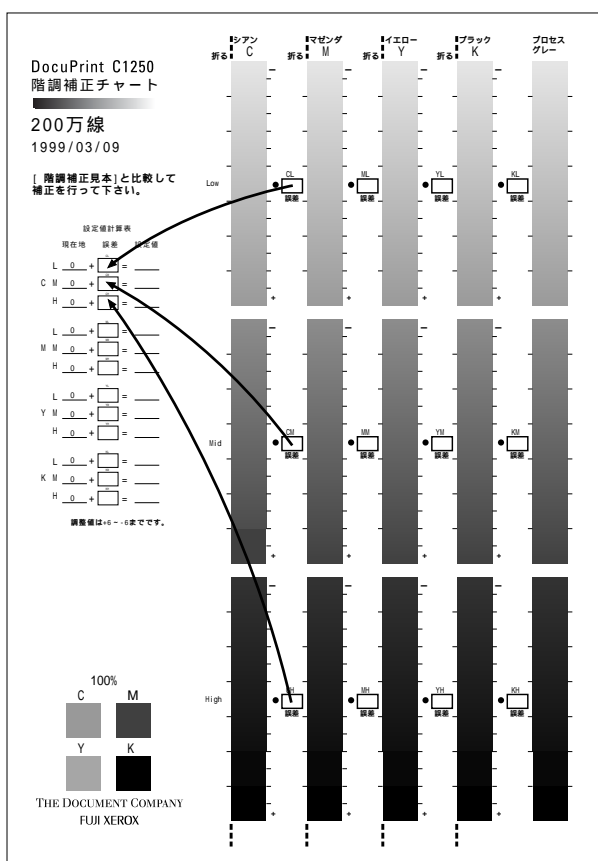
補足 誤差が設定範囲（－6～＋6）を超える場合、ここでは最大値を誤差として補正を行い、再度補正を行ってください。

左記の場合、階調補正用色見本に近い階調補正チャートの濃度は、中心位置からマイナス方向に2番めの「A」の濃度となり、誤差は「-2」です。

④ **該当する「誤差」ボックスに、誤差を記入します。**

⑤ **同じ色の、ほかの2つの濃度も、同様に誤差を読み取ります。**

⑥ **同様にCMYKの残りの色に対して手順①～⑤を繰り返して、誤差を読み取ります。**

⑦ **すべての色の濃度誤差を記入したら、チャートの左側にある「設定値計算表」の、「誤差」の該当する箇所に書き写します。**

以下は、シアンの例です。

⑧ **計算表の式に従って、設定値を求め、「設定値」に記入します。**
「現在値」には、前回の補正時に入力した値が表示されます。

9.4 濃度設定値の入力のしかた

「階調補正チャート」の設定値計算表の「設定値」に記入した濃度設定値を、本機に入力します。

ネットワーク機能（TCP/IP環境）が使用できる場合は、「CentreWare Internet Services」を使用して、Webブラウザ上で入力します。また、ネットワーク機能が使用できない場合は、プリンター用操作パネルで入力します。

参照 「CentreWare Internet Services」について詳しくは、『取扱説明書（ネットワークプリント環境設定編）』を参照してください。

9.4.1 Webブラウザでの入力

操作手順

1. **ホスト装置上で、ブラウザを起動します。**

2. **ブラウザのアドレス入力欄に、本機のIPアドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。**

3. **プロパティ＞メンテナンス＞階調補正の順にクリックします。**
   次の画面が表示されます。

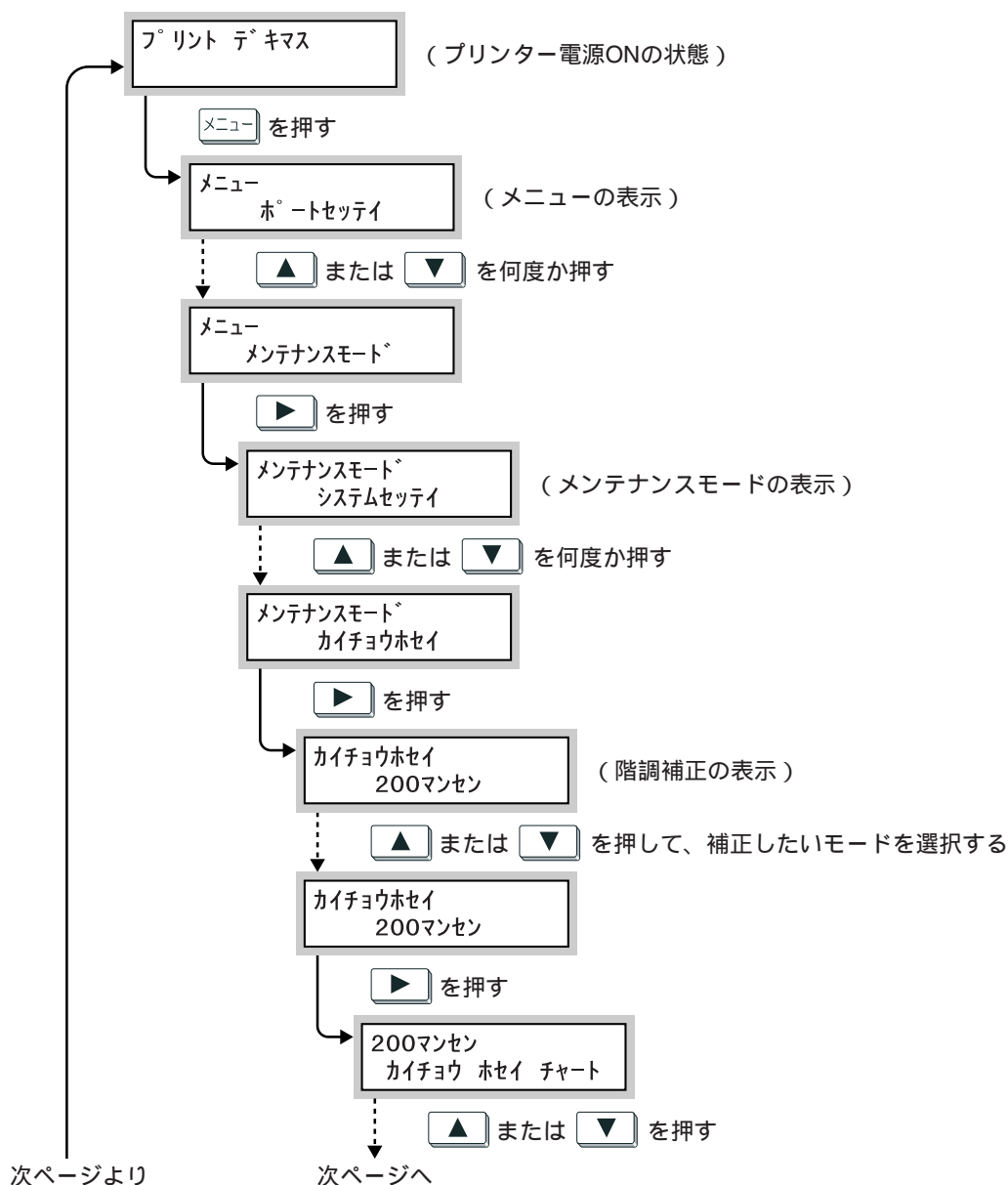
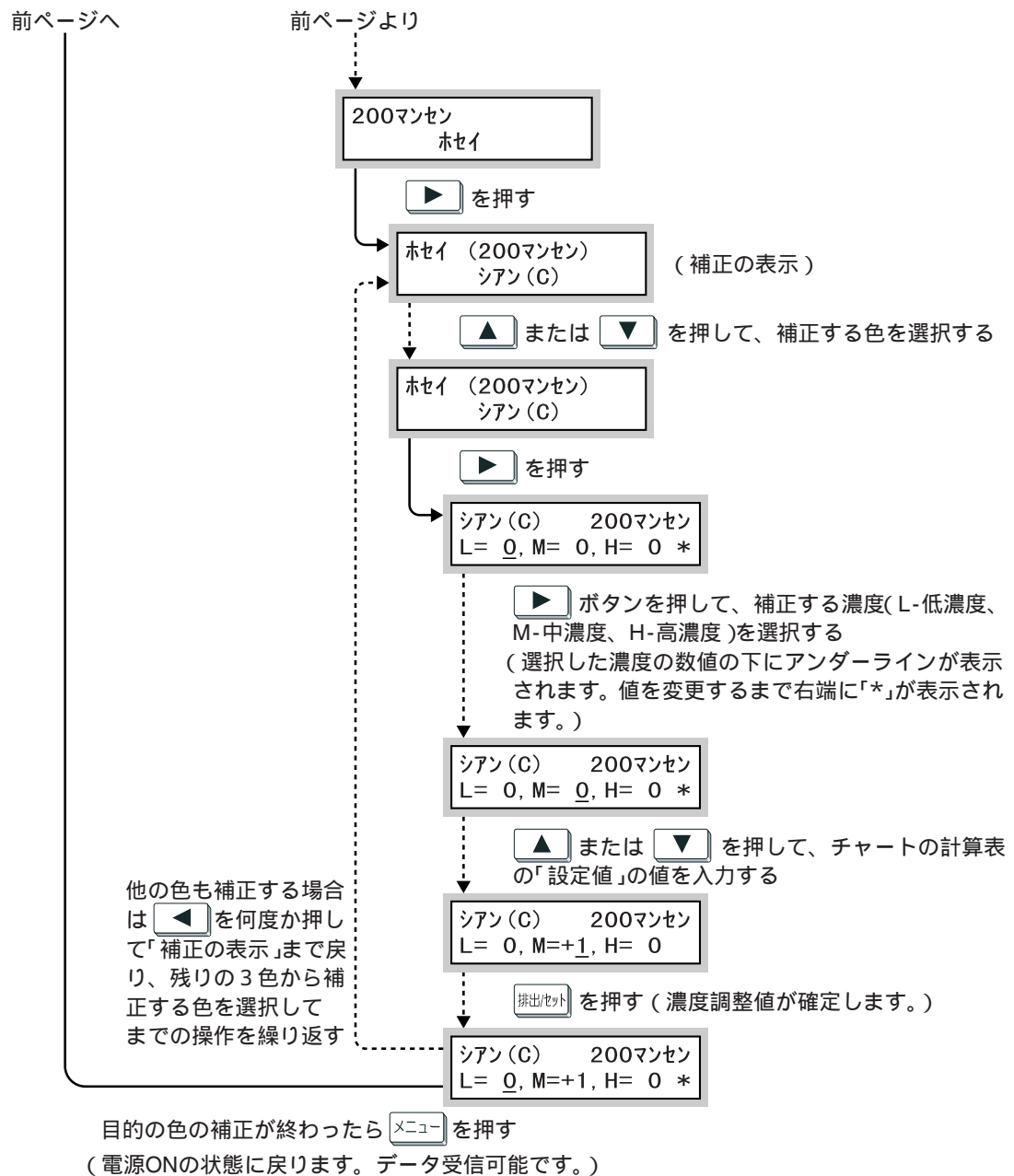
4 該当する色の濃度のメニューから値を選択します。

5 同じ色のほかの2つの濃度も同様に、メニューから値を選択します。

6 CMYKの残りの色に対しても同様に、メニューから値を選択します。

7 すべての色の濃度設定値が入力できたら、[新しい設定を適用する]ボタンをクリックします。

9.4.2　プリンター用操作パネルでの入力

濃度設定値の入力方法は、次のとおりです。
ここでは、200万線のシアンの中濃度（M）を例に説明します。

補正の結果を確認するには、「9.2　階調補正チャートの印刷」を参照して、該当するテストチャートを印刷します。
チャートでCMYKそれぞれの低/中/高濃度の「・」印の濃度が、該当する色見本の濃度に近いことを確認します。結果に満足できないときは、再度補正を行います。
また、「プロセスグレー」は、CMYを掛け合わせて作られているグレーです。補正が正常に行われると、このグレーがブラックと同様に色味がないグレーになります。プロセスグレーの中に、CMYのいずれかの色が強く感じられる場合は、その色を再度補正します。

9.5 濃度設定値を初期化する

色補正しないで印刷するときや、濃度設定値を初期値（工場出荷時の値で、すべて0）にするには、次の手順を行います。初期化すると印刷時に階調補正は働きません。

プ゜リント テ゛キマス （プリンター電源ONの状態）

① メニュー を押す

メニュー
ホ゜ートセッテイ （メニューの表示）

② ▲ または ▼ を何度か押す

メニュー
メンテナンスモート゛

③ ▶ を押す

メンテナンスモート゛
システムセッテイ （メンテナンスモードの表示）

④ ▲ または ▼ を何度か押す

メンテナンスモート゛
ショキカ

⑤ ▶ を押す

ショキカ
NVメモリー ショキカ （初期化の表示）

⑥ ▲ または ▼ を何度か押す

ショキカ
カイチョウ ホセイ ショキカ

⑦ ▶ を押す

カイチョウ ホセイ ショキカ
ショキカ テ゛キマス

⑧ 排出/セット を押す

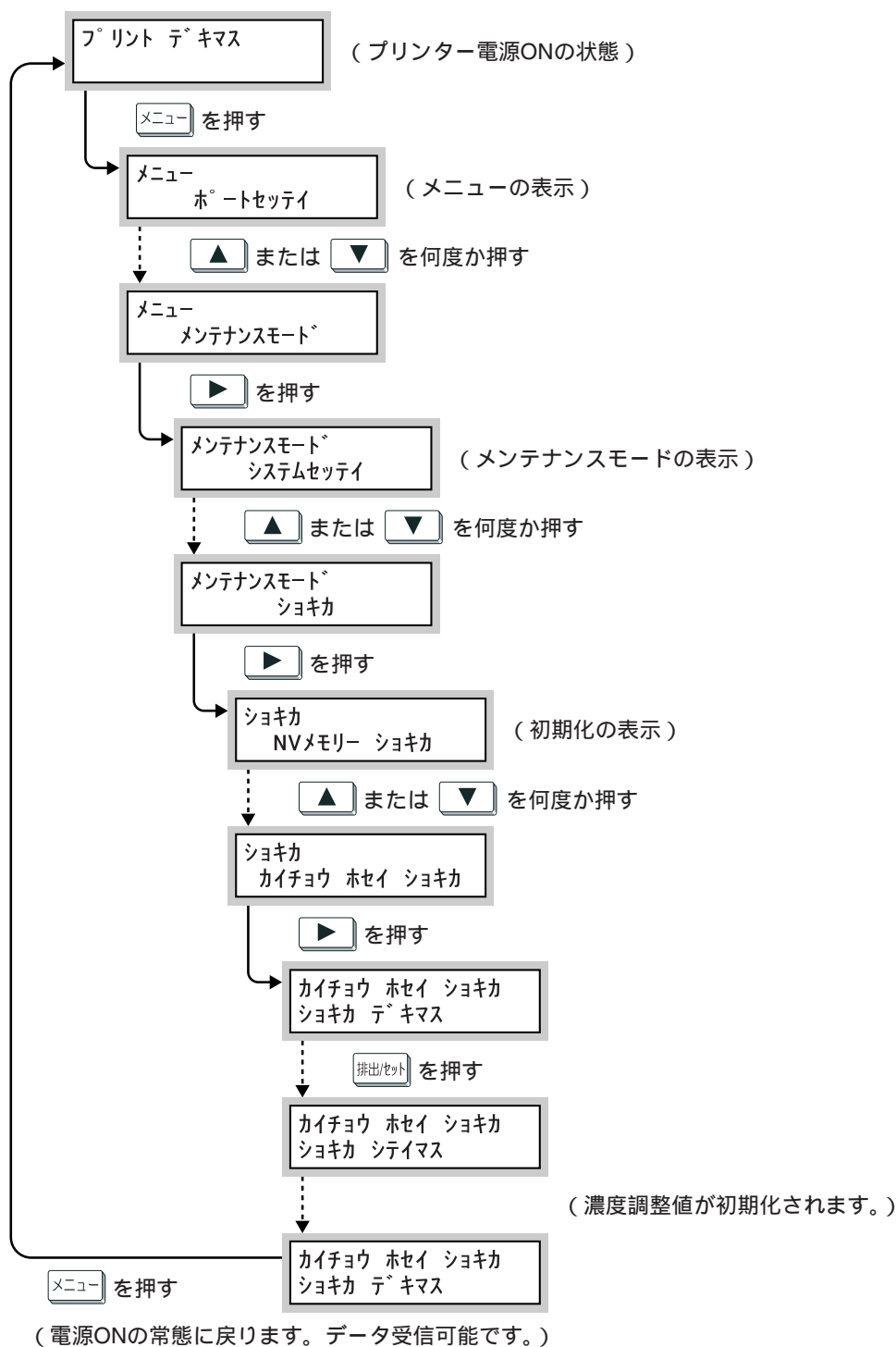
カイチョウ ホセイ ショキカ
ショキカ シテイマス

（濃度調整値が初期化されます。）

カイチョウ ホセイ ショキカ
ショキカ テ゛キマス

⑨ メニュー を押す

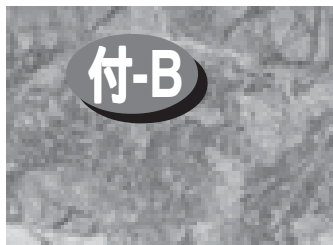
（電源ONの常態に戻ります。データ受信可能です。）

付　録

最新版プリンタードライバーの入手方法

最新版プリンタードライバーは、インターネットのホームページで提供しています。ご自由にダウンロードしてご利用ください。

なお、通信費用はお客様の負担になりますので、ご了承ください。

インターネット

WWWサーバーから最新版プリンタードライバーを入手できます。
弊社のホームページのアドレス(URL)は次のとおりです。
http://www.fujixerox.co.jp/

主な仕様

付-B.1　DocuColor 1250シリーズ

項目	仕様
形式	床上型（コンソールタイプ）レーザープリンター
プリント方式	半導体レーザー方式 ゼログラフィ方式
プリント速度	50枚/分（白黒モード） 12.5枚/分（カラーモード） 記録条件：A4（同一内容を連続印刷）
ウォームアップタイム	電源投入後9分30秒以内（温度20℃、湿度60%の場合）
解像度/階調	600ドット/25.4mm（600dpi）/256階調 （文字プリントは2400dpi相当）
給紙方式	フロントローディング方式
用紙サイズ	用紙トレイ1　：A4 用紙トレイ2、3、4　：B5〜A3 用紙トレイ5（手差し）：A5〜SRA3（320×450mm/12．6×17．7インチ）、官製はがき、定型外
用紙トレイ容量	用紙トレイ1　：560枚（P紙）530枚（J紙） 用紙トレイ2、3、4　：620枚（P紙）580枚（J紙） 用紙トレイ5（手差し）：150枚（P紙）140枚（J紙） 15mm以内
排出トレイ容量	排出トレイS　：200枚（P紙） 排出トレイM　：500枚（P紙）
電源	100V（Min. 90V〜Max. 110V）・15A、50/60Hz
最大消費電力	1.5kW
画質保証環境	温度　：10〜35℃ 湿度　：15〜85%RH（結露のないこと） 温度が35℃のときは湿度47.5%以下、湿度が85%のときは温度27.8℃以下でお使いください。
大きさ	幅620×奥行788×高さ1038mm
機械占有寸法	幅1393×奥行788mm（用紙トレイ5（手差し）含まず）
質量	約205kg（本体のみ）

注記　製品の仕様・外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

付-B.2　DocuPrint C1250

形式	床上型(コンソールタイプ)レーザープリンター
プリント方式	半導体レーザー方式 ゼログラフィ方式
プリント速度	50枚/分(白黒モード) 12.5枚/分(カラーモード) 記録条件：A4(同一内容を連続印刷)
ウォームアップタイム	電源投入後9分30秒以内(温度20℃、湿度60%の場合)
解像度/階調	600ドット/25.4mm(600dpi)/256階調 (文字プリントは2400dpi相当)
給紙方式	フロントローディング方式
用紙サイズ	用紙トレイ1 ： A4 用紙トレイ2、3、4 ： B5〜A3 用紙トレイ5(手差し) ： A5〜SRA3(320×450mm/12．6×17．7インチ)、官製はがき、定型外
用紙トレイ容量	用紙トレイ1 ： 560枚(P紙) 530枚(J紙) 用紙トレイ2、3、4 ： 620枚(P紙) 580枚(J紙) 用紙トレイ5(手差し) ： 150枚(P紙) 140枚(J紙) 15mm以内
排出トレイ容量	排出トレイS ： 200枚(P紙) 排出トレイM ： 500枚(P紙)
電源	100V(Min. 90V〜Max. 110V)・15A、50/60Hz
最大消費電力	1.5kW
画質保証環境	温度 ： 10〜35℃ 湿度 ： 15〜85%RH(結露のないこと) 温度が35℃のときは湿度47.5%以下、湿度が85%のときは温度27.8℃以下でお使いください。
大きさ	幅620×奥行788×高さ987mm
機械占有寸法	幅1393×奥行788mm(用紙トレイ5(手差し)含まず)
質量	約186kg(本体のみ)

注記　製品の仕様・外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

索　引

W

ア

イ

ウ

エ

オ

カ

キ

ク

ヘ

ホ

マ

ミ

メ

モ

ユ

ヨ

リ

レ

マニュアルコメント用紙

本書をより使いやすいものとするために、皆様からの貴重なご意見(説明不足、間違い、誤字、誤植、ご要望など)をお待ちいたしております。ご記入に際しましては、マニュアルに関することのみ具体的にご指摘くださるようお願いいたします。

• マニュアルの名称	DocuColor 1250シリーズ/DocuPrint C1250 取扱説明書(プリント機能操作編)	• 管理番号	DE-1055

• ご 芳 名		• 貴 社 名	
• 所属部門		• 電話番号	[内線]
• 所 在 地			

• ペ ー ジ	• 行	• 内容へのご指摘/ご要望

• 富士ゼロックス記入欄		
• 記事	• 受付No.	• 受付担当印

1版

[折り込み線]

富士ゼロックス(株)社内メール扱い

［送付先］
HID開発部
ドキュメントデザイングループ　行

担当社員

事業部　営業所　課　G

氏名

[折り込み線]

切り取り線

- ご記入くださいましたら点線の部分で折り込みホチキスなどでとめたうえ、お買い求めの販売店にお渡しください。
- このままで郵便物として投函なさらないようにご注意ください。

保守・操作のお問い合わせは

この商品の保守・操作のお問い合わせは、テレフォンセンター（または販売店）へご連絡ください。

- テレフォンセンターの電話番号は、機械に貼付してあるラベル、またはカードに記載されています。
- ご連絡の際は、ラベル、またはカードに記載されている「機種名」および「機械番号」をお知らせください。

お問い合わせ先が不明の際は、お買い上げの販売店、または営業所へご連絡ください。

富士ゼロックスグループの営業所一覧

本社・カンパニー・支社・支店・営業所

名称	電話番号
本社	(03) 3585 - 3211
インダストリー・ソリューション・カンパニー	(03) 3584 - 3211
ゼネラル・オフィス・マーケティング・カンパニー	
東日本支社	
北海道支店	(011) 241 - 7341
仙台支店	(022) 221 - 7651
福島支店	(024) 522 - 9211
茨城支店	(029) 221 - 7401
埼玉支店	(048) 641 - 5014
埼玉ドキュメントソリューション営業部	(048) 641 - 5014
千葉支店	(043) 297 - 2361
神奈川支店	(045) 224 - 1302
神奈川ニューマーケティング営業部	(0120) 84 - 2209
神奈川ドキュメントソリューション営業部	(045) 224 - 1954
長野支店	(026) 227 - 0769
青森営業所	(0177) 75 - 2741
秋田営業所	(0188) 62 - 4406
山形営業所	(023) 631 - 2662
盛岡営業所	(019) 623 - 5475
新潟営業所	(025) 247 - 2211
宇都宮営業所	(028) 622 - 4111
群馬営業所	(0273) 26 - 1721
山梨営業所	(0552) 26 - 5731
東京支社	
首都圏ドキュメントソリューション営業部	(03) 5353 - 6519
首都圏大手第一営業部	(03) 5353 - 6500
首都圏大手第二営業部	(03) 5353 - 6511
首都圏大手第三営業部	(03) 5353 - 6541
ドキュメントソリューション第一営業部	(03) 5573 - 9721
ドキュメントソリューション第二営業部	(03) 5573 - 9731
ドキュメントソリューション第三営業部	(03) 5573 - 9821
ネットワークソリューション第一支店	(03) 5573 - 9741
ネットワークソリューション第二支店	(03) 5573 - 9751
ネットワークプリンティングシステム第一支店	(03) 3552 - 1411
ネットワークプリンティングシステム第二支店	(03) 5573 - 9761
ネットワークプリンティングシステム第三支店	(03) 3354 - 0511
クリエーションビジネス支店	(03) 5573 - 9771
ニューマーケティング営業部	(0120) 60 - 2209
城東支店	(03) 5828 - 6221
城南支店	(03) 5423 - 5111
城西支店	(03) 3400 - 5161
城北支店	(03) 3981 - 3221
東京西支店	(042) 524 - 8111
西日本支社	
名古屋第一支店	(052) 583 - 4521
名古屋第二支店	(052) 583 - 9621
名古屋大手営業部	(052) 583 - 4981
名古屋 DS 営業部	(052) 583 - 0234
東愛知支店	(0566) 83 - 1771
静岡支店	(054) 255 - 2361
北陸支店	(076) 222 - 2591
沼津オフィス	(0559) 63 - 1324
浜松営業所	(053) 454 - 8365
岐阜営業所	(058) 255 - 0250
福井営業所	(0776) 23 - 0442
富山オフィス	(076) 431 - 8751
三重営業所	(059) 226 - 1924
京都支店	(075) 241 - 0281
大阪第一支店	(06) 6271 - 5285
大阪第二支店	(06) 6315 - 7200
大阪北支店	(06) 6305 - 3941
大阪南支店	(06) 6633 - 5923
大阪DS第一営業部	
大阪DS第二営業部	(06) 6241 - 8946
神戸支店	(078) 272 - 4411
大阪東営業所	(06) 6747 - 2680
滋賀営業所	(077) 522 - 4685
阪神営業所	(06) 6412 - 4631
姫路営業所	(0792) 82 - 3030
奈良営業所	(0742) 26 - 6811
和歌山営業所	(0734) 33 - 1460
岡山支店	(086) 225 - 7231
広島支店	(082) 262 - 2024
山口営業所	(0839) 24 - 0600
山陰営業所	(0852) 21 - 9494
高松営業所	(087) 834 - 2111
松山営業所	(089) 941 - 5661
福岡支店	(092) 411 - 9100
北九州営業所	(093) 541 - 2681
佐賀営業所	(0952) 26 - 8750
長崎営業所	(095) 824 - 0911
大分営業所	(097) 534 - 3463
熊本支店	(096) 322 - 3131
宮崎営業所	(0985) 25 - 8383
鹿児島営業所	(099) 253 - 1881
沖縄営業所	(098) 863 - 8866

地区販売会社

名称	電話番号
北海道ゼロックス株式会社	(011) 271 - 4533
岩手ゼロックス株式会社	(019) 653 - 5519
宮城ゼロックス株式会社	(022) 221 - 2131
福島ゼロックス株式会社	(0249) 27 - 1011
群馬ゼロックス株式会社	(0273) 61 - 1431
栃木ゼロックス株式会社	(028) 637 - 5111
茨城ゼロックス株式会社	(029) 229 - 2911
埼玉ゼロックス株式会社	(048) 647 - 3211
千葉ゼロックス株式会社	(043) 221 - 2711
東京ゼロックス株式会社	(03) 3205 - 7211
多摩ゼロックス株式会社	(042) 645 - 4851
神奈川ゼロックス株式会社	(045) 681 - 1101
新潟ゼロックス株式会社	(025) 246 - 1313
長野ゼロックス株式会社	(026) 227 - 1231
静岡ゼロックス株式会社	(054) 255 - 4431
北陸ゼロックス株式会社	(076) 260 - 0900
愛知東ゼロックス株式会社	(0532) 32 - 7601
愛知ゼロックス株式会社	(052) 201 - 7141
岐阜ゼロックス株式会社	(058) 276 - 3058
三重ゼロックス株式会社	(059) 228 - 7561
京都ゼロックス株式会社	(075) 255 - 3091
大阪ゼロックス株式会社	(06) 6281 - 1501
奈良ゼロックス株式会社	(0742) 27 - 7801
兵庫ゼロックス株式会社	(078) 232 - 3341
四国ゼロックス株式会社	(0878) 23 - 4565
岡山ゼロックス株式会社	(086) 243 - 1051
広島ゼロックス株式会社	(082) 243 - 3221
山口ゼロックス株式会社	(0836) 21 - 1147
北九州ゼロックス株式会社	(093) 531 - 3313
福岡ゼロックス株式会社	(092) 271 - 3111
長崎ゼロックス株式会社	(095) 822 - 3330
熊本ゼロックス株式会社	(096) 367 - 2220
鹿児島ゼロックス株式会社	(099) 254 - 4222
株式会社テクノル	(0178) 47 - 8311
秋田ゼロックス株式会社	(0188) 23 - 4645
山形ゼロックス株式会社	(0236) 24 - 2468
株式会社テクノ山梨	(0552) 33 - 3151
福井ゼロックス株式会社	(0776) 34 - 3666
和歌山ゼロックス株式会社	(0734) 46 - 4300
株式会社ケーオウエイ	(0859) 35 - 5550
株式会社ミック	(0852) 27 - 0329
大分ゼロックス株式会社	(0975) 56 - 7112
株式会社ソアー	(0952) 33 - 0694
宮崎電子機器株式会社	(0985) 20 - 7666
沖縄ゼロックス株式会社	(098) 867 - 1415

営業所名、電話番号は変更になることがあります。(2000年2月現在)

富士ゼロックスに対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターへご連絡ください。

フリーダイヤル 0120-27-4100

（フリーダイヤル受付時間：土、日、祝日を除く9～12時、13～17時、東京でお受けします。
ただし、通話地域制限がある内線電話機からはご利用になれません。全国通話ができる電話機をご使用ください。）

インターネットホームページで商品情報を提供しています。アクセス先は、http://www.fujixerox.co.jp です。

DocuColor 1250 シリーズ/DocuPrint C1250 取扱説明書（プリント機能操作編）

著作者 ─ 富士ゼロックス株式会社
発行者 ─ 富士ゼロックス株式会社
ドキュメント プロダクト カンパニー
ヒューマンインターフェイス アンド デザイン開発部

発行年月 ─ 2001年 1月　第1版

（帳票No. DE-1055）
Printed in Japan